

国立大学法人  
**鳴門教育大学**

〒772-8502 鳴門市鳴門町高島字中島748番地  
<https://www.naruto-u.ac.jp/>

令和3年度

学生による授業評価実施報告書

令和5年3月

鳴門教育大学 学校教育学部

令和3年度

# 学生による授業評価実施報告書

令和5年3月

鳴門教育大学 学校教育学部

## はしがき

高等教育機関である大学において、その教育の質を向上させることは重要な責務であり、その教育の重要な部分を担っているのが他ならぬ授業である。つまり、授業の検証、省察、改善を不断に行っていくことによって、教育の質の向上を図って行かなければならないということである。その際の貴重な資料となるものが、学生による授業評価アンケートであり、本学では受講生が3人以下の授業科目や、実地教育専門部会が別にアンケートを実施する実地教育科目、卒業研究を除いて、開講するすべての授業科目において実施している。

本学学士課程では、従来から豊かな教養と人間性、教育・教科等に関する専門的知識の上に立った確かな教育実践力が習得できるように教員養成コア・カリキュラムを編成している。具体的には、「教育実践学」中核に、大学の授業と教育現場の実践が連動するように展開するとともに、「教育実践学」を軸にして各授業科目を結びつけ、カリキュラム全体の構造化を図っている。

このカリキュラムを構成する一つ一つの授業が、学生の学びに資するものとなっているのかを、学生による授業評価アンケートに基づき、検証し、改善を図っていくことで教育の質の向上につなげてゆきたい。

また、授業における学生の主体的な学びを検証するために、数年前からアクティブ・ラーニングに関する項目も加えており、第3期(平成28～令和3)に引き続き令和4年度も実施している。

さらに、令和2年度コロナ禍の中でオンライン授業が強く求められて以降、従来の対面とMoodle、Teams、Zoom等のオンラインとが併存し、また併用した授業が行われるなど、授業形態も多様性が求められる時代へと変容している。

こうした、アクティブ・ラーニングや、オンラインを活用した授業等が、学生の学びにとって有効に働いているのか等についても、学生の授業評価アンケートによる検証し、不断に改善を行って行かなければならない。

教員の方々が、学生による授業評価アンケートを、授業の改善に是非役立てて頂けることを期待している

(令和5年3月 学校教育学部教務委員会委員長 山田 芳明)



# 目 次

## はしがき

I 学生による授業評価の結果と考察 .....	1
1. 調査の方法と種類別回答数 .....	1
2. 教養基礎科目に関する結果の概要と特徴 .....	3
3. 教育実践コア科目に関する結果の概要と特徴 .....	4
4. 教職共通科目に関する結果の概要と特徴 .....	5
5. 専修専門科目に関する結果の概要と特徴 .....	6
6. アンケート様式 .....	11
II 学部授業評価の結果報告書 .....	13

## あとがき



# I

## 学生による授業評価の 結果と考察



## I 学生による授業評価の結果と考察

### 1. 調査の方法と種類別回答数

従来はアンケート用紙を教員が配布する方式であったが、令和2年度からオンライン方式でアンケートを実施している。

#### ○対象

- ・原則として、開講した全授業科目（嘱託講師担当の科目を含む）を対象とする。
- ・受講生が3人以下の授業科目、実地教育科目及び卒業研究は除く。

実地教育科目については実地教育専門部会が本調査とは別にアンケートを行っている。

#### ○調査方法・調査項目

- ・学校教育学部教務委員会が作成したアンケート様式を使用した。
- ・最終回の授業を担当する教員が、アンケート回答様式の QR コード(URL)と授業コードを伝えて受講生に回答を依頼する。受講生が回答したデータは教務課へ自動送信される。回答は無記名とする。
- ・質問は、三つの大項目の下に3～5の下位項目を設ける（教育実践コア科目については、さらに一つの大項目（下位項目は3）を加える（下記の大項目4））とともに、最後に授業の総合的評価を訊ねる形式を採った。
- ・大項目1から5は以下のとおりである。
  - 1 授業の計画と内容について（質問項目：5）
  - 2 授業の進め方について（質問項目：3）
  - 3 あなたの授業への取り組みについて（質問項目：3）
  - 4 教育実践コア科目について（質問項目：3）
  - 5 授業に対する総合的評価（質問項目：1）
- ・各質問に対する回答は、「5 そう思う」、「4 ややそう思う」、「3 どちらとも言えない」、「2 あまりそう思わない」、「1 そう思わない」という五つの選択肢から一つを選ばせる形式を採る。

○有効回答数、実施授業科目数は次の頁のとおりである。



表1 学生による授業評価の授業の種類別有効回答数

	有効回答数
教養基礎科目	4 1 2
教育実践コア科目	1 8 1
教職共通科目	1, 2 4 9
専修専門科目	1, 3 6 3
合 計	3, 2 0 5

表2 学生による授業評価の授業の種類別実施授業科目数

	授業科目数
教養基礎科目	4 3
教育実践コア科目	3 0
教職共通科目	7 3
専修専門科目	1 8 5
合 計	3 3 1

なお従来の報告書では、大項目1, 2, 4, 5の平均値を総合評価としている。項目ごとの平均値ともども無意味な数字であるがデータの集計作業は本専門委員会の埒外にあるため、従来通り掲載されている。

## 2. 教養基礎科目に関する結果の概要と特徴

### 1) 評価結果の概要

コロナ禍2年目となる令和3年度には教養基礎科目43（R2は38，R1は32）に対して授業評価が行われ、有効回答数は延べ412（R2は578，R1は936）であった。この3年間で実施授業数は増えているのに対して有効回答数は減少している。これは令和2年度から回答がオンライン化されたことが影響していると考えられる。令和3年度の評価結果は、図1の通りである。

回答の全般的な傾向は過去の令和2年度、令和元年度と大きな違いは見られない。大項目1・2については多くの質問項目において「そう思う」が60%弱から70%強であり、「ややそう思う」も加えると80%弱から9割超となる。また授業に対する総合的評価（大項目4）で「そう思う」が74%、「ややそう思う」が22%であることを見れば、これまでと同様に、教養基礎科目は全体として学生から満足できるものと評価されていると言えよう。

### 2) 個別の項目について

大項目「1 授業の計画と内容について」の「シラバスによって示された評価方法が適切に実施された」については、令和3年度は「そう思う」の回答が令和3年度では65%（R2は67%，R1は55%）だった。

大項目「2 授業の進め方について」のうち「私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた」について「そう思う」の回答は、令和3年度は60%（R2は67%，R1は57%）である。「授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた」で「そう思う」の回答は、令和3年度は65%（R2は65%，R1は58%）だった。

これに対して、大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」に関してはこれまでと同様に問題とすべき点がある。まず「授業内容をよく理解するために予習・復習を行った」に対する「そう思う」の回答は48%（R2は54%，R1は46%）と、まだ十分に高くない。そして「授業内容をよく理解するために、教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした」では、「そう思う」の回答は51%（R2は54%，R1は51%）であった。その一方で「授業によく出席し、積極的に取り組んだ」では「そう思う」の回答が76%（R2は76%，R1は65%）となっており、依然学生の自己評価における乖離がみられる。学生が主体的かつ協働的に学ぶことに向けて、教員も今後さらに授業の工夫をはかる必要がある。

### 3. 教育実践コア科目に関する結果の概要と特徴

#### 1) 評価結果の概要

令和3年度に実施された、教育実践コア科目に対する授業評価の実施授業科目数は30科目（R2は36, R1は39）であり、有効回答人数は181人（R2は174, R1は353）であった。令和2年度以降の有効回答数の顕著な減少は、回答のオンライン化の影響と考えられる。図2は、教育実践コア科目に対する評価結果を表す。

図2から、5つの大項目の下に設けられた15の質問項目の全てで、「そう思う」、「ややそう思う」と回答した学生が90%前後であったことが分かる。教育実践コア科目は全体として学生から満足できるものと評価されていると言えよう。

「そう思う」、「ややそう思う」と回答した学生の割合が90%に満たない質問項目は、「私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた」の87%（R2は88%, R1は88%）、「授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした」の86%（R2は89%, R1は80%）であった。後者の質問項目における、令和元年から2年への数字の上昇がコロナによるものかどうかは不明である。

#### 2) 評価結果の特徴

令和5年度からの新カリキュラムでは廃止されてしまう教育実践コア科目だが、実は他の科目の評価結果と横断的に比較すると、著しい特徴がみられる。それは、大項目「3 あなたの授業の取り組みについて」の「授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。」における「そう思う」と「ややそう思う」と回答した学生が95%と、教養基礎科目83%、教職今共通科目84%、専修専門科目86%と比較しても10ポイント前後高いことである。これは想像にすぎないが、教育実践コア科目では模擬授業などの実践が大きな割合を占めていたのが理由ではないか。新カリキュラムで教育実践コア科目が廃止される影響については、今後注視していかねばならない。

さて、本報告書では長年にわたって大項目「4 教育実践コア科目について」で無回答が多いことが問題視され、その理由が不明とされてきたが、今回質問フォームを見て合点がいった。そもそもこの大項目は教職実践コア科目のみのためのもので、カッコ書きで（コア科目以外の場合は（質問）（15）〜）と但し書きされている。無回答は当該授業がコア科目だと思わなかったか、コア科目の場合に回答する必要がないと誤解したかのどちらかである。アンケートの実施方法、設問の表現を改善する必要があるだろう。

## 4. 教職共通科目に関する結果の概要と特徴

### 1) 評価結果の概要

令和3年度に実施された教職共通科目に対する授業評価実施授業科目数は、73科目であり、有効回答人数は1249人であった。これは、前年度（令和2年度）と比べると、実施科目数は同程度（72科目）であるが、有効回答人数は1362人から大きく減少したと言える。一昨年度（令和元年度）の75科目・有効回答人数2997人からの減少傾向が続いている。原因としては、前回の指摘と同じく評価のオンライン化による影響が大きいと思われる。あくまで任意回答の調査ではあるが、できるだけ未回答者の割合を下げることや、誤入力により有効回答から外れる割合を減らす工夫が求められる。

9ページの図3は、教職共通科目に対する評価結果を表している。図3が示す各項目の評価は例年と同じ傾向が見られ、総合評価については過年度同様（令和元年度4.4、令和2年度4.4）、令和3年度は4.5と高評価を保っている。

各項目を見ると、全ての項目において、プラスの評価である「そう思う」、「ややそう思う」と回答した学生の割合が80%以上となった。12項目のうち最もプラスの評価の割合が少なく「どちらとも言えない」の割合が高かったのは、大項目「2 授業の進め方について」の質問項目「私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた」である。これは、授業実施方法によっては他の学生の学習態度が授業そのものに影響しないことや指導場面に立ち会わずに済むといったことなど、いくつかの影響因が考えられる。次にプラス評価が低かったのは、例年の傾向と同様、大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」に含まれる項目であった。授業への出席と取り組みは高いが、予習・復習の実施率や教員への質問、他の学生との話し合いといった内容に関する項目は比較的低い。それでも80%を超えて取り組まれている様子から、引き続き、受講生自身の取り組みについても実感できるような授業展開・授業方法が実施されていくことが期待される。

### 2) 評価結果の特徴

教職共通科目の内部で各質問や大項目の結果を比較すると、どの項目の平均値も4.3-4.7の範囲に収まっており、概ね良好な水準である。項目間の比較では、大項目「2 授業の進め方について」（私語等への指導）と大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」（予習・復習、質問に関する項目）の評価が他の授業科目より低い傾向（4.3）にあった。継続的な課題ではあるが、授業では、学生の主体的・積極的な受講態度を促す工夫など求められていると言えよう。

## 5. 専修専門科目に関する結果の概要と特徴

### 1) 評価結果の概要

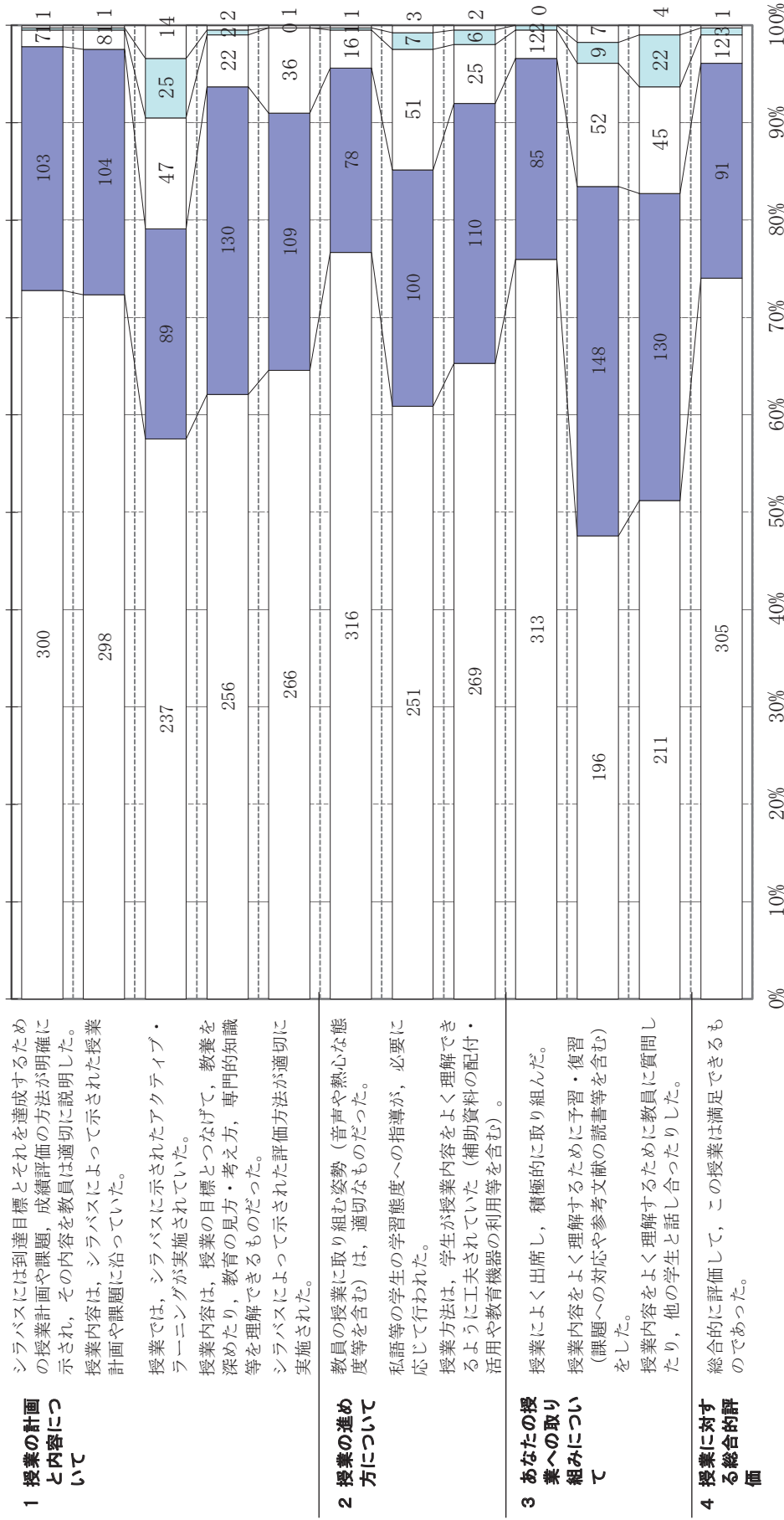
令和3年度に実施された専修専門科目に対する授業評価科目数は185科目(前年度176科目)、有効回答人数は1363人(同1613人)であった。授業評価を実施する科目数は増えているが、受講者側の反応が減少している。令和元年度の状況(実施科目数204科目・有効回答人数3279人)から見ても、減少傾向が続いていることがわかる。原因としては、前回の指摘と同じく評価のオンライン化による影響が大きいと思われる。回答操作自体は、選択・クリックにより簡素化しているが、それを超える阻害要因をひとつひとつ解消していくことが必要であろう。

10ページの図4は、専修専門科目の評価結果である。総合評価の平均値は4.6(令和2年度4.5, 令和元年度4.4)であり、上昇が続いている。また、全ての項目において、プラスの評価である「そう思う」、「ややそう思う」と回答した学生の割合が80%以上となった。多くの項目が肯定的評価の割合が90%以上となる中、80%台となったのは大項目「1 授業の計画と内容について」の「授業では、シラバスに示されていたアクティブ・ラーニングが実施されていた」、大項目「2 授業の進め方について」の「私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた」、大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」の「授業内容をよく理解するために予習・復習をした」及び「授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした」の4項目であった。アクティブ・ラーニングの実施に関しては、単にシラバス通りに行われなかったという可能性だけではなく、前年度も指摘されたことであるが、学生がイメージするアクティブ・ラーニングと授業実施者が考えるアクティブ・ラーニングの認識を近づける必要もあろう。また、学習態度への指導については、オンライン授業の機会も増え、私語等の指導が必要な場面自体、減っていたことによる影響も考えられる。学生自身の受講態度に関する大項目3については、概ね良好であるが、例年、他の項目に比べれば低めの評価が出されている。授業中の状態(出席・積極的な取り組み)への肯定的評価は93%と非常に高い(評価平均値4.7)ことから、そうした自発性・積極性を授業時間外(予習・復習への取り組み、質問など)にも広げる指導が必要なのかもしれない。

### 2) 評価結果の特徴

授業に対する満足度、総合評価は上昇しており、概ね順調に授業改善は進んでいると思われる。ただし、回答者数の減少が続いている点は留意すべきである。オンラインでの回答入力時に、回答者は授業者にはわからないことが明記されているが、受講者数の限られた科目もある中、否定的回答を選択しにくい学生もいる可能性がある。引き続き、教員側は授業内容、授業の進め方、学生の積極性を引き出す試みなど、授業改善の取り組みを重ねていくことが必要であろう。

そう思う   
 ややそう思う   
 どちらとも言えない   
 あまりそう思わない   
 そう思わない



シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。  
 授業では、シラバスに示されたアクティブラーニングが実施されていた。  
 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。  
 シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。  
 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。  
 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。  
 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。  
 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。  
 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。  
 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。  
 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。

図1 教養基礎科目に対する評価結果

そう思う   
 ややそう思う   
 どちらとも言えない   
 あまりそう思わない   
 そう思わない

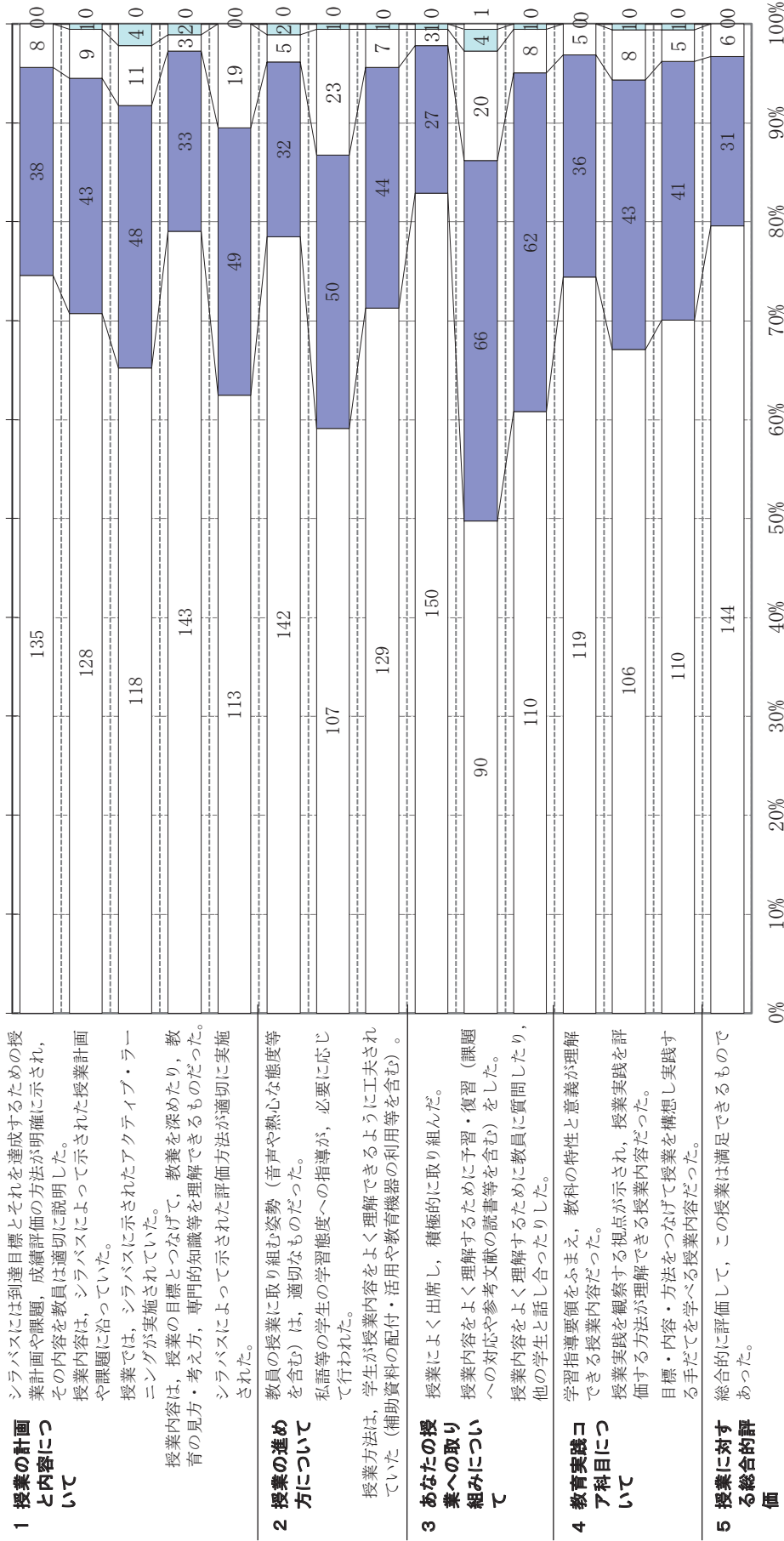


図2 教育実践コア科目に対する評価結果

そう思う   
 ややそう思う   
 どちらとも言えない   
 あまりそう思わない   
 そう思わない

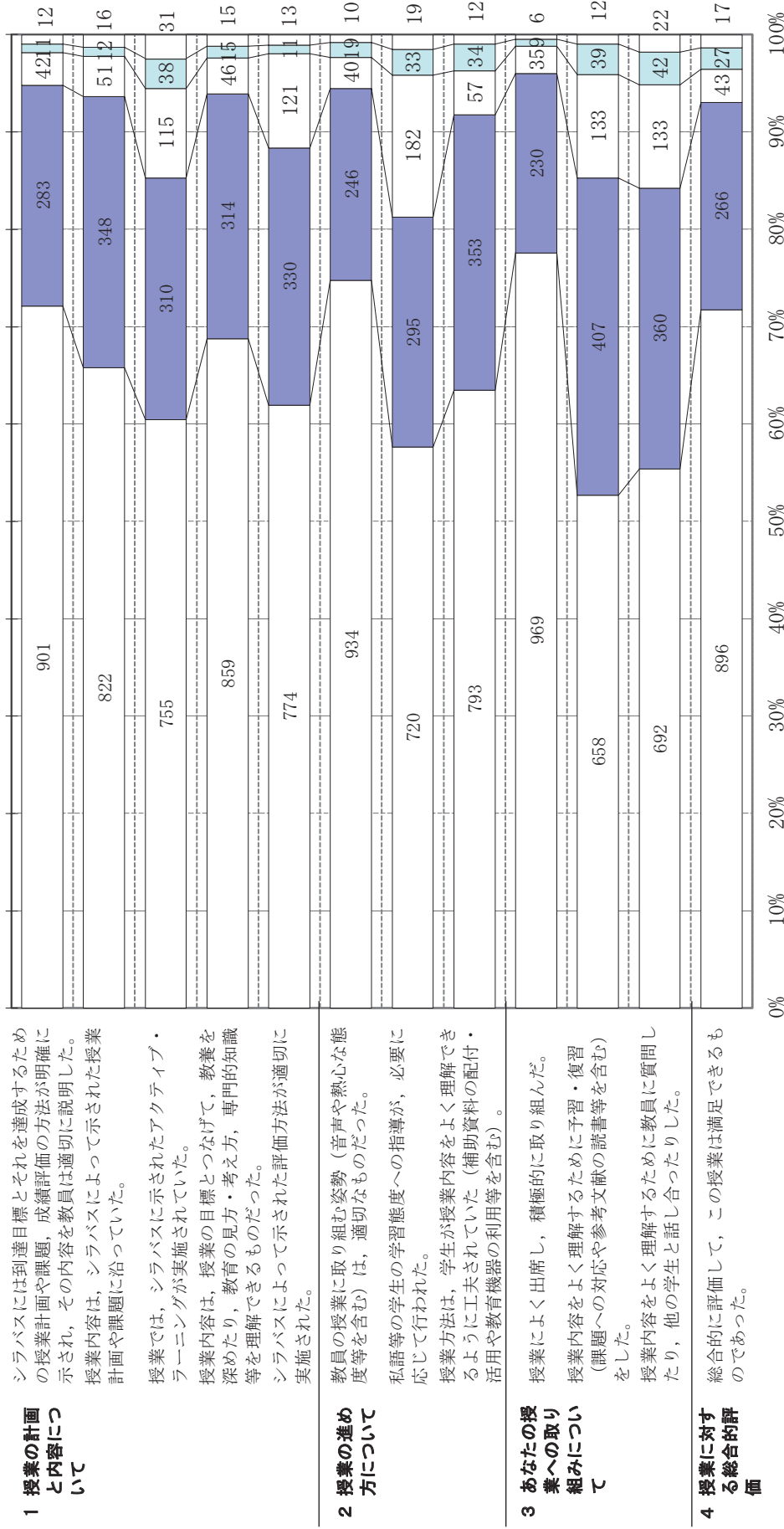


図3 教職共通科目に対する評価結果



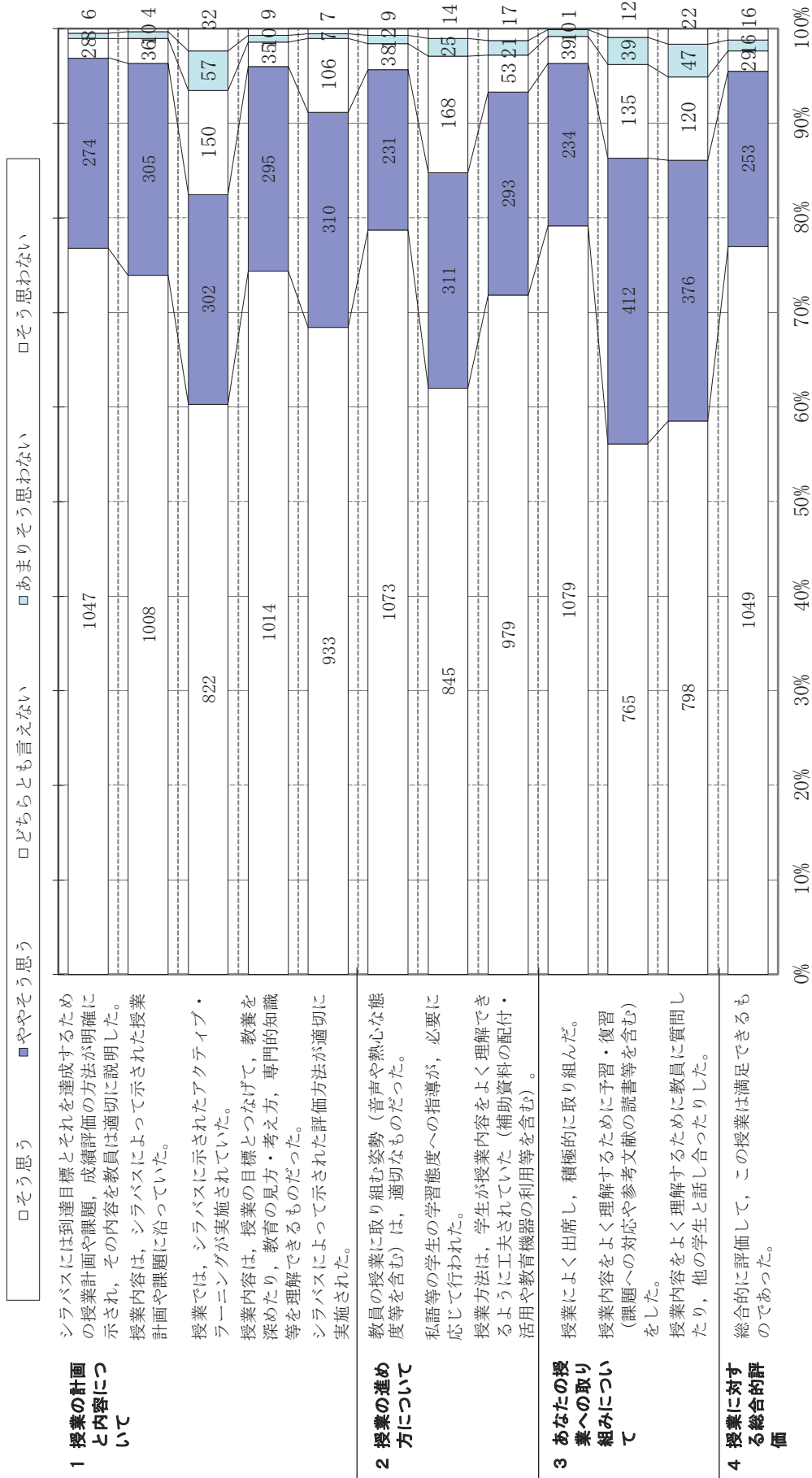


図 4 専修専門科目に対する評価結果

## 令和3年度学部授業評価アンケート調査

科目コード \_\_\_\_\_

このアンケート調査は、評価結果を教員にフィードバックし、今後の学部の授業の改善に役立てることを目的として行うものです。  
 以下の各項目について、次の5段階で評価し、その該当する番号をマークしてください。  
 このアンケートの結果が皆さんの成績などに影響することはありませんので、率直に回答してください。  
 ※このアンケート調査の回答者情報（ログイン情報）は、集計・分析を担当する事務職員（以下「所有者」）以外へは開示されません。  
 このアンケートの結果が皆さんの成績などに影響することはありませんので、率直に回答してください。

⑤ そう思う    ④ ややそう思う    ③ どちらとも言えない    ② あまりそう思わない    ① そう思わない

**1 授業の計画と内容について**

- |  |   |   |   |   |   |
|--|---|---|---|---|---|
| (1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。 | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| (2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。                             | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| (3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。                           | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| (4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。        | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| (5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。                                   | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |

**2 授業の進め方について**

- |  |   |   |   |   |   |
|--|---|---|---|---|---|
| (6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。                    | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| (7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。                             | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| (8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。 | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |

**3 あなたの授業への取り組みについて**

- |  |   |   |   |   |   |
|--|---|---|---|---|---|
| (9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。                          | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| (10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。 | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| (11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。       | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |

**4 教育実践コア科目について（コア科目以外の場合は(15)へ）**

- |  |   |   |   |   |   |
|--|---|---|---|---|---|
| (12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。         | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| (13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。 | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| (14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。    | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |

**5 授業に対する総合的評価**

- |                                 |   |   |   |   |   |
|---------------------------------|---|---|---|---|---|
| (15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。 | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
|---------------------------------|---|---|---|---|---|

**6 先の1から5の項目以外で、本授業で設定する項目（※独自の設問を設定できます。）**

- |     |   |   |   |   |   |
|-----|---|---|---|---|---|
| (1) | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| (2) | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |

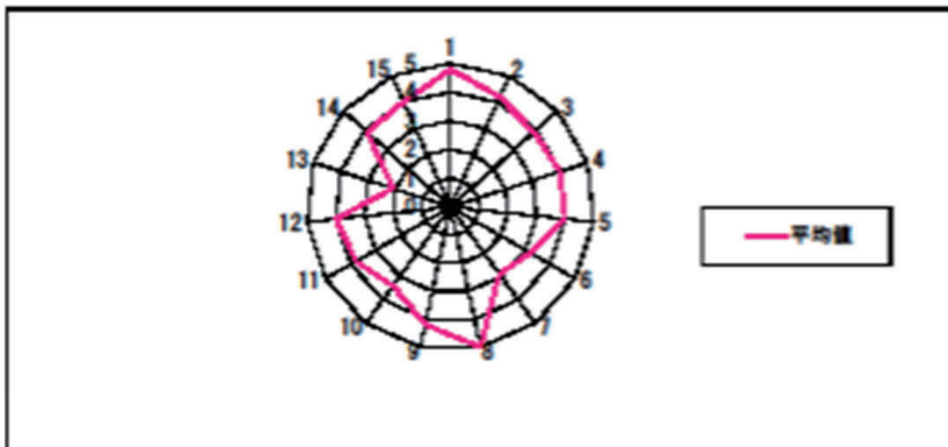
あなたの満足度に対する理由と授業改善にむけての提言

【ご協力ありがとうございました。】

授業科目名 ○○○○教育論  
 評価実施日 令和 年 月 日  
 担当教員名 ○○ ○○

回答者数 ○○名

質問項目	評価選択人数					平均値 (欄別)
	5	4	3	2	1	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。					4.8
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。					4.2
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。					3.9
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。					4.0
	(5) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。					4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。					3.2
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。					2.9
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。					5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。					4.2
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。					3.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。					3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。					4.0
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。					2.1
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。					3.9
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。					4.0



**総合評価**  
 前記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

---

# Ⅱ

---

## 学部授業評価の 結果報告書

---

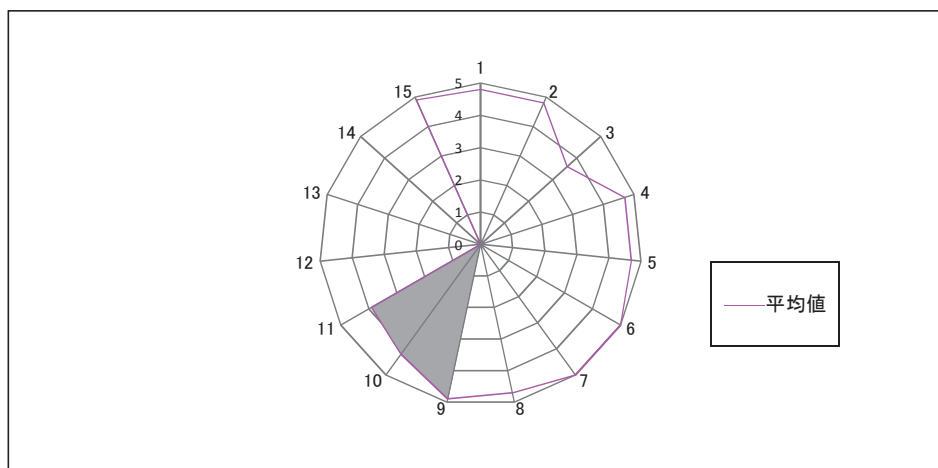


# 教 養 基 礎 科 目

授業科目名 日本国憲法  
 評価実施日 令和3年7月26日  
 担当教員名 麻生 多聞

回答者数 42名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	32	10	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	30	12	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	12	11	9	8	2	0	3.6
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	29	12	1	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	29	10	3	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	39	3	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	39	3	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	29	12	0	1	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	37	5	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	16	19	5	2	0	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	17	10	8	5	2	0	3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	36	6	0	0	0	0	4.9



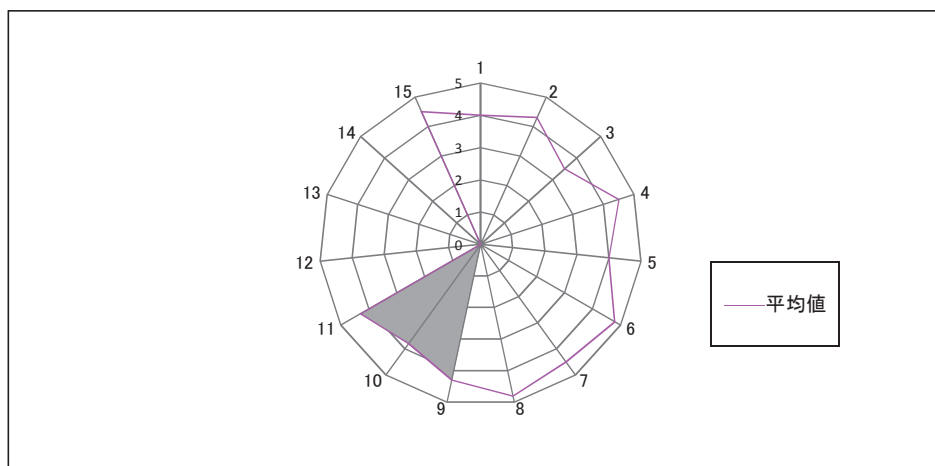
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 科学と環境  
 評価実施日 令和3年7月26日  
 担当教員名 武田 清, 工藤 慎一, 田村 和之

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	2	1	0	0	0	4.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	3	0	0	0	0	4.3
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	2	2	0	0	0	3.5
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	4	0	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	3	0	0	0	0	4.3
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	1	2	0	0	0	3.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	3	0	0	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	2	0	0	0	0	4.5



総合評価 **4.3**

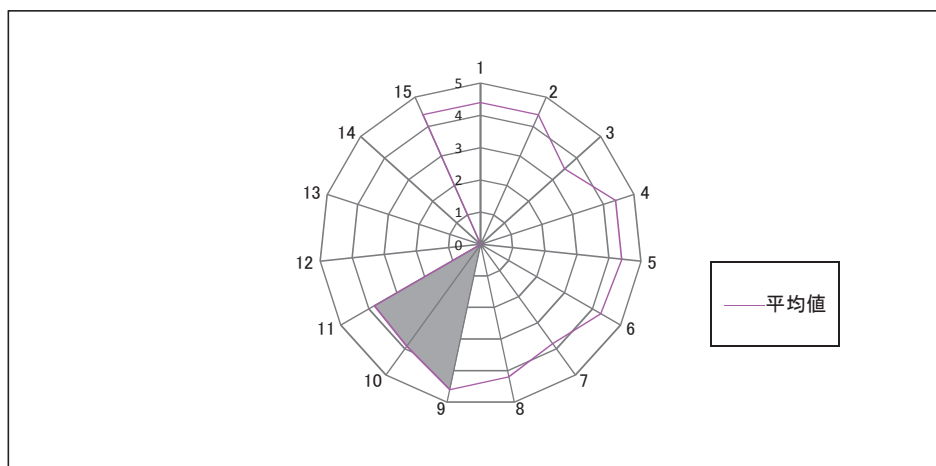
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 生体メカニズムと生命倫理  
 評価実施日 令和3年7月26日  
 担当教員名 田中 淳一, 古川 洋和, 乾 信之

回答者数 45名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	20	22	2	1	0	0	4.4
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	22	20	2	1	0	0	4.4
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	11	14	10	6	4	0	3.5
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	23	15	7	0	0	0	4.4
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	23	16	6	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	22	13	9	1	0	0	4.3
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	16	11	11	5	2	0	3.8
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	20	15	8	2	0	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	30	12	2	1	0	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む) をした。	13	20	8	1	3	0	3.9
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	13	17	8	6	1	0	3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	24	15	5	1	0	0	4.4

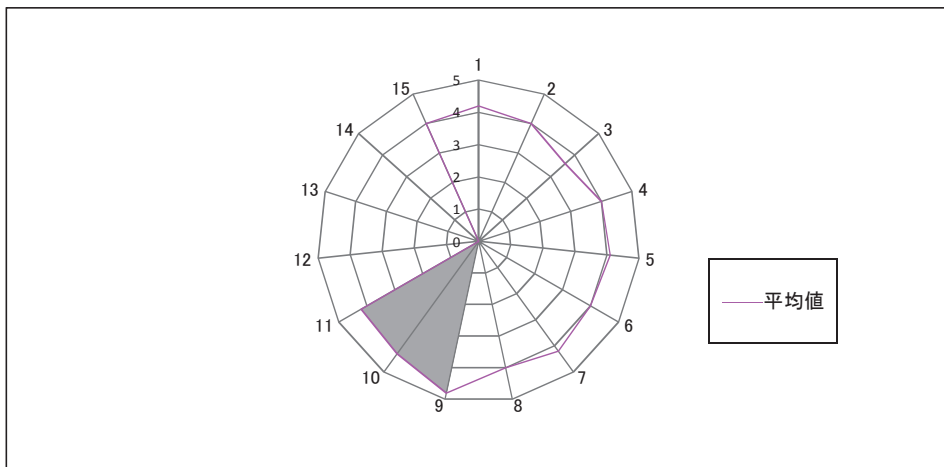


総合評価	4.2
------	-----

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

授業科目名 市民社会と公共性  
 評価実施日 令和3年7月26日  
 担当教員名 青葉 暢子, 立岡 裕士, 浜崎 隆司, 高原 光恵, 眞野 豊 回答者数 11名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	5	0	0	1	0	4.2
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	5	1	0	1	0	4.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	3	3	1	1	0	3.6
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	4	2	0	1	0	4.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	4	1	0	1	0	4.1
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	4	2	0	1	0	4.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	5	0	0	1	0	4.2
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	5	1	0	1	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	3	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	4	2	0	0	0	4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	5	2	0	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	2	1	1	1	0	4.0



総合評価	4.0
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

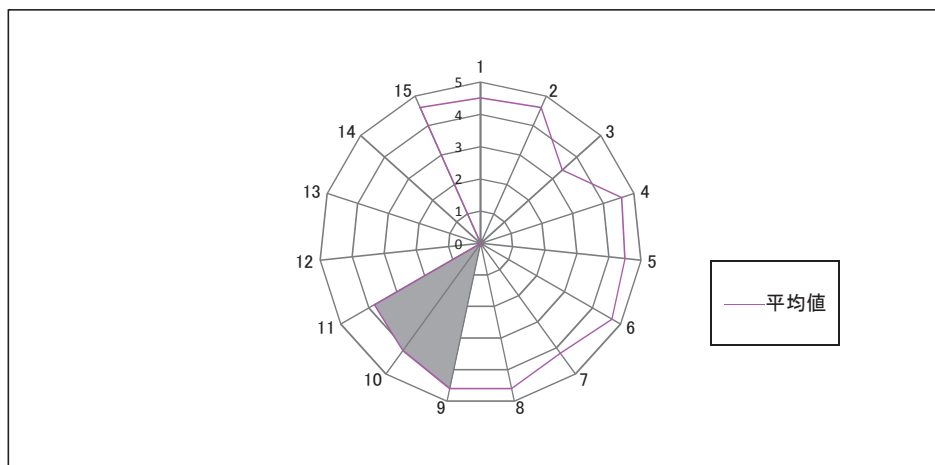
授業科目名 阿波学(地域文化研究)

評価実施日 令和3年8月2日

担当教員名 畠山 輝雄, 内藤 隆, 皆川 直凡, 久米 禎子, 小倉 正義, 田村 隆宏, 立岡 裕士, 町田 哲, 栗原 慶, 南 隆尚, 宮下 晃一, 藤原 伸彦, 眞野 美穂, 眞野 豊

回答者数 20名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題,成績評価の方法が明確に示され,その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は,シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業では,シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						3.4
	(4)授業内容は,授業の目標とつなげて,教養を深めたり,教育の見方・考え方,専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は,適切なものだった。						4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が,必要に応じて行われた。						4.2
	(8)授業方法は,学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し,積極的に取り組んだ。						4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。						4.1
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり,他の学生と話し合ったりした。						3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ,教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され,授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して,この授業は満足できるものであった。						4.6

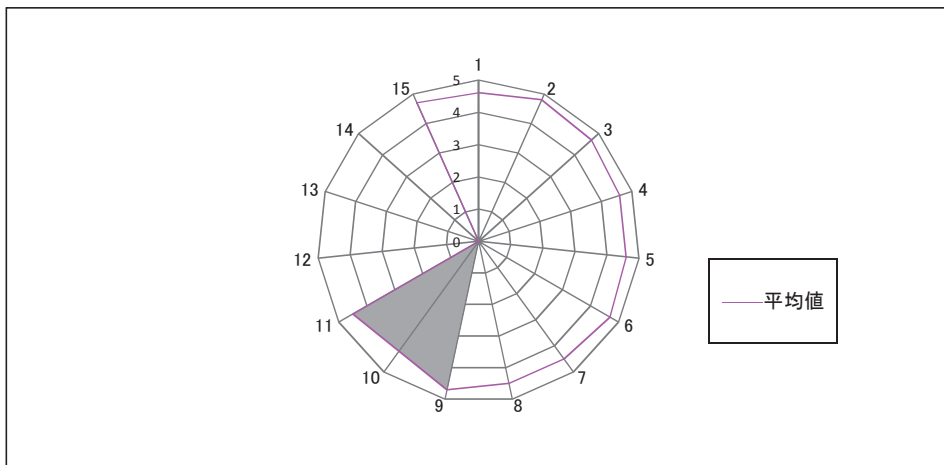


総合評価 4.4

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 基礎情報教育A  
 評価実施日 令和3年7月27日  
 担当教員名 曾根 直人, 大野 将樹, 宮口 智成, 阪東 哲也      回答者数 40名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	27	10	3	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	30	10	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	28	10	2	0	0	0	4.7
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	24	13	3	0	0	0	4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	24	13	3	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	28	9	3	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	24	11	5	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	24	12	3	1	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	29	10	1	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	15	18	5	1	1	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	23	14	3	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	28	11	1	0	0	0	4.7



総合評価 **4.6**

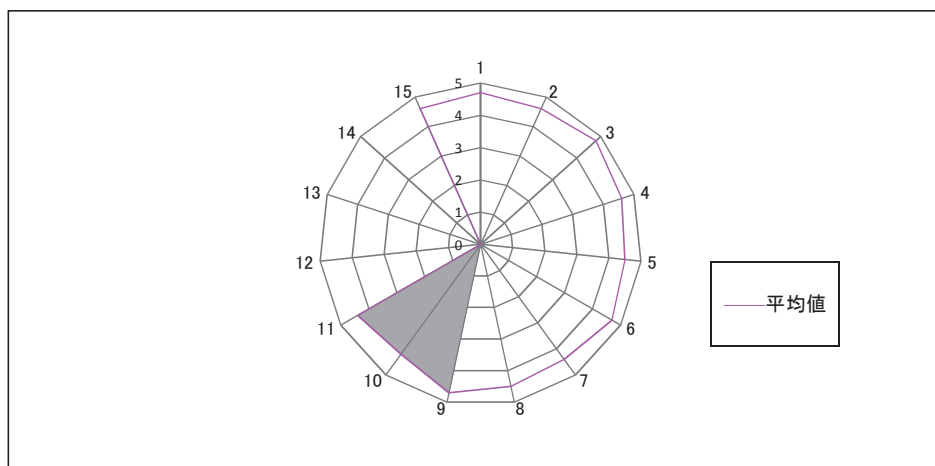
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 基礎情報教育B

評価実施日 令和3年7月27日

担当教員名 曾根 直人, 大野 将樹, 宮口 智成, 阪東 哲也 回答者数 44名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	28	16	0	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	26	18	0	0	0	0	4.6
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	33	10	1	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	29	12	2	1	0	0	4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	23	18	3	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	28	15	1	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	25	11	8	0	0	0	4.4
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	24	17	2	0	1	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	30	12	1	1	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	15	23	5	1	0	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	25	12	5	2	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	29	13	1	1	0	0	4.6



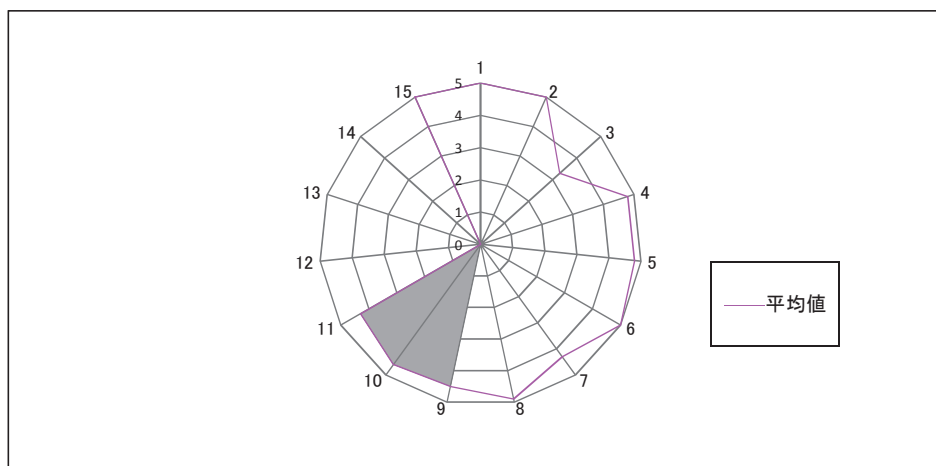
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 実践情報教育 I A  
 評価実施日 令和3年7月30日  
 担当教員名 大野 将樹

回答者数 10名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						3.3
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						4.3
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						5.0



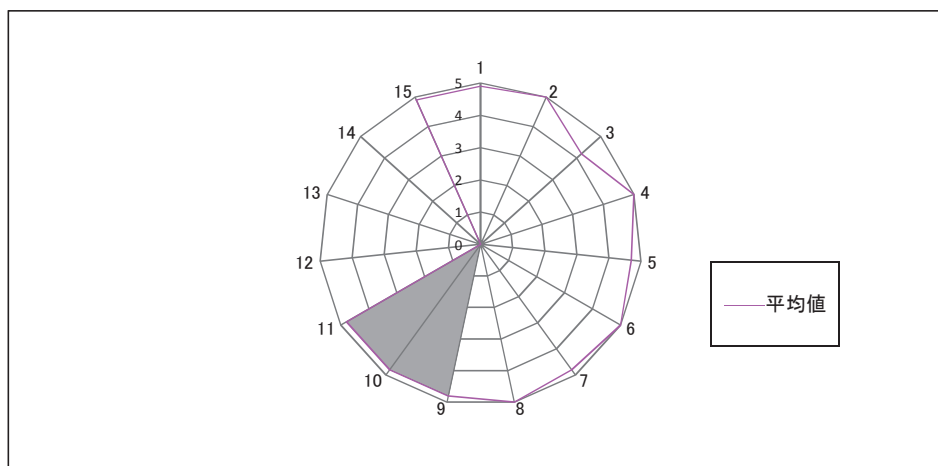
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 実践情報教育 I B  
 評価実施日 令和3年7月30日  
 担当教員名 大野 将樹

回答者数 8名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	0	2	1	0	0	4.2
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	1	1	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	0	1	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	0	1	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	2	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	1	0	0	0	0	4.9



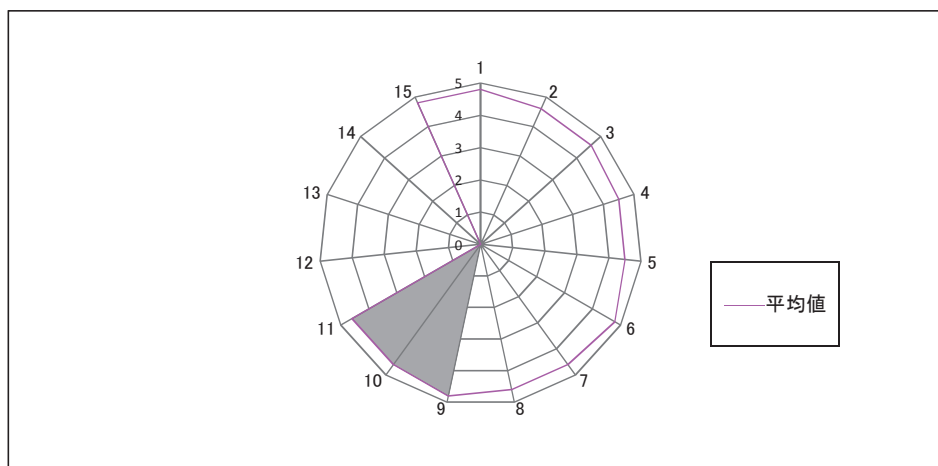
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 実践情報教育ⅡA  
 評価実施日 令和3年7月30日  
 担当教員名 曾根 直人, 阪東 哲也

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	3	4	0	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	2	1	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	3	0	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	4	3	0	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	5	2	0	0	0	0	4.8



総合評価 **4.6**

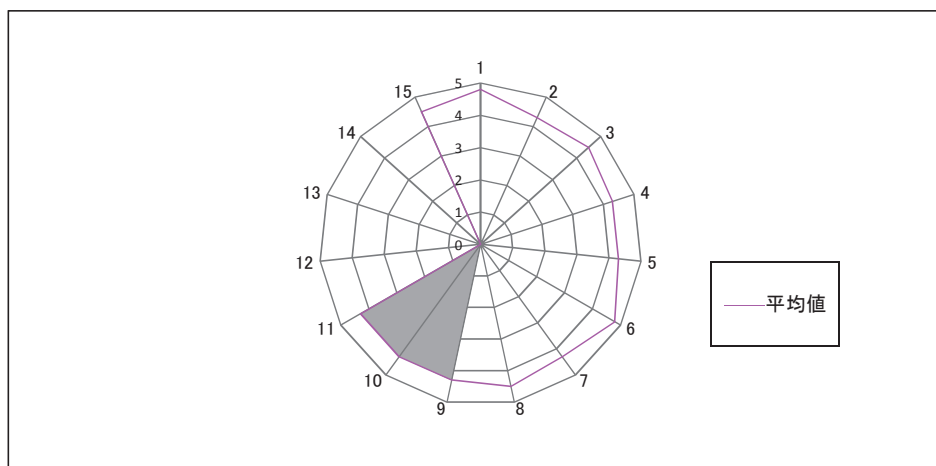
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 実践情報教育ⅡB  
 評価実施日 令和3年7月30日  
 担当教員名 曾根 直人, 阪東 哲也

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	3	0	0	0	0	4.3
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	1	3	0	0	0	0	4.3
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	3	0	0	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	2	1	1	0	0	0	4.3
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	2	0	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	1	3	0	0	0	0	4.3
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	3	0	0	0	0	4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	2	1	1	0	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	2	2	0	0	0	0	4.5



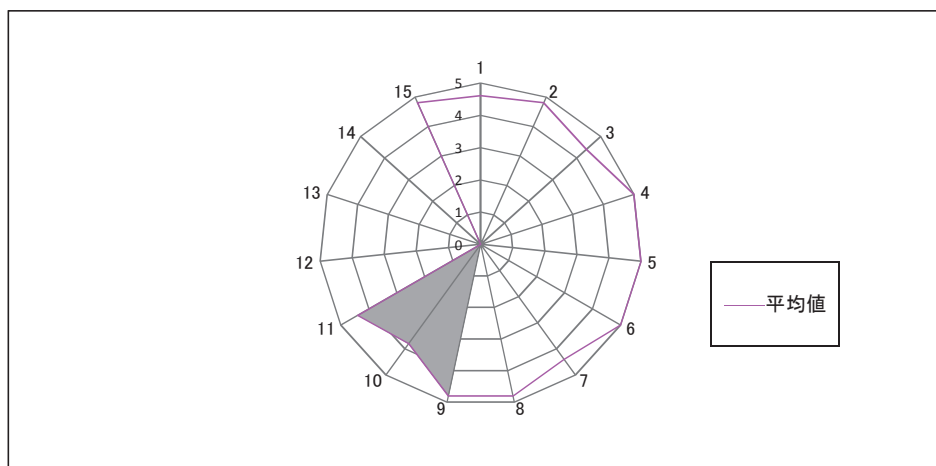
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 実践情報教育Ⅲ  
 評価実施日 令和3年7月30日  
 担当教員名 鈴木 直美

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	1	1	0	0	0	4.4
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	1	1	0	0	0	4.4
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	2	2	0	0	0	3.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	1	1	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	1	0	0	0	0	4.8



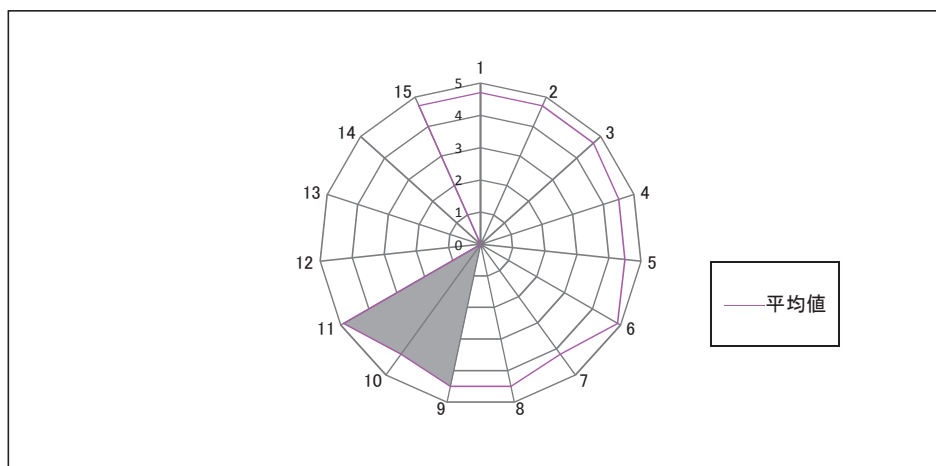
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーション I A  
 評価実施日 令和3年7月27日  
 担当教員名 鎌田スザン・リン

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	1	1	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	2	3	1	0	0	0	4.2
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	1	1	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	3	1	0	0	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	5	1	0	0	0	0	4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	4	2	0	0	0	0	4.7



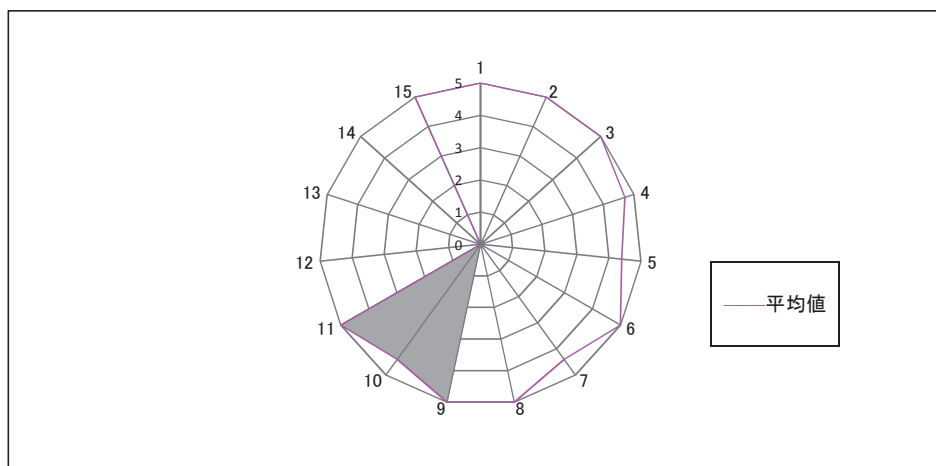
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーション I B  
 評価実施日 令和3年7月27日  
 担当教員名 ジェラード マーシェン

回答者数 3名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	2	0	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	0	0	0	0	0	5.0



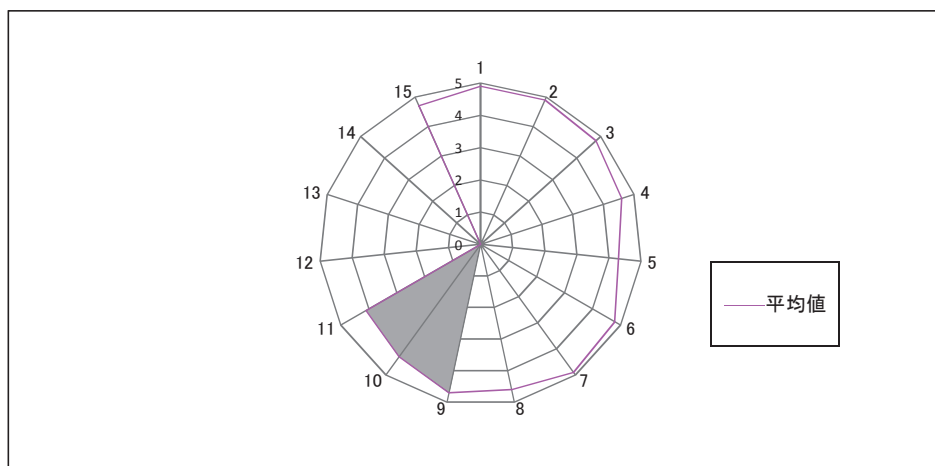
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーション I C  
 評価実施日 令和3年7月27日  
 担当教員名 アーレン ニムチャック

回答者数 17名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	15	2	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	15	2	0	0	0	0	4.9
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	13	4	0	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	10	6	1	0	0	0	4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	9	4	4	0	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	14	2	1	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	15	2	0	0	0	0	4.9
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	6	1	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	12	4	1	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	8	7	1	0	1	0	4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	7	6	2	2	0	0	4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	12	4	1	0	0	0	4.7



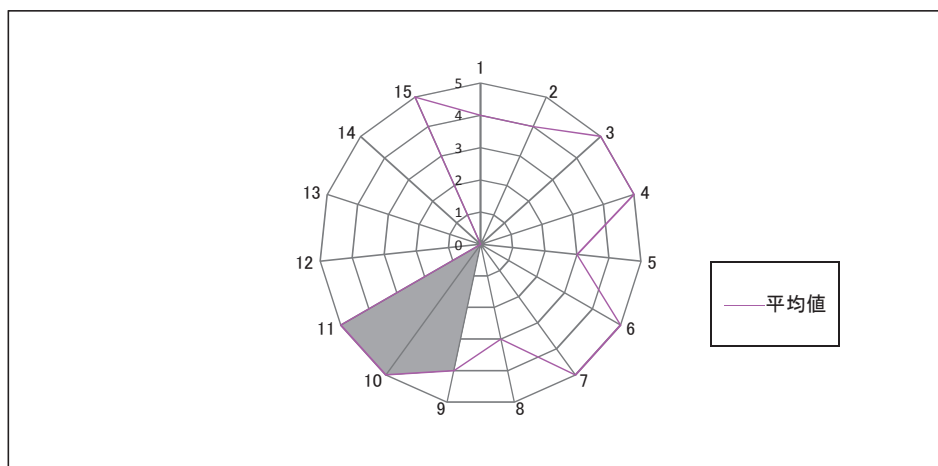
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーション I D  
 評価実施日 令和3年7月27日  
 担当教員名 ノリー・M・マドックス

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	1	0	0	0	3.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	1	0	0	0	3.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



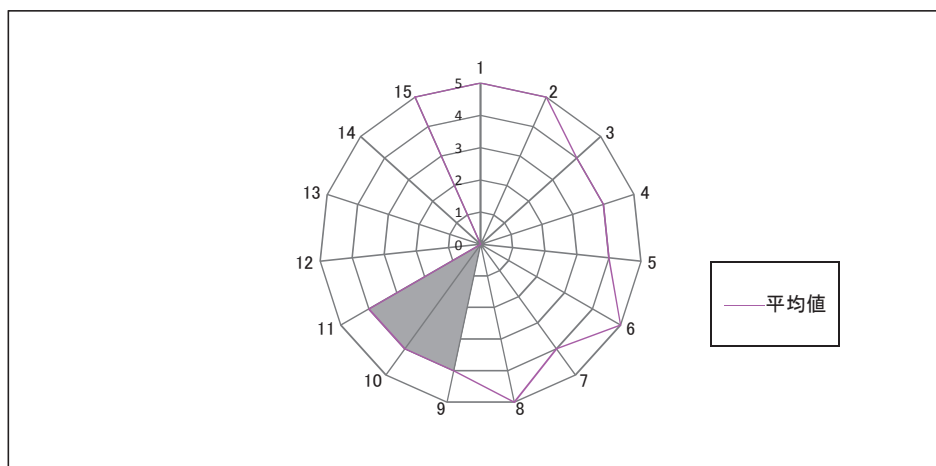
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーション I E  
 評価実施日 令和3年7月27日  
 担当教員名 ジョナサン・D・フロレス

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	1	0	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	1	0	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



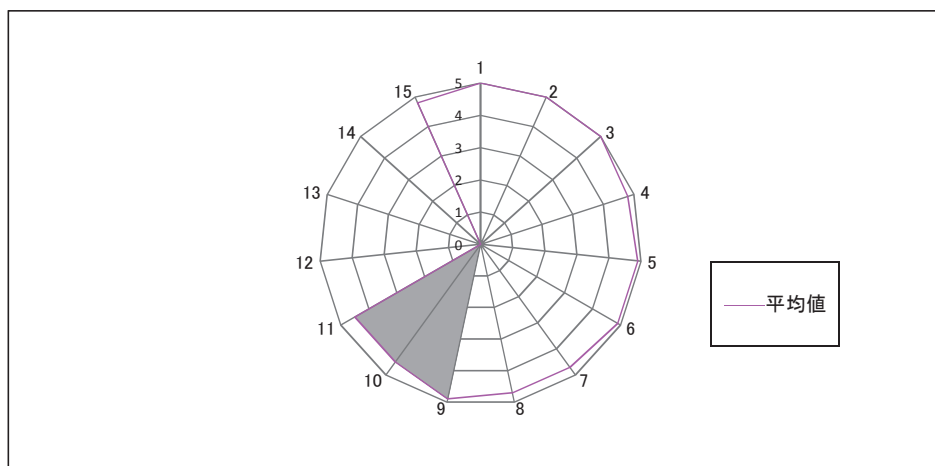
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーションⅢA  
 評価実施日 令和3年7月27日  
 担当教員名 アーレン ニムチャック

回答者数 12名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	11	1	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	11	1	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	11	1	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	3	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	10	2	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	10	2	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	9	2	1	0	0	0	4.7
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	4	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	10	2	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	8	2	2	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	7	0	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	9	3	0	0	0	0	4.8



総合評価 **4.9**

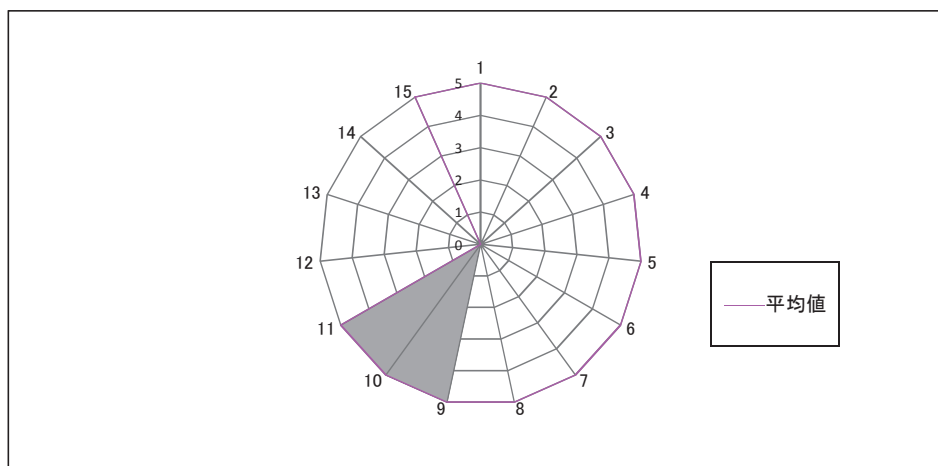
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 英語コミュニケーションⅢB  
 評価実施日 令和3年7月27日  
 担当教員名 ノリー・M・マドックス

回答者数 1名

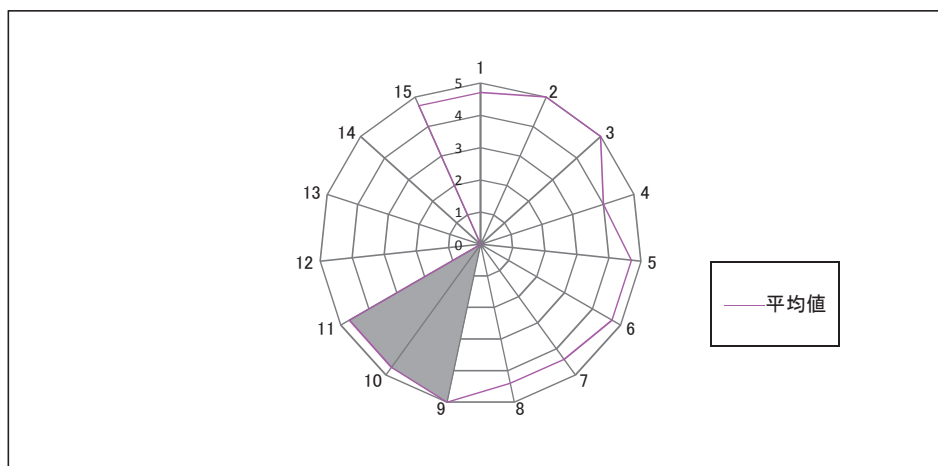
質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



授業科目名 英語コミュニケーションⅢC  
 評価実施日 令和3年7月27日  
 担当教員名 鎌田スザン・リン

回答者数 3名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	1	1	0	0	0	4.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	1	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	2	0	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	1	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	1	0	0	0	0	4.7



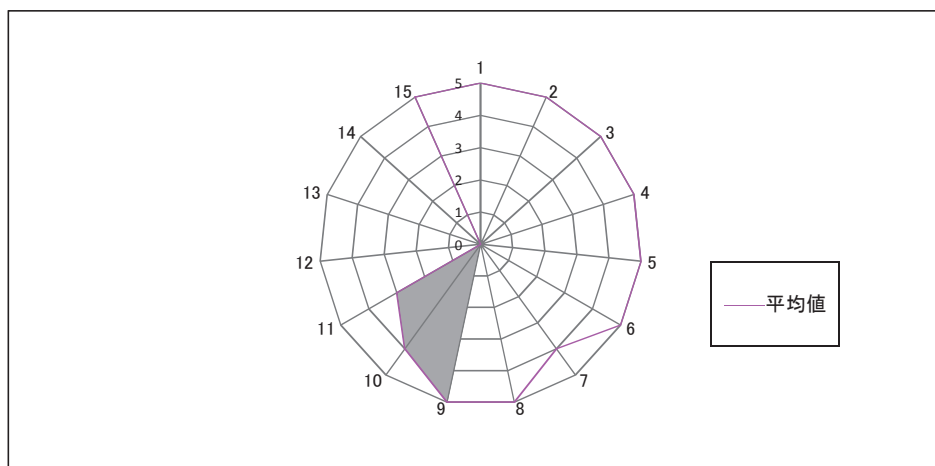
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーションⅢD  
 評価実施日 令和3年7月27日  
 担当教員名 ジョナサン・D・フロレス

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	0	1	0	0	0	3.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



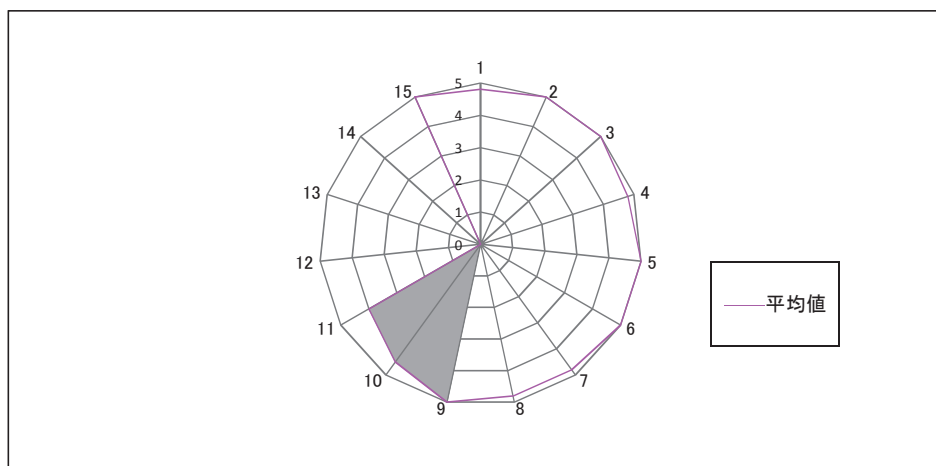
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーションⅢE  
 評価実施日 令和3年7月27日  
 担当教員名 ジェラード マーシェン

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						5.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						4.8
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						5.0



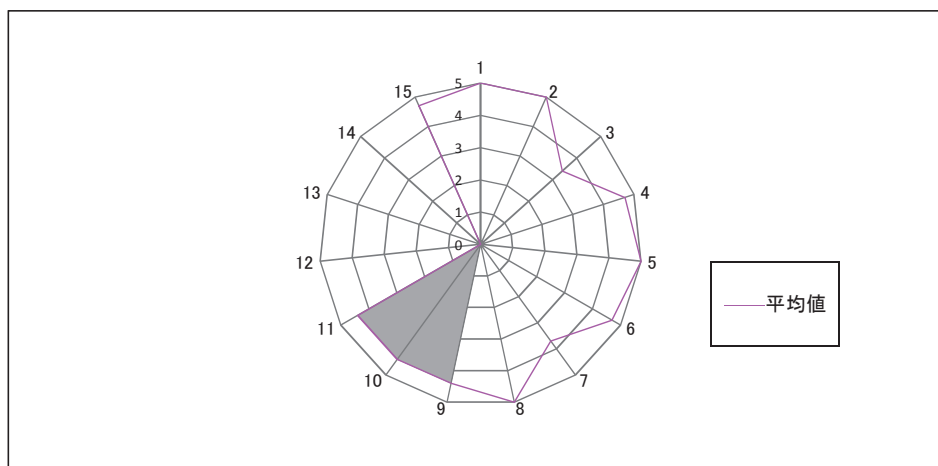
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語リーディング I A  
 評価実施日 令和3年7月30日  
 担当教員名 前田 一平

回答者数 3名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	1	1	0	0	3.4
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	1	0	2	0	0	0	3.7
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	2	0	1	0	0	0	4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	0	1	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	1	2	0	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	2	1	0	0	0	0	4.7



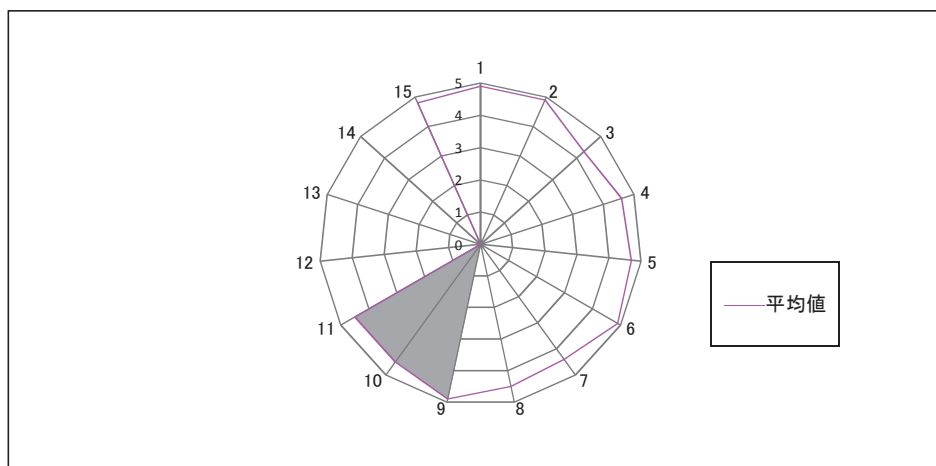
総合評価	4.6
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語リーディング I B  
 評価実施日 令和3年7月30日  
 担当教員名 西 嶋 俊 彦

回答者数 38名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.3
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						4.4
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						4.8



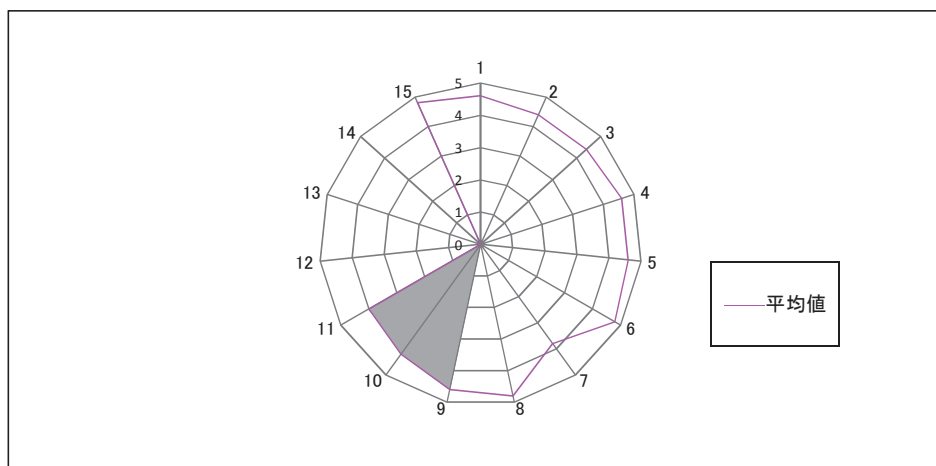
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語リーディング I C  
 評価実施日 令和3年7月30日  
 担当教員名 眞野 美穂

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	1	1	0	0	0	4.4
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	1	1	0	0	0	4.4
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	2	0	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	0	4	1	0	0	0	3.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	2	1	0	0	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	3	1	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	1	0	0	0	0	4.8



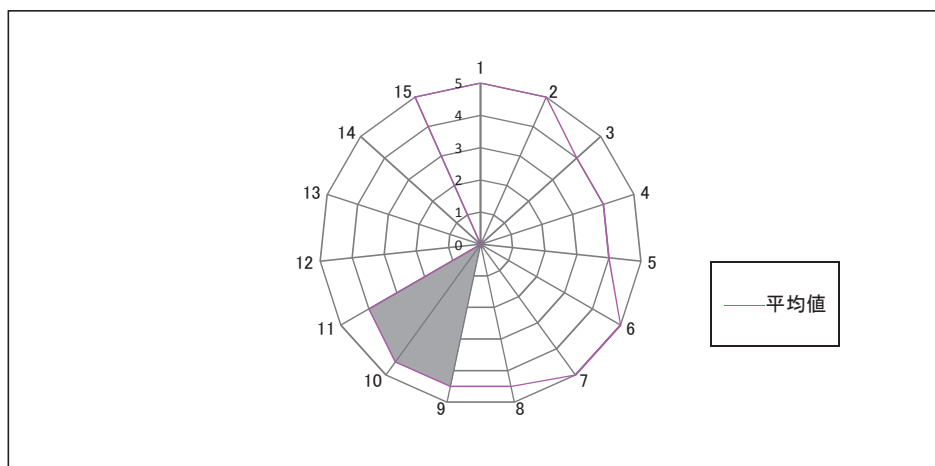
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 西洋の文化研究  
 評価実施日 令和4年2月7日  
 担当教員名 小川 勝, 鎌田スザン・リン, 山田 啓明

回答者数 2名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	1	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	1	0	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	2	0	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	0	0	0	0	0	5.0



総合評価	4.6
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

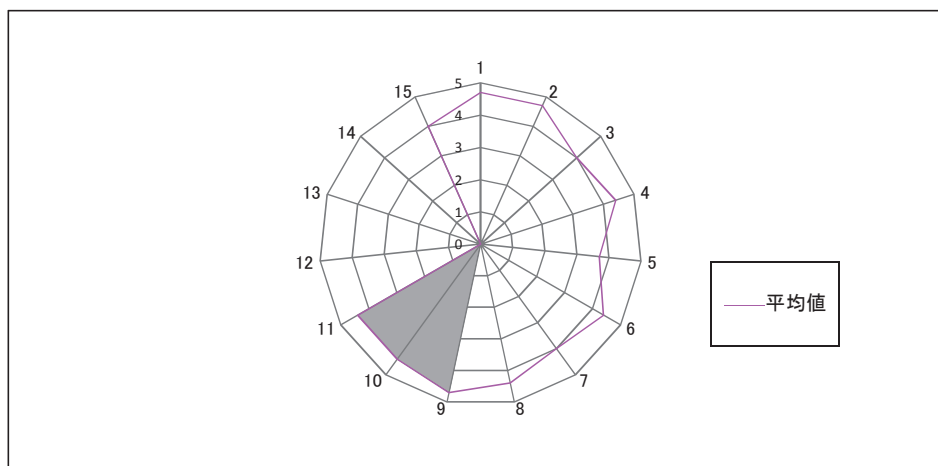


授業科目名 健康・スポーツ科学 I

評価実施日 令和4年2月9日

担当教員名 藤田 雅文, 松井 敦典, 南 隆尚, 綿引 勝美, 田中 弘之, 宮本 賢作, 小島 理永 回答者数 3名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	1	1	0	0	0	4.0
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	2	0	0	0	3.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	3	0	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	1	2	0	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	1	2	0	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	1	1	1	0	0	0	4.0



総合評価	4.3
------	-----

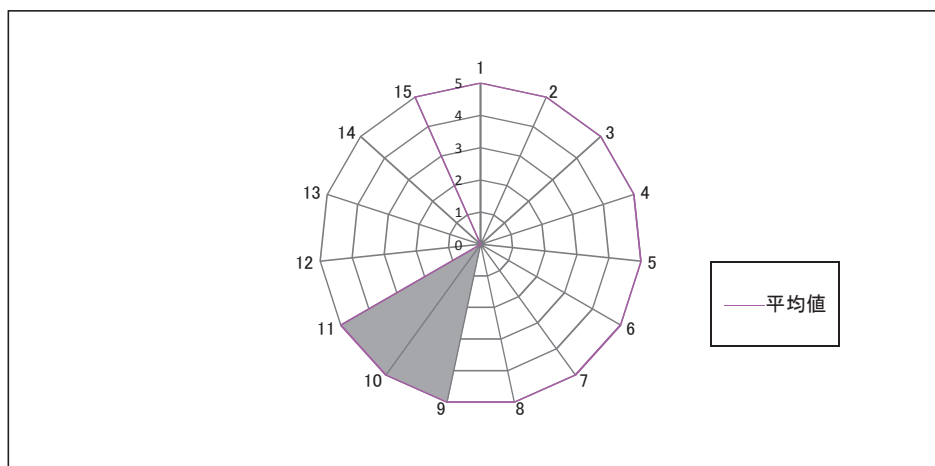
※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 健康・スポーツ科学Ⅱ

評価実施日 令和4年2月8日

担当教員名 南 隆尚, 綿引 勝美, 松井 敦典, 田中 弘之, 西本 浩章 回答者数 1名

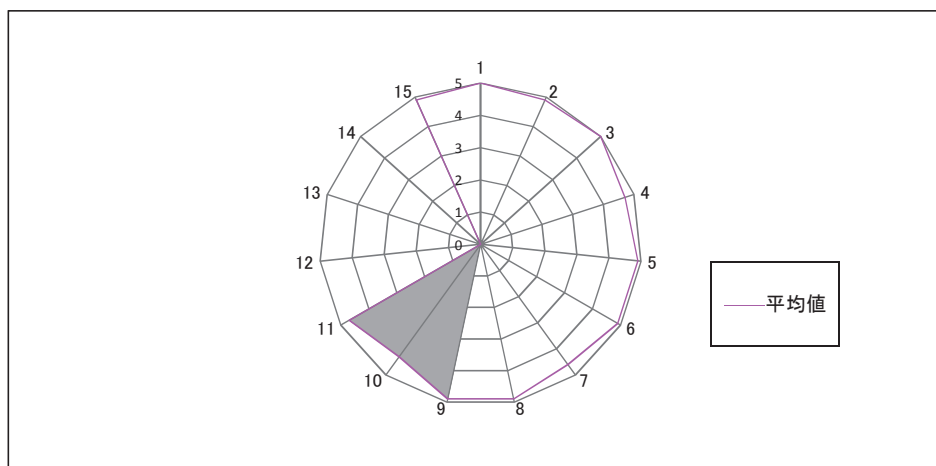
質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



授業科目名 英語コミュニケーションⅡA  
 評価実施日 令和4年2月8日  
 担当教員名 ジョナサン・D・フロレス

回答者数 16名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	15	1	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	14	2	0	0	0	0	4.9
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	15	1	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	11	5	0	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	13	3	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	14	2	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	10	5	1	0	0	0	4.6
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	14	2	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	14	2	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	9	4	1	2	0	0	4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	12	3	1	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	14	2	0	0	0	0	4.9



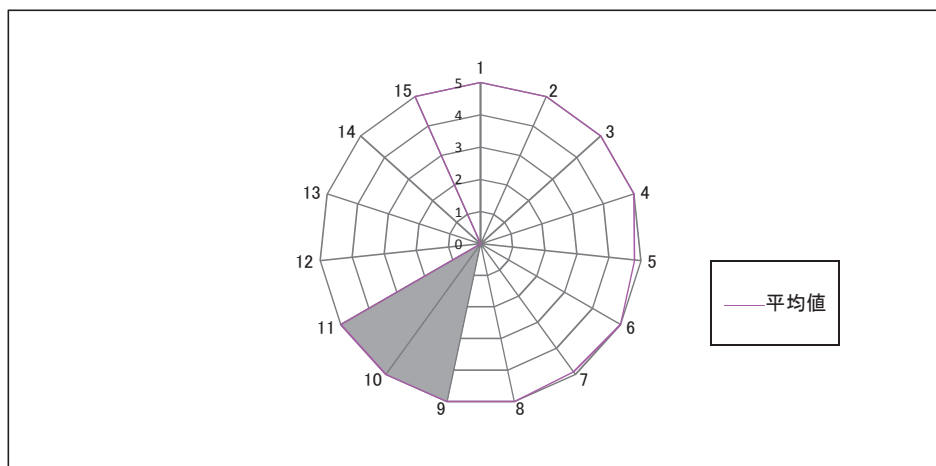
総合評価	4.9
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーションⅡB  
 評価実施日 令和4年2月8日  
 担当教員名 アーレン ニムチャック

回答者数 11名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	10	1	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	1	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	11	0	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	10	1	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	9	1	1	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	11	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	9	2	0	0	0	0	4.9
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	1	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	10	1	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	10	1	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	10	1	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	1	0	0	0	0	5.0



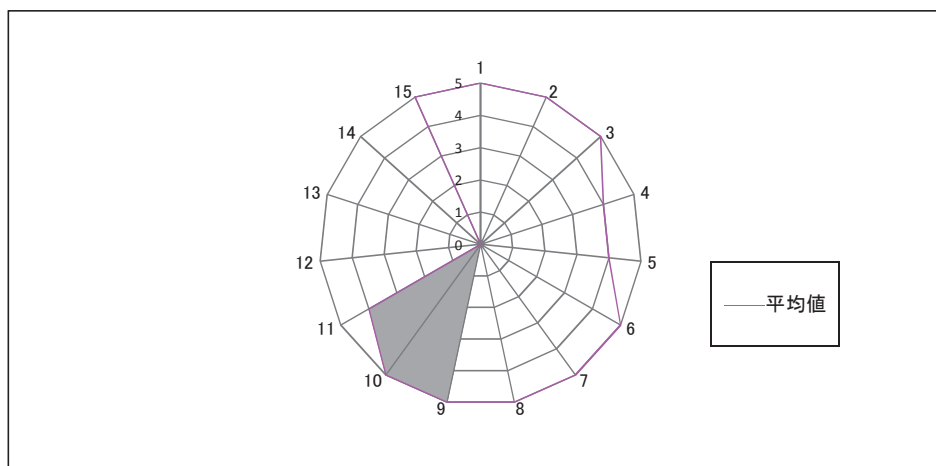
総合評価	5.0
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーションⅡC  
 評価実施日 令和4年2月8日  
 担当教員名 ノリー・M・マドックス

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	1	0	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	1	0	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



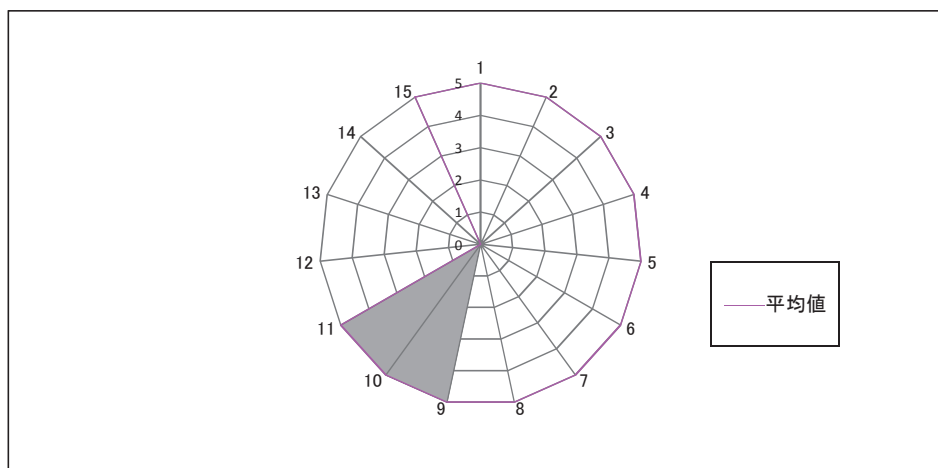
総合評価	4.8
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーションⅡE  
 評価実施日 令和4年2月8日  
 担当教員名 鎌田スザン・リン

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



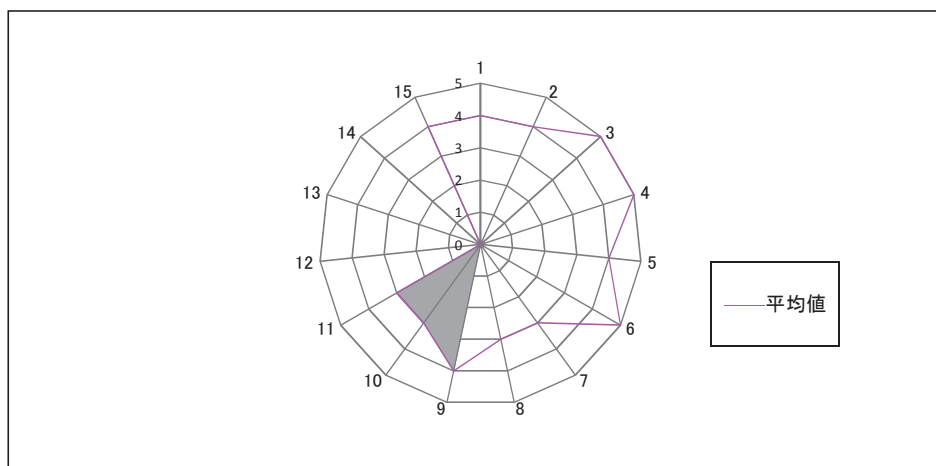
総合評価	5.0
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーションⅣA  
 評価実施日 令和4年2月8日  
 担当教員名 ジェラード マーシェン

回答者数 1名

質問項目	評価選択人数	平均値						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	1	0	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	1	0	0	0	3.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	0	1	0	0	0	3.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	0	1	0	0	0	0	4.0



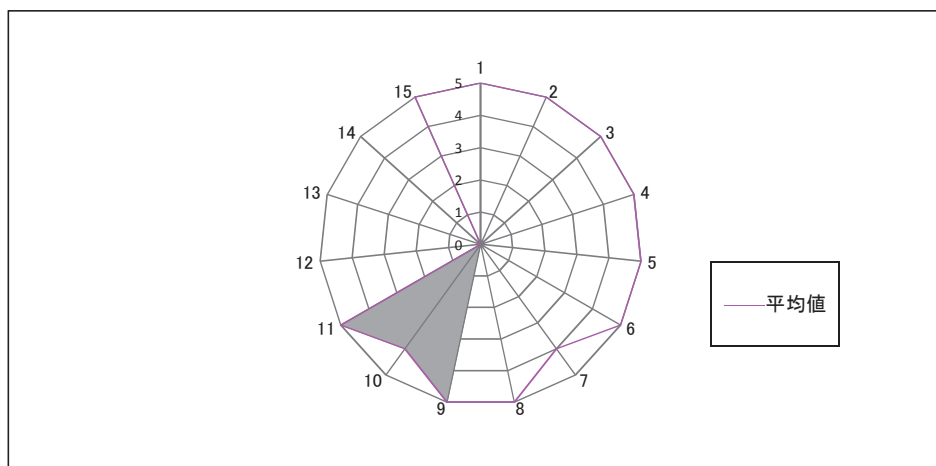
総合評価 **4.1**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーションIVB  
 評価実施日 令和4年2月8日  
 担当教員名 鎌田スザン・リン

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



総合評価 **4.9**

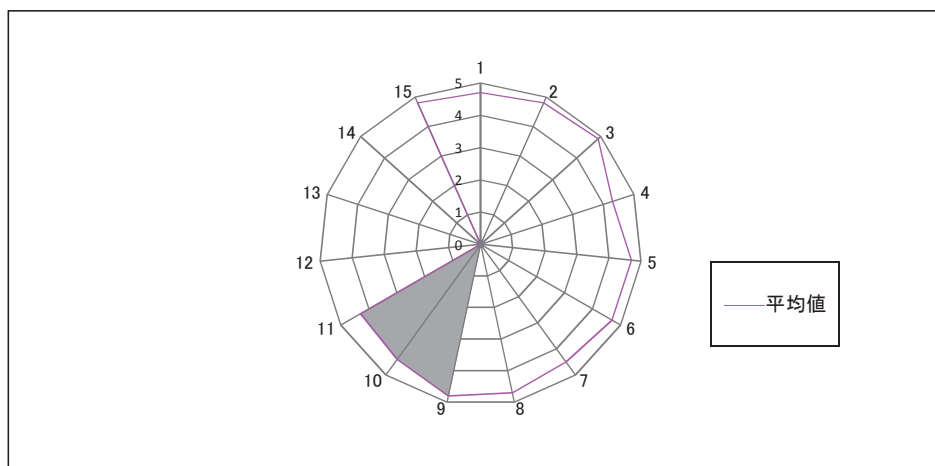
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 英語コミュニケーションIVC  
 評価実施日 令和4年2月8日  
 担当教員名 ジョナサン・D・フロレス

回答者数 13名

質問項目	評価選択人数	評価選択人数					平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1 N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	9	4	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	3	0	0	0	4.8
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	11	2	0	0	0	4.9
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	7	3	2	1	0	4.3
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	9	3	1	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	9	4	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	8	3	2	0	0	4.5
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	2	0	1	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	11	1	1	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	7	4	2	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	7	3	2	1	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	10	3	0	0	0	4.8



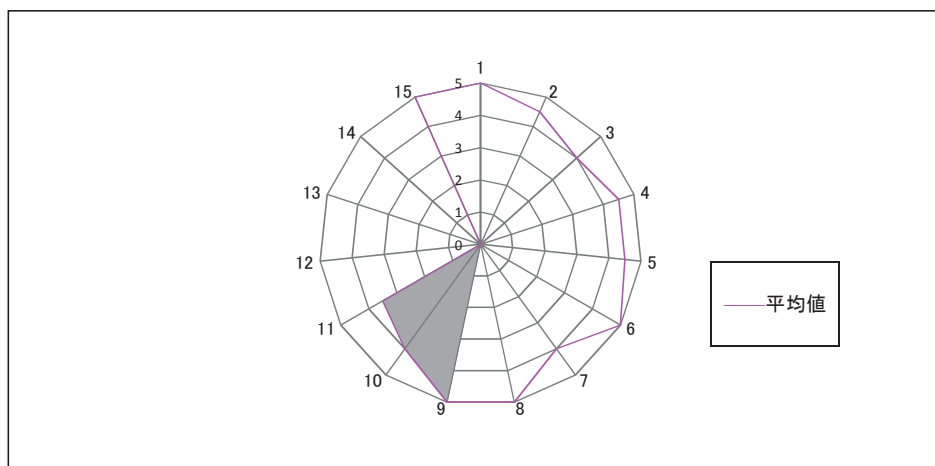
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーションIVD  
 評価実施日 令和4年2月8日  
 担当教員名 アーレン ニムチャック

回答者数 2名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	1	0	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	1	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	1	1	0	0	0	3.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	2	0	0	0	0	0	5.0



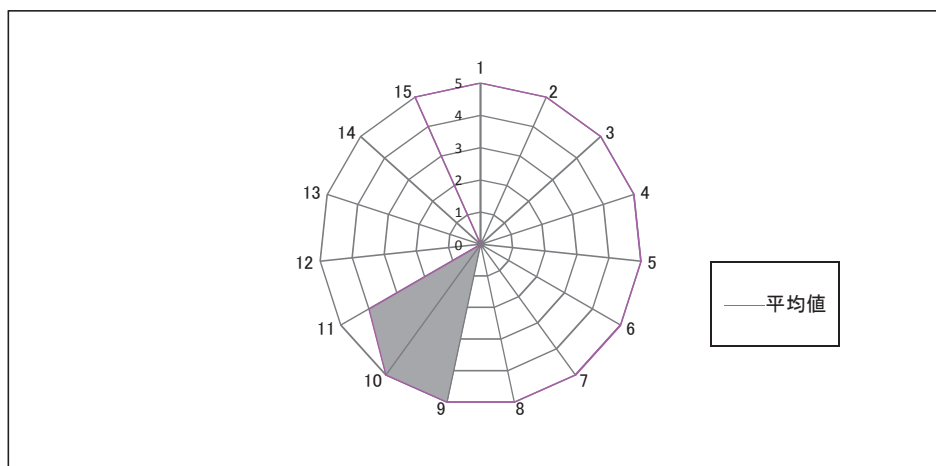
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーションⅣE  
 評価実施日 令和4年2月8日  
 担当教員名 ノリー・M・マドックス

回答者数 1名

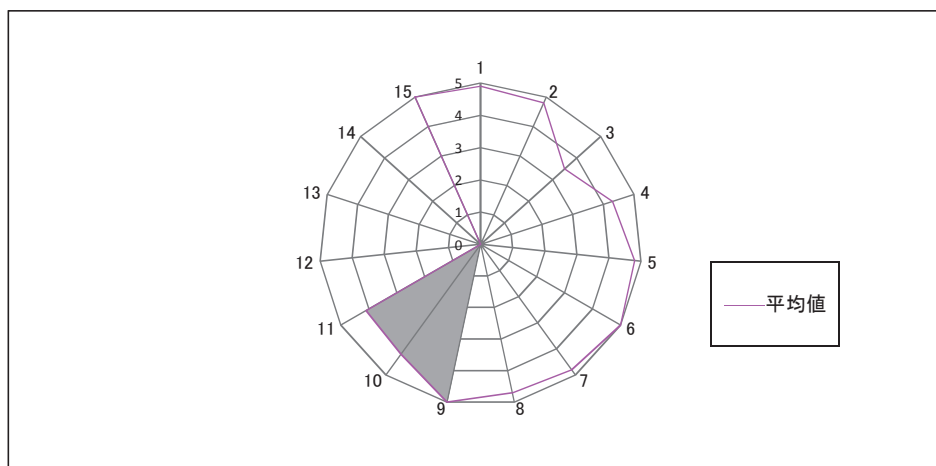
質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	1	0	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



授業科目名 英語リーディングⅡA  
 評価実施日 令和4年2月9日  
 担当教員名 西 嶋 俊 彦

回答者数 10名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	0	1	0	0	0	4.8
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	2	1	1	2	0	3.5
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	6	3	0	0	1	0	4.3
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	9	0	1	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	10	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	3	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	10	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	3	1	1	0	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	5	2	2	1	0	0	4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	10	0	0	0	0	0	5.0



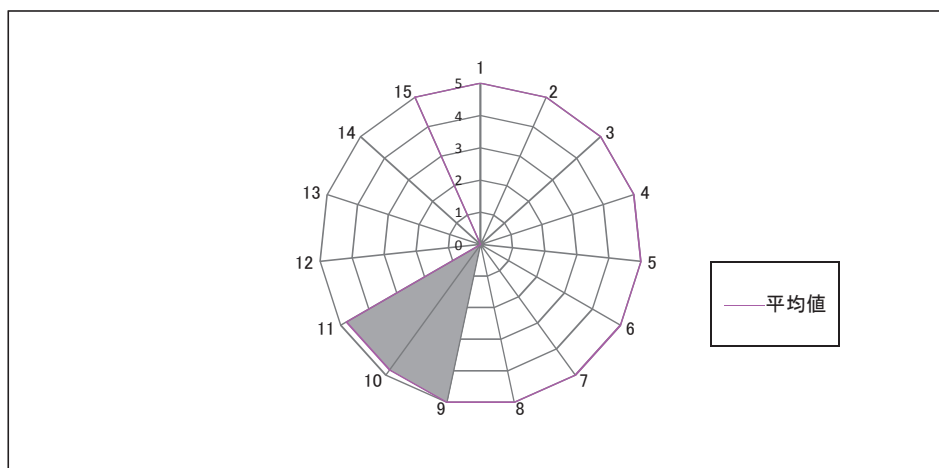
総合評価	4.6
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語リーディングⅡC  
 評価実施日 令和4年2月9日  
 担当教員名 小笠原 麻衣子

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	1	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	0	5.0



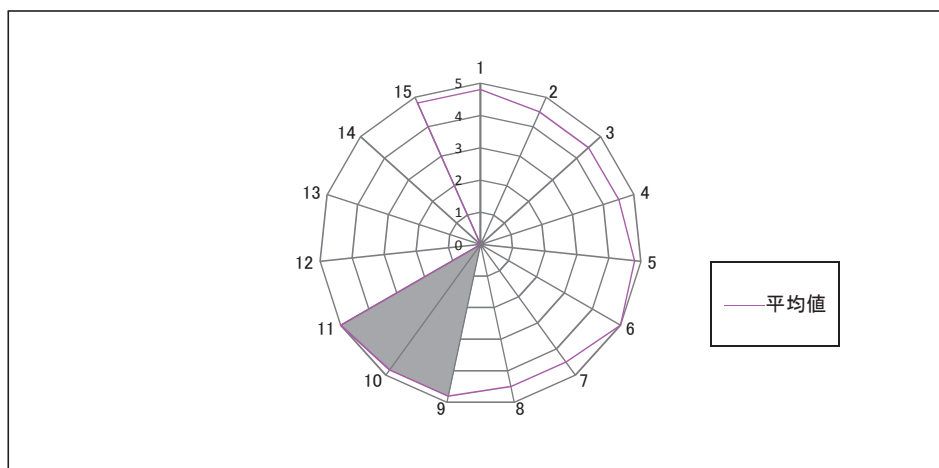
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 ドイツ語 I  
 評価実施日 令和4年2月2日  
 担当教員名 シートゲス・オラフ

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	0	1	0	0	0	4.5
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	1	0	0	0	4.5
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	0	1	0	0	0	4.5
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	0	1	0	0	0	4.5
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	0	1	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	1	0	0	0	0	4.8



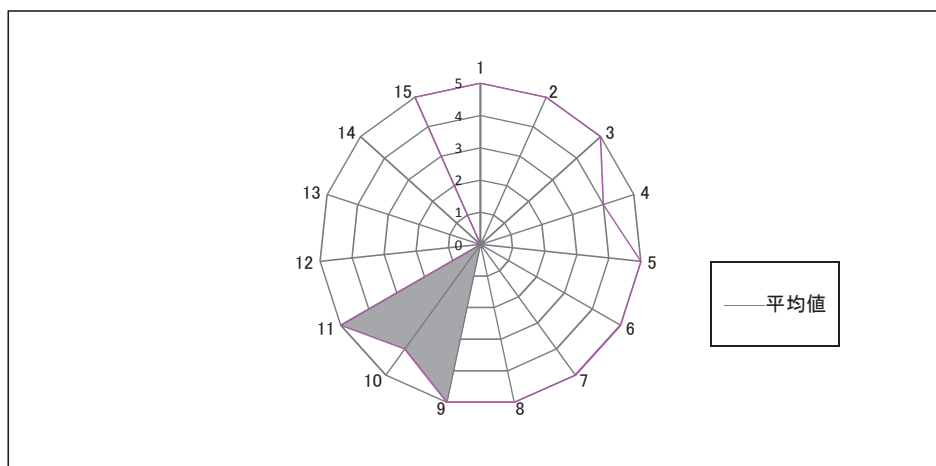
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 ドイツ語Ⅱ  
 評価実施日 令和4年2月2日  
 担当教員名 シートゲス・オラフ

回答者数 1名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	0	1	0	0	0	4.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	1	0	0	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	5.0



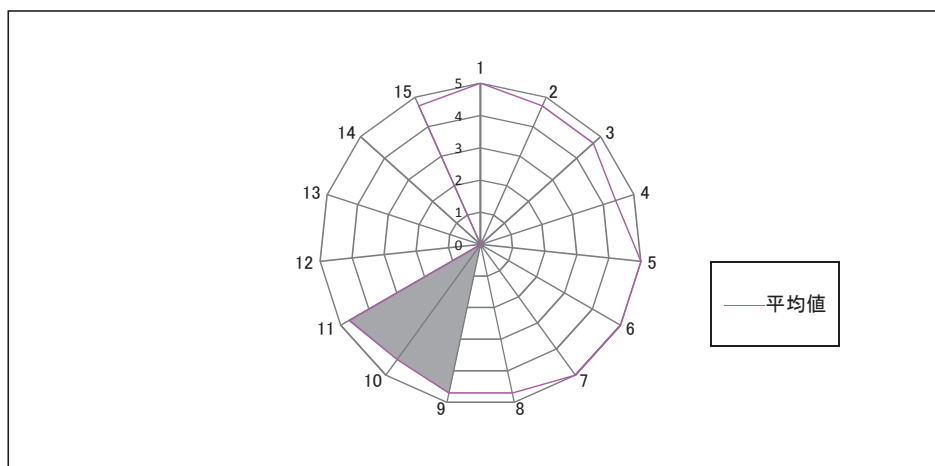
総合評価	4.9
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 フランス語 I  
 評価実施日 令和4年2月2日  
 担当教員名 木村 敦子

回答者数 3名

質問項目	評価選択人数	平均値					
		5	4	3	2	1 N.A	(項目別)
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	1	0	0	0	4.7
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	1	0	0	0	4.7
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	2	0	0	0	4.4
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	1	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	1	0	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	0	1	0	0	4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	1	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	1	0	0	0	4.7



総合評価 4.8

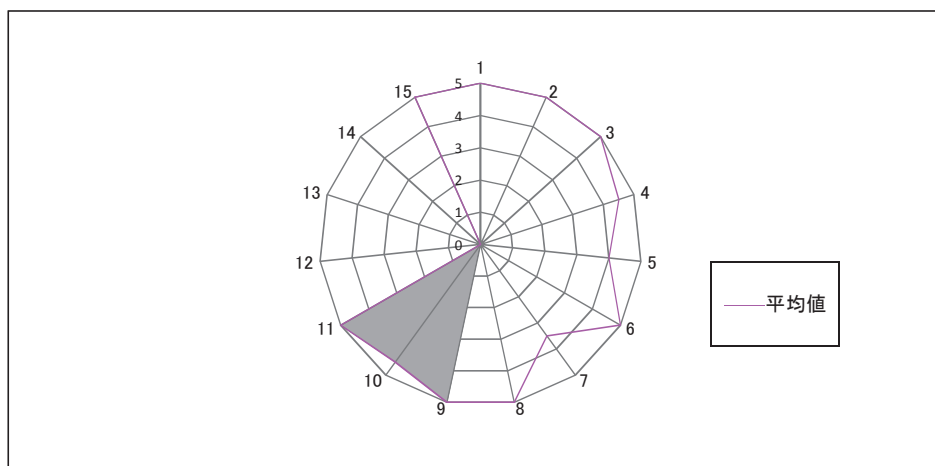
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 フランス語Ⅱ  
 評価実施日 令和4年2月2日  
 担当教員名 木村 敦子

回答者数 2名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	1	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	0	1	1	0	0	0	3.5
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	0	0	0	0	0	5.0



総合評価 4.7

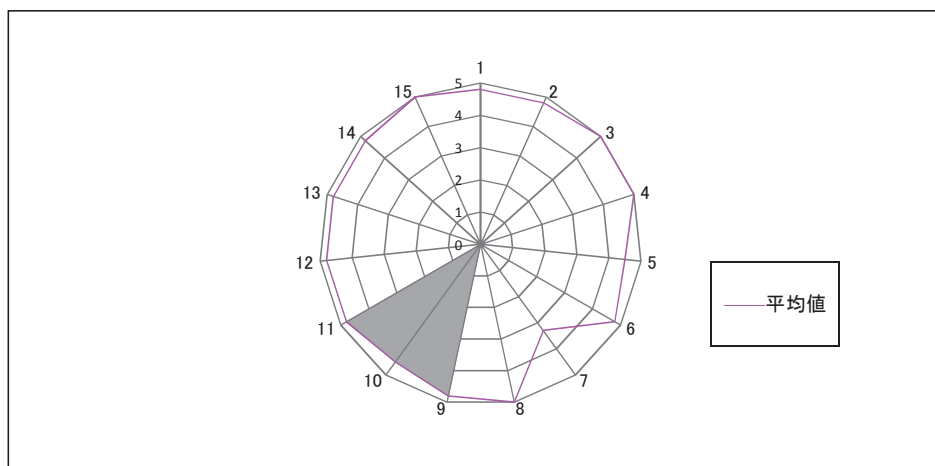
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

# 教育実践コア科目

授業科目名 幼児教育実践基礎演習  
 評価実施日 令和3年7月28日  
 担当教員名 田村 隆宏, 浜崎 隆司, 湯地 宏樹, 塩路 晶子, 木村 直子, 湯口 雅史

回答者数 4名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	0	1	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	2	1	1	0	0	3.3
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	4	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	3	1	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	3	1	0	0	0	0	4.8
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	0	5.0



総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

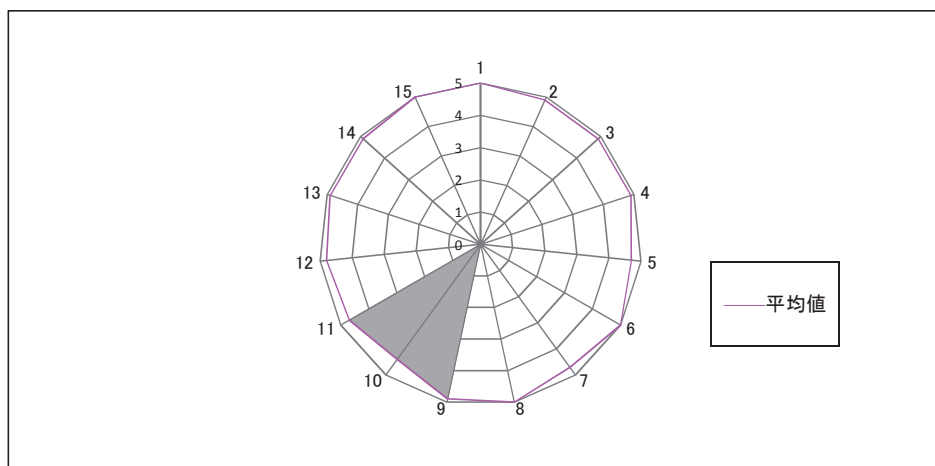
授業科目名 初等中等教育実践基礎演習 学校教育実践

評価実施日 令和3年7月28日

担当教員名 川上 綾子, 湯口 雅史

回答者数 8名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	1	1	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	1	1	0	0	0	4.7
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	3	1	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	3	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	7	1	0	0	0	0	4.9
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	0	0	0	0	0	5.0



総合評価	4.9
------	-----

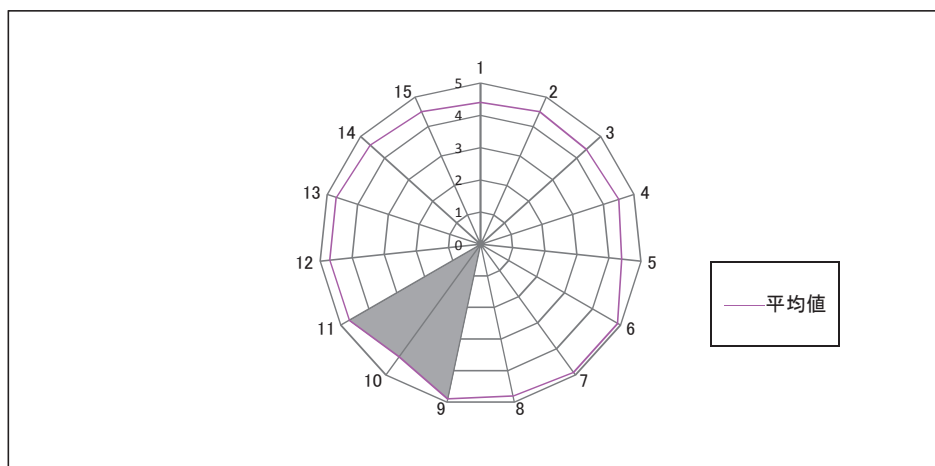
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(国語)

評価実施日 令和3年7月28日

担当教員名 平川 恵実子, 村井 万里子, 黒田 俊太郎, 原 卓志, 湯口 雅史 回答者数 11名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	6	3	2	0	0	0	4.4
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	4	1	0	0	0	4.5
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	4	0	1	0	0	4.4
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	7	3	0	1	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	3	2	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	9	2	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	9	2	0	0	0	0	4.9
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	8	3	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	9	2	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	6	2	3	0	0	0	4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	7	4	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	7	4	0	0	0	0	4.7
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	7	4	0	0	0	0	4.7
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	6	5	0	0	0	0	4.6
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	6	4	1	0	0	0	4.5



総合評価 4.6

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

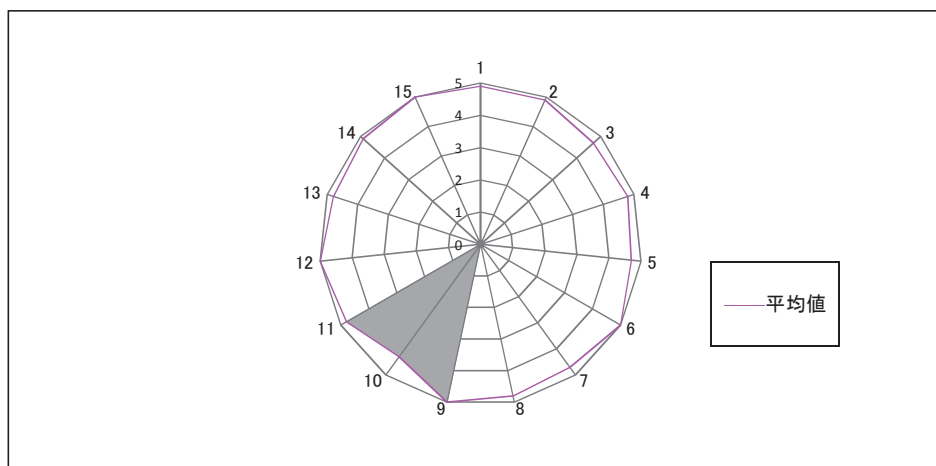
授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(英語)

評価実施日 令和3年7月28日

担当教員名 前田 一平, 山森 直人, 眞野 美穂, 湯口 雅史

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数	平均値						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	1	1	0	0	0	4.7
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	1	1	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	5	3	0	0	0	0	4.7
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	7	0	1	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	3	4	1	0	0	0	4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	6	2	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	7	0	0	0	0	1	5.0
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	5	2	0	0	0	1	4.8
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	6	1	0	0	0	1	4.9
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	8	0	0	0	0	0	5.0



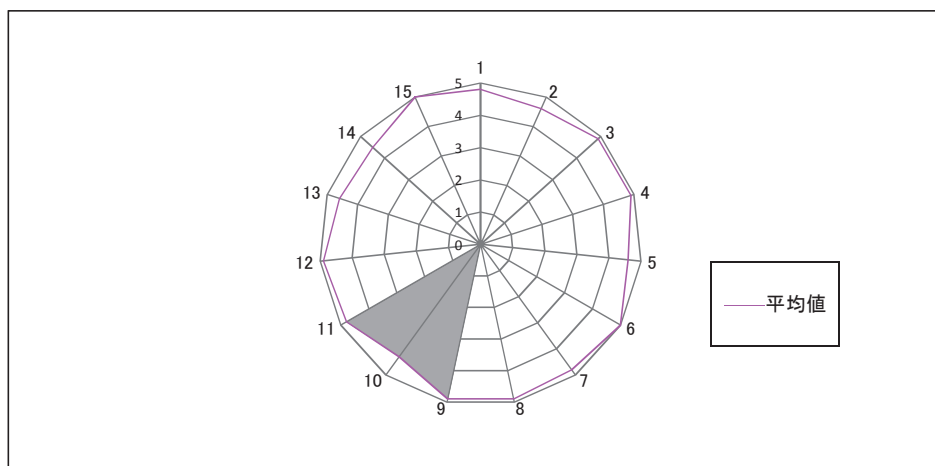
総合評価	4.9
------	-----

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(社会)  
 評価実施日 令和3年7月28日  
 担当教員名 井上 奈穂, 青葉 暢子, 湯口 雅史, 眞野 豊

回答者数 10名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	0	2	0	0	0	4.6
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	2	1	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	10	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	2	1	1	0	0	4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	2	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	6	1	0	0	0	3	4.9
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	5	1	1	0	0	3	4.6
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	5	1	0	1	0	3	4.5
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	0	0	0	0	0	5.0



総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

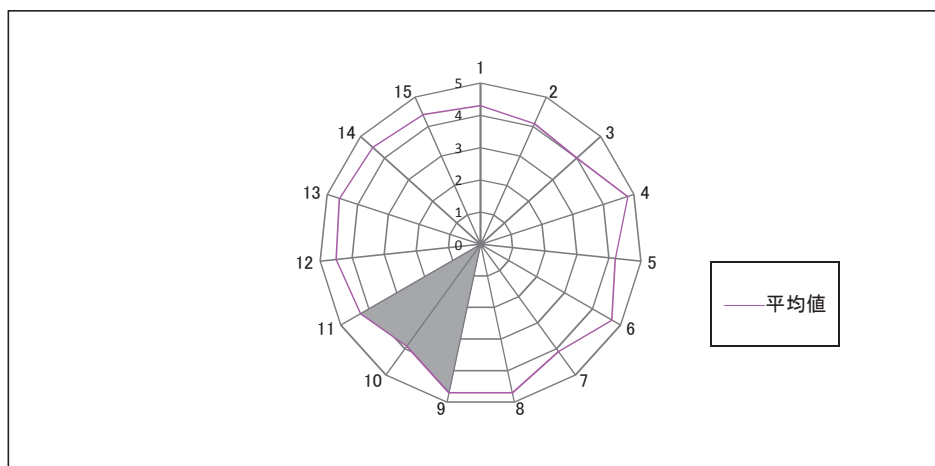
授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(算数・数学)

評価実施日 令和3年7月28日

担当教員名 山中 仁, 湯口 雅史

回答者数 13名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	6	4	3	0	0	0	4.3
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	6	3	0	0	0	4.1
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	5	3	1	0	0	4.0
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	10	3	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	5	3	0	0	0	4.2
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	10	2	1	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	4	6	3	0	0	0	4.1
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	9	3	1	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	10	2	1	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	2	7	4	0	0	0	3.9
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	5	6	2	0	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	8	2	2	0	0	1	4.5
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	8	3	1	0	0	1	4.6
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	7	4	1	0	0	1	4.5
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	6	6	1	0	0	0	4.4



総合評価	4.4
------	-----

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

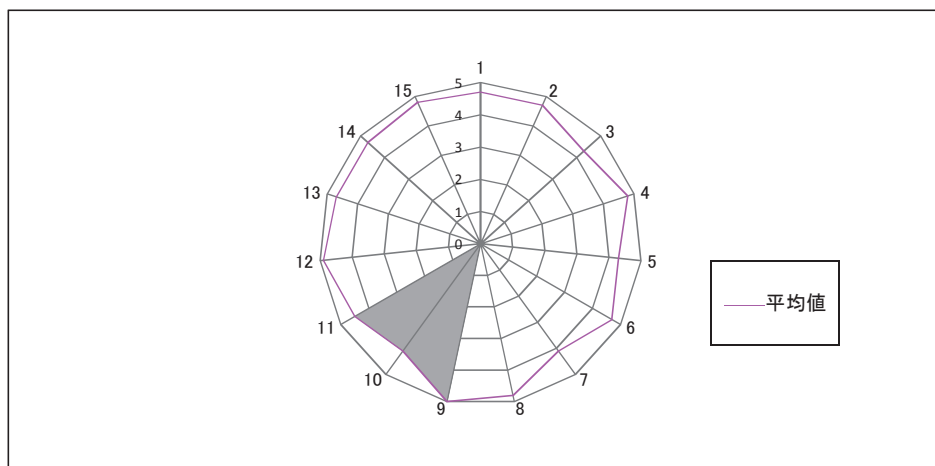


授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(理科)

評価実施日 令和3年7月28日

担当教員名 寺島 幸生, 工藤 慎一, 早藤 幸隆, 本田 亮, 粟田 高明, 胸組 虎胤, 武田 清, 佐藤 勝幸, 福地 里菜, 湯口 雅史 回答者数 11名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題,成績評価の方法が明確に示され,その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は,シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業では,シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.3
	(4)授業内容は,授業の目標とつなげて,教養を深めたり,教育の見方・考え方,専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は,適切なものだった。						4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が,必要に応じて行われた。						4.1
	(8)授業方法は,学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し,積極的に取り組んだ。						5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。						4.1
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり,他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ,教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.9
	(13)授業実践を観察する視点が示され,授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.7
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.7
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して,この授業は満足できるものであった。						4.8



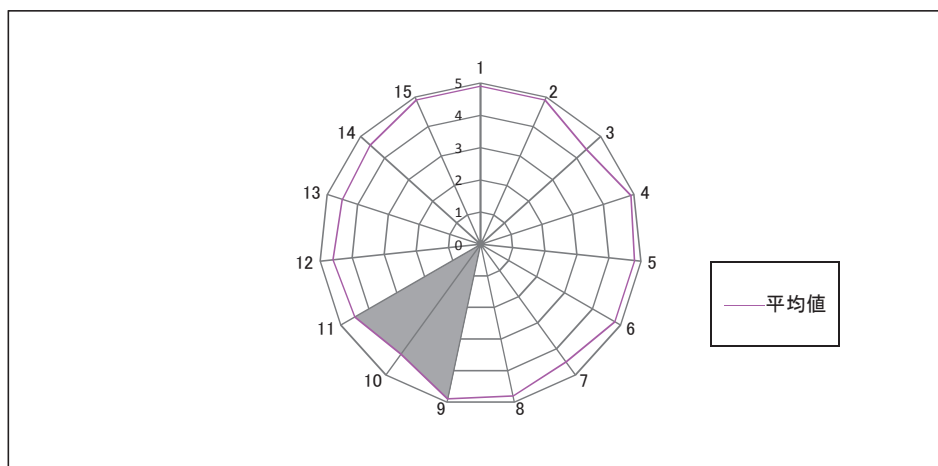
総合評価	4.6
------	-----

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(音楽)  
 評価実施日 令和3年7月28日  
 担当教員名 山田 啓明, 鉄口 真理子, 湯口 雅史

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数	平均値						
		5	4	3	2	1	N.A	(項目別)
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	3	1	0	0	0	4.4
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	0	1	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	7	0	1	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	5	2	1	0	0	0	4.5
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	6	2	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	3	3	2	0	0	0	4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	4	4	0	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	5	1	1	0	0	1	4.6
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	4	2	1	0	0	1	4.5
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	5	1	1	0	0	1	4.6
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	7	1	0	0	0	0	4.9



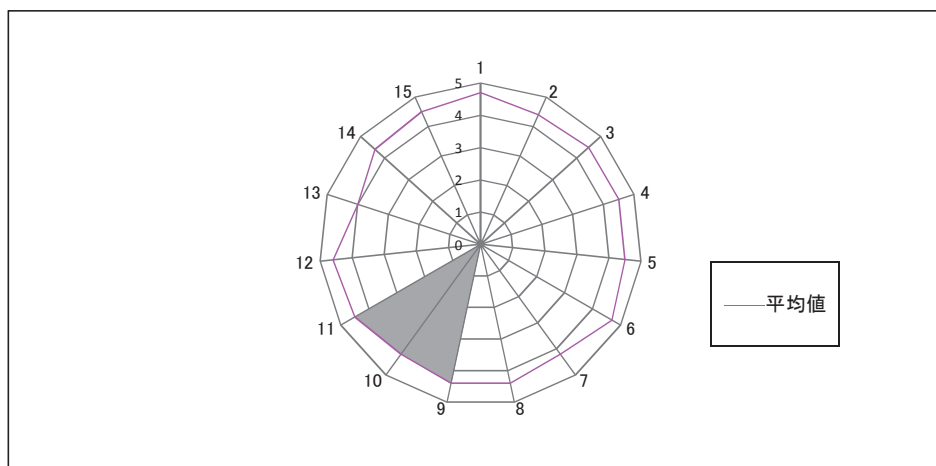
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(図工・美術)  
 評価実施日 令和3年7月28日  
 担当教員名 山木 朝彦, 湯口 雅史

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	5	0	1	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	0	2	0	0	0	4.4
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	1	1	0	0	0	4.5
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	4	1	1	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	1	1	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	5	0	1	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	3	1	2	0	0	0	4.2
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	4	0	2	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	3	2	1	0	0	0	4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	2	3	1	0	0	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	4	1	1	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	4	0	1	0	0	1	4.6
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	3	0	1	1	0	1	4.0
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	3	1	1	0	0	1	4.4
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	4	1	1	0	0	0	4.5



総合評価 4.5

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

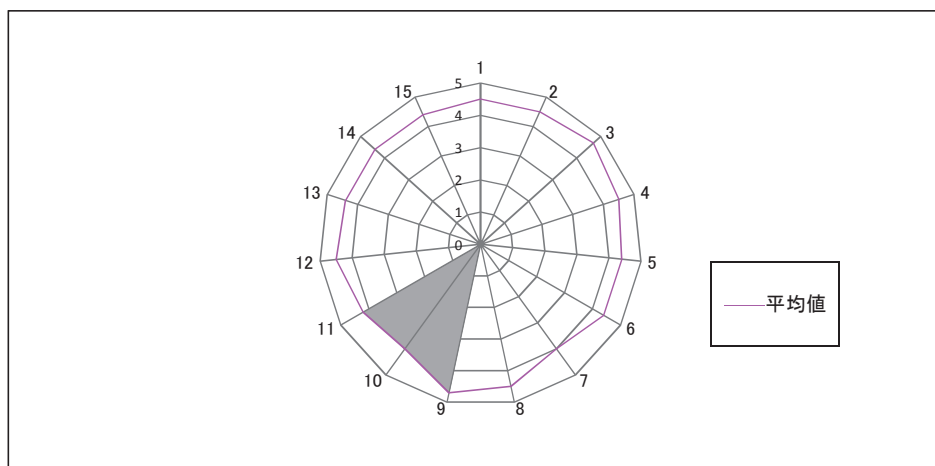
授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(体育・保体)

評価実施日 令和3年7月28日

担当教員名 藤田 雅文, 湯口 雅史

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	4	0	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	2	4	0	0	0	0	4.4
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	2	2	2	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	3	3	0	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	2	3	0	1	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	2	3	1	0	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	2	4	0	0	0	0	4.4
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	2	4	0	0	0	0	4.4
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	3	2	1	0	0	0	4.4



総合評価	4.4
------	-----

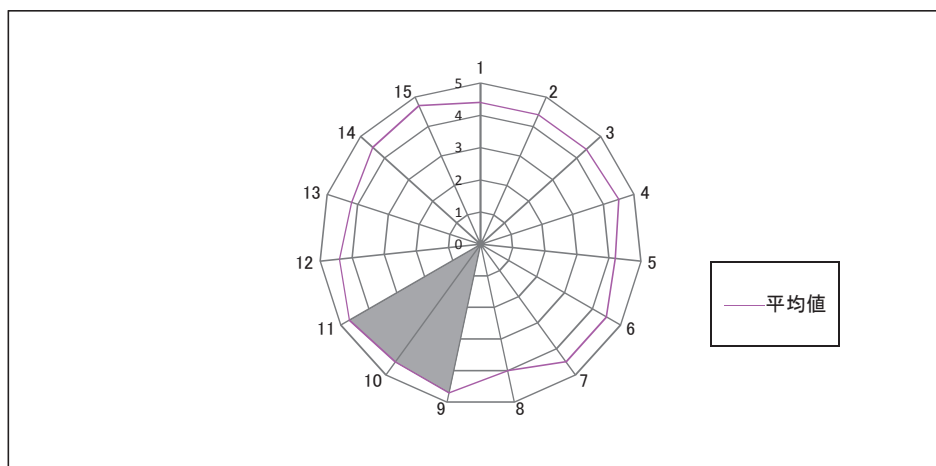
※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(技術)

評価実施日 令和3年7月28日

担当教員名 宮本 賢治, 尾崎 士郎, 伊藤 陽介, 宮下 晃一, 菊地章, 米延 仁志, 曾根 直人, 阪東 哲也, 湯口 雅史 回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.4
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.2
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.5
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.5
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。						4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.4
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.2
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.5
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.7



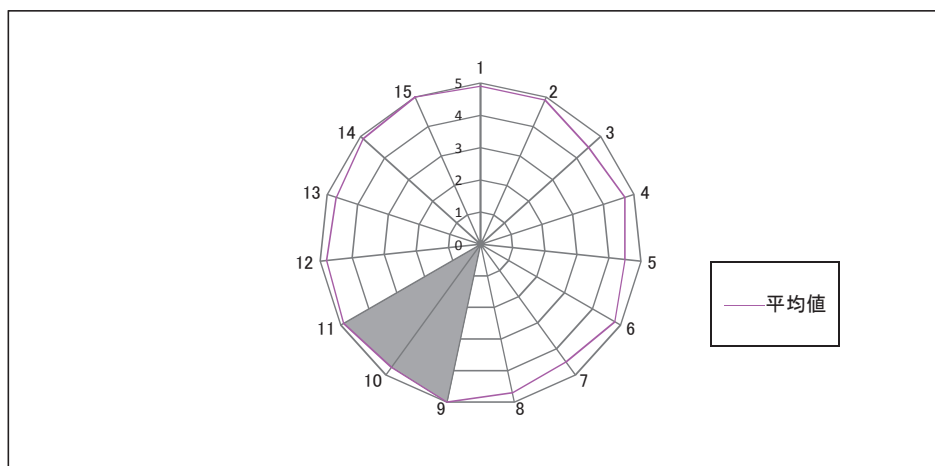
総合評価	4.4
------	-----

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(家庭)  
 評価実施日 令和3年7月28日  
 担当教員名 金 貞均, 黒川 衣代, 西川 和孝, 湯口 雅史

回答者数 8名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	2	1	0	0	0	4.5
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	6	1	1	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	2	1	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	4	4	0	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	5	3	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	5	3	0	0	0	0	4.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	7	1	0	0	0	0	4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	5	3	0	0	0	0	4.7
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	6	1	0	0	0	1	4.9
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	8	0	0	0	0	0	5.0

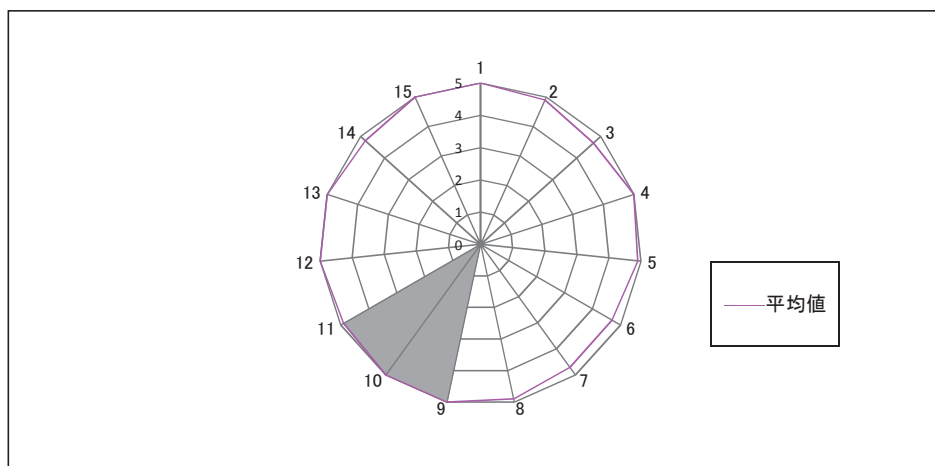


総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 特別支援教育実践基礎演習  
 評価実施日 令和3年7月29日  
 担当教員名 大谷 博俊, 高原 光恵, 高橋 真琴, 田中 淳一, 湯口 雅史 回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	0	1	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	0	1	0	0	0	4.7
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	1	0	0	0	0	4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	5	0	0	0	0	1	5.0
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	5	0	0	0	0	1	5.0
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	4	1	0	0	0	1	4.8
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	0	0	0	0	0	5.0



総合評価 **4.9**

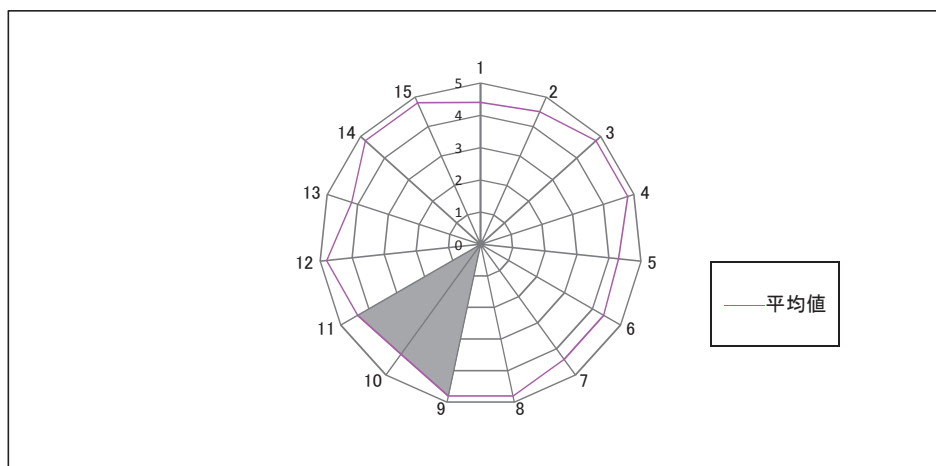
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 学校教育実践Ⅴ(生徒指導)(旧)

評価実施日 令和3年7月27日

担当教員名 葛上 秀文, 阿形 恒秀, 小坂 浩嗣, 末内 佳代, 池田 誠喜, 金森 三枝 回答者数 8名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	4	3	1	0	0	0	4.4
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	2	1	0	0	0	4.5
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	2	2	0	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	4	3	1	0	0	0	4.4
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	5	1	2	0	0	0	4.4
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	6	2	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	3	4	0	1	0	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	4	3	1	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	4	1	0	0	0	3	4.8
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	3	0	2	0	0	3	4.2
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	4	1	0	0	0	3	4.8
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	7	0	1	0	0	0	4.8



総合評価 **4.6**

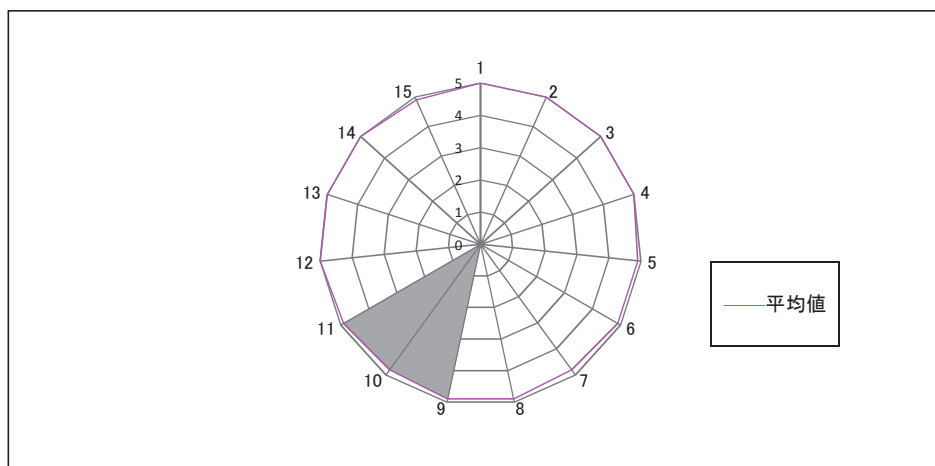
※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ(国語)  
 評価実施日 令和3年7月29日  
 担当教員名 幾田 伸司, 黒田 俊太郎

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	1	0	0	0	0	4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	5	0	0	0	0	2	5.0
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	5	0	0	0	0	2	5.0
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	5	0	0	0	0	2	5.0
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	1	0	0	0	0	4.9



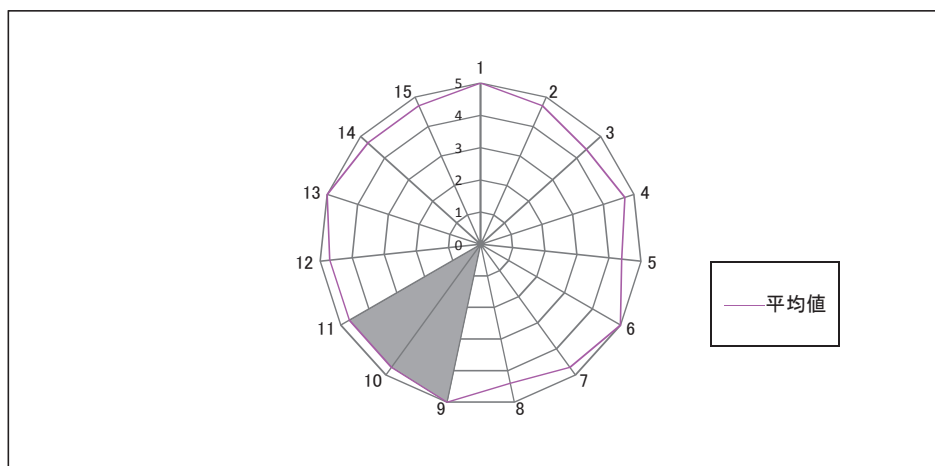
総合評価 5.0

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ(英語)  
 評価実施日 令和3年7月29日  
 担当教員名 山森 直人, 佐藤 美智子

回答者数 3名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	2	0	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	0	1	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	1	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	2	1	0	0	0	0	4.7
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	1	0	0	0	0	4.7



総合評価 4.7

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

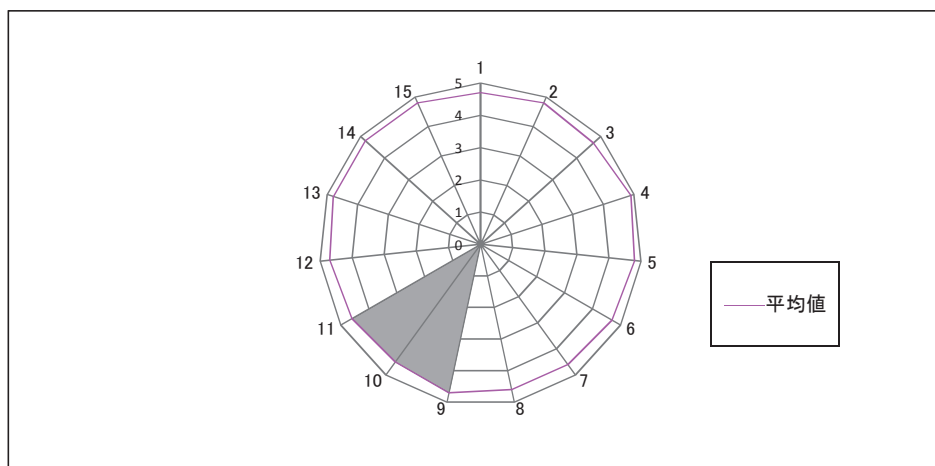
授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ(算数・数学)

評価実施日 令和3年7月29日

担当教員名 秋田 美代, 山中 仁

回答者数 13名

質問項目	評価選択人数	評価選択人数					平均値 (項目別)	
		5	4	3	2	1		N.A
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	4	0	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	3	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	5	0	0	0	0	4.7
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	11	2	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	10	3	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	9	4	0	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	4	1	0	0	0	4.6
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	2	2	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	10	2	0	1	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	8	4	0	1	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	6	0	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	7	3	0	0	0	3	4.7
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	7	2	0	0	0	4	4.8
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	7	2	0	0	0	4	4.8
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	3	0	0	0	0	4.8



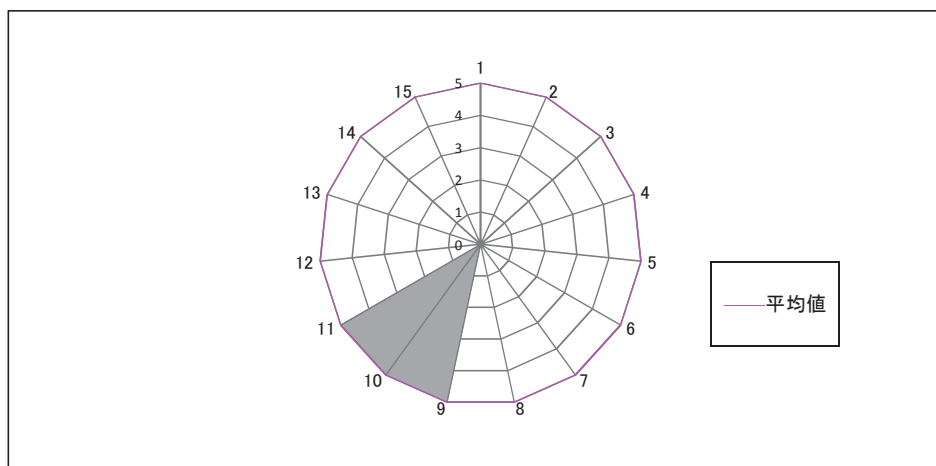
総合評価	4.7
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ(音楽)  
 評価実施日 令和3年7月29日  
 担当教員名 鉄口 真理子, 松岡 みち子

回答者数 2名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	2	0	0	0	0	0	5.0
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	0	0	0	0	0	5.0



総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

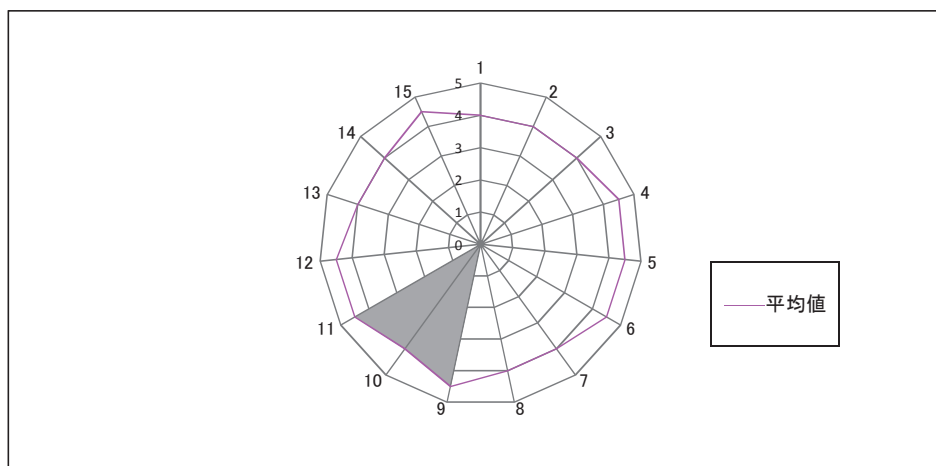
授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ(図工・美術)

評価実施日 令和3年7月29日

担当教員名 小川 勝, 内藤 隆

回答者数 2名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	1	0	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	2	0	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	1	0	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	0	2	0	0	0	0	4.0
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	1	0	0	0	0	4.5



総合評価	4.2
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

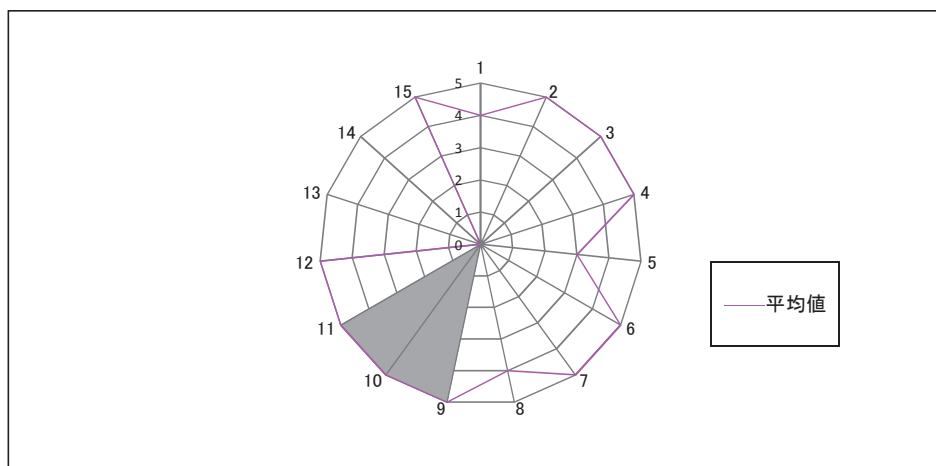
授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ(体育・保体)

評価実施日 令和3年7月29日

担当教員名 松井 敦典, 田中 弘之, 南 隆尚

回答者数 1名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	1	0	0	0	3.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	1	0	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	0	0	0	0	0	1	0.0
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	0	0	0	0	0	1	0.0
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



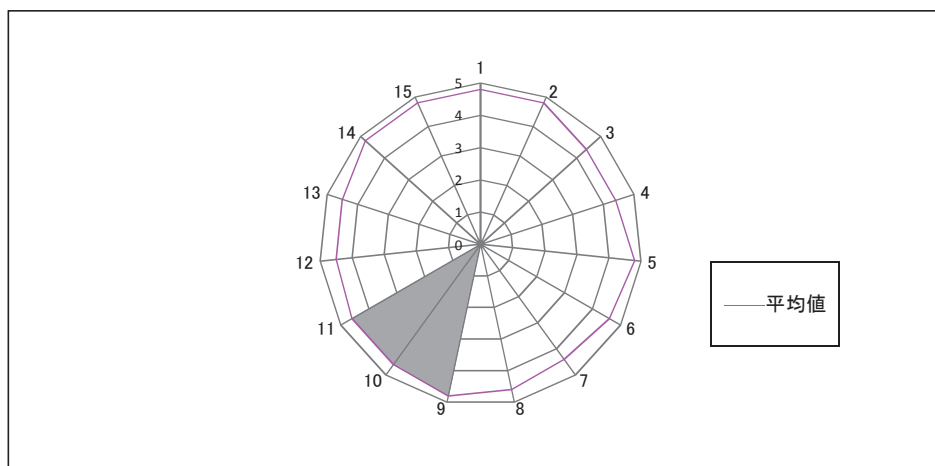
総合評価 3.8

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ(家庭)  
 評価実施日 令和3年7月29日  
 担当教員名 速水 多佳子, 西川 和孝, 金 貞均

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	1	1	0	0	0	4.4
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	1	1	0	0	0	4.4
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	1	1	0	0	0	4.4
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	2	0	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	2	0	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	2	2	0	0	0	1	4.5
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	2	2	0	0	0	1	4.5
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	3	1	0	0	0	1	4.8
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	1	0	0	0	0	4.8



総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

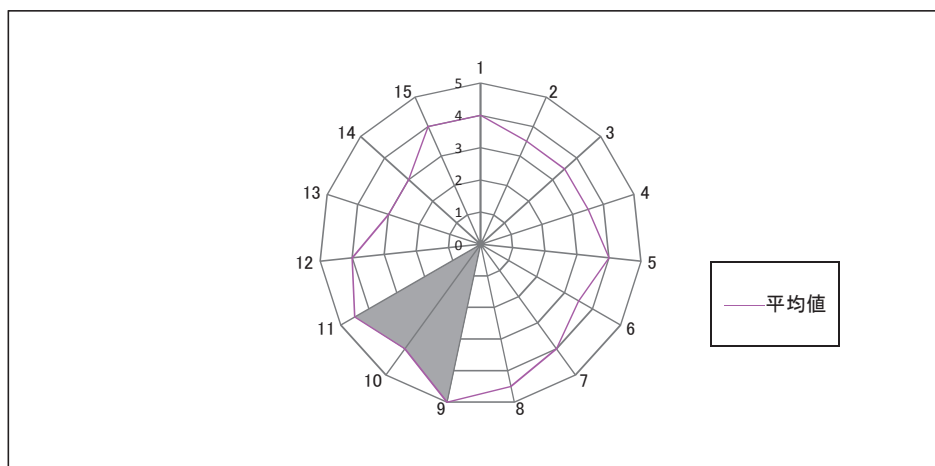
授業科目名 学校教育実践Ⅲ(子ども・学級理解)(新)

評価実施日 令和4年2月9日

担当教員名 藤原 伸彦

回答者数 2名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	1	0	0	0	4.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	1	0	0	3.5
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	1	0	0	3.5
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	1	0	0	3.5
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	1	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	1	0	0	3.5
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	1	0	0	0	4.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	1	0	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	1	0	0	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	1	0	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	0	1	0	0	0	1	4.0
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	0	0	1	0	0	1	3.0
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	0	0	1	0	0	1	3.0
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	1	0	0	0	4.0



総合評価 3.7

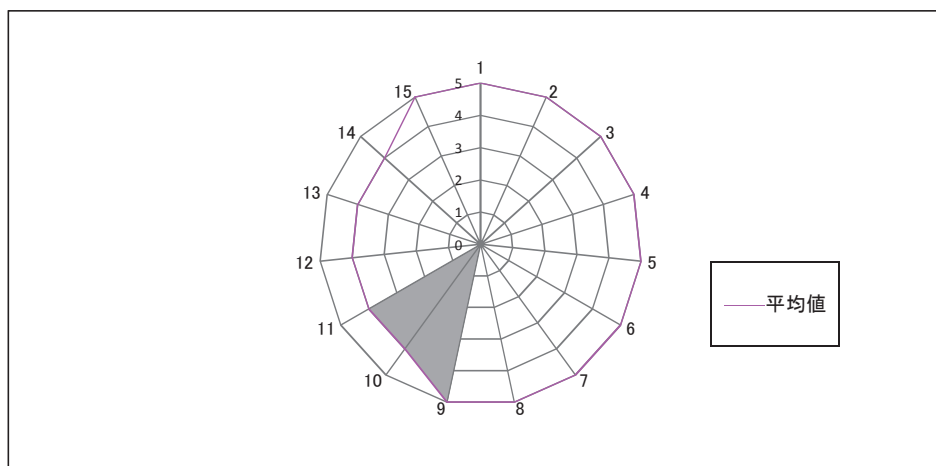
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 初等中等教科教育実践 I (国語)  
 評価実施日 令和4年2月2日  
 担当教員名 余郷 裕次, 原 卓志, 湯地 宏樹

回答者数 1名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						5.0
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。						5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						5.0
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む) をした。						4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.0
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.0
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.0
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						5.0



総合評価 4.8

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

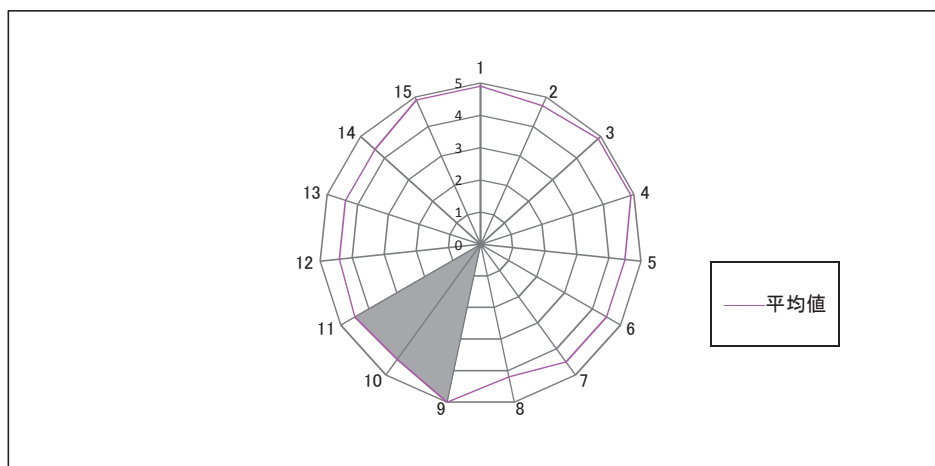
授業科目名 初等中等教科教育実践 I (算数・数学)

評価実施日 令和4年2月2日

担当教員名 早田 透, 湯地 宏樹, 関 行宏

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	1	1	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	5	0	0	1	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	3	2	0	1	0	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む) をした。	4	0	2	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	4	1	1	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	3	1	1	0	0	1	4.4
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	3	1	1	0	0	1	4.4
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	3	1	1	0	0	1	4.4
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	5	1	0	0	0	0	4.9



総合評価 4.6

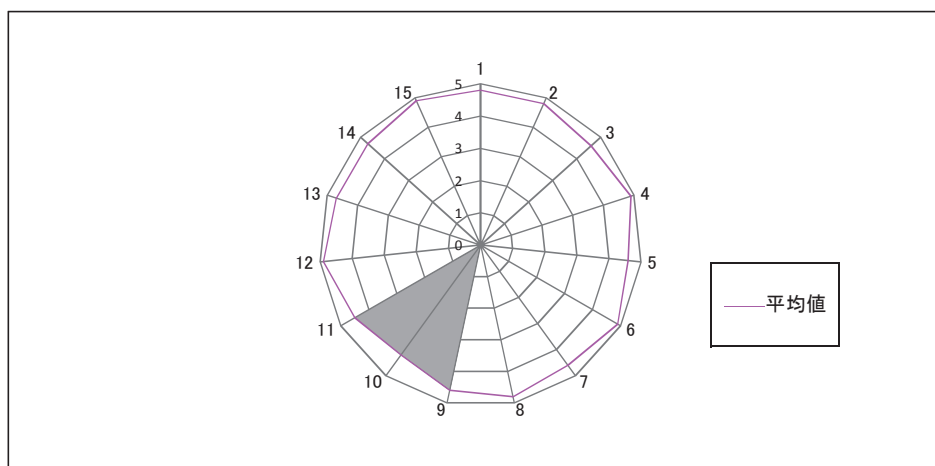
※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践 I (家庭)

評価実施日 令和4年2月2日

担当教員名 黒川 衣代, 金 貞均, 速水 多佳子, 西川 和孝, 坂本 有芳, 湯地 宏樹 回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.6
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.6
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。						4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.9
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.7
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.7
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.9



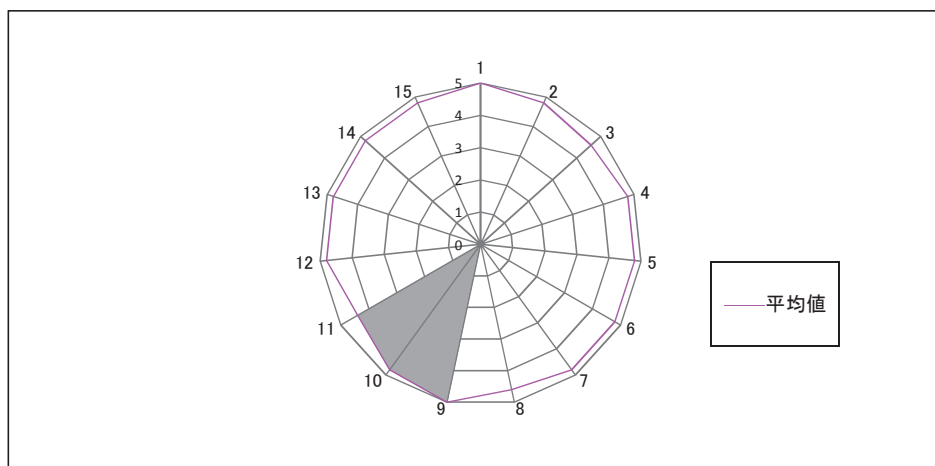
総合評価 4.8

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ(国語)  
 評価実施日 令和4年2月8日  
 担当教員名 村井 万里子, 平川 恵美子

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	2	0	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	0	0	1	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	3	1	0	0	0	1	4.8
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	3	1	0	0	0	1	4.8
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	3	1	0	0	0	1	4.8
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	1	0	0	0	0	4.8



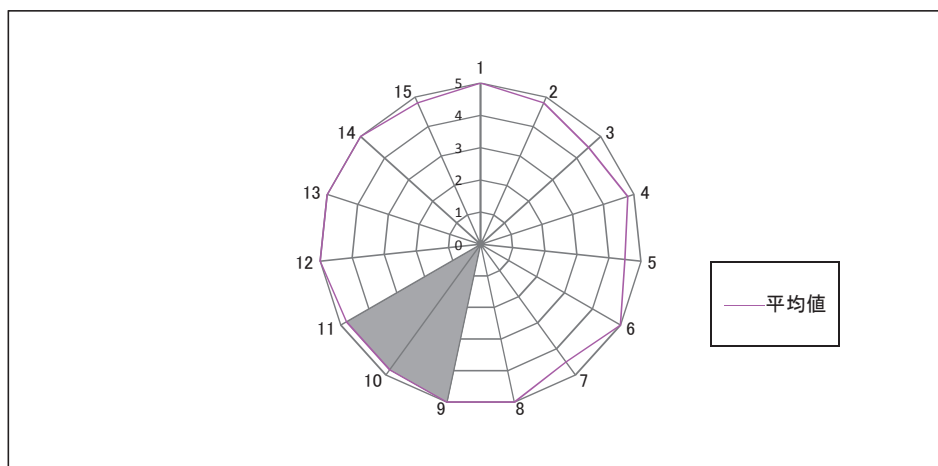
総合評価 4.8

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ(英語)  
 評価実施日 令和4年2月8日  
 担当教員名 眞野 美穂, 山森 直人

回答者数 4名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	1	0	0	0	4.5
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	0	1	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	0	1	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	1	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	4	0	0	0	0	0	5.0
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	1	0	0	0	0	4.8



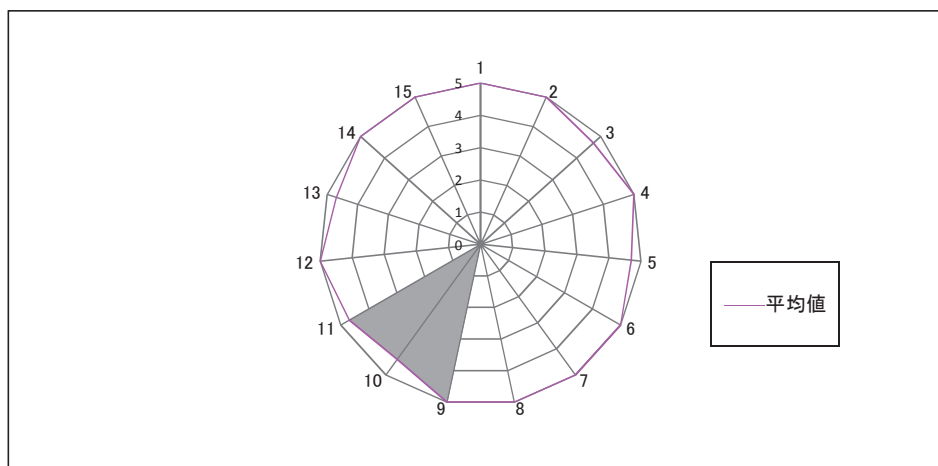
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ(社会)  
 評価実施日 令和4年2月8日  
 担当教員名 梅津 正美, 町田 哲

回答者数 3名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	1	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	1	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	3	0	0	0	0	0	5.0
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	0	0	0	0	0	5.0



総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

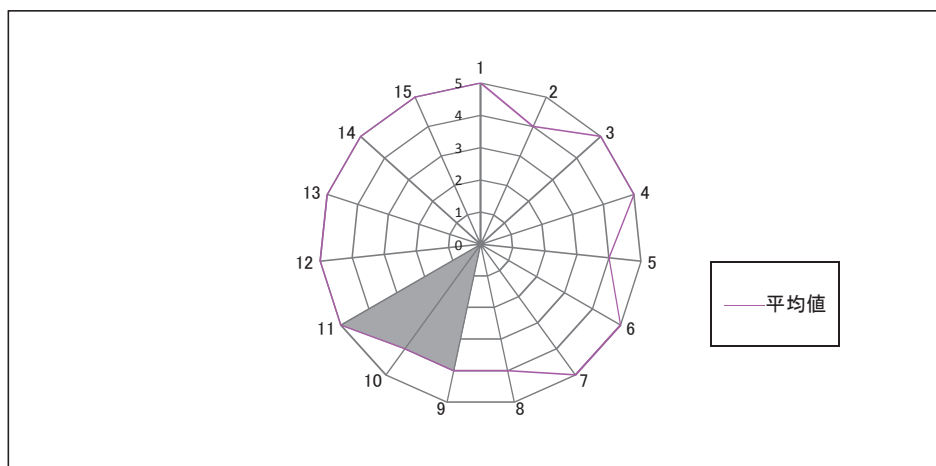
授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ(算数・数学)

評価実施日 令和4年2月8日

担当教員名 佐伯 昭彦, 山中 仁

回答者数 1名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	1	0	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	1	0	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	1	0	0	0	0	0	5.0
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



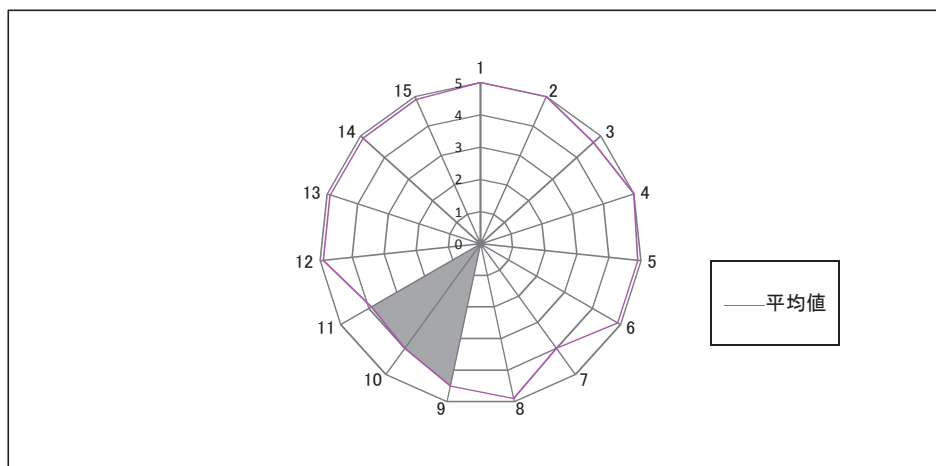
総合評価	4.8
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ(家庭)  
 評価実施日 令和4年2月8日  
 担当教員名 福井 典代, 速水 多佳子, 黒川 衣代, 坂本 有芳

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	0	3	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	1	1	0	0	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	2	2	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	3	2	0	0	0	3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	5	1	0	0	0	0	4.9
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	1	0	0	0	0	4.9



総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



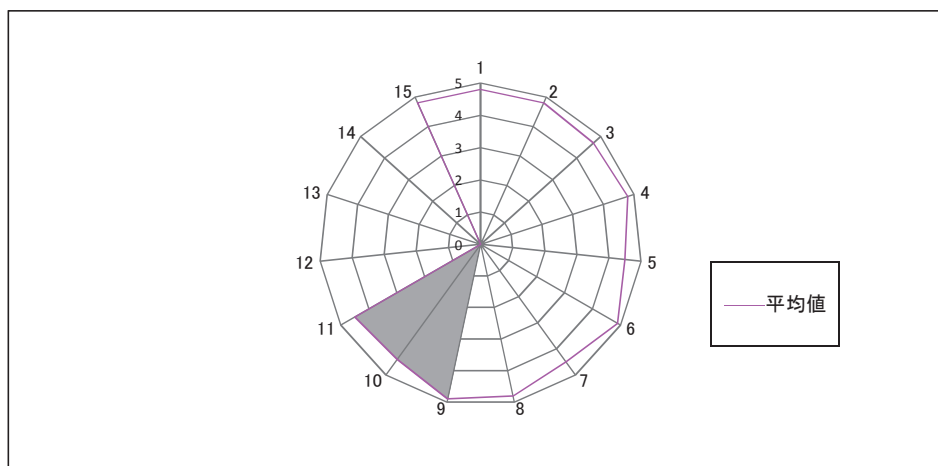


# 教 職 共 通 科 目

授業科目名 教職論  
 評価実施日 令和3年8月2日  
 担当教員名 阪根 健二, 湯地 宏樹

回答者数 70名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	56	13	1	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	53	17	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	51	16	1	2	0	0	4.7
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	56	12	1	1	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	44	17	9	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	62	7	1	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	41	18	10	1	0	0	4.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	57	12	1	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	62	7	1	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	36	26	4	3	1	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	43	20	3	3	1	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	56	11	2	1	0	0	4.8



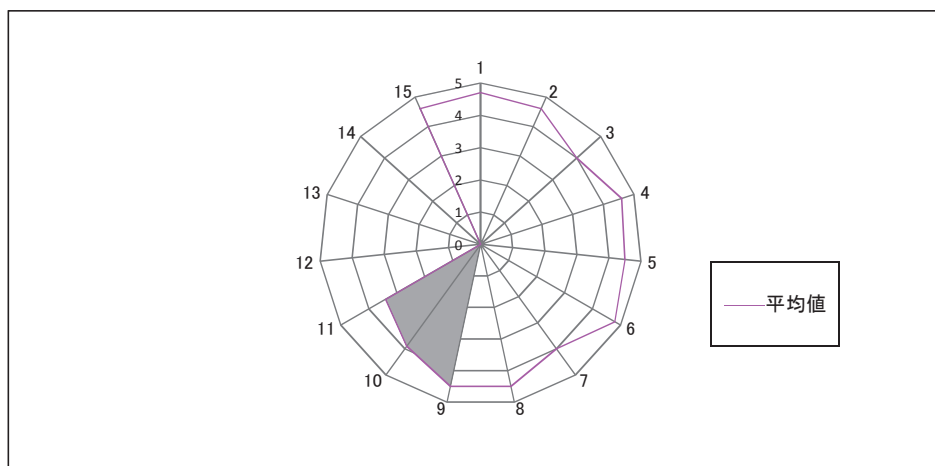
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 人間形成原論  
 評価実施日 令和3年7月26日  
 担当教員名 谷村 千絵

回答者数 115名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	72	41	2	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	72	35	4	3	1	0	4.6
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	42	37	27	7	2	0	4.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	66	45	3	1	0	0	4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	64	39	12	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	86	26	2	1	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	43	31	33	5	3	0	4.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	62	44	5	4	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	70	33	10	1	1	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	34	42	25	11	3	0	3.9
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	27	31	24	23	10	0	3.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	70	35	8	2	0	0	4.6



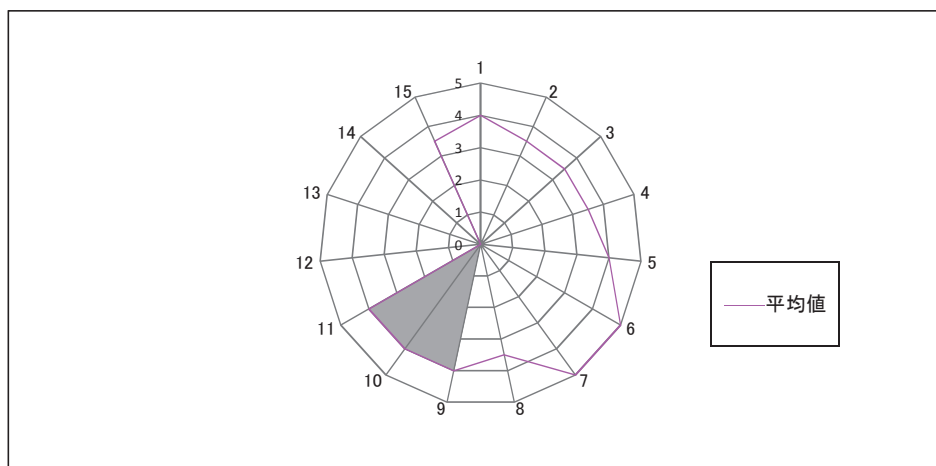
総合評価 4.5

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 教育制度・経営論  
 評価実施日 令和3年8月2日  
 担当教員名 石村 雅雄

回答者数 2名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	1	0	0	0	4.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	1	0	0	3.5
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	1	0	0	3.5
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	1	0	0	3.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	1	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	1	0	0	3.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	1	0	0	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	1	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	0	1	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	1	0	0	3.5

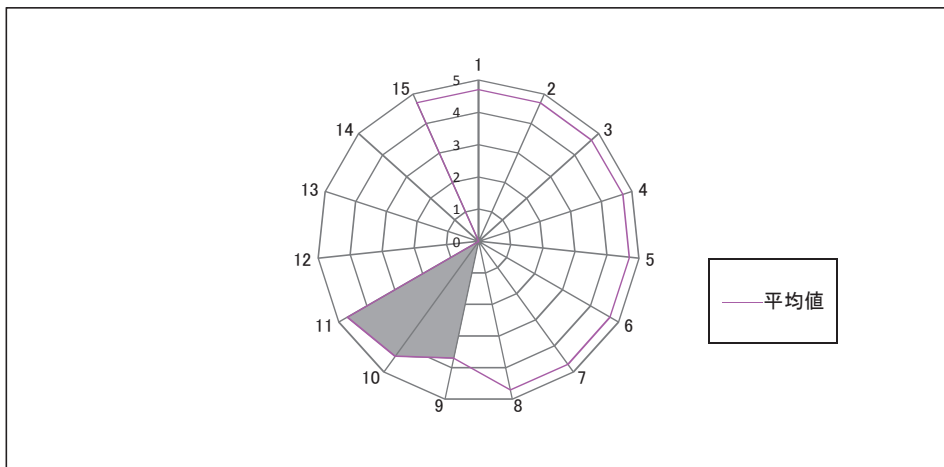


総合評価 **3.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 小学校英語教育論(旧課程)  
 評価実施日 令和3年8月6日  
 担当教員名 山森 直人, ジェラード マーシェン, 佐藤 美智子      回答者数 3名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	1	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	1	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	1	0	1	0	0	3.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	1	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	1	0	0	0	0	4.7



総合評価 4.7

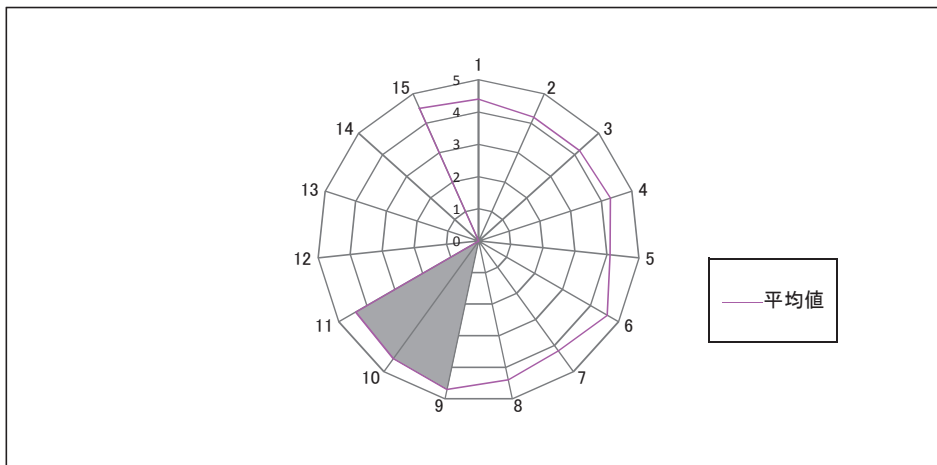
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等英語科教育論(新課程)

評価実施日 令和3年8月6日

担当教員名 山森 直人, ジェラード マーシェソ, 佐藤 美智子, 竹内 陽子, 段本 みのり 回答者数 42名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	23	15	1	0	3	0	4.4
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	16	21	2	0	3	0	4.2
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	21	14	4	0	3	0	4.2
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	23	13	3	0	3	0	4.3
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	19	13	7	1	2	0	4.1
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	26	15	1	0	0	0	4.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	18	14	7	3	0	0	4.2
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	22	13	5	2	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	30	11	0	0	1	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	21	18	2	1	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	25	10	4	2	1	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	26	12	2	0	2	0	4.5

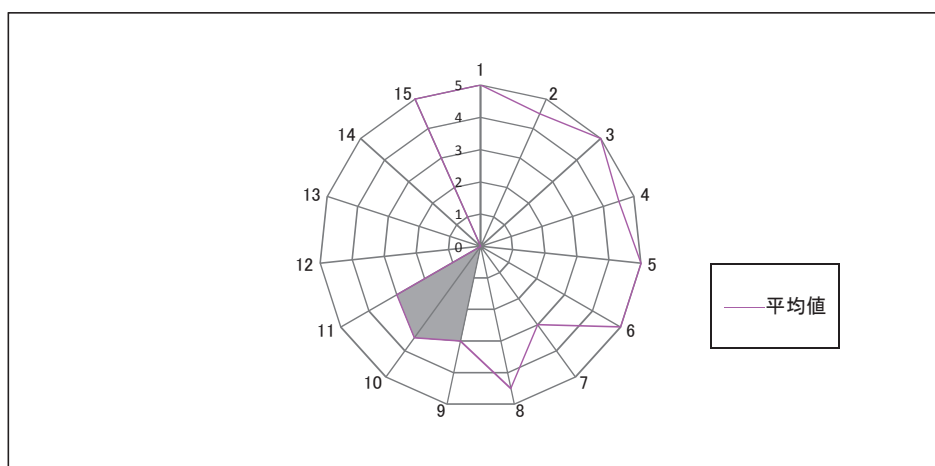


総合評価 4.3

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 教育課程論(旧課程)  
 評価実施日 令和3年8月3日  
 担当教員名 幾田 伸司, 前田 洋一, 井上 奈穂, 山田 芳明, 早藤 幸隆 回答者数 2名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	1	0	3.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	1	0	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	0	1	0	1	0	0	3.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	1	0	0	3.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	1	0	3.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	0	0	0	0	0	5.0



総合評価	4.6
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

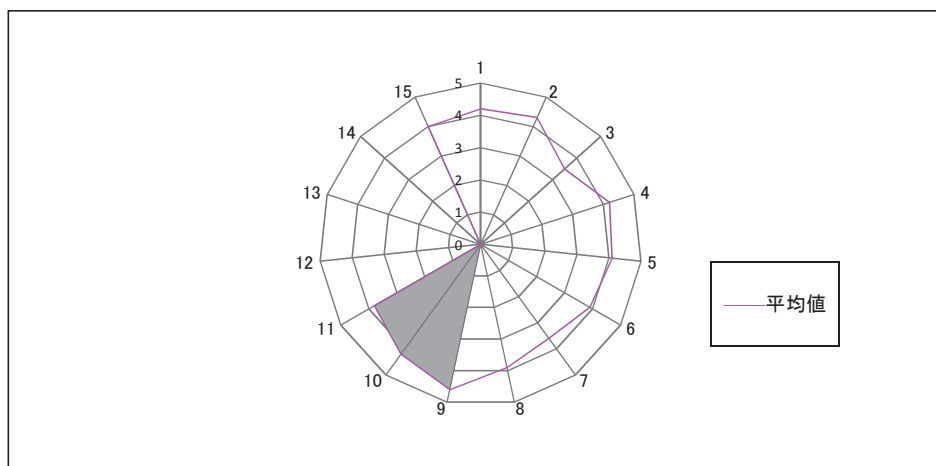


授業科目名 教育課程論(校種間連携を含む。)

評価実施日 令和3年8月3日

担当教員名 幾田 伸司, 前田 洋一, 井上 奈穂, 山田 芳明, 早藤 幸隆 回答者数 62名

質問項目	評価選択人数	平均値						
		5	4	3	2	1	N.A	(項目別)
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	31	17	8	5	1	0	4.2
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	26	29	5	0	2	0	4.3
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	20	17	7	6	12	0	3.5
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	28	22	9	2	1	0	4.2
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	25	21	13	2	1	0	4.1
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	23	16	14	6	3	0	3.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	18	12	22	5	5	0	3.6
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	24	20	8	7	3	0	3.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	41	17	3	0	1	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	27	23	8	2	2	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	22	16	17	2	5	0	3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	26	21	6	7	2	0	4.0



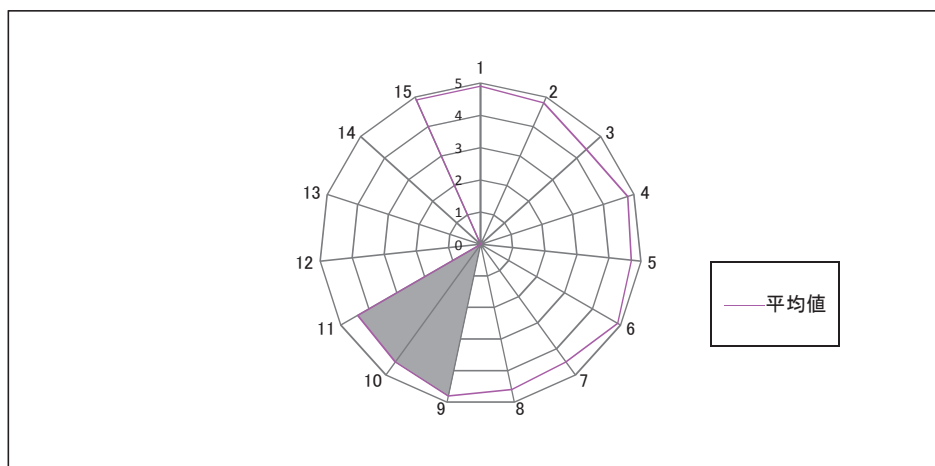
総合評価 4.0

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等国語科教育論A  
 評価実施日 令和3年7月28日  
 担当教員名 幾田 伸司

回答者数 25名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	22	3	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	20	5	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	15	5	4	1	0	0	4.4
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	19	6	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	17	7	1	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	22	2	1	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	18	3	3	0	1	0	4.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	18	5	1	1	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	19	6	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	15	6	4	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	14	7	4	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	21	4	0	0	0	0	4.9



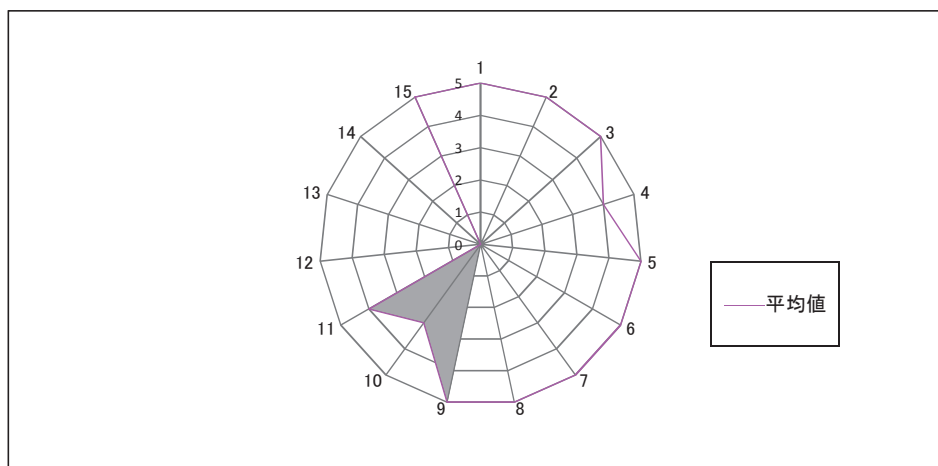
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等国語科教育論B  
 評価実施日 令和3年7月28日  
 担当教員名 余郷 裕次

回答者数 1名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	1	0	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



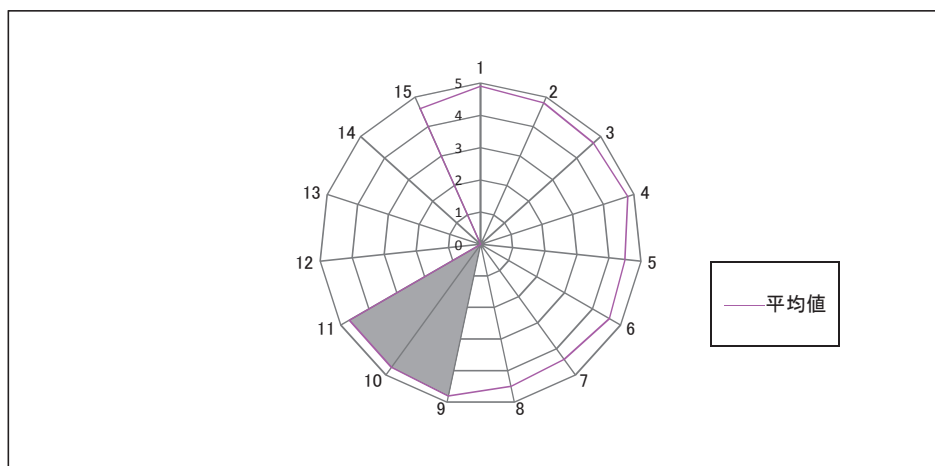
総合評価	4.9
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等理科教育論  
 評価実施日 令和3年7月28日  
 担当教員名 本田 亮, 佐藤 勝幸, 早藤 幸隆, 寺島 幸生, 福地 里菜, 糸田川 裕史

回答者数 31名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	26	4	1	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	25	4	2	0	0	0	4.8
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	23	5	2	1	0	0	4.7
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	25	5	1	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	19	9	2	1	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	22	6	2	1	0	0	4.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	18	8	3	1	1	0	4.4
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	17	12	2	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	25	5	1	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	21	8	2	0	0	0	4.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	21	10	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	21	7	2	0	1	0	4.6



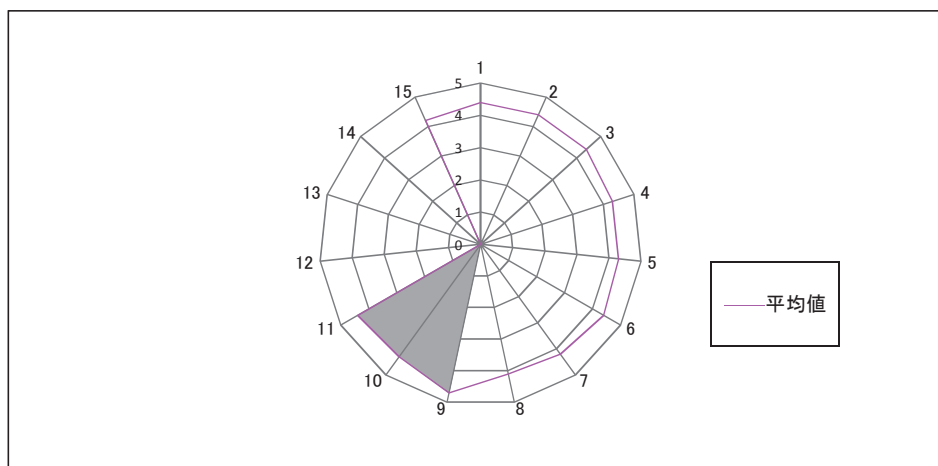
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 体育科教育論  
 評価実施日 令和3年7月29日  
 担当教員名 湯口 雅史, 棟方 百熊

回答者数 65名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	33	27	1	3	1	0	4.4
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	32	28	1	3	1	0	4.4
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	35	23	4	2	1	0	4.4
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	33	23	3	4	2	0	4.3
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	32	21	8	3	1	0	4.3
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	35	21	5	4	0	0	4.4
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	30	19	13	3	0	0	4.2
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	26	27	3	9	0	0	4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	50	12	1	2	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	29	26	7	3	0	0	4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	32	28	4	1	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	34	19	4	6	2	0	4.2



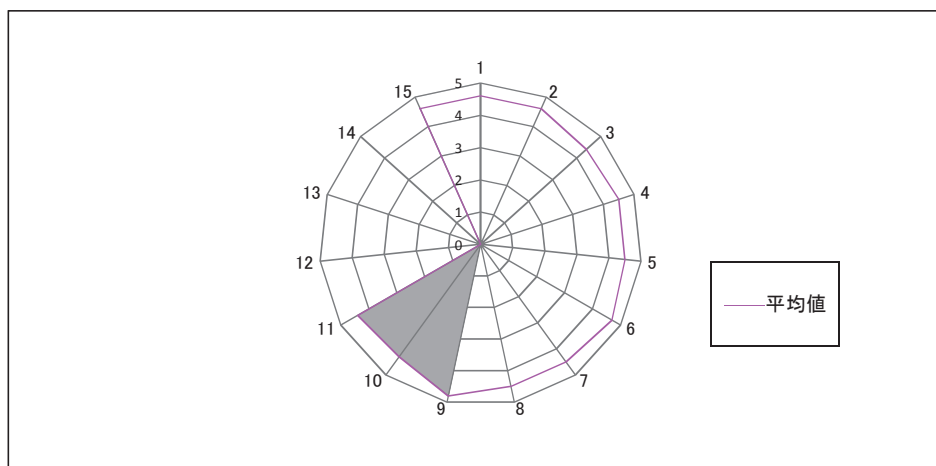
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 特別活動指導論A  
 評価実施日 令和3年8月2日  
 担当教員名 五宝 友哉

回答者数 72名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	48	20	1	1	2	0	4.6
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	50	17	2	0	3	0	4.6
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	39	26	5	0	2	0	4.4
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	46	18	5	1	2	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	42	22	6	0	2	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	49	21	1	0	1	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	41	24	7	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	41	24	4	1	2	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	54	17	0	0	1	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	34	28	7	1	2	0	4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	39	26	5	0	2	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	47	20	2	1	2	0	4.6



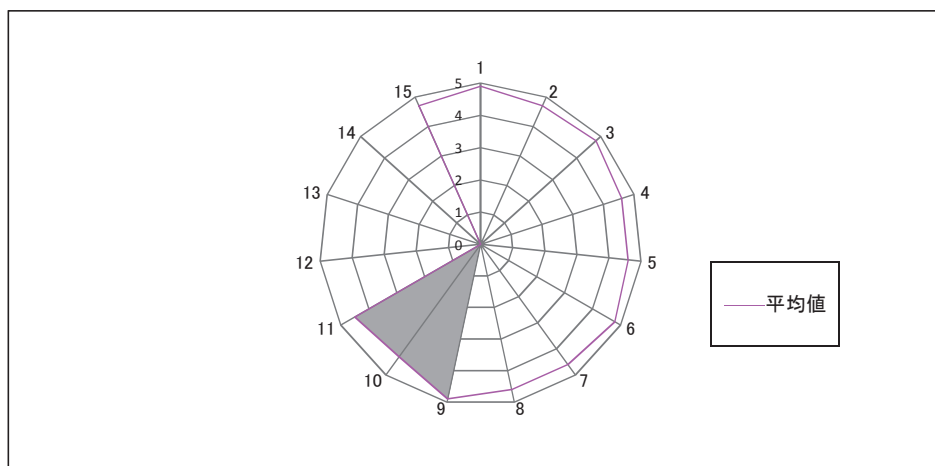
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 特別活動指導論B  
 評価実施日 令和3年8月2日  
 担当教員名 五宝 友哉

回答者数 38名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.6
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



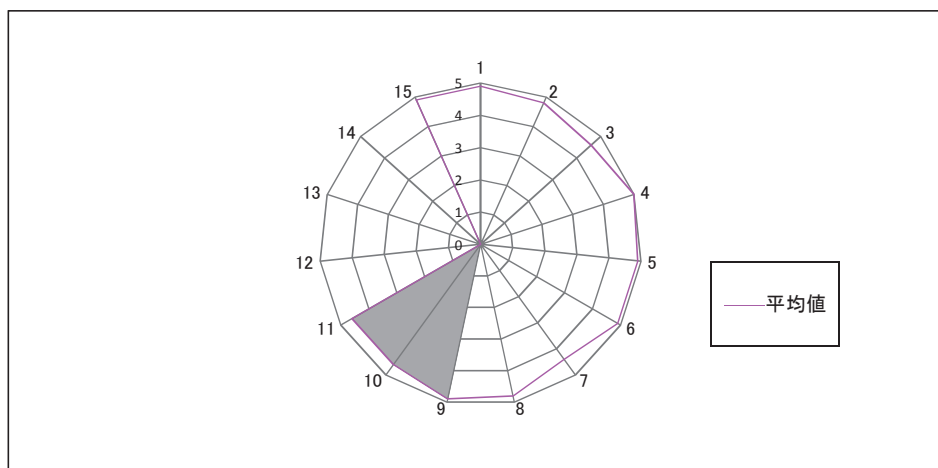
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 幼児教育課程論  
 評価実施日 令和3年7月30日  
 担当教員名 湯地 宏樹

回答者数 19名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	18	0	1	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	14	5	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	13	4	2	0	0	0	4.6
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	18	1	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	17	2	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	17	1	1	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	12	1	6	0	0	0	4.4
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	15	4	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	16	3	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	12	6	1	0	0	0	4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	12	6	1	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	18	0	1	0	0	0	4.9



総合評価 **4.8**

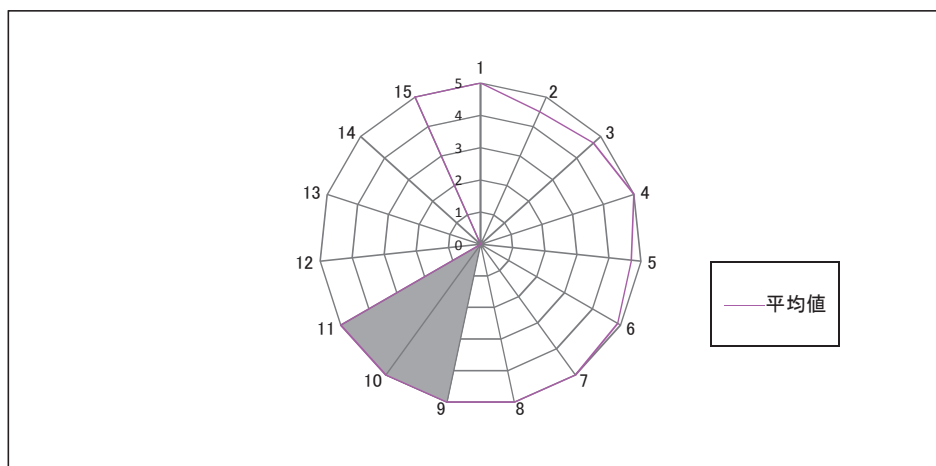
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 保育内容(表現Ⅰ)(新課程)  
 評価実施日 令和3年7月29日  
 担当教員名 湯地 宏樹, 山田 啓明

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.7
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



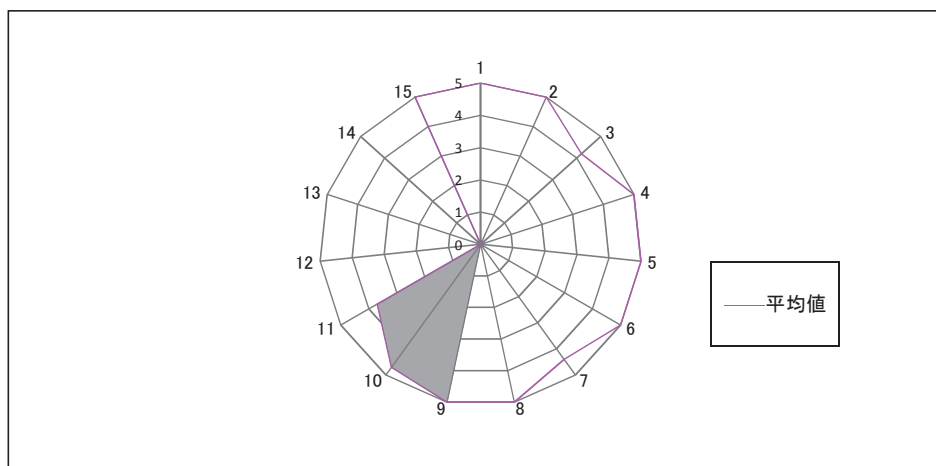
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 保育内容(表現Ⅱ)(新課程)  
 評価実施日 令和3年8月23日  
 担当教員名 谷口 幹也

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	1	2	0	0	0	4.2
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	0	2	0	0	0	4.4
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	0	4	0	0	0	3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	0	0	0	0	0	5.0



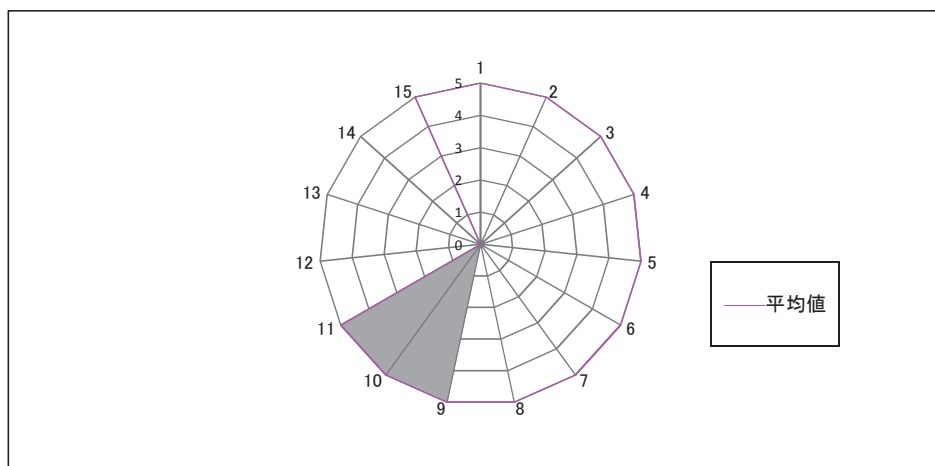
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 保育内容(健康)  
 評価実施日 令和3年8月24日  
 担当教員名 林 修

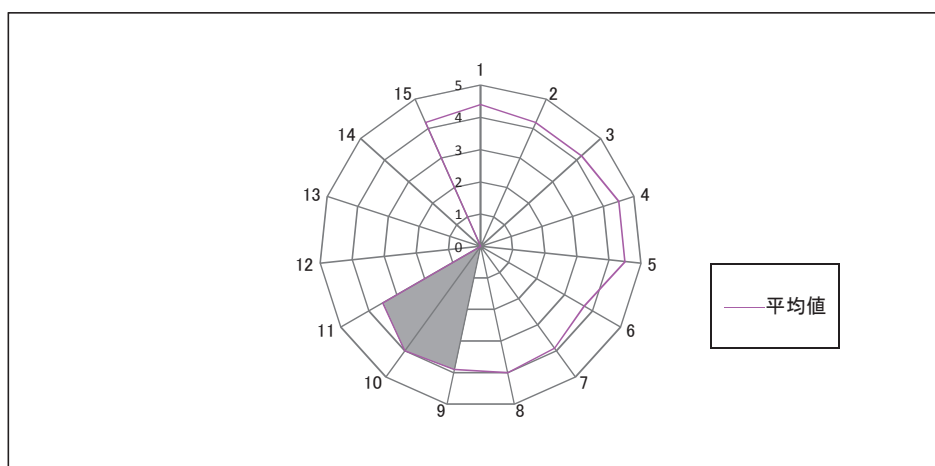
回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



授業科目名 教育相談論(旧課程)A  
 評価実施日 令和3年7月30日  
 担当教員名 小倉 正義, 久米 禎子, 吉井 健治, 栗飯原 良造, 川西 智也 回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	4	0	2	0	0	0	4.4
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	1	2	0	0	0	4.2
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	1	2	0	0	0	4.2
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	4	1	1	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	1	1	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	4	0	0	0	2	0	3.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	3	1	1	0	1	0	3.9
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	3	2	0	0	1	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	2	2	1	1	0	0	3.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	2	3	0	1	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	1	3	0	2	0	0	3.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	4	0	1	1	0	0	4.2



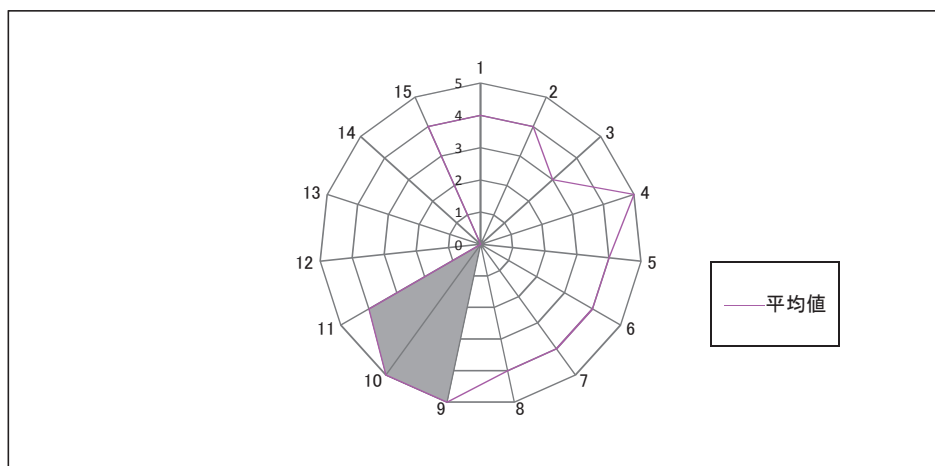
総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 教育相談論(新課程)  
 評価実施日 令和3年7月30日  
 担当教員名 吉井 健治, 小倉 正義, 小坂 浩嗣

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	1	0	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	1	0	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	1	0	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	0	1	0	0	0	0	4.0



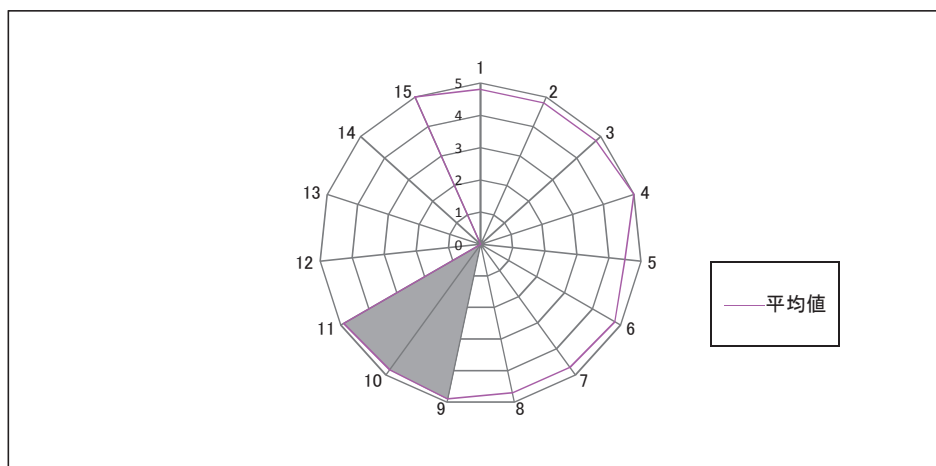
総合評価	4.0
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等国語科教育論  
 評価実施日 令和3年8月4日  
 担当教員名 原 卓志, 村井 万里子

回答者数 18名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	14	4	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	14	4	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	15	2	0	1	0	0	4.8
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	17	1	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	12	4	1	1	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	14	4	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	13	3	2	0	0	0	4.7
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	12	6	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	16	2	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	16	1	0	1	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	15	3	0	0	0	0	4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	17	1	0	0	0	0	5.0



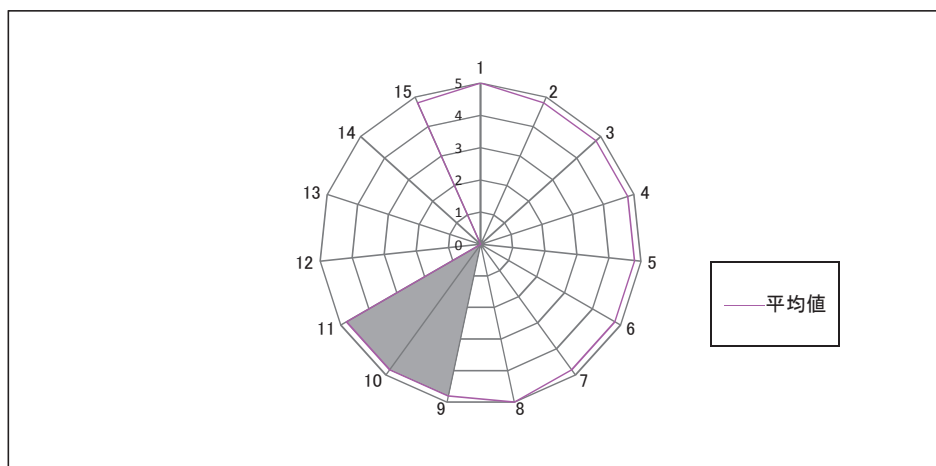
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国語科教育特論  
 評価実施日 令和3年7月27日  
 担当教員名 村井 万里子

回答者数 4名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	3	1	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	3	1	0	0	0	0	4.8



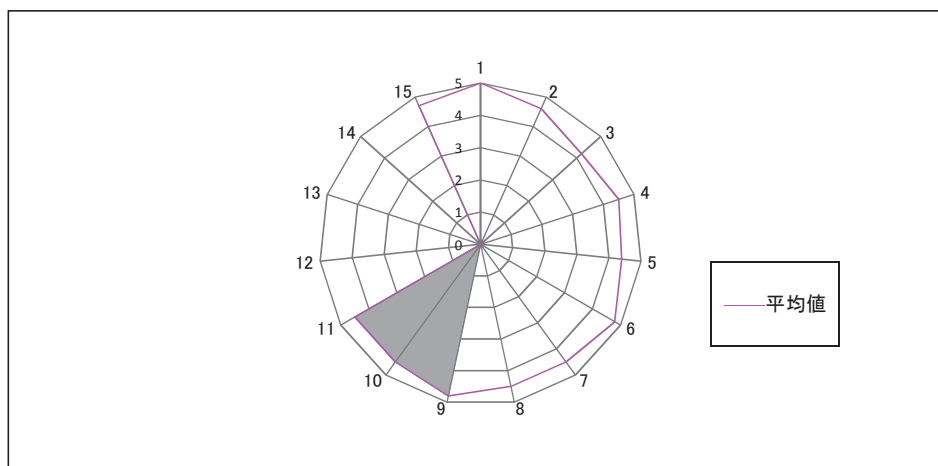
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語科教育論 I  
 評価実施日 令和3年8月4日  
 担当教員名 山森 直人

回答者数 12名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	11	1	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	5	0	0	0	0	4.6
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	2	4	0	0	0	4.2
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	4	1	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	2	3	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	9	3	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	5	1	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	5	1	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	3	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	8	2	1	1	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	2	2	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	4	0	0	0	0	4.7



総合評価 **4.6**

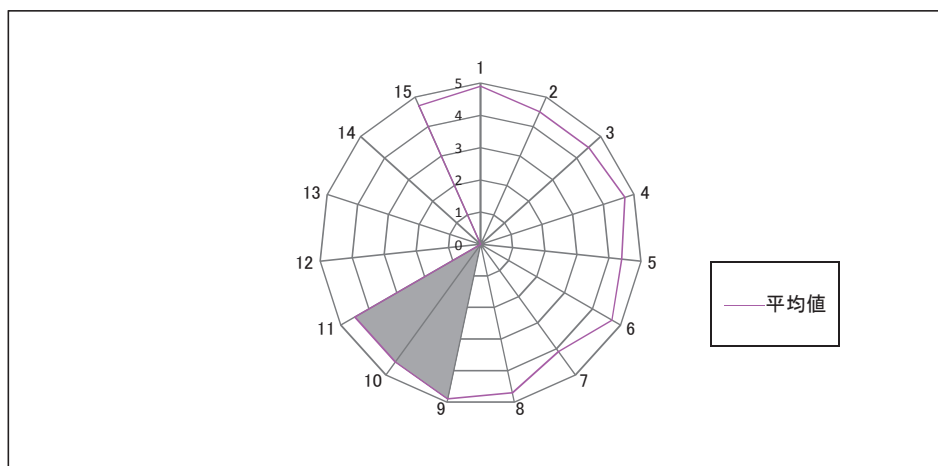
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 英語科教育論Ⅲ  
 評価実施日 令和3年7月27日  
 担当教員名 山森 直人

回答者数 14名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	12	2	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	5	1	0	0	0	4.5
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	5	1	0	0	0	4.5
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	5	0	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	5	2	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	9	5	0	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	6	2	1	0	0	4.1
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	5	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	12	2	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	8	5	0	1	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	6	1	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	9	5	0	0	0	0	4.7



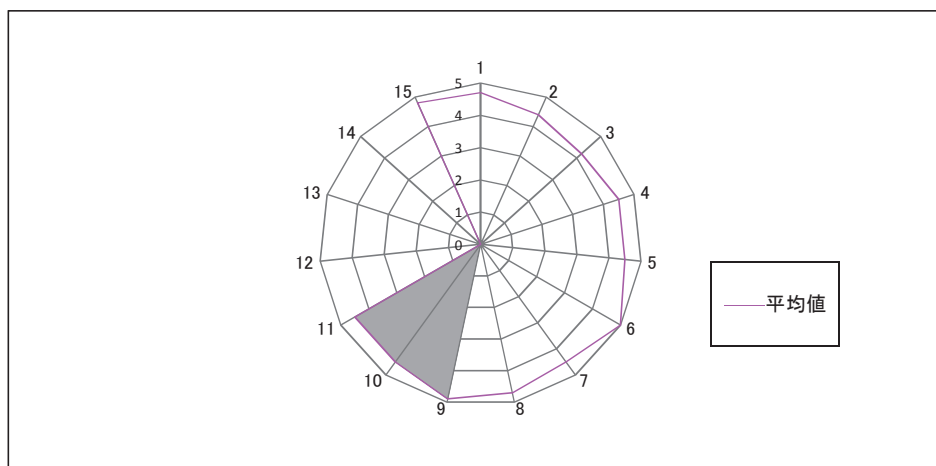
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等社会科授業論  
 評価実施日 令和3年7月27日  
 担当教員名 井上 奈穂

回答者数 16名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	11	4	1	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	9	1	0	0	0	4.4
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	5	1	2	0	0	4.2
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	8	0	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	9	6	1	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	15	1	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	10	4	2	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	6	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	14	2	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	9	6	1	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	8	0	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	13	2	1	0	0	0	4.8



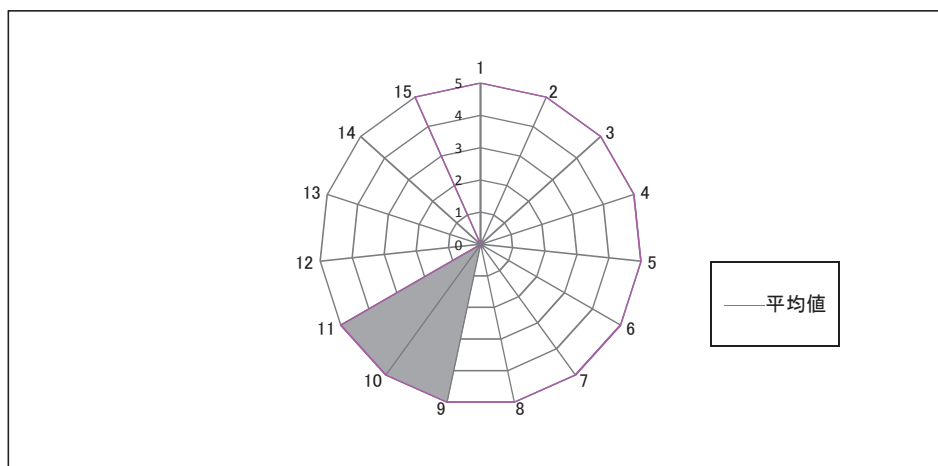
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 地理歴史科教育論  
 評価実施日 令和3年7月27日  
 担当教員名 梅津 正美, 伊藤 直之

回答者数 2名

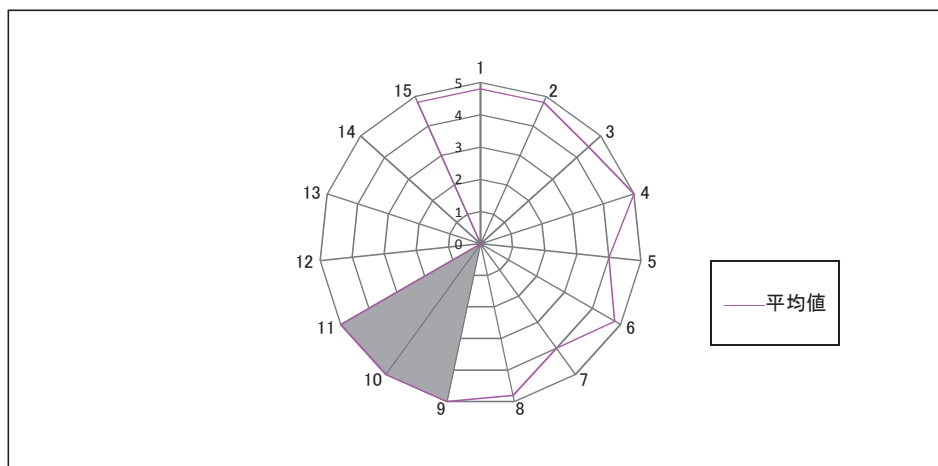
質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	0	0	0	0	0	5.0



授業科目名 社会科・地理歴史科教材論  
 評価実施日 令和3年7月28日  
 担当教員名 梅津 正美, 伊藤 直之

回答者数 4名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	0	2	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	0	2	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	1	0	0	0	0	4.8



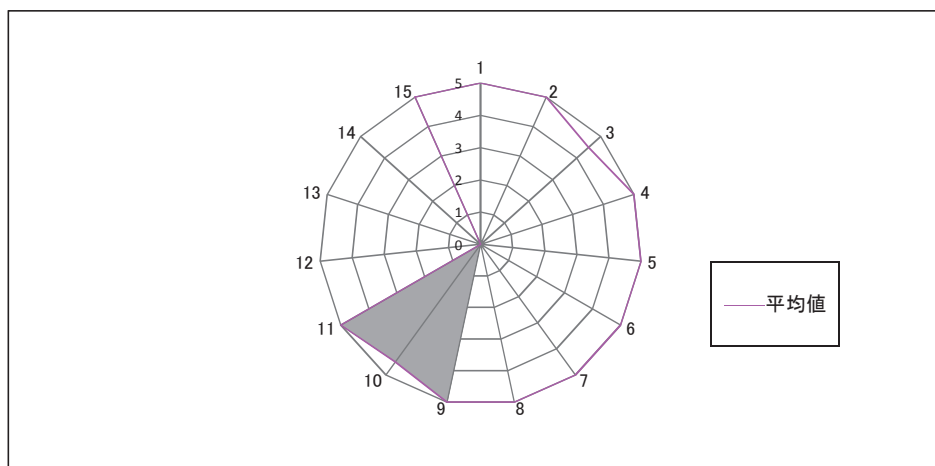
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 公民科教育論  
 評価実施日 令和3年7月27日  
 担当教員名 井上 奈穂

回答者数 2名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	0	0	0	0	0	5.0



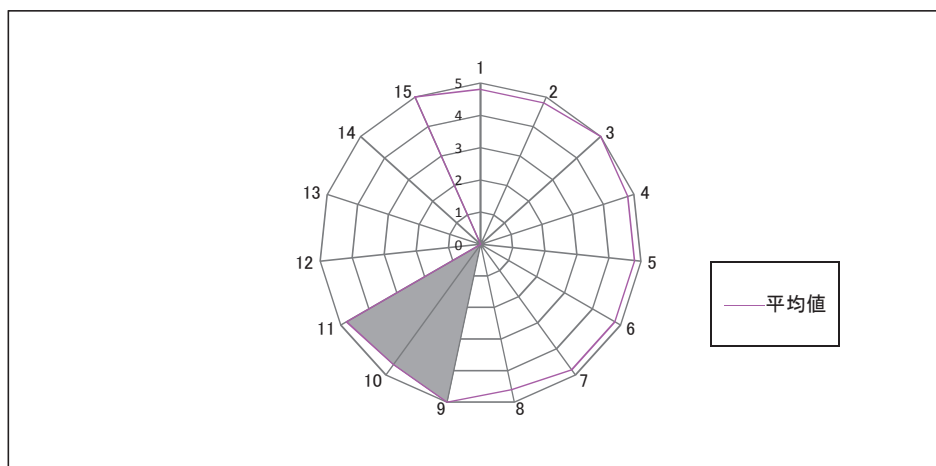
総合評価 4.9

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 数学科教材論  
 評価実施日 令和3年8月3日  
 担当教員名 早田 透

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	2	0	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	1	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	0	5.0



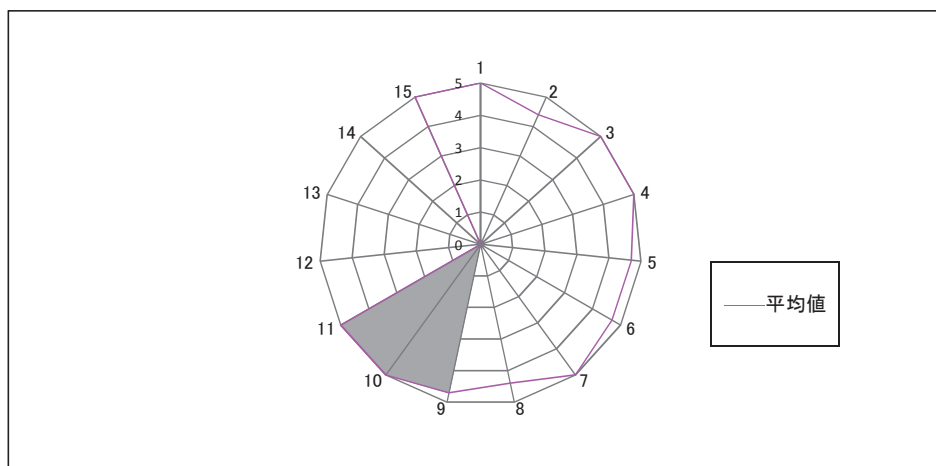
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 数学科授業論  
 評価実施日 令和3年8月3日  
 担当教員名 早田 透

回答者数 3名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	1	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	2	0	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	0	0	0	0	0	5.0



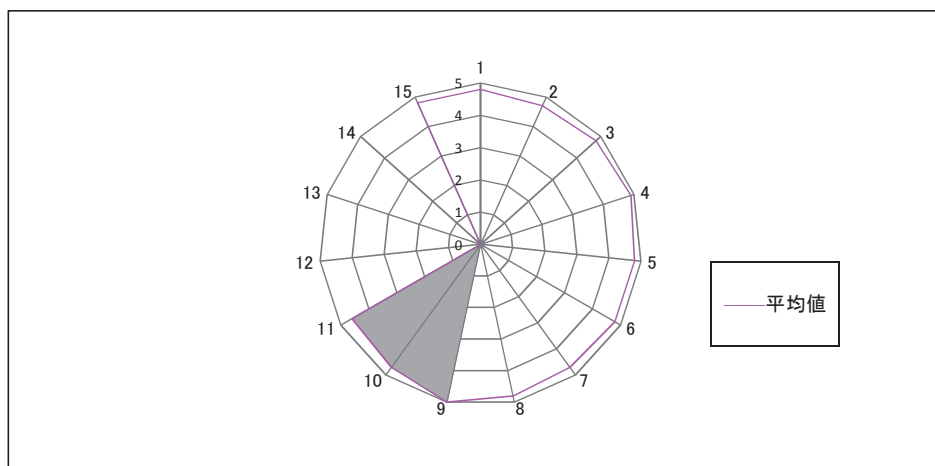
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 数学科教育学特論  
 評価実施日 令和3年7月30日  
 担当教員名 秋田 美代

回答者数 15名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	12	3	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	5	0	0	0	0	4.7
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	12	3	0	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	13	2	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	11	4	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	11	4	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	10	5	0	0	0	0	4.7
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	11	4	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	14	1	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	10	5	0	0	0	0	4.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	10	4	1	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	12	3	0	0	0	0	4.8



総合評価 **4.8**

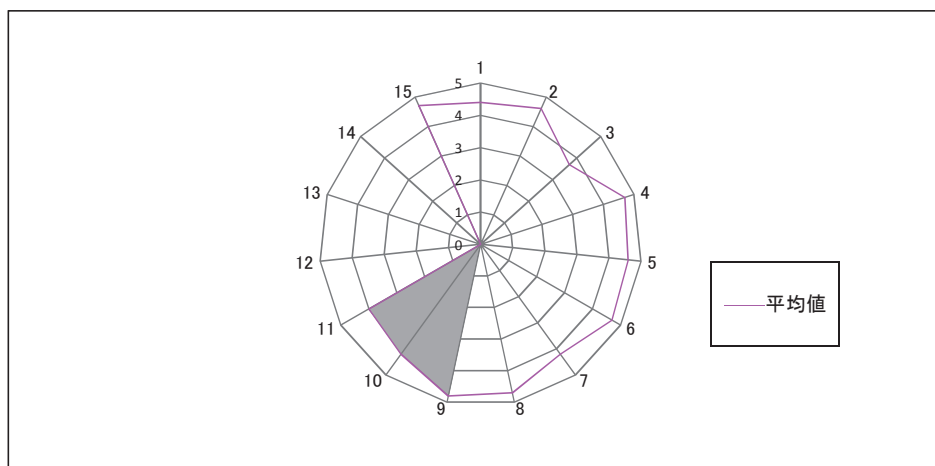
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 中等理科教育論Ⅱ  
 評価実施日 令和3年7月27日  
 担当教員名 粟田 高明, 早藤 幸隆

回答者数 13名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						3.7
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.2
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。						4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.7



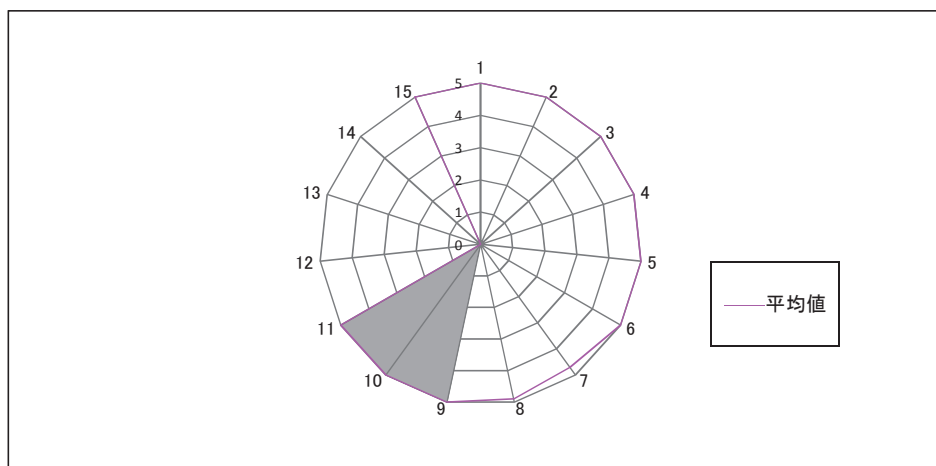
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 中等音楽科授業論  
 評価実施日 令和3年7月27日  
 担当教員名 鉄口 真理子

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	5	0	1	0	0	0	4.7
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	6	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	6	0	0	0	0	0	5.0



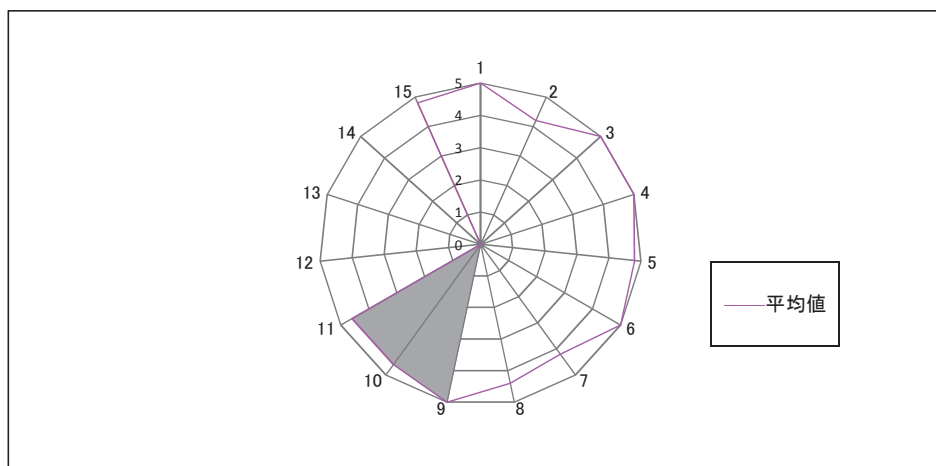
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 美術科教育論  
 評価実施日 令和3年7月29日  
 担当教員名 山田 芳明

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.2
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.2
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



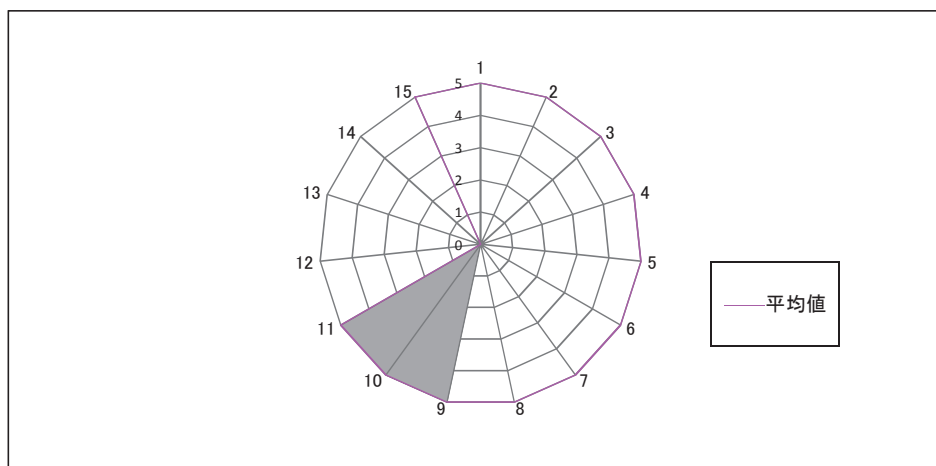
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 工業科教育論 I  
 評価実施日 令和3年7月30日  
 担当教員名 宮本 賢治

回答者数 1名

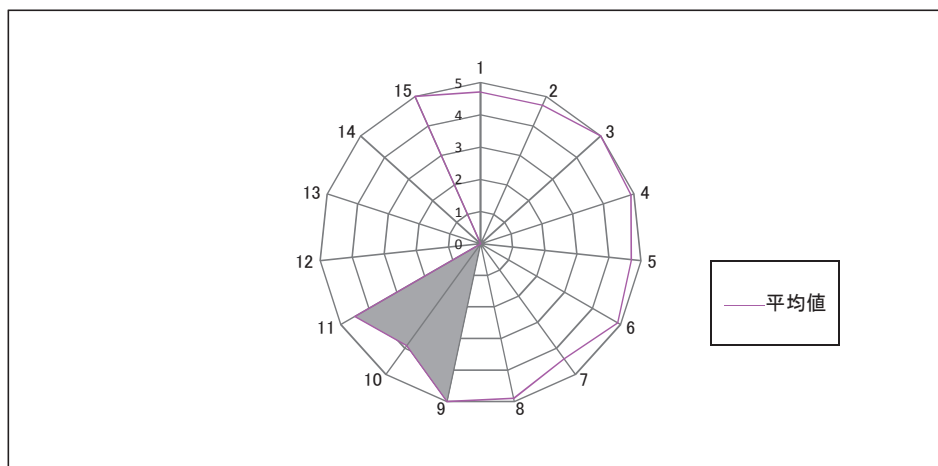
質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



授業科目名 中等家庭科教育論  
 評価実施日 令和3年7月29日  
 担当教員名 速水 多佳子

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	2	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	4	0	0	0	0	4.4
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	3	0	0	1	0	3.9
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	1	1	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	0	0	0	0	0	5.0



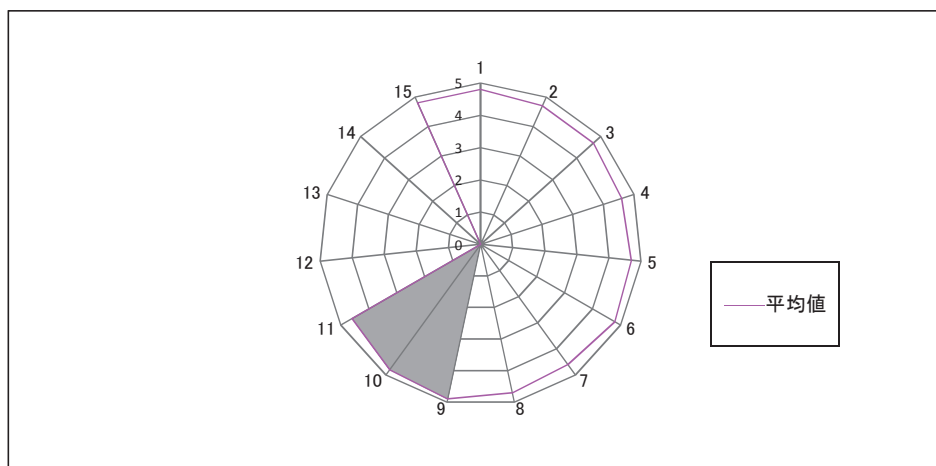
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等家庭科教材論  
 評価実施日 令和3年7月27日  
 担当教員名 西川 和孝, 金 貞均, 坂本 有芳

回答者数 13名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	10	3	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	3	1	0	0	0	4.7
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	9	4	0	0	0	0	4.7
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	4	1	0	0	0	4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	5	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	10	3	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	9	2	2	0	0	0	4.6
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	4	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	11	2	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	10	3	0	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	9	3	0	1	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	3	0	0	0	0	4.8

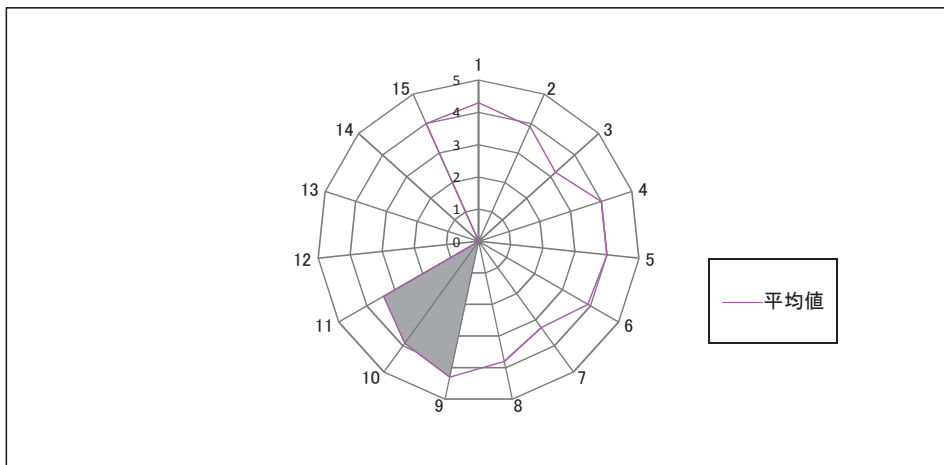


総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 教育心理学(発達心理を含む)(新課程)  
 評価実施日 令和4年2月3日  
 担当教員名 内田 香奈子, 皆川 直凡, 田村 隆宏, 浜崎 隆司, 高原 光恵 回答者数 8名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	2	2	0	0	0	4.3
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	2	2	1	0	0	3.9
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	2	3	1	1	0	3.2
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	4	2	0	0	0	4.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	4	2	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	2	2	1	0	0	3.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	2	3	2	0	0	3.3
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	3	2	1	0	0	3.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	2	2	0	0	0	4.3
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	5	2	0	0	0	3.9
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	1	6	0	0	0	3.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	3	1	1	0	0	4.0



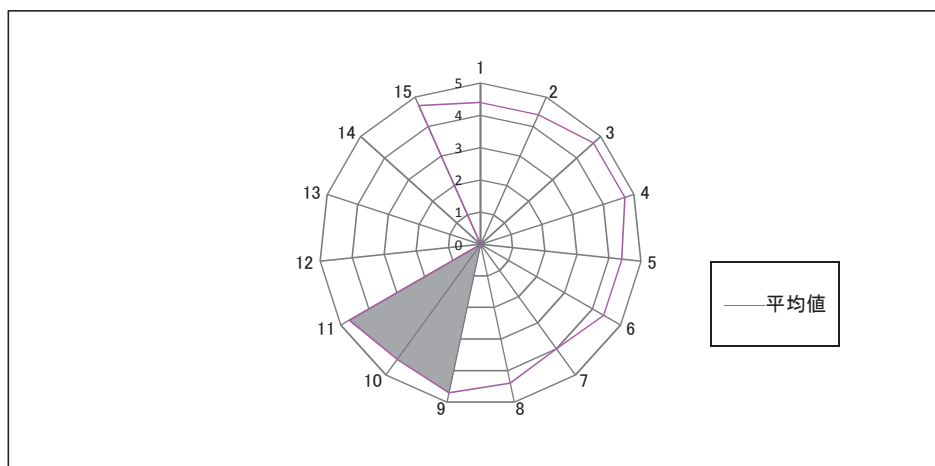
総合評価	3.8
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 教育社会学  
 評価実施日 令和4年2月7日  
 担当教員名 葛上 秀文

回答者数 3名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	2	0	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	1	1	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	2	0	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	1	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	1	0	0	0	0	4.7



総合評価 **4.5**

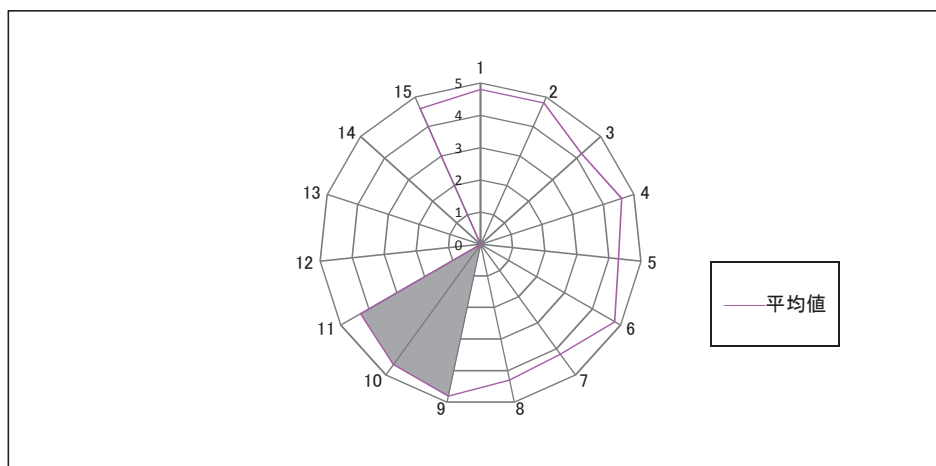
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 特別支援教育概論(新課程)A  
 評価実施日 令和4年2月7日  
 担当教員名 川田 人包

回答者数 30名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	25	3	2	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	24	4	2	0	0	0	4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	15	9	3	2	1	0	4.2
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	22	4	3	1	0	0	4.6
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	18	3	9	0	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	24	5	1	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	16	5	7	2	0	0	4.2
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	16	8	4	1	1	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	25	4	1	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	18	11	1	0	0	0	4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	15	10	4	1	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	22	6	0	2	0	0	4.6



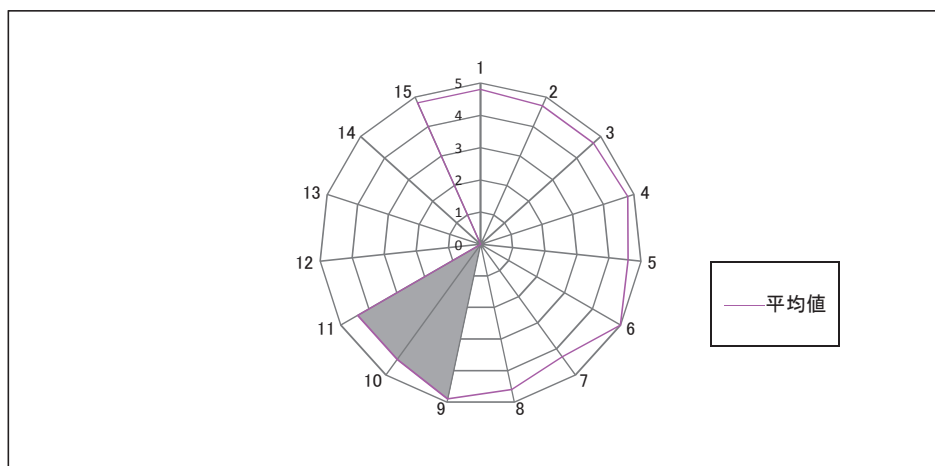
総合評価 4.5

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 特別支援教育概論(新課程)B  
 評価実施日 令和4年2月9日  
 担当教員名 川田 人包

回答者数 41名

質問項目	評価選択人数	平均値						
		5	4	3	2	1	N.A	(項目別)
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	30	10	1	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	30	10	0	1	0	0	4.7
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	29	9	3	0	0	0	4.7
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	33	7	0	1	0	0	4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	29	7	4	1	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	37	4	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	28	3	5	3	2	0	4.3
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	27	10	3	1	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	36	5	0	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	20	16	4	1	0	0	4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	24	11	4	2	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について （コア科目以外の場合は(15)へ）	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	30	10	1	0	0	0	4.8



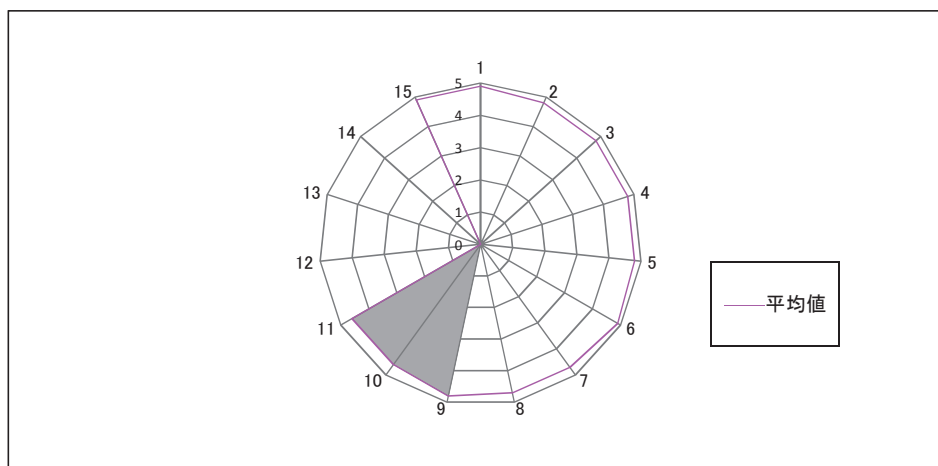
総合評価	4.7
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等社会科教育論A  
 評価実施日 令和4年2月8日  
 担当教員名 井上 奈穂

回答者数 50名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	42	8	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	39	10	1	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	41	7	2	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	39	11	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	40	10	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	45	5	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	39	6	3	2	0	0	4.7
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	36	13	0	1	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	40	10	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	31	15	4	0	0	0	4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	31	18	1	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	43	6	0	1	0	0	4.9



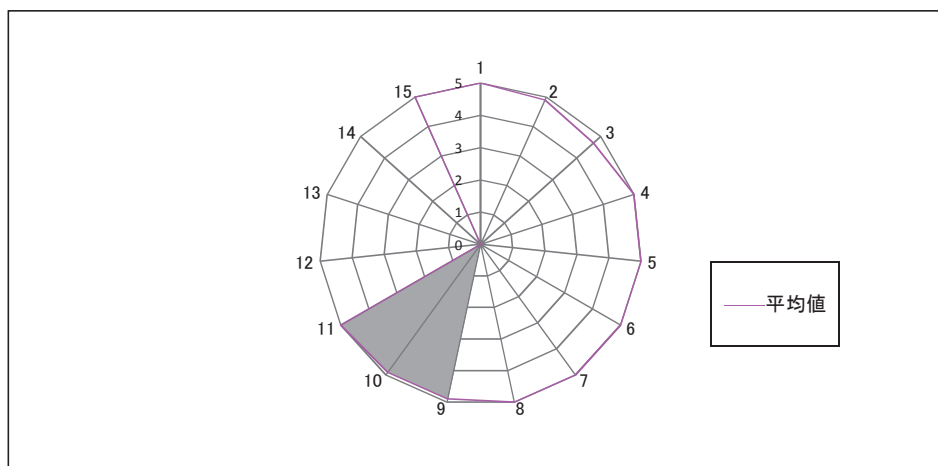
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等社会科教育論B  
 評価実施日 令和4年2月8日  
 担当教員名 坂田 大輔

回答者数 11名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	10	1	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	2	0	0	0	0	4.9
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	4	0	0	0	0	4.7
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	11	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	10	1	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	11	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	10	1	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	11	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	2	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	9	2	0	0	0	0	4.9
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	11	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	1	0	0	0	0	5.0



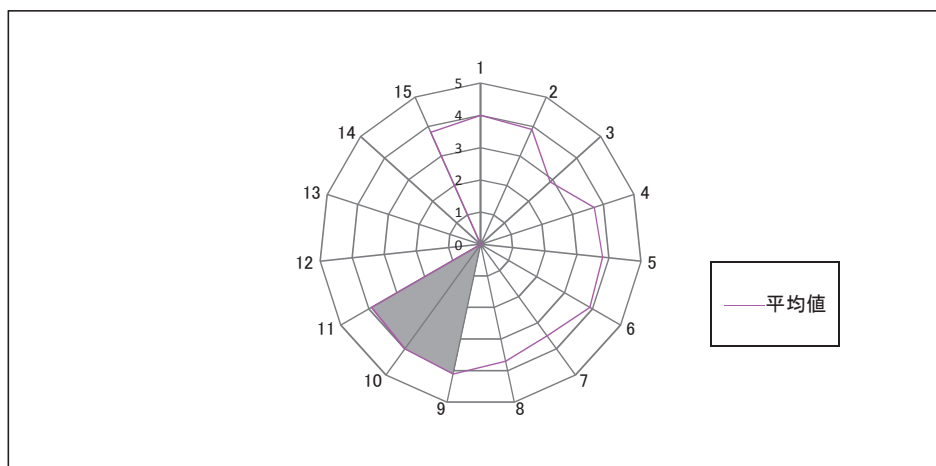
総合評価	5.0
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 算数科教育論A  
 評価実施日 令和4年2月9日  
 担当教員名 早田 透

回答者数 14名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	2	1	1	2	0	4.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	4	2	0	2	0	3.9
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	2	5	2	3	0	2.9
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	1	3	0	3	0	3.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	3	3	0	2	0	3.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	3	3	1	1	0	3.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	3	5	0	2	0	3.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	2	3	1	2	0	3.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	2	2	1	1	0	4.1
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	4	2	1	1	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	4	4	0	1	0	3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	2	2	0	3	0	3.8



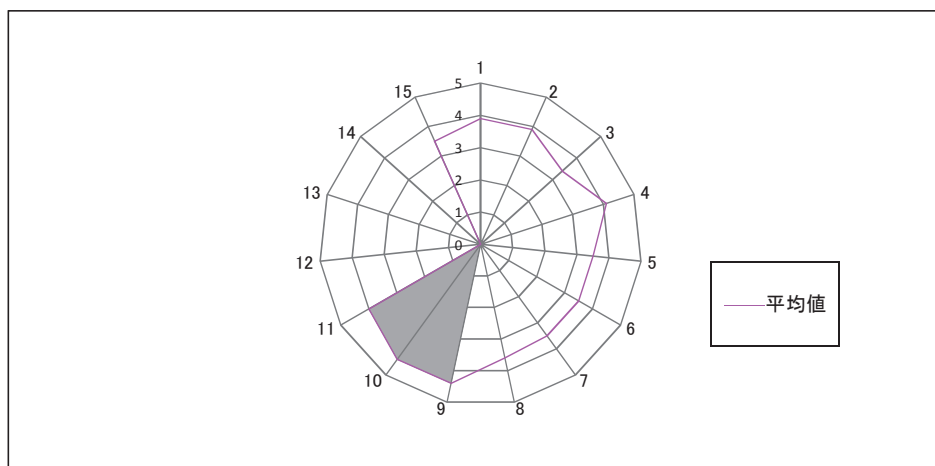
総合評価 **3.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 算数科教育論B  
 評価実施日 令和4年2月7日  
 担当教員名 早田 透

回答者数 12名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	3	2	1	1	0	3.9
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	3	2	1	1	0	3.9
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	3	1	1	3	0	3.4
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	3	0	0	2	0	4.1
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	3	0	1	3	0	3.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	2	0	3	2	0	3.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	1	5	1	1	0	3.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	1	1	2	2	0	3.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	4	2	0	0	0	4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	4	2	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	2	3	0	1	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	1	0	2	3	0	3.5



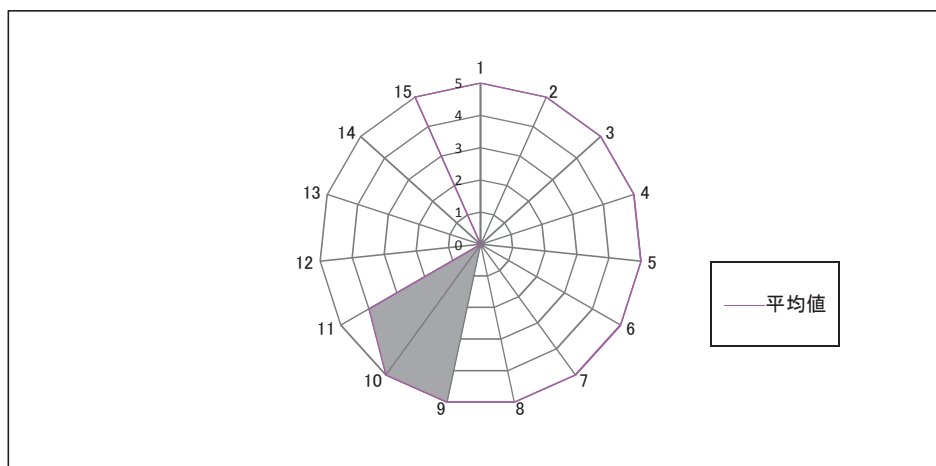
総合評価 3.7

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 生活科教育論  
 評価実施日 令和4年2月2日  
 担当教員名 金野 誠志

回答者数 1名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	1	0	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



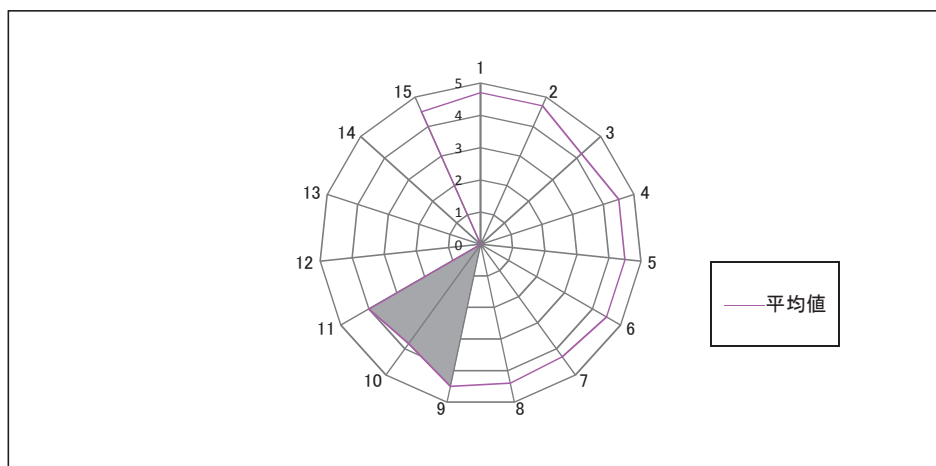
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等音楽科教育論A  
 評価実施日 令和4年2月9日  
 担当教員名 川内 由子

回答者数 8名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	1	1	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	1	1	0	0	0	4.7
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	3	2	0	0	0	4.2
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	2	1	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	2	1	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	2	1	0	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	4	1	0	0	0	4.3
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	3	1	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	2	1	0	0	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	2	4	0	0	0	3.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	6	1	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	2	1	0	0	0	4.5



総合評価 **4.5**

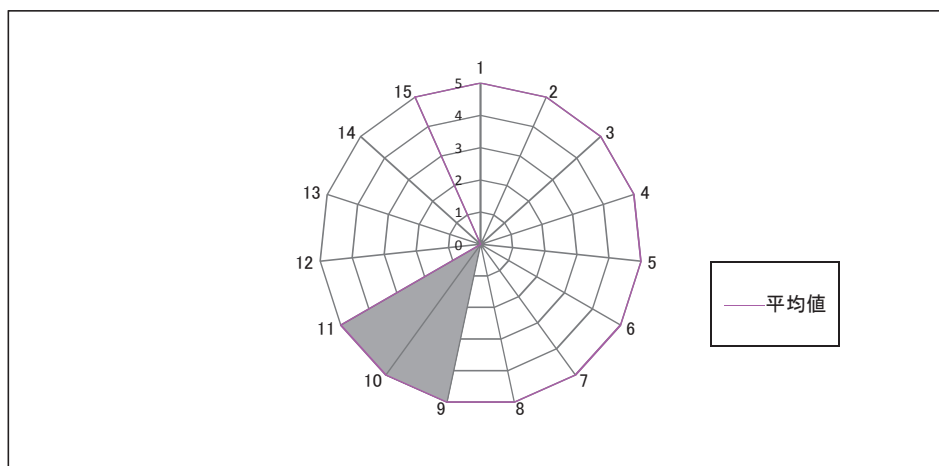
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 初等音楽科教育論B  
 評価実施日 令和4年2月9日  
 担当教員名 川内 由子

回答者数 1名

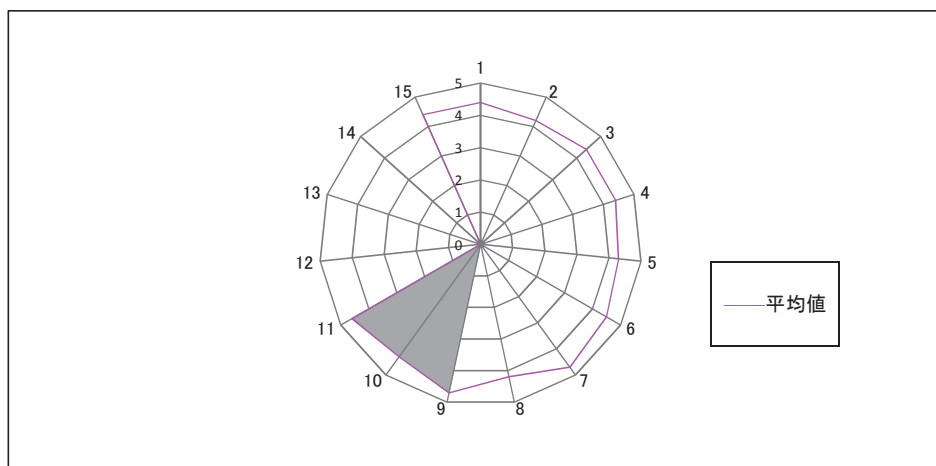
質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



授業科目名 図画工作科教育論B  
 評価実施日 令和4年2月8日  
 担当教員名 山木 朝彦

回答者数 10名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	2	0	0	1	0	4.4
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	2	1	0	1	0	4.2
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	2	0	0	1	0	4.4
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	2	0	0	1	0	4.4
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	1	1	0	1	0	4.3
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	1	0	0	1	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	9	0	0	1	0	0	4.7
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	2	1	0	1	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	0	0	1	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	3	0	0	1	0	4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	2	1	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	2	0	0	1	0	4.4



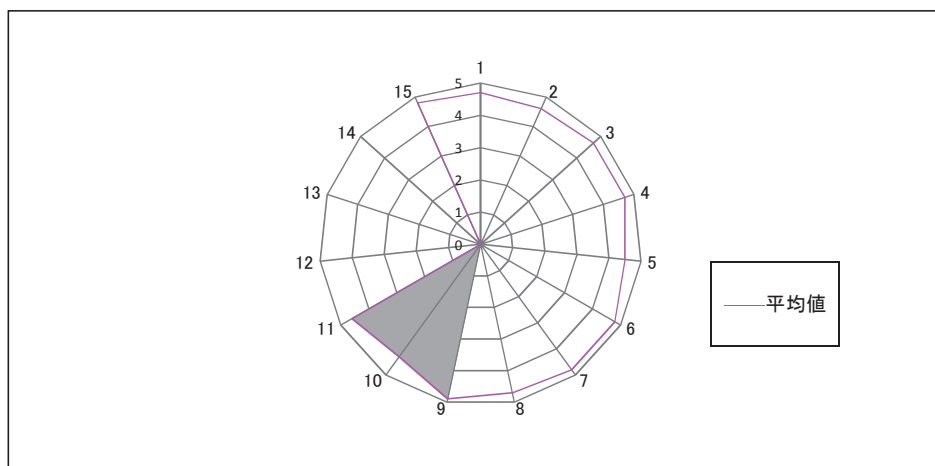
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等家庭科教育論  
 評価実施日 令和4年2月3日  
 担当教員名 福井 典代, 速水 多佳子

回答者数 88名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	61	24	3	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	57	25	5	1	0	0	4.6
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	66	18	3	1	0	0	4.7
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	60	23	4	1	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	51	29	8	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	70	17	1	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	67	18	2	0	1	0	4.8
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	60	23	5	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	74	12	2	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む) をした。	40	33	13	2	0	0	4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	56	27	5	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	68	15	4	1	0	0	4.8



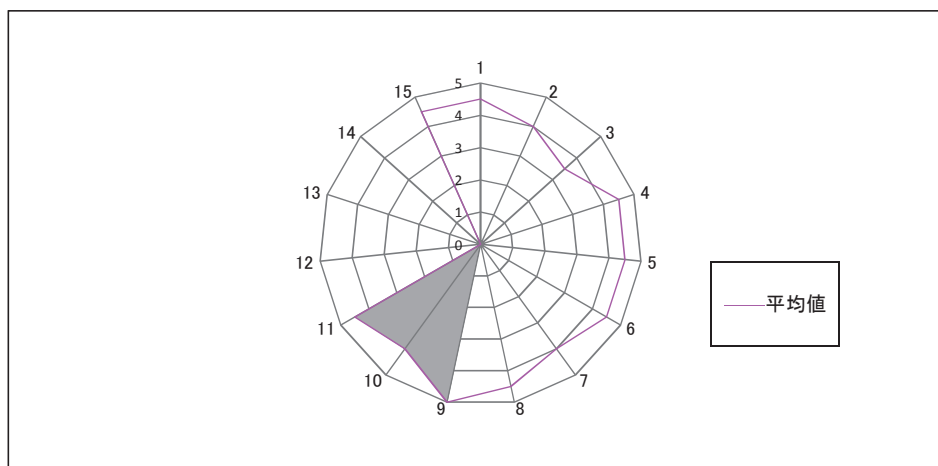
総合評価 4.7

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

授業科目名 道徳教育指導論  
 評価実施日 令和4年2月8日  
 担当教員名 池田 誠喜

回答者数 2名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	1	1	0	0	0	3.5
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	1	0	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	1	0	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	1	1	0	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	1	1	0	0	0	0	4.5



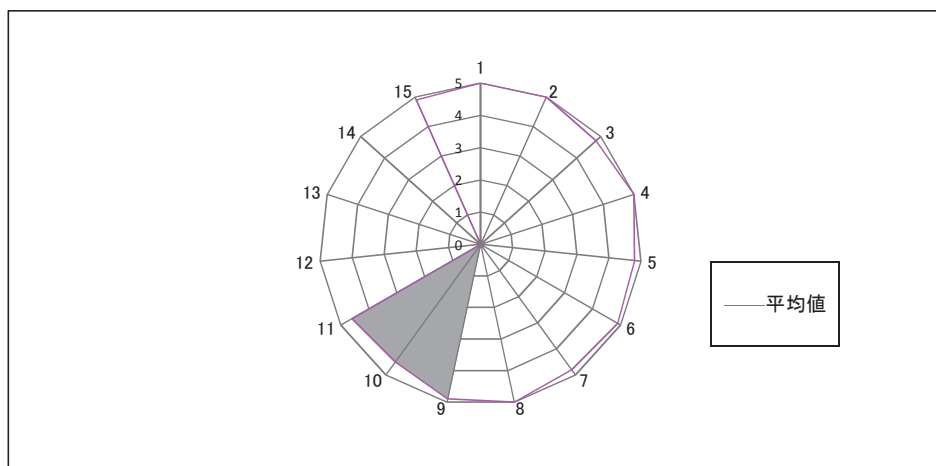
総合評価 4.3

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 保育内容(環境)  
 評価実施日 令和4年2月9日  
 担当教員名 塩路 晶子

回答者数 16名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	15	1	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	16	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	12	4	0	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	15	1	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	14	0	2	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	14	2	0	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	12	4	0	0	0	0	4.8
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	16	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	14	2	0	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	10	4	1	1	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	11	3	2	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	14	2	0	0	0	0	4.9



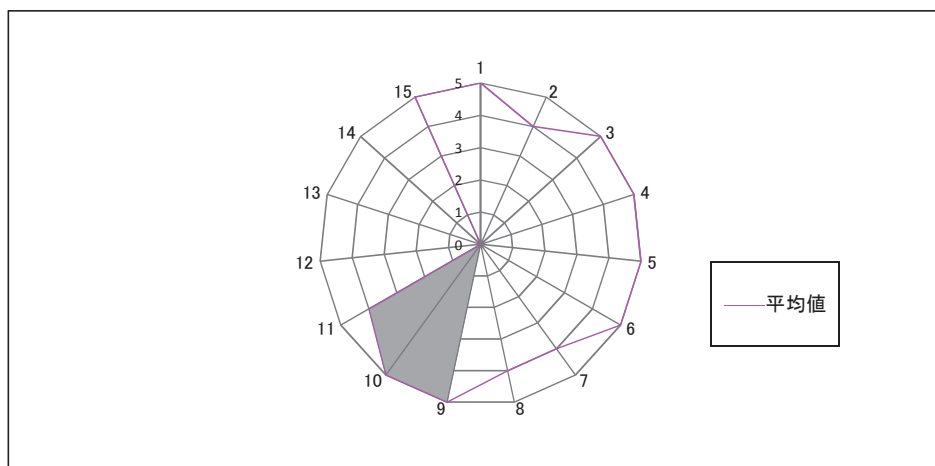
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 教育工学(旧課程)  
 評価実施日 令和4年2月7日  
 担当教員名 川上 綾子, 藤原 伸彦, 江川 克弘

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	1	0	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	1	0	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0

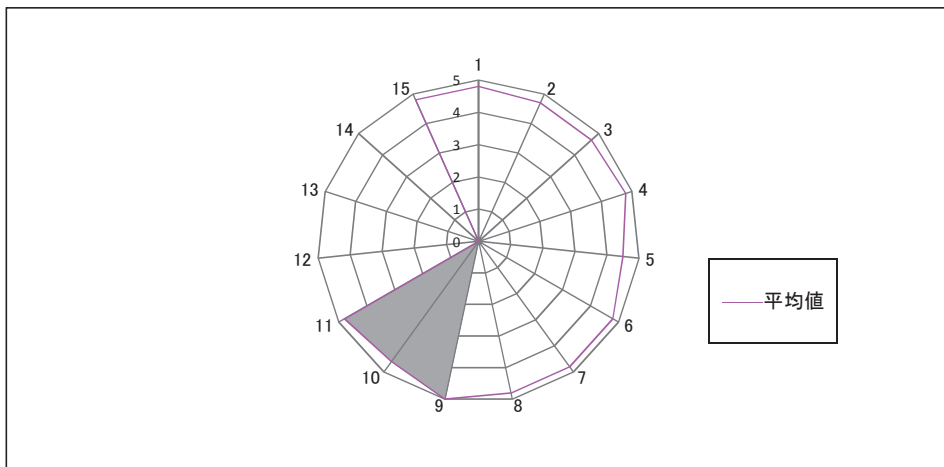


総合評価	4.7
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 教育工学(新課程)  
 評価実施日 令和4年2月7日  
 担当教員名 川上 綾子, 藤原 伸彦, 江川 克弘, 金児 正史, 泰山 裕 回答者数 31名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	22	9	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	24	5	1	1	0	0	4.7
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	21	10	0	0	0	0	4.7
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	24	7	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	19	8	4	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	24	7	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	24	7	0	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	23	8	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	28	3	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	19	10	2	0	0	0	4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	25	5	1	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	23	7	1	0	0	0	4.8



総合評価	4.7
------	-----

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 生徒指導論(進路指導を含む。)(新課程)

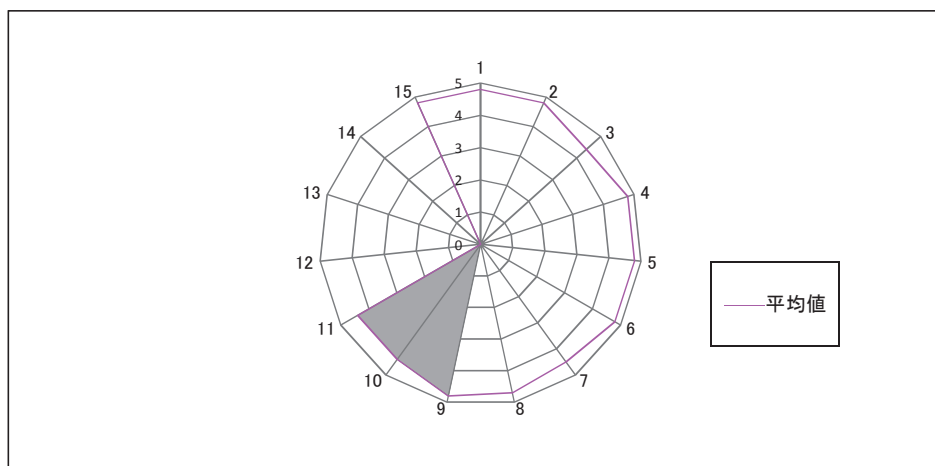
評価実施日 令和4年2月8日

担当教員名 阿形 恒秀, 小坂 浩嗣, 池田 誠喜

回答者数

34名

質問項目	評価選択人数	平均値						
		5	4	3	2	1	N.A	(項目別)
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	25	8	1	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	25	9	0	0	0	0	4.8
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	20	7	6	1	0	0	4.4
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	26	8	0	0	0	0	4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	25	8	1	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	27	7	0	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	23	5	6	0	0	0	4.5
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	22	11	1	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	24	10	0	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	18	10	6	0	0	0	4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	18	10	6	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	24	10	0	0	0	0	4.8



総合評価	4.7
------	-----

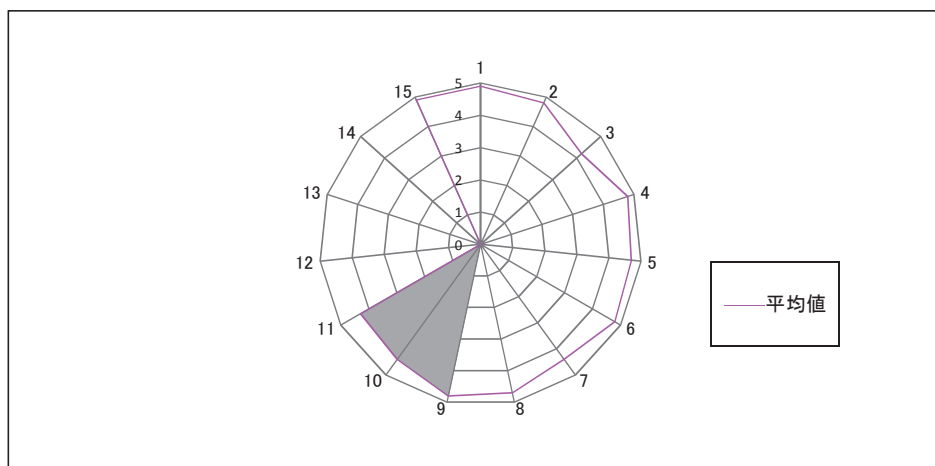
※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



授業科目名 いじめ防止論(新課程)  
 評価実施日 令和4年2月8日  
 担当教員名 阿形 恒秀, 小坂 浩嗣, 池田 誠喜

回答者数 19名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	16	3	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	15	4	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	9	5	4	1	0	0	4.2
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	14	5	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	14	4	1	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	15	4	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	10	6	3	0	0	0	4.4
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	13	5	1	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	15	3	1	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	10	6	3	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	9	6	3	1	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	17	2	0	0	0	0	4.9



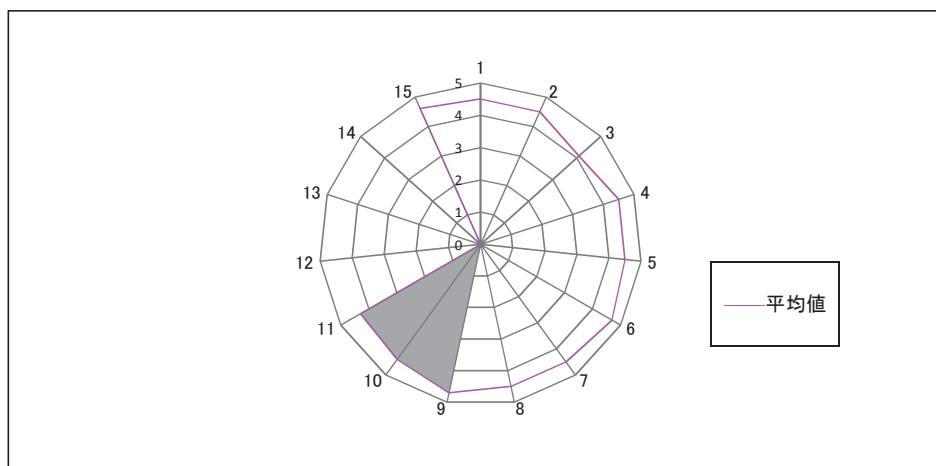
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 総合的な学習の時間の指導法(新課程)  
 評価実施日 令和3年12月25日  
 担当教員名 村川 雅弘

回答者数 22名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.1
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						4.5
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						4.6



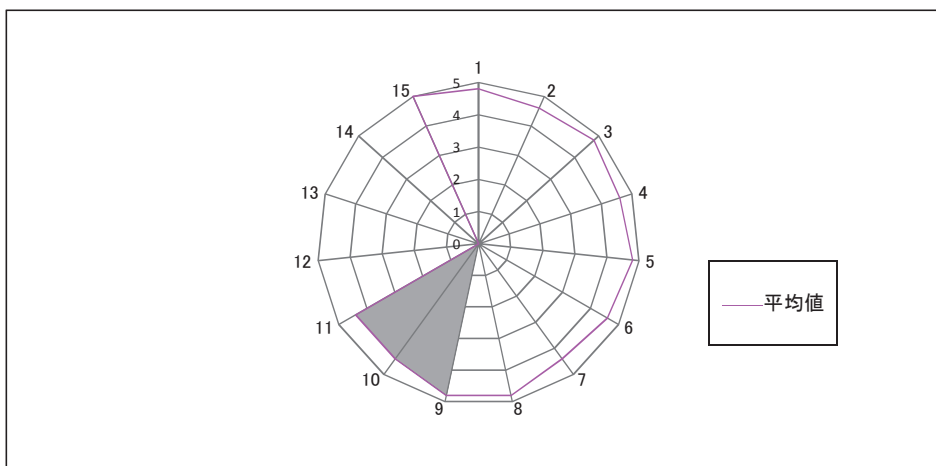
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等国語科教材論  
 評価実施日 令和4年2月2日  
 担当教員名 余郷 裕次

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.8
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.4
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



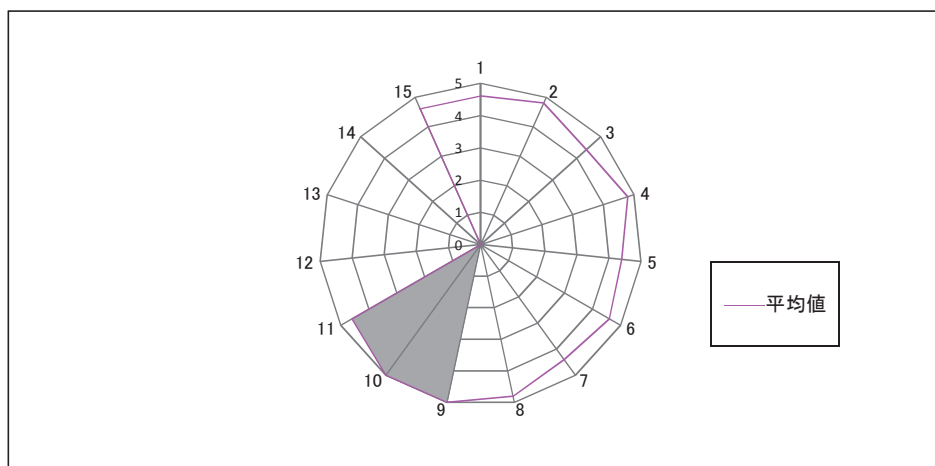
**総合評価** 4.7

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等国語科授業論  
 評価実施日 令和4年2月7日  
 担当教員名 幾田 伸司

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	0	1	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	0	0	1	0	0	4.4
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	0	0	1	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	0	1	0	0	0	4.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	0	0	1	0	0	4.4
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	2	0	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	0	1	0	0	0	4.6



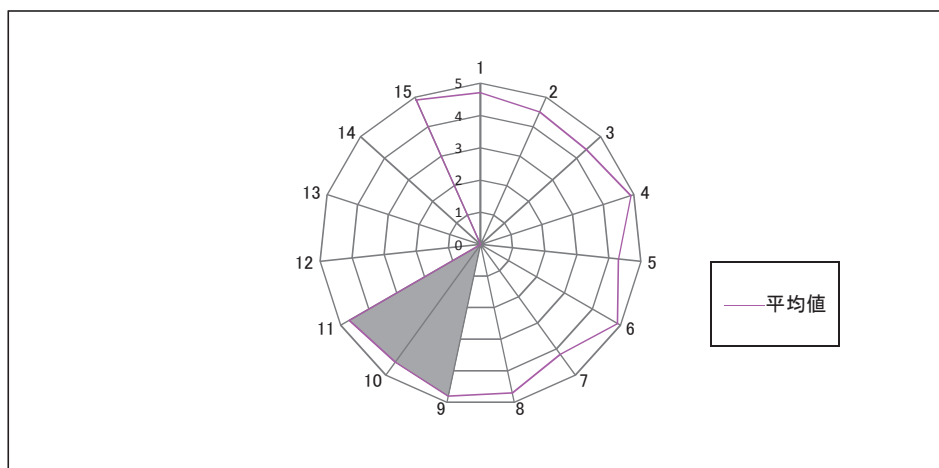
総合評価 4.6

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語科教育論Ⅱ  
 評価実施日 令和4年2月2日  
 担当教員名 山森 直人

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	3	0	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	2	1	0	0	0	4.5
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	1	2	0	0	0	4.4
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	2	2	0	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	1	3	0	0	0	4.2
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	3	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	2	1	0	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	1	1	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	1	0	0	0	0	4.9



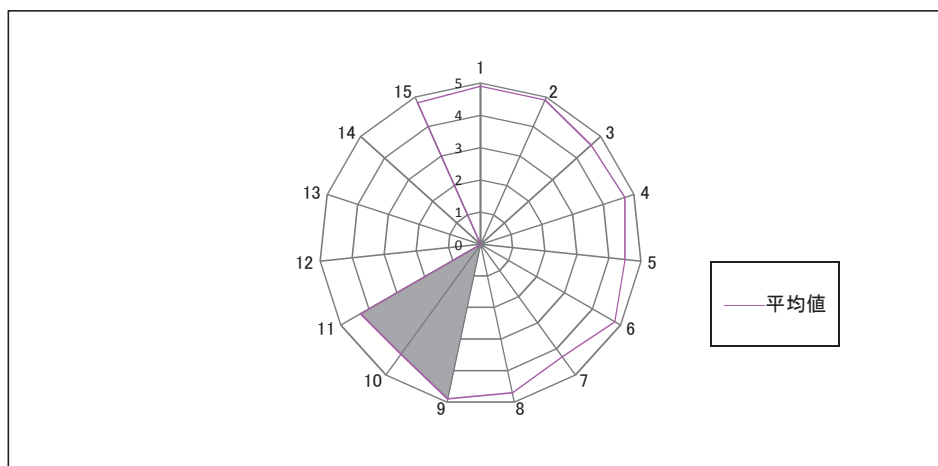
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語科教育論Ⅳ  
 評価実施日 令和4年2月8日  
 担当教員名 山森 直人

回答者数 9名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	2	1	0	0	0	4.6
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	6	3	0	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	3	1	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	7	2	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	3	5	1	0	0	0	4.3
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	3	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	4	2	0	0	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	4	3	2	0	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	7	2	0	0	0	0	4.8



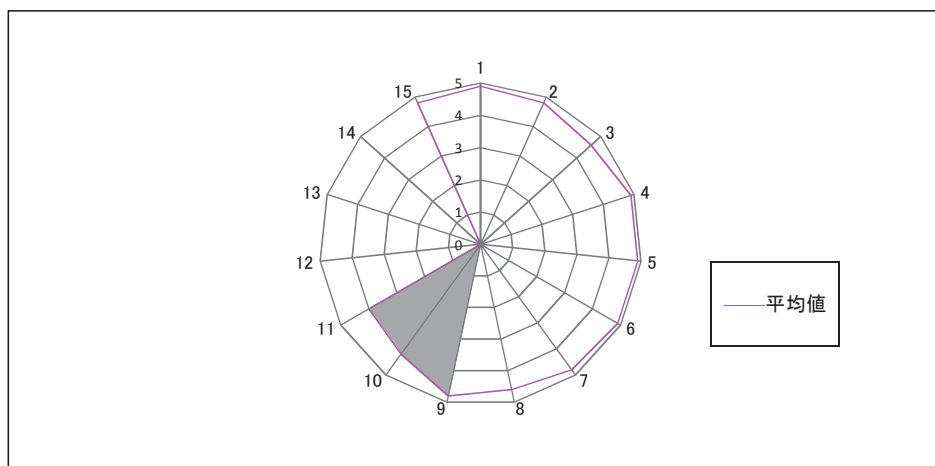
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等社会科教育論  
 評価実施日 令和4年2月3日  
 担当教員名 梅津 正美

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	3	0	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	4	1	0	0	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	2	3	2	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	5	2	0	0	0	0	4.8



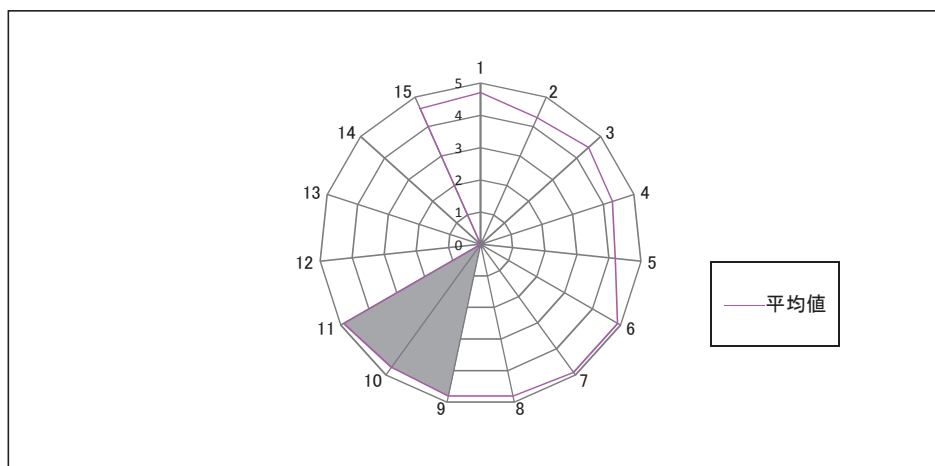
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 社会科・公民科教材論  
 評価実施日 令和4年2月8日  
 担当教員名 井上 奈穂

回答者数 9名

質問項目	評価選択人数	平均値						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	7	1	1	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	5	1	0	0	0	4.3
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	3	1	0	0	0	4.5
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	4	3	2	0	0	0	4.3
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	4	2	0	0	0	4.2
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	2	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	7	2	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	3	0	0	0	0	4.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	8	1	0	0	0	0	4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	6	2	1	0	0	0	4.6



総合評価 **4.6**

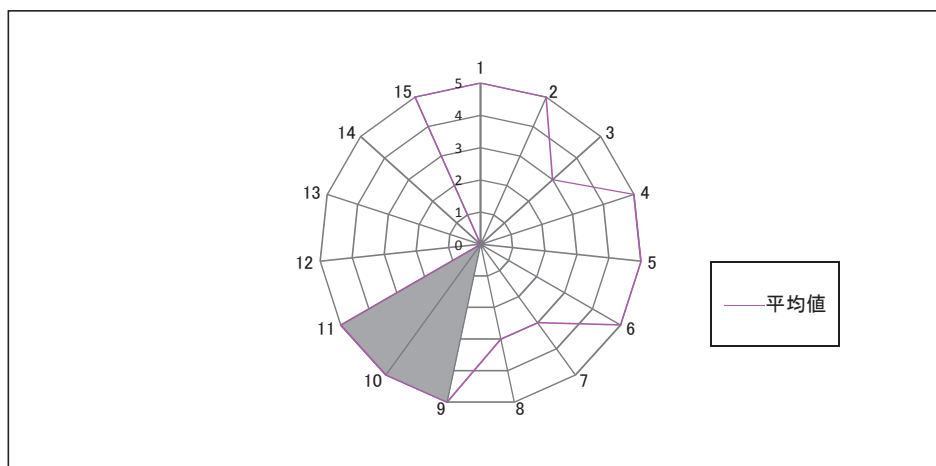
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 数学科教育論  
 評価実施日 令和4年2月8日  
 担当教員名 早田 透

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	1	0	0	0	3.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



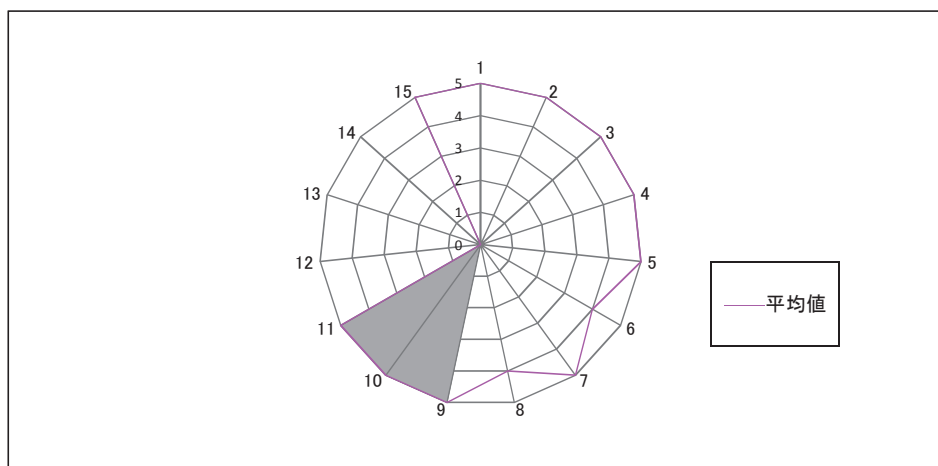
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等音楽科教材論(新課程)  
 評価実施日 令和4年2月3日  
 担当教員名 鉄口 真理子

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	1	0	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



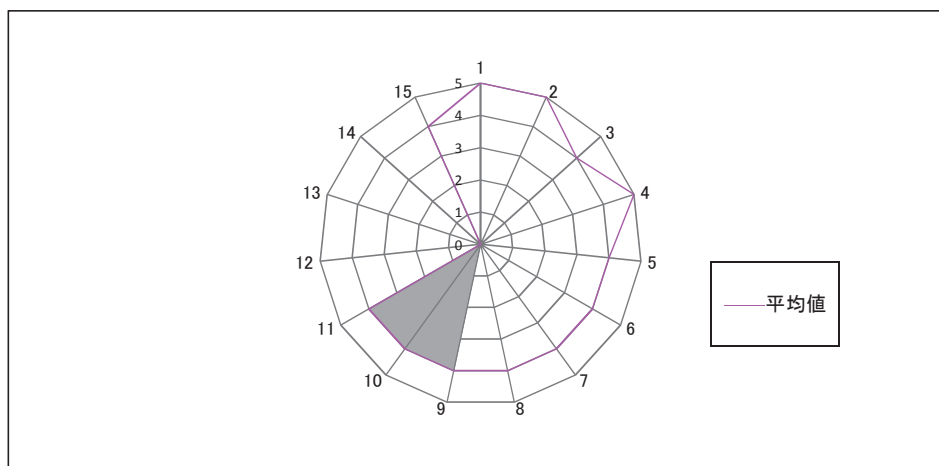
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 美術科授業論  
 評価実施日 令和4年2月3日  
 担当教員名 山木 朝彦

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	1	0	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	1	0	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	1	0	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	0	1	0	0	0	0	4.0



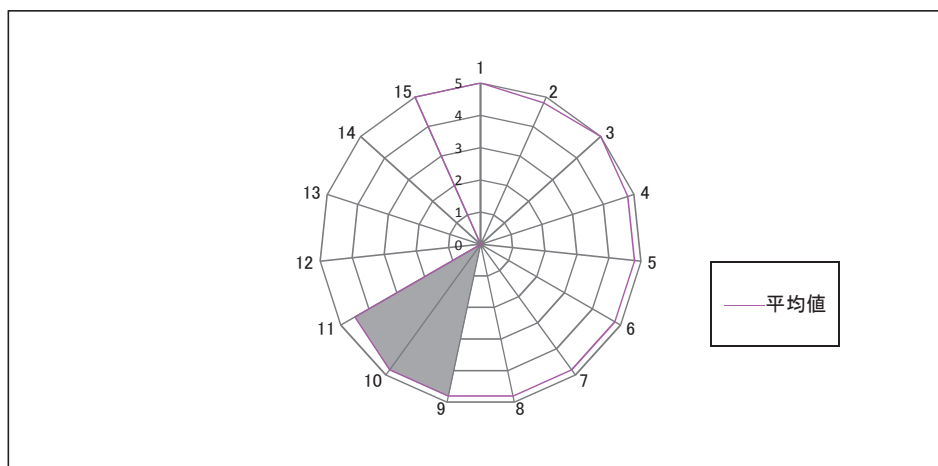
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 美術科教材論  
 評価実施日 令和4年2月9日  
 担当教員名 山田 芳明

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



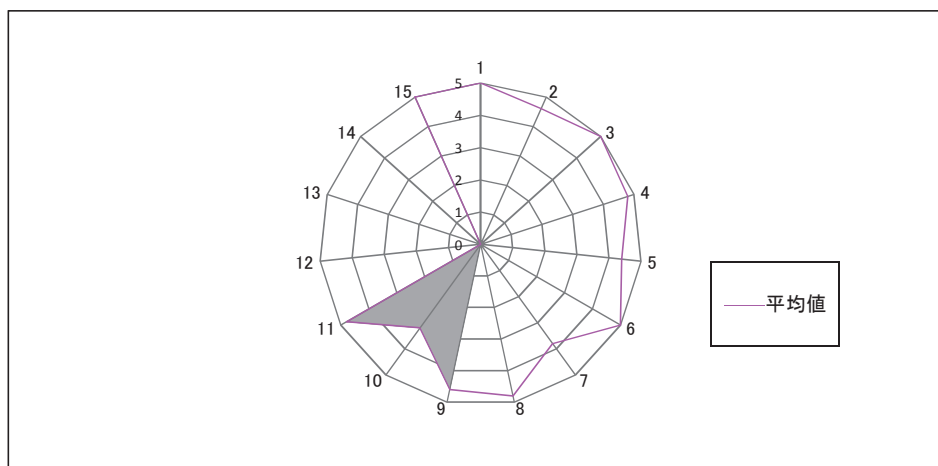
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 保健体育科教育論Ⅱ  
 評価実施日 令和4年2月3日  
 担当教員名 湯口 雅史

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	1	1	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	0	3	0	0	0	3.8
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	0	1	0	0	0	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	1	1	2	0	0	3.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	1	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	0	5.0



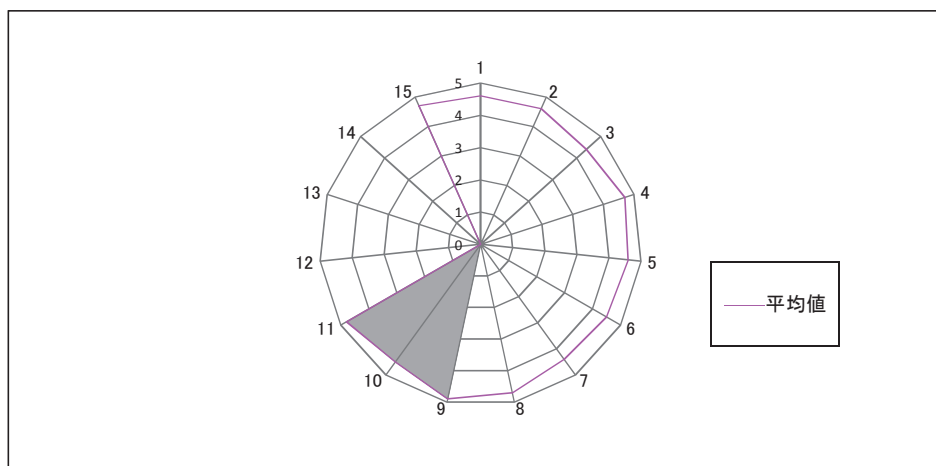
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 保健体育科教育論IV  
 評価実施日 令和4年2月8日  
 担当教員名 松井 敦典, 湯口 雅史

回答者数 14名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	4	1	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	4	1	0	0	0	4.6
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	4	1	1	0	0	4.4
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	5	0	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	9	4	1	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	5	0	1	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	3	3	0	0	0	4.4
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	5	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	12	2	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	10	2	1	1	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	11	3	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	9	5	0	0	0	0	4.7



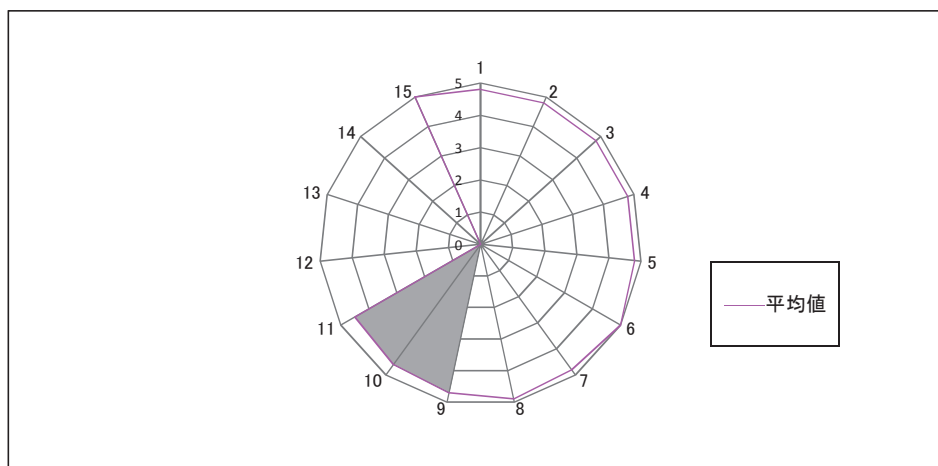
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 情報科教育論 I  
 評価実施日 令和3年12月27日  
 担当教員名 森山 潤

回答者数 24名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	18	5	1	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	18	5	1	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	17	7	0	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	17	7	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	18	6	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	22	2	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	17	7	0	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	21	3	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	19	2	3	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	15	7	2	0	0	0	4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	14	7	3	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	23	1	0	0	0	0	5.0



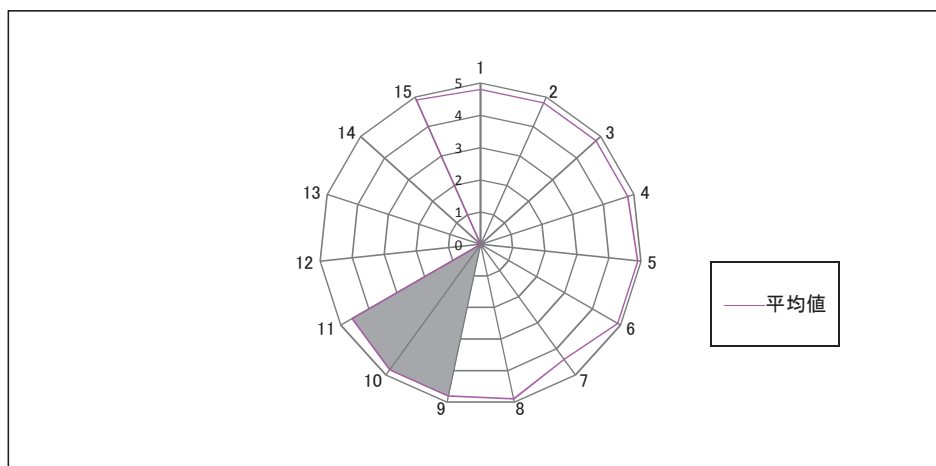
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等家庭科授業論  
 評価実施日 令和4年2月3日  
 担当教員名 速水 多佳子

回答者数 10名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	9	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	2	2	0	0	0	4.4
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	2	1	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	9	1	0	0	0	0	4.9



総合評価 **4.8**

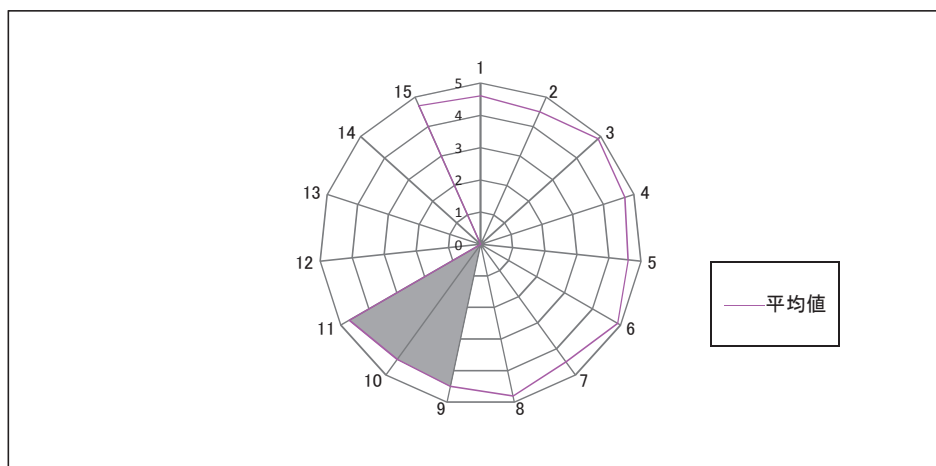
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 主免事前事後指導(初等)(新課程)  
 評価実施日 令和3年11月17日  
 担当教員名 湯口 雅史, 尾関 美和, 坂口 純子

回答者数 12名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	1	2	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	4	1	0	0	0	4.5
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	10	2	0	0	0	0	4.9
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	4	0	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	3	1	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	10	2	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	4	1	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	3	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	10	0	1	0	1	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	8	1	2	1	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	4	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	4	0	0	0	0	4.7



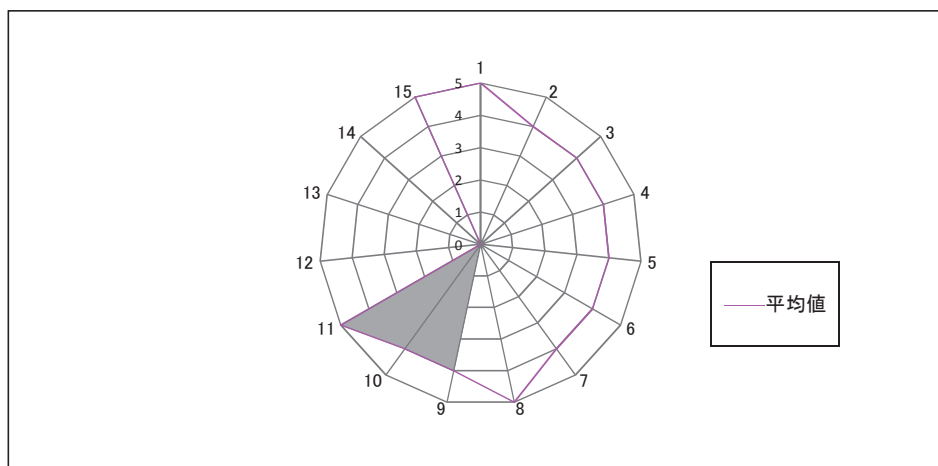
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 主免事前事後指導(中等)(新課程)  
 評価実施日 令和3年11月17日  
 担当教員名 湯口 雅史, 尾関 美和, 坂口 純子

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	1	0	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

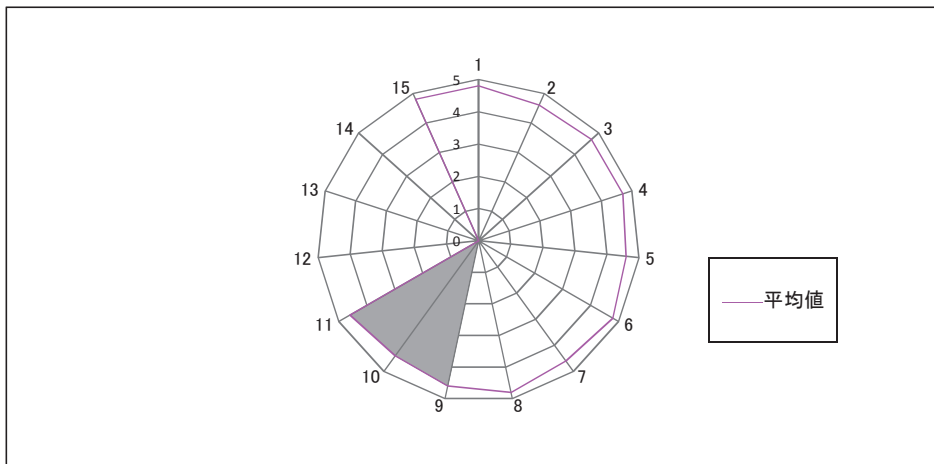
授業科目名 教職実践演習(幼・小・中・高)

評価実施日 令和4年1月30日

担当教員名 湯地 宏樹, 幾田 伸司, 佐藤 美智子, 梅津 正美, 秋田 美代, 寺島 幸生, 森 正, 山本 朝彦, 松井 敦典, 尾崎 士郎, 黒川 衣代, 湯口 雅史, 川上 綾子, 大谷 博俊, 尾関 美和

回答者数 25名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題,成績評価の方法が明確に示され,その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は,シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業では,シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.7
	(4)授業内容は,授業の目標とつなげて,教養を深めたり,教育の見方・考え方,専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は,適切なものだった。						4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が,必要に応じて行われた。						4.6
	(8)授業方法は,学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し,積極的に取り組んだ。						4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。						4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり,他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ,教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され,授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して,この授業は満足できるものであった。						4.8



総合評価 4.7

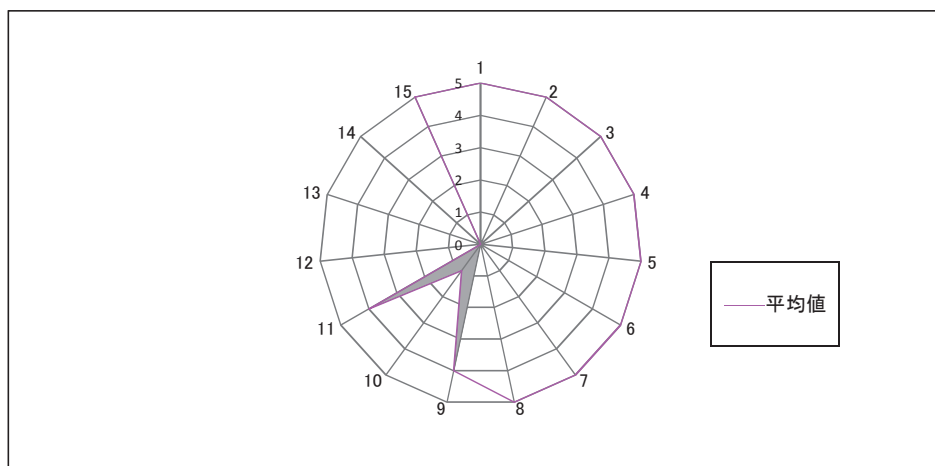
※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

# 專 修 專 門 科 目

授業科目名 学校制度と教育法規(旧課程)  
 評価実施日 令和3年8月2日  
 担当教員名 石村 雅雄, 大林 正史, 内田 沙希

回答者数 1名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	0	0	0	1	0	1.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	1	0	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



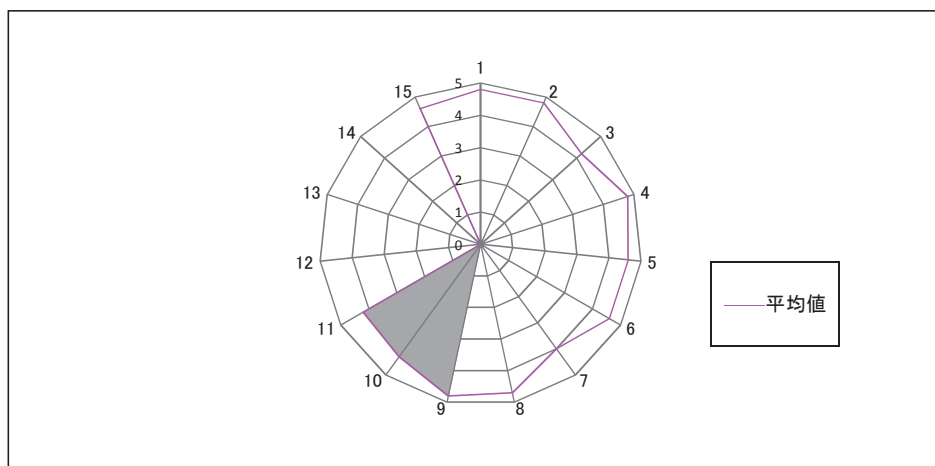
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等社会  
 評価実施日 令和3年7月26日  
 担当教員名 伊藤 直之

回答者数 29名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	23	5	1	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	23	5	1	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	14	7	6	2	0	0	4.2
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	22	6	1	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	18	8	3	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	18	10	1	0	0	0	4.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	13	3	12	0	1	0	4.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	21	6	2	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	22	6	1	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	15	10	2	1	1	0	4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	15	8	4	0	2	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	18	10	1	0	0	0	4.6



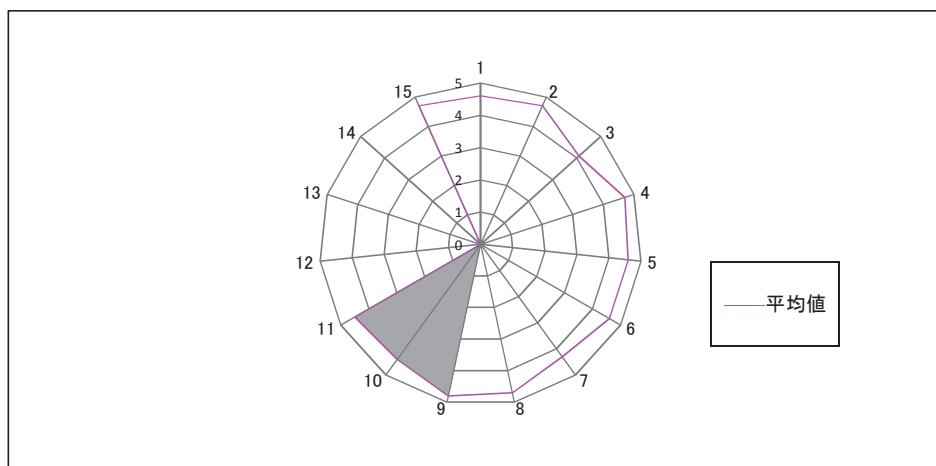
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 算数A  
 評価実施日 令和3年8月3日  
 担当教員名 佐伯 昭彦

回答者数 34名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	23	9	1	1	0	0	4.6
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	22	12	0	0	0	0	4.7
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	20	4	4	5	1	0	4.1
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	23	10	0	1	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	23	8	3	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	24	8	1	0	1	0	4.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	18	8	7	0	1	0	4.3
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	23	11	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	27	6	1	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	17	11	6	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	21	9	2	2	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	22	11	1	0	0	0	4.7



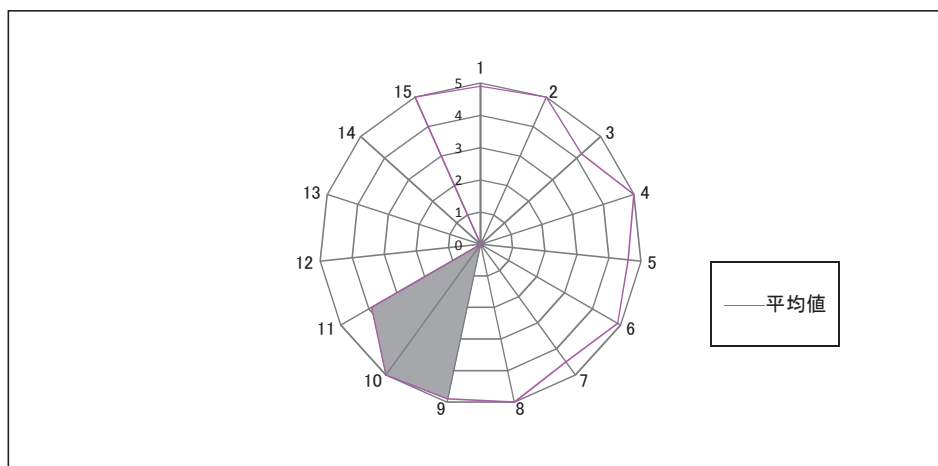
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 算数B  
 評価実施日 令和3年8月3日  
 担当教員名 佐伯 昭彦

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.2
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						4.5
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						5.0



総合評価 **4.8**

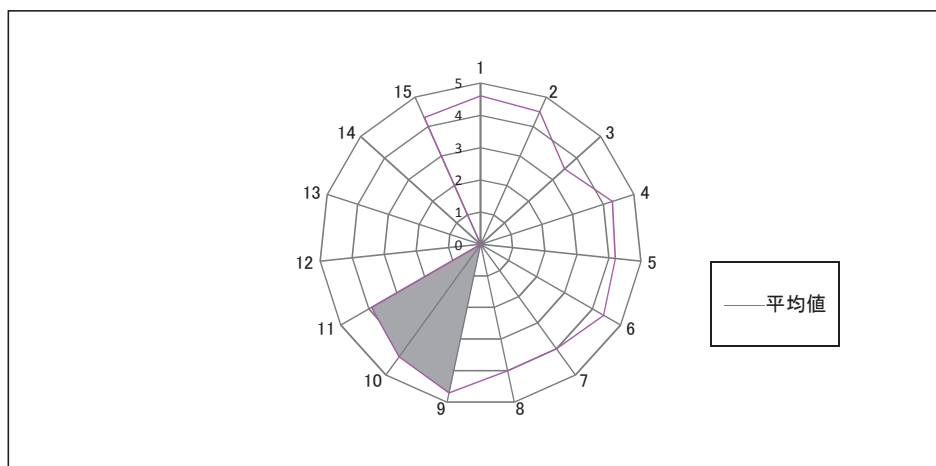
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 生活A  
 評価実施日 令和3年8月3日  
 担当教員名 田岡 佳美

回答者数 57名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						3.5
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.2
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.4
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.3



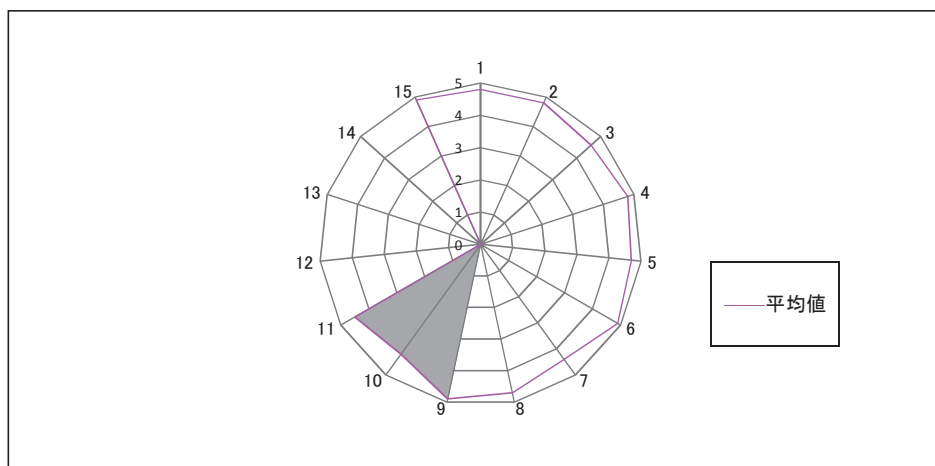
総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 図画工作 I A  
 評価実施日 令和3年8月6日  
 担当教員名 鈴木 久人, 栗原 慶

回答者数 54名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	40	14	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	40	14	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	34	14	6	0	0	0	4.6
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	38	16	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	36	15	3	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	44	10	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	28	20	5	1	0	0	4.4
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	38	14	2	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	45	8	1	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	28	12	10	1	3	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	30	20	3	0	1	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	46	8	0	0	0	0	4.9



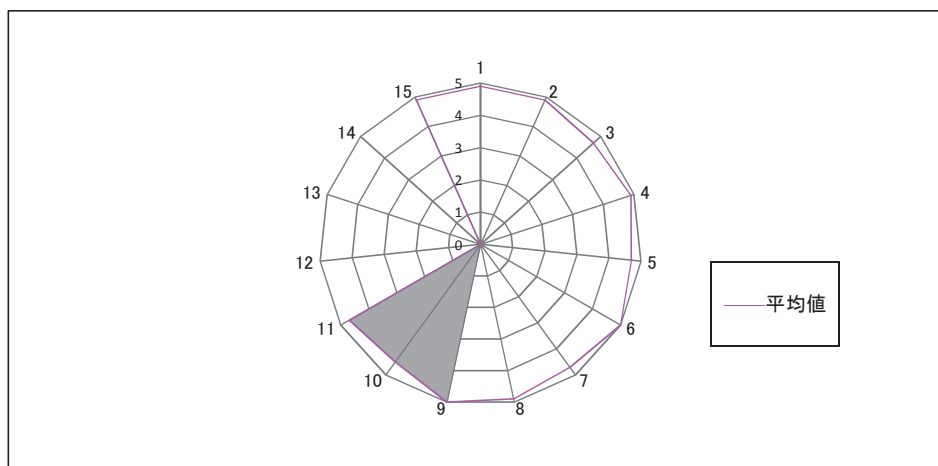
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 図画工作 I B  
 評価実施日 令和3年8月6日  
 担当教員名 内藤 隆, 井上 史朗

回答者数 42名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	37	5	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	36	6	0	0	0	0	4.9
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	32	7	3	0	0	0	4.7
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	35	7	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	32	6	4	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	39	3	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	31	9	2	0	0	0	4.7
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	35	6	1	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	38	4	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	26	8	7	1	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	31	9	2	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	37	5	0	0	0	0	4.9



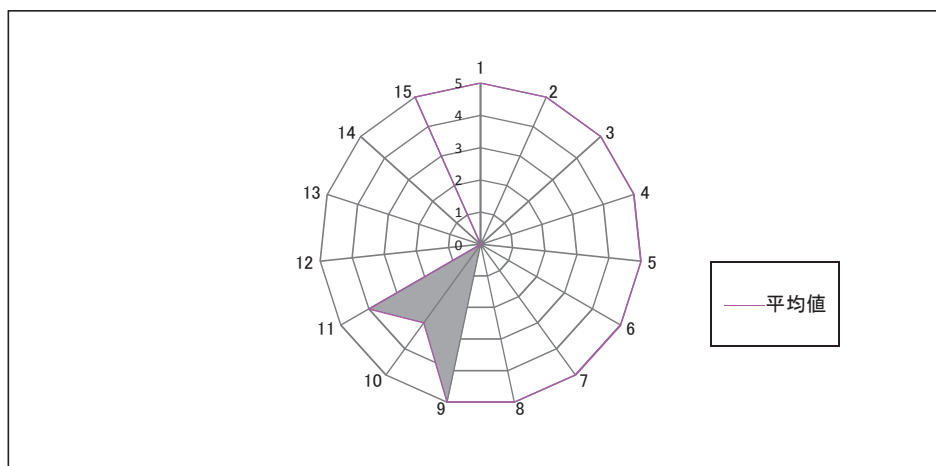
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 図画工作 I C  
 評価実施日 令和3年8月6日  
 担当教員名 石井 一次

回答者数 1名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	1	0	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0

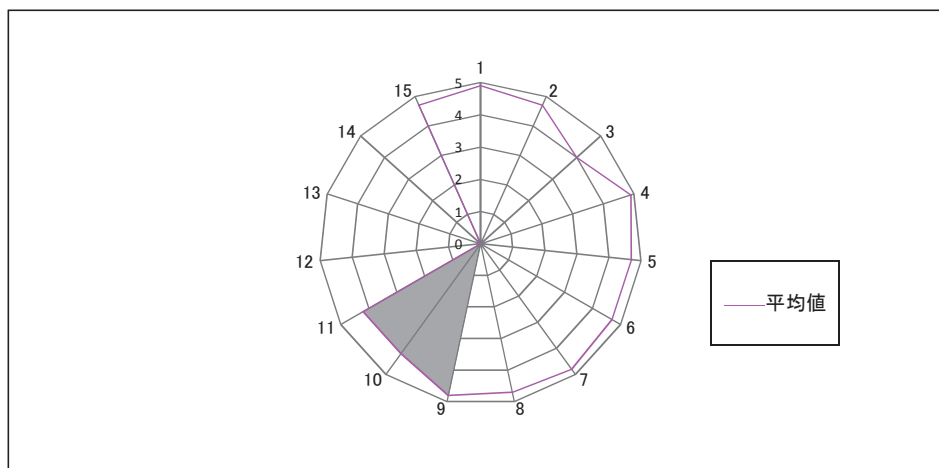


総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等家庭  
 評価実施日 令和3年7月29日  
 担当教員名 坂本 有芳, 福井 典代, 金 貞均, 西川 和孝, 黒川 衣代 回答者数 31名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	25	6	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	22	8	1	0	0	0	4.7
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	12	9	8	2	0	0	4.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	25	6	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	22	8	1	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	21	10	0	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	22	9	0	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	21	10	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	23	8	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	14	9	6	2	0	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	14	9	6	2	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	23	7	0	1	0	0	4.7



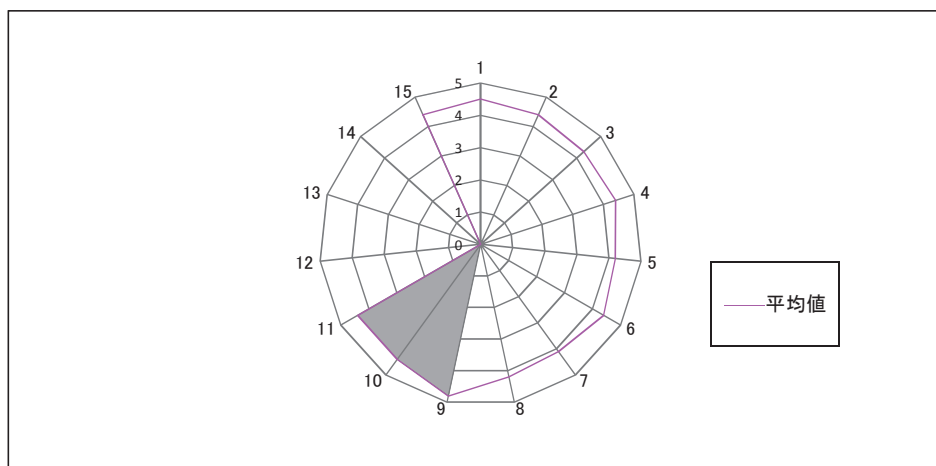
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等英語(新課程)  
 評価実施日 令和3年7月30日  
 担当教員名 藪下 克彦, 眞野 美穂, 佐藤 美智子

回答者数 16名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.3
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.2
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.4
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.1
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。						4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.4



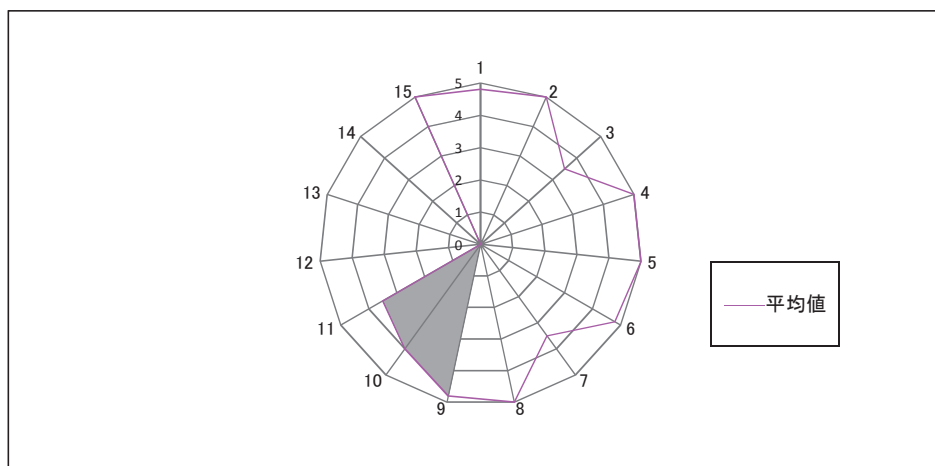
総合評価 4.3

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 幼児と表現(新課程)  
 評価実施日 令和3年8月25日  
 担当教員名 加藤 あや子, 谷口 幹也

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						3.5
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						3.5
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						3.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						5.0



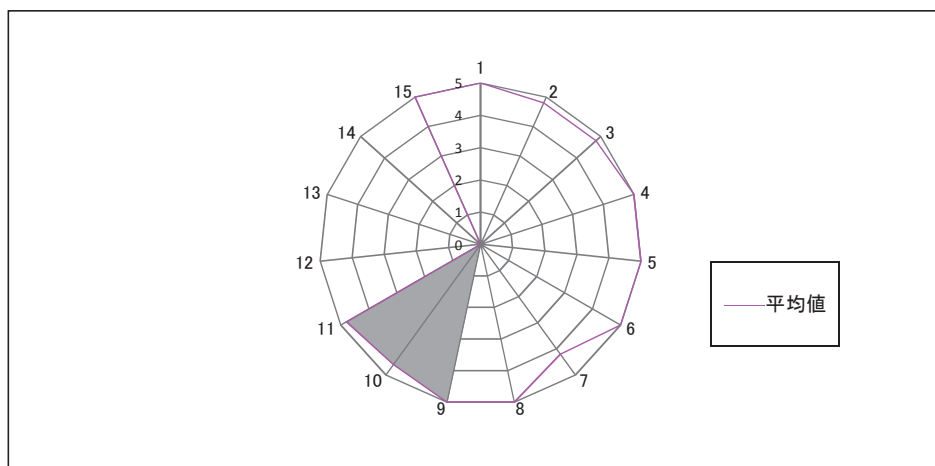
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 社会福祉論  
 評価実施日 令和3年7月30日  
 担当教員名 木村 直子

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.8
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.2
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



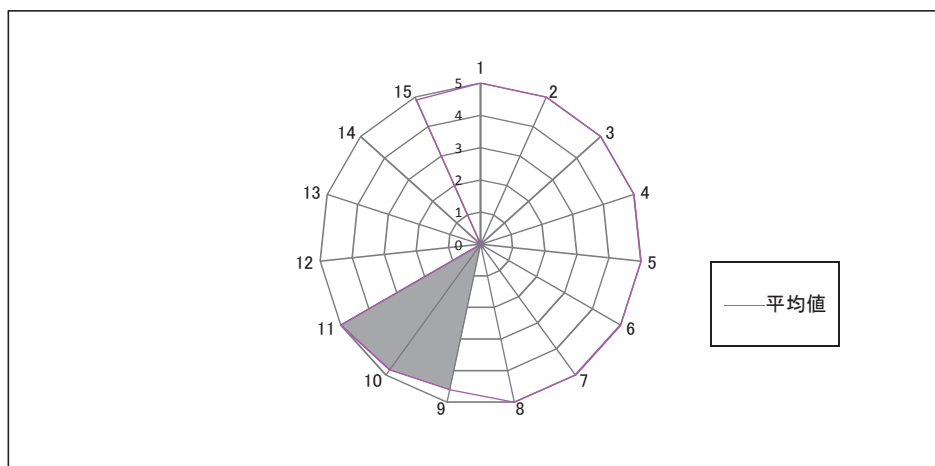
授業科目名 子ども家庭支援の心理学(新課程)

評価実施日 令和3年7月30日

担当教員名 木村 直子

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	1	0	0	0	0	4.9



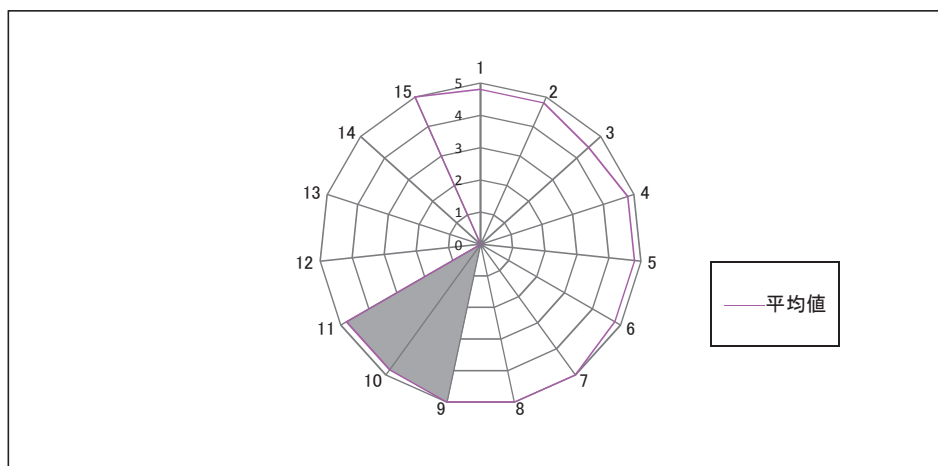
総合評価	5.0
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 子ども家庭福祉(新課程)  
 評価実施日 令和3年7月27日  
 担当教員名 木村 直子

回答者数 4名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	1	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	0	5.0



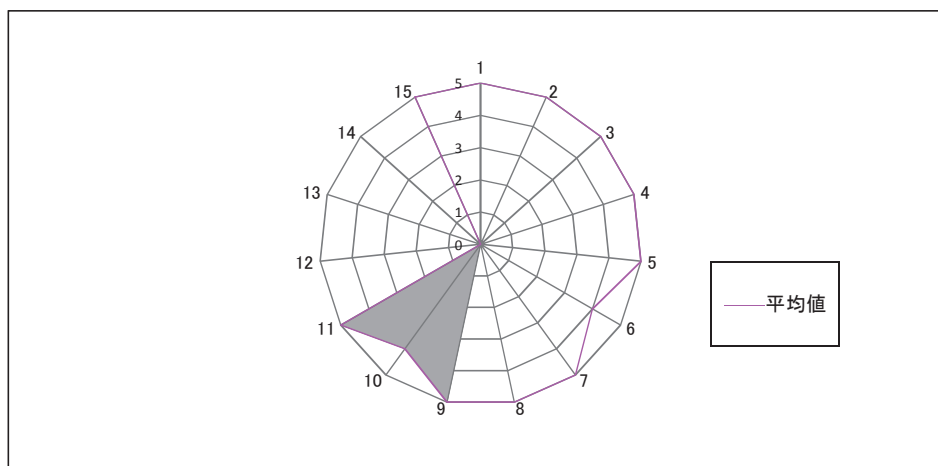
総合評価	4.8
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 子どもの健康と安全(新課程)  
 評価実施日 令和3年5月18日  
 担当教員名 小川 由紀子

回答者数 1名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



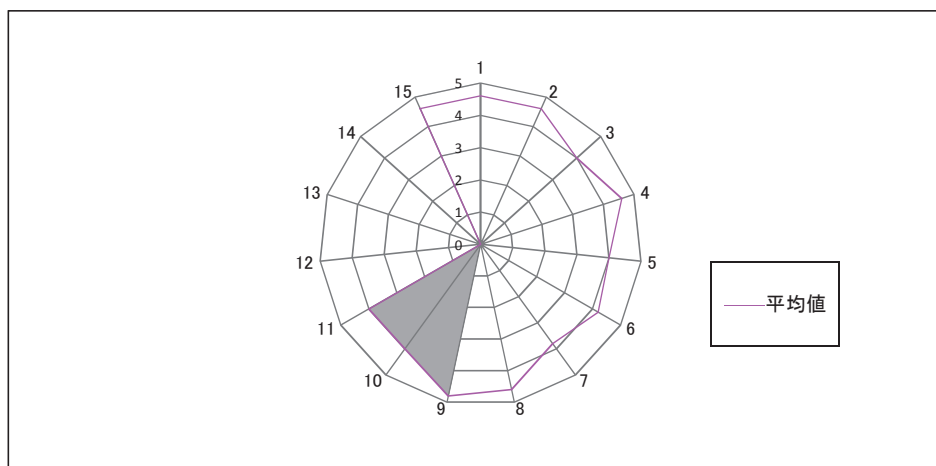
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 社会的養護Ⅱ(新課程)  
 評価実施日 令和3年8月26日  
 担当教員名 金子 龍太郎

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	1	1	0	0	4.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	1	2	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	4	0	0	0	0	4.2
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	2	2	0	0	0	3.8
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	2	0	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	2	0	1	0	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	2	0	1	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	2	0	0	0	0	4.6



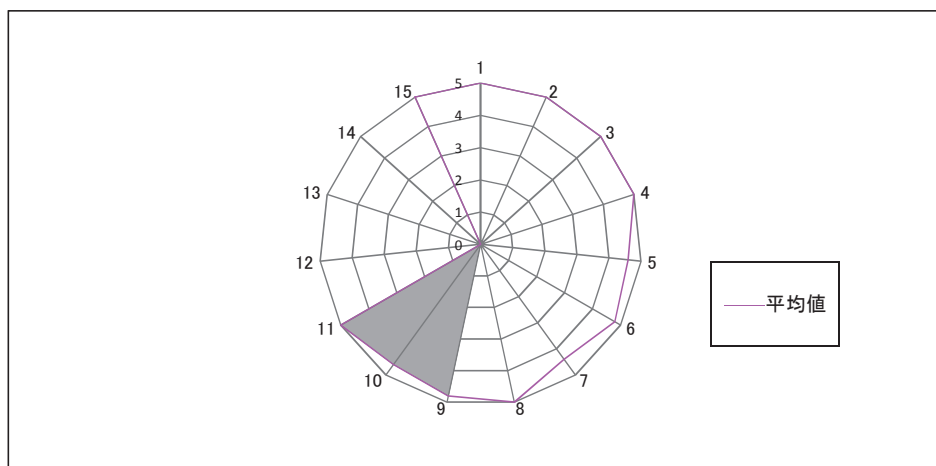
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 乳児保育 I (新課程)  
 評価実施日 令和3年7月28日  
 担当教員名 塩路 晶子

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						5.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						4.4
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						5.0



総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

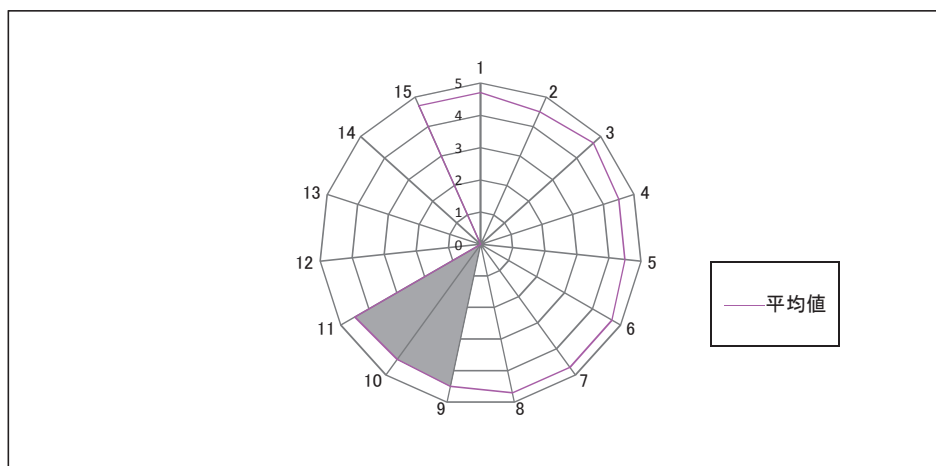
授業科目名 国語学概論(音声言語・文章表現を含む。)

評価実施日 令和3年8月23日

担当教員名 齊藤 学

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.7
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



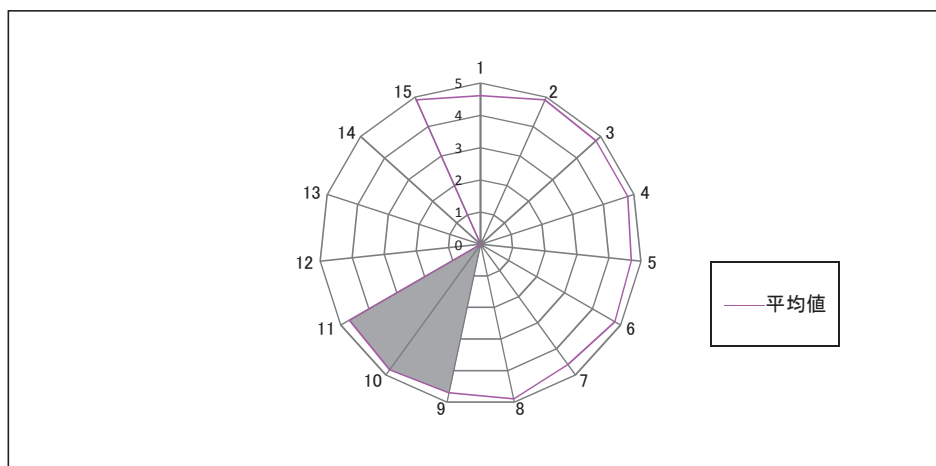
総合評価	4.6
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国語学Ⅱ  
 評価実施日 令和3年7月27日  
 担当教員名 原 卓志

回答者数 10名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	4	0	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	3	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	2	1	0	0	0	4.6
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	3	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	9	1	0	0	0	0	4.9



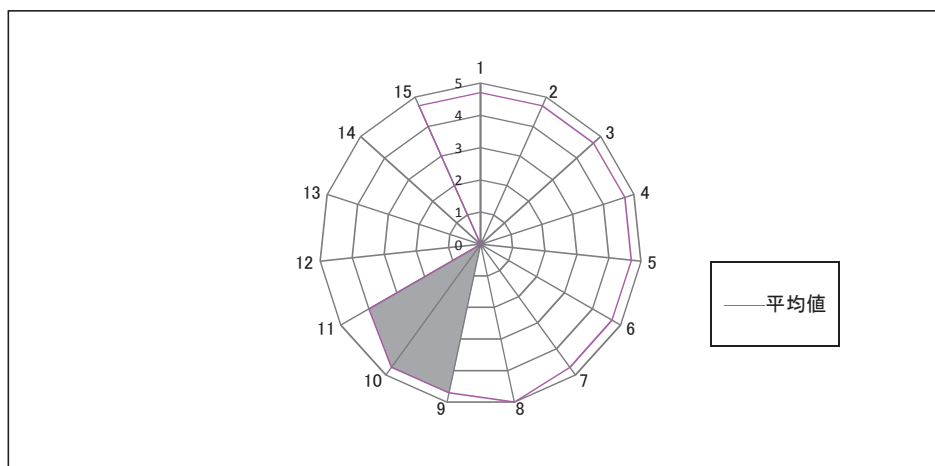
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国語学特論Ⅱ  
 評価実施日 令和3年7月26日  
 担当教員名 黒田 麻衣子

回答者数 3名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	1	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	0	0	1	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	1	0	0	0	0	4.7



総合評価	4.7
------	-----

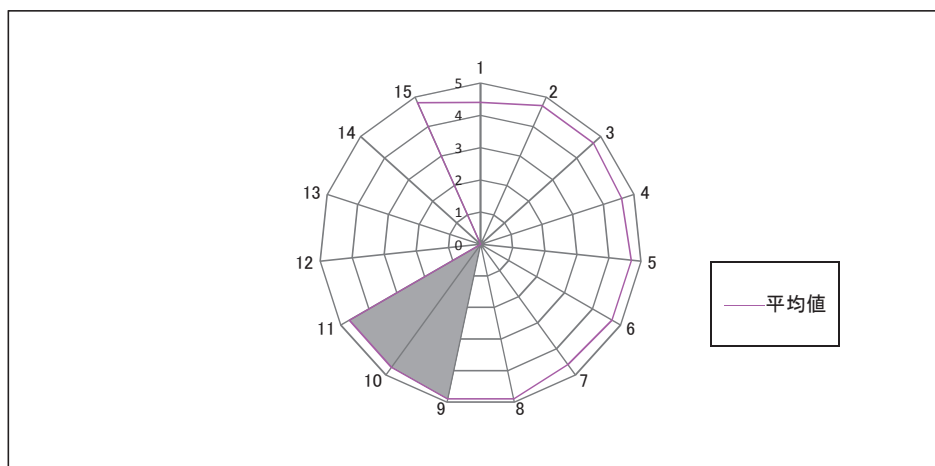
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 語学・文学総合演習 I (国語学)  
 評価実施日 令和3年8月5日  
 担当教員名 原 卓志

回答者数 9名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	2	0	0	1	0	4.4
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	3	0	0	0	0	4.7
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	3	0	0	0	0	4.7
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	2	1	0	0	0	4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	3	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	3	0	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	2	1	0	0	0	4.6
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	3	0	0	0	0	4.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	1	1	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	2	0	0	0	0	4.8



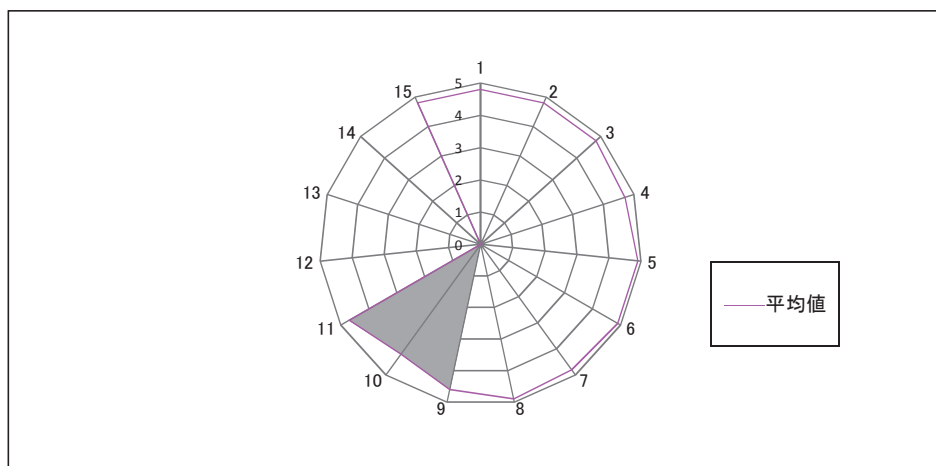
総合評価 4.7

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国文学 I  
 評価実施日 令和3年7月27日  
 担当教員名 黒田 俊太郎

回答者数 25名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



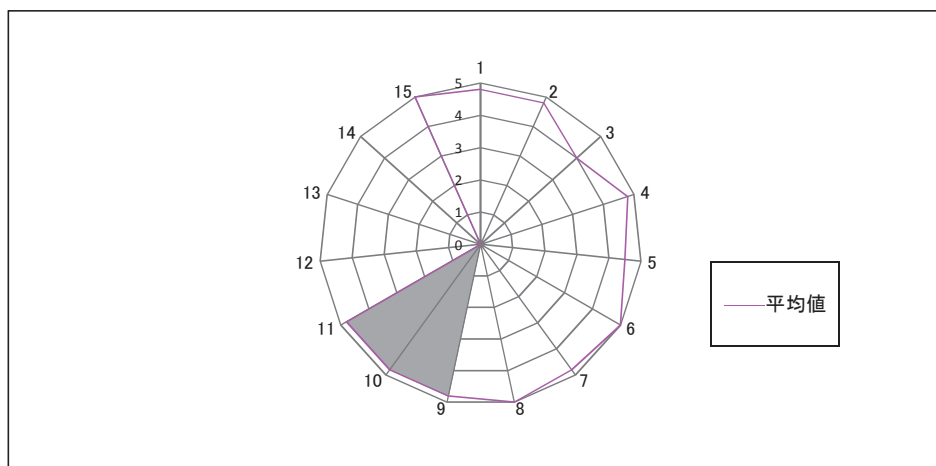
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国文学Ⅱ  
 評価実施日 令和3年7月29日  
 担当教員名 平川 恵実子

回答者数 4名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	1	0	1	0	0	4.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	2	0	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	1	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	0	5.0



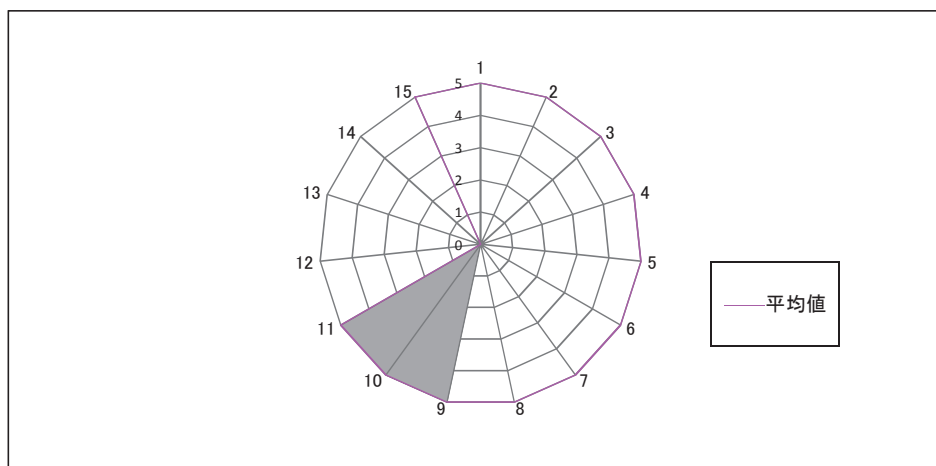
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国文学特論Ⅱ  
 評価実施日 令和3年7月27日  
 担当教員名 平川 恵実子

回答者数 2名

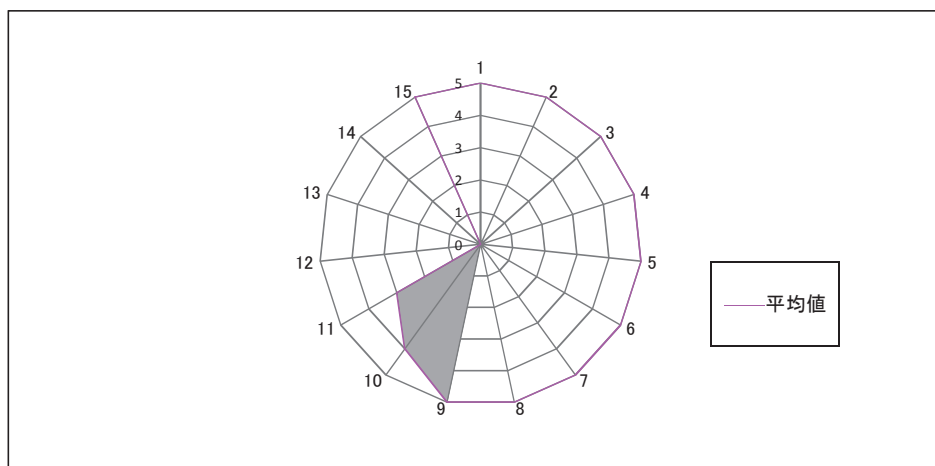
質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



授業科目名 語学・文学総合演習Ⅲ(漢文学)  
 評価実施日 令和3年8月29日  
 担当教員名 高西 成介

回答者数 1名

質問項目	評価選択人数	平均値						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	0	1	0	0	0	3.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



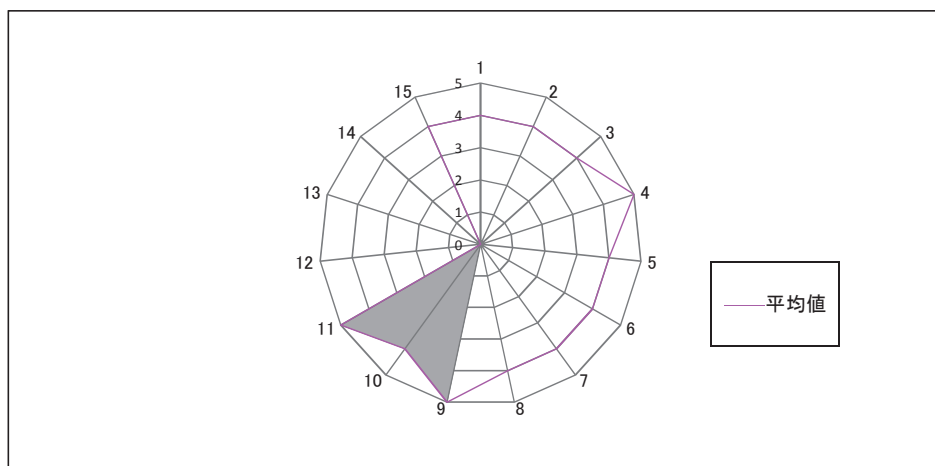
総合評価 5.0

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語学研究 I  
 評価実施日 令和3年8月4日  
 担当教員名 藪下 克彦

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	1	0	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	1	0	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	0	1	0	0	0	0	4.0



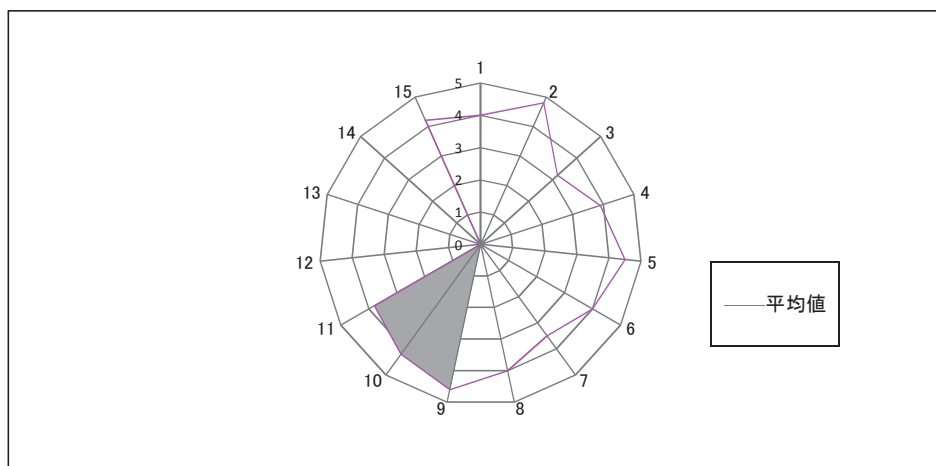
総合評価 **4.1**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英文学史  
 評価実施日 令和3年8月29日  
 担当教員名 宮崎 隆義

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						4.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						3.2
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						3.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						4.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						3.5
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						4.2



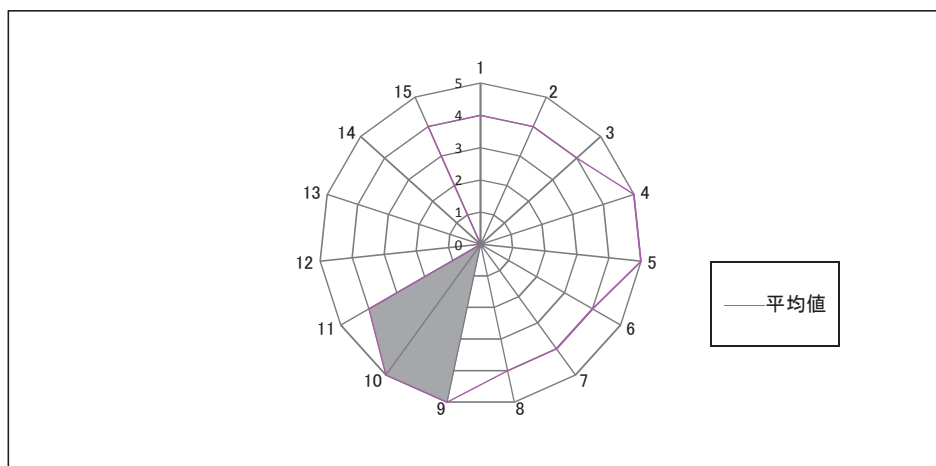
総合評価	4.0
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 米文学史  
 評価実施日 令和3年8月6日  
 担当教員名 前田 一平

回答者数 1名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	1	0	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	1	0	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	0	1	0	0	0	0	4.0



総合評価 **4.2**

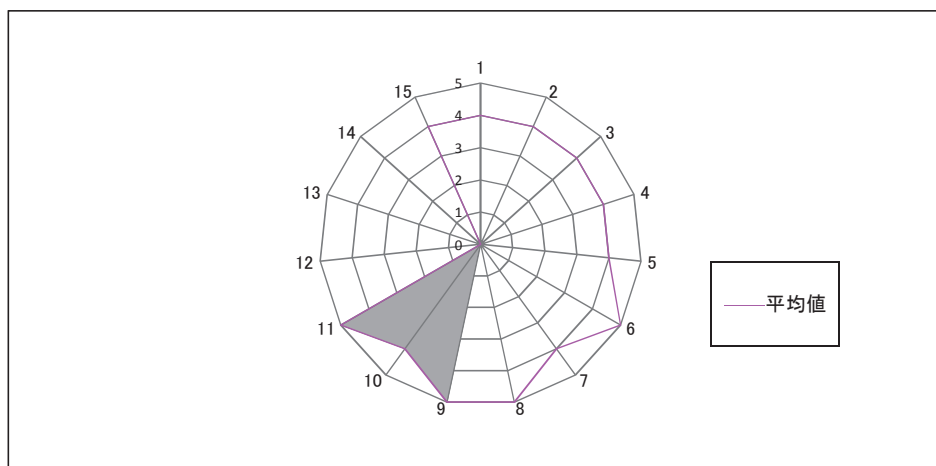
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 英語オーラルコミュニケーションⅡ  
 評価実施日 令和3年7月28日  
 担当教員名 鎌田スザン・リン

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	1	0	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	1	0	0	0	0	4.0



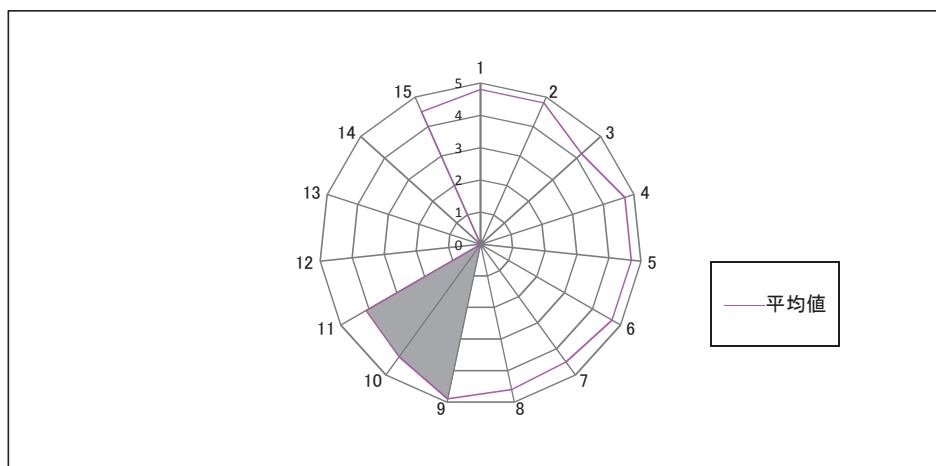
総合評価 4.2

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 日本史学概論  
 評価実施日 令和3年7月29日  
 担当教員名 町田 哲

回答者数 21名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	16	4	1	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	18	1	2	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	14	2	2	1	2	0	4.2
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	16	3	1	1	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	15	4	2	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	15	5	1	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	14	3	3	1	0	0	4.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	15	4	1	1	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	18	2	1	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	12	4	4	1	0	0	4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	10	6	3	1	1	0	4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	15	4	0	0	2	0	4.5



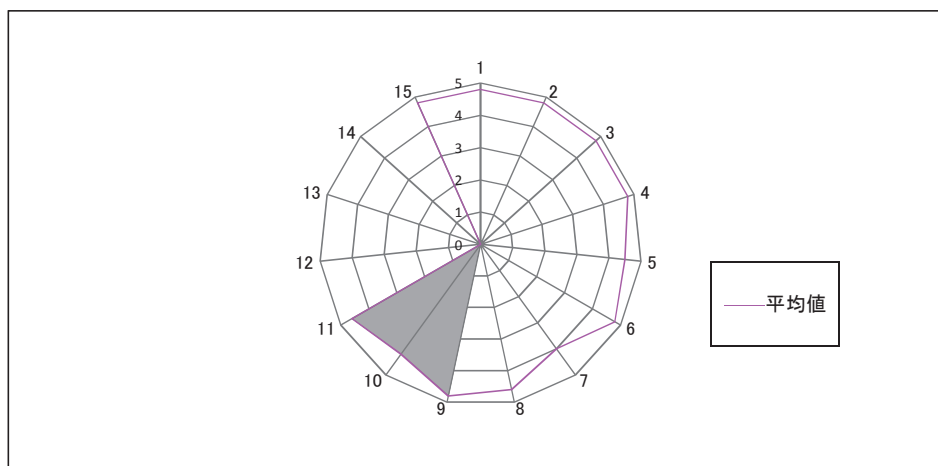
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 日本史学特論 I (古代・中世)  
 評価実施日 令和3年8月24日  
 担当教員名 衣川 仁

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	2	1	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	1	3	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	1	1	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	3	0	1	0	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	3	0	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	2	0	0	0	0	4.8



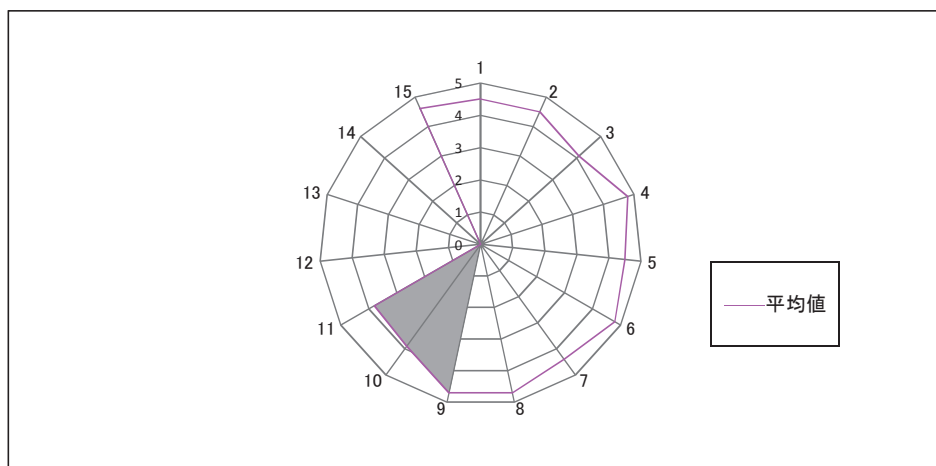
総合評価	4.7
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 日本史学特論Ⅱ(近世・近代)  
 評価実施日 令和3年7月28日  
 担当教員名 町田 哲

回答者数 18名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.1
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.4
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						3.9
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.6



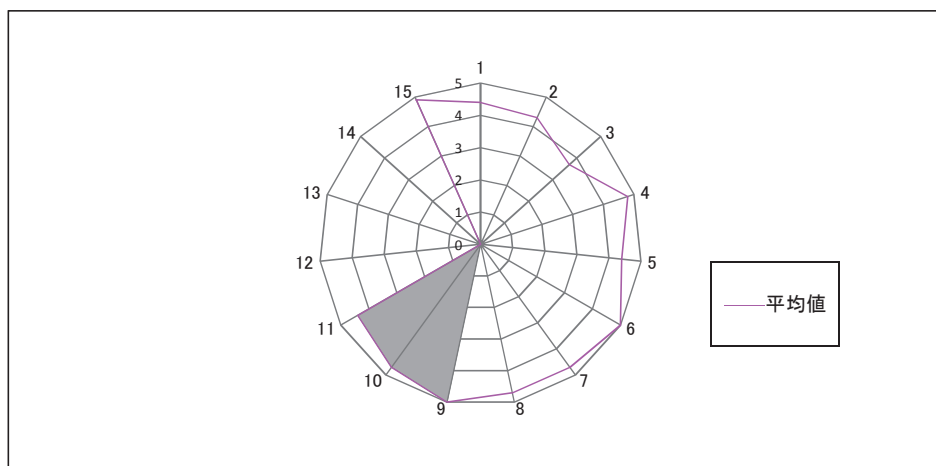
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 外国史概論  
 評価実施日 令和3年6月3日  
 担当教員名 原田 昌博

回答者数 16名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						3.7
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



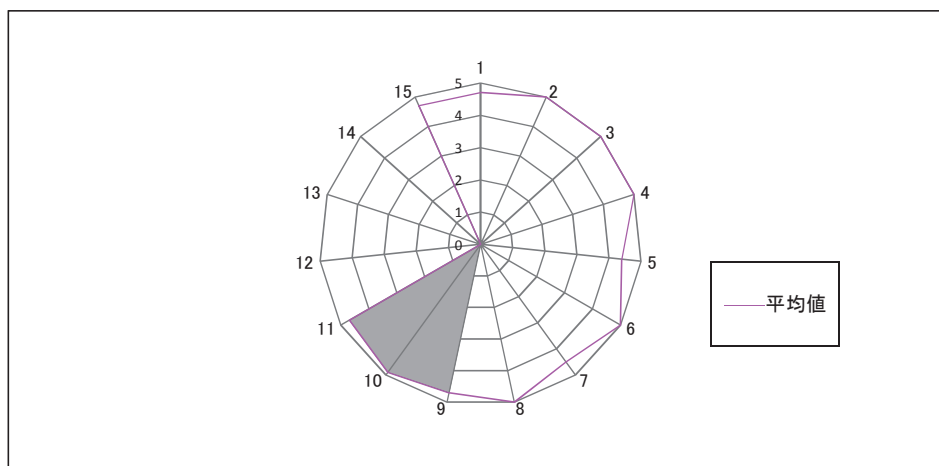
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 史学演習  
 評価実施日 令和3年7月28日  
 担当教員名 町田 哲, 原田 昌博

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	2	1	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	1	1	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	0	1	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	2	0	0	0	0	4.7



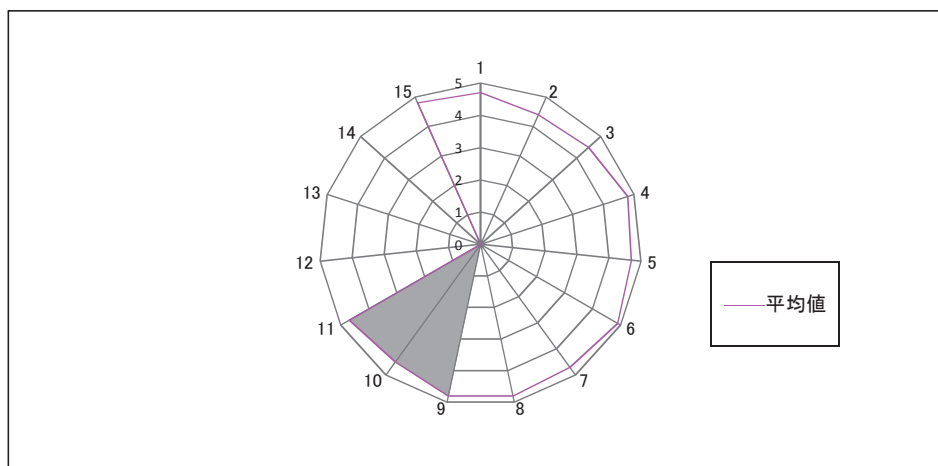
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 地理学演習  
 評価実施日 令和3年8月3日  
 担当教員名 畠山 輝雄, 立岡 裕士

回答者数 8名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	1	1	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	3	1	0	0	0	4.4
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	1	0	1	0	0	4.5
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	1	1	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	3	0	0	0	0	4.7
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	2	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	2	1	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	3	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	2	0	0	0	0	4.8



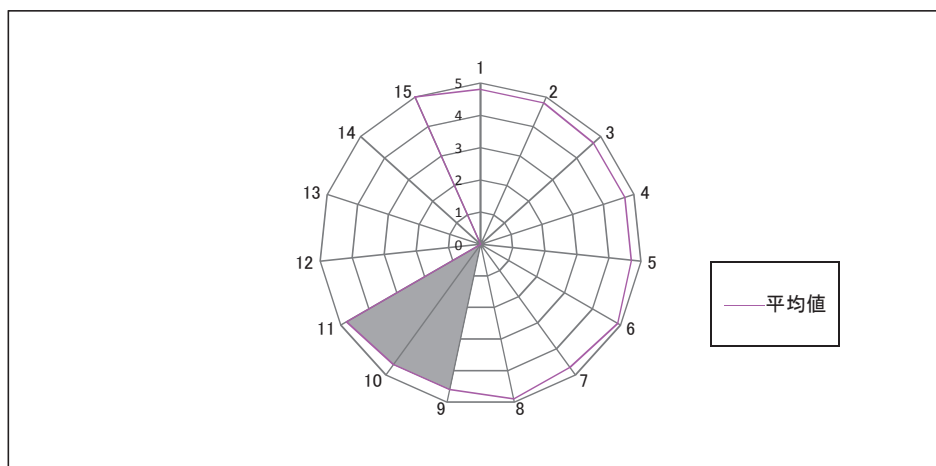
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 地理学実習  
 評価実施日 令和3年8月5日  
 担当教員名 畠山 輝雄, 立岡 裕士

回答者数 9名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	2	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	2	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	3	0	0	0	0	4.7
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	3	0	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	3	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	3	0	0	0	0	4.7
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	2	1	0	0	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	2	1	0	0	0	4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	2	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	9	0	0	0	0	0	5.0



総合評価 **4.8**

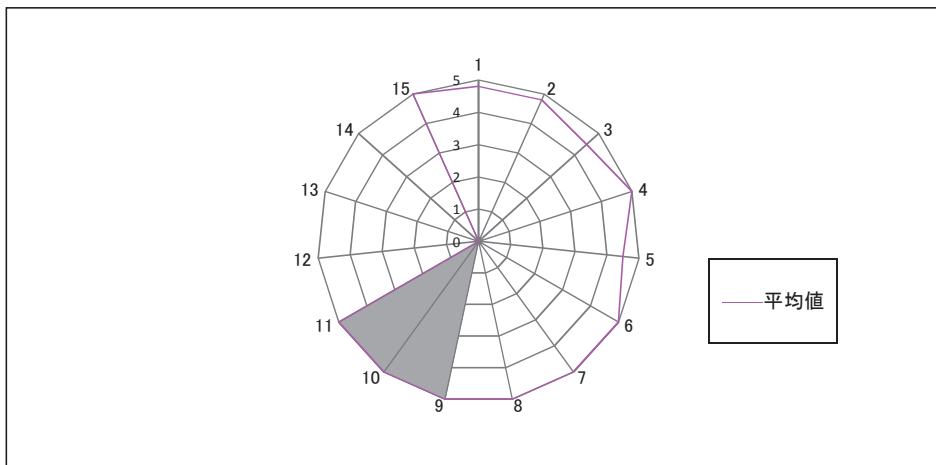
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 法律学特論  
 評価実施日 令和3年7月30日  
 担当教員名 麻生 多聞

回答者数 4名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	0	1	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	0	5.0



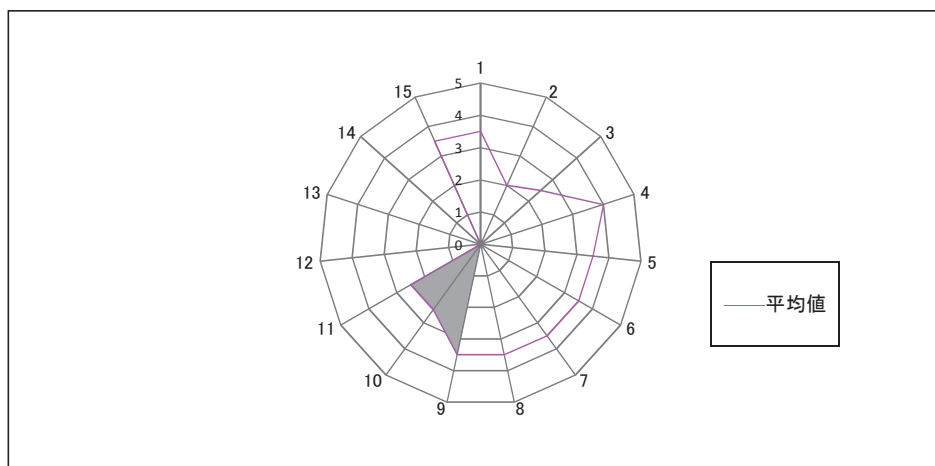
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 社会学概論  
 評価実施日 令和3年8月3日  
 担当教員名 眞野 豊

回答者数 2名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	0	1	1	0	0	0	3.5
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	1	0	1	0	2.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	1	1	0	0	2.5
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	1	1	0	0	0	3.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	0	1	1	0	0	0	3.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	0	1	1	0	0	0	3.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	1	1	0	0	0	3.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	0	1	1	0	0	0	3.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	0	1	1	0	0	2.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	1	0	0	1	0	2.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	0	1	1	0	0	0	3.5



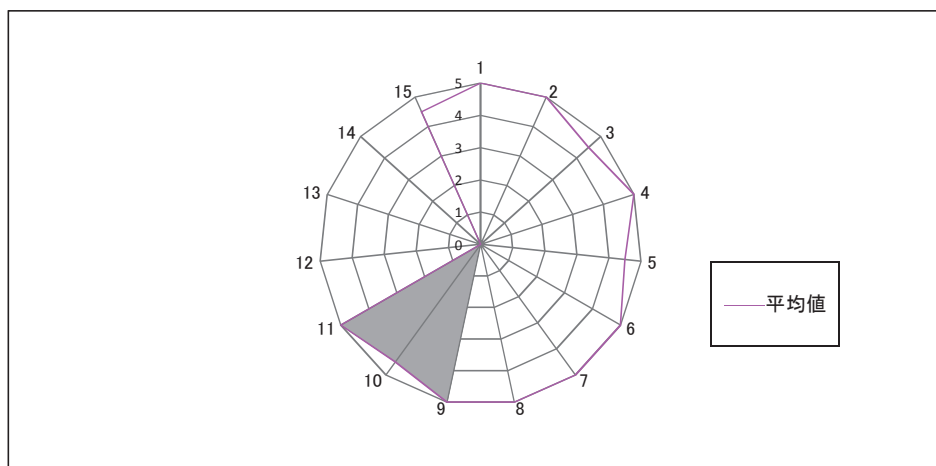
総合評価 **3.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 経済学特論  
 評価実施日 令和3年7月26日  
 担当教員名 青葉 暢子

回答者数 2名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	1	0	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	1	0	0	0	0	4.5



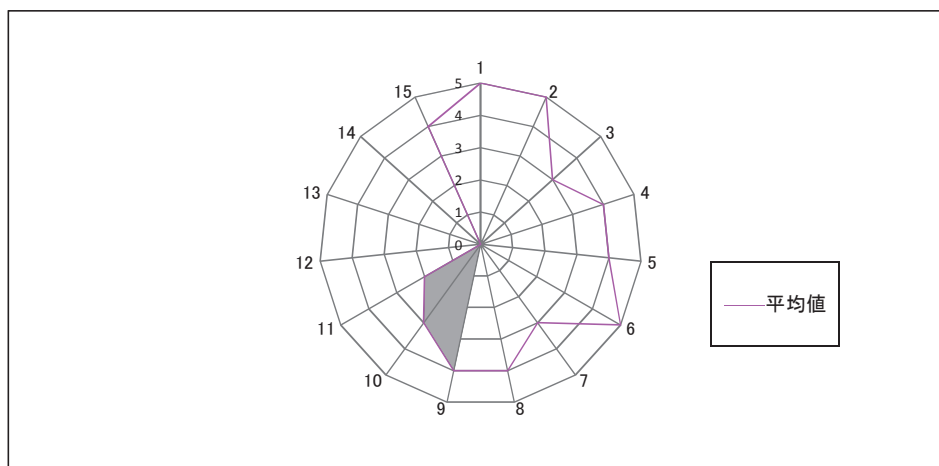
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 経済学演習  
 評価実施日 令和3年7月29日  
 担当教員名 青葉 暢子

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	1	0	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	1	0	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	1	0	0	2.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	1	0	0	0	0	4.0



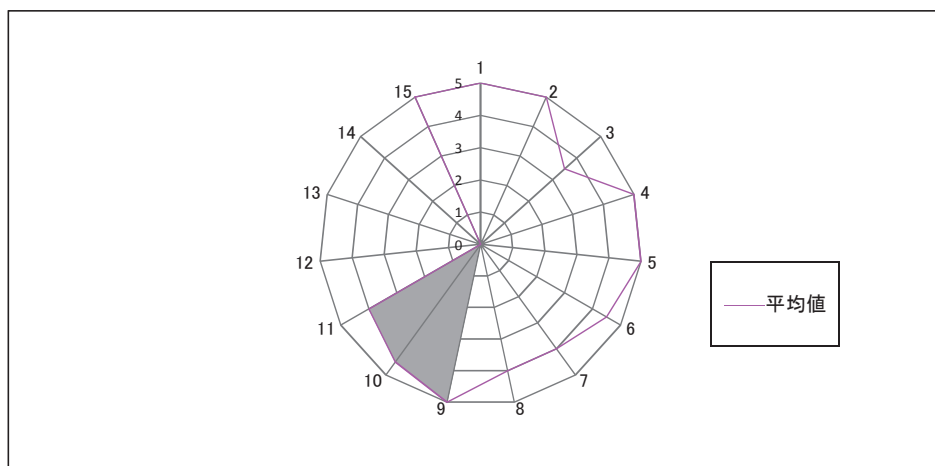
総合評価 4.1

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 哲学・倫理学概論  
 評価実施日 令和3年8月3日  
 担当教員名 石田 三千雄

回答者数 2名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	1	1	0	0	0	3.5
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	2	0	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	1	0	1	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	2	0	0	0	0	0	5.0



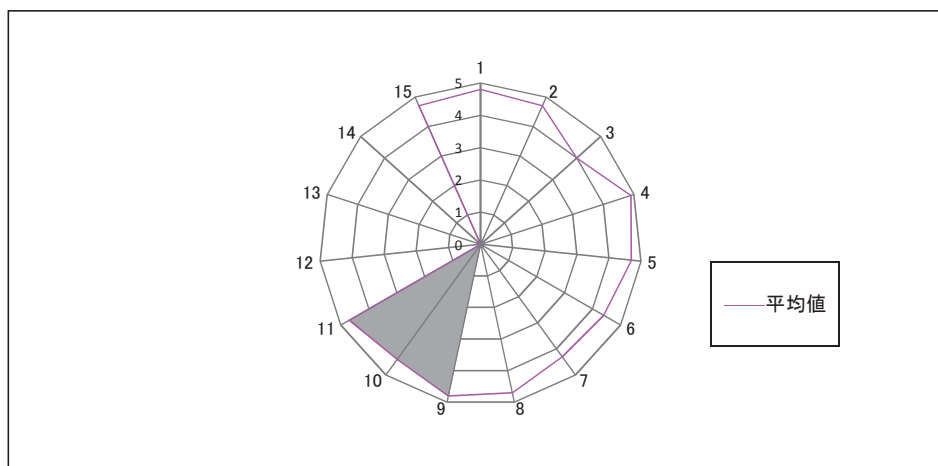
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 代数学 I  
 評価実施日 令和3年8月4日  
 担当教員名 守安 一峰

回答者数 8名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	3	0	0	0	0	4.7
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	1	2	1	0	0	4.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	1	1	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	0	1	1	0	0	4.4
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	0	3	0	0	0	4.3
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	3	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	0	1	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	2	0	1	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	1	1	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	1	1	0	0	0	4.7



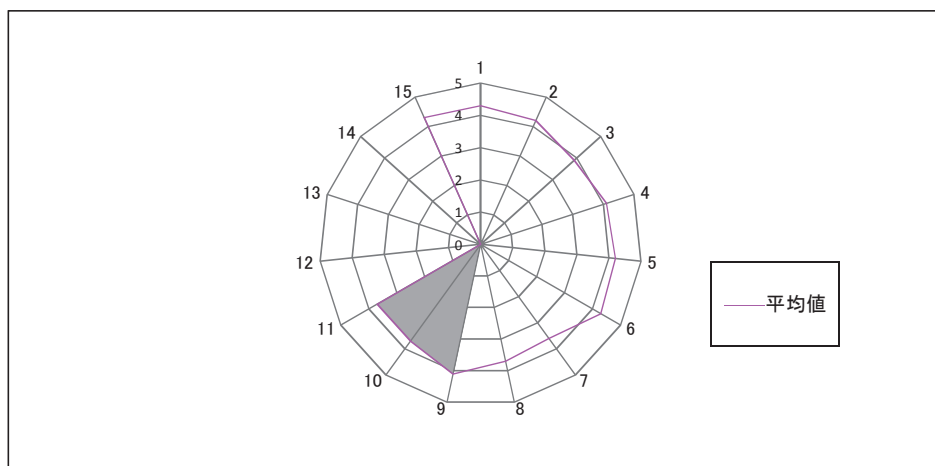
総合評価 4.6

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 代数学Ⅱ  
 評価実施日 令和3年7月27日  
 担当教員名 片山 真一

回答者数 14名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	5	1	1	0	0	4.3
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	5	2	1	0	0	4.2
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	7	3	1	0	0	3.9
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	8	1	1	0	0	4.1
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	4	4	0	0	0	4.2
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	6	1	1	0	0	4.3
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	6	4	2	0	0	3.6
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	9	0	2	1	0	3.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	4	3	1	0	0	4.1
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	7	3	2	0	0	3.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	6	2	3	0	0	3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	4	0	2	0	0	4.3



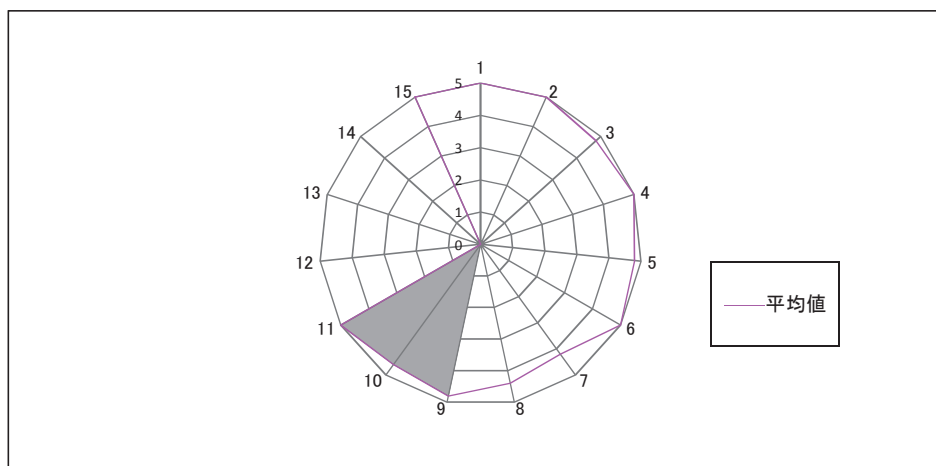
総合評価 **4.1**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 代数学Ⅲ  
 評価実施日 令和3年8月29日  
 担当教員名 平野 康之

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	0	0	0	1	0	4.2
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	0	0	1	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	0	1	0	0	0	4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	0	5.0



総合評価	4.8
------	-----

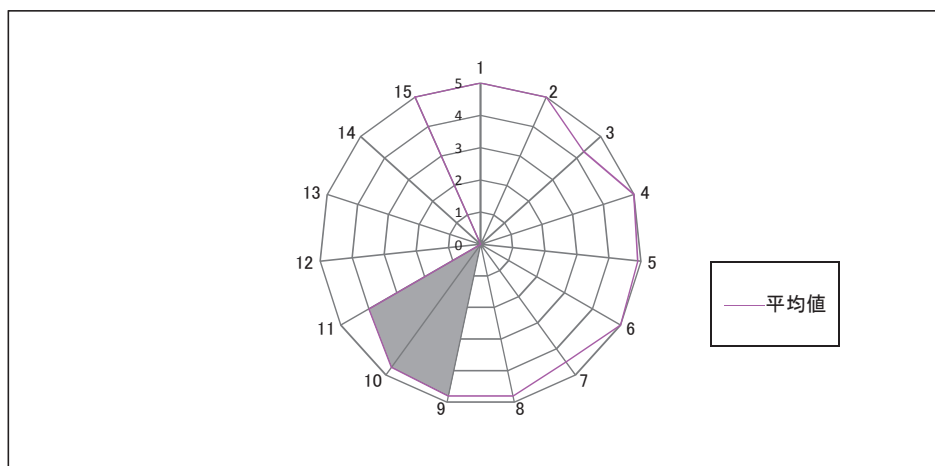
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 幾何学 I  
 評価実施日 令和3年7月29日  
 担当教員名 山中 仁

回答者数 11名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	11	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	1	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	4	2	0	0	0	4.3
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	11	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	9	2	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	10	1	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	4	1	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	0	0	1	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	3	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	7	4	0	0	0	0	4.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	3	3	1	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	1	0	0	0	0	5.0



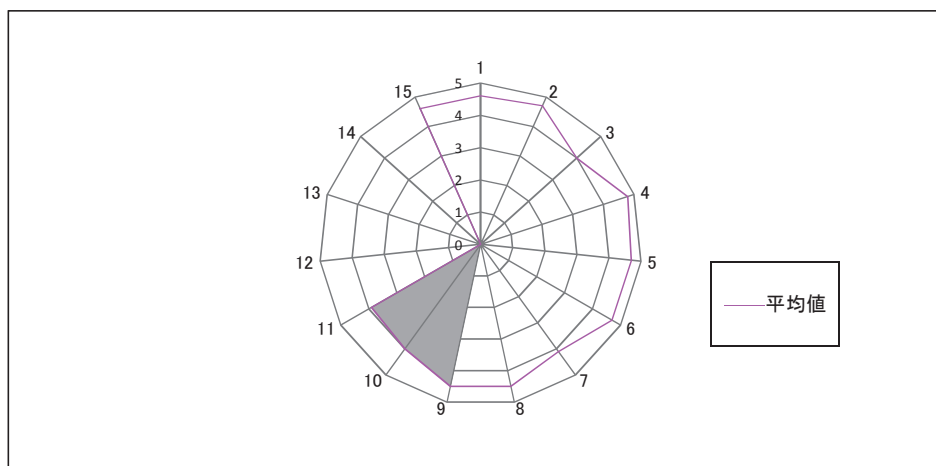
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 幾何学Ⅱ  
 評価実施日 令和3年7月26日  
 担当教員名 山中 仁

回答者数 16名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.1
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.6



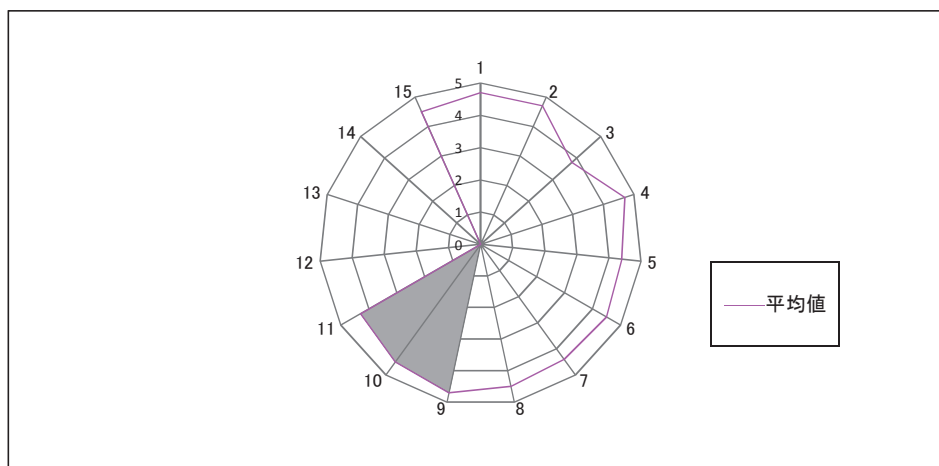
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 幾何学Ⅲ  
 評価実施日 令和3年7月26日  
 担当教員名 山中 仁

回答者数 20名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	14	6	0	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	14	6	0	0	0	0	4.7
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	4	8	0	1	0	3.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	13	7	0	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	12	5	2	0	1	0	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	11	8	0	1	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	11	7	1	1	0	0	4.4
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	11	0	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	14	6	0	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	10	9	1	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	12	5	1	1	1	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	11	8	1	0	0	0	4.5



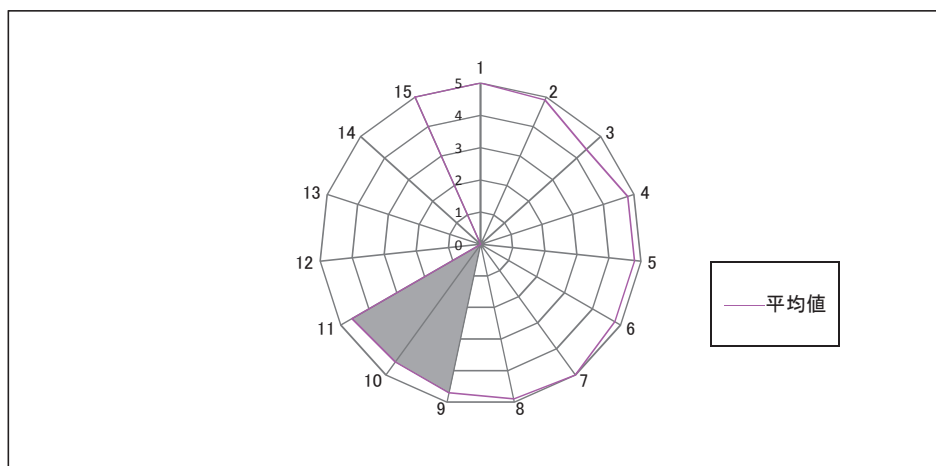
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 幾何学特論  
 評価実施日 令和3年7月29日  
 担当教員名 山中 仁

回答者数 14名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.4
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



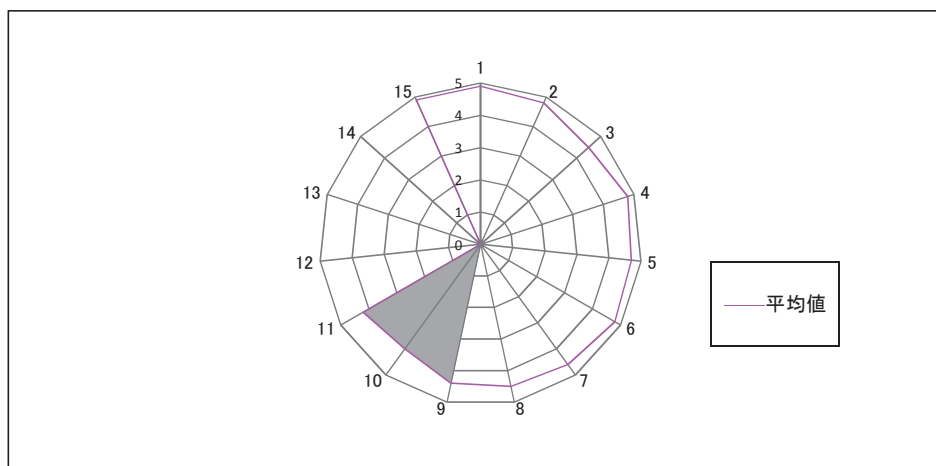
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 確率・統計学  
 評価実施日 令和3年8月4日  
 担当教員名 宮口 智成

回答者数 14名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	12	2	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	4	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	5	1	0	0	0	4.5
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	11	3	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	10	3	1	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	11	3	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	6	0	0	0	0	4.6
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	5	1	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	4	1	1	0	0	4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	5	3	1	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	3	1	1	1	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	12	2	0	0	0	0	4.9



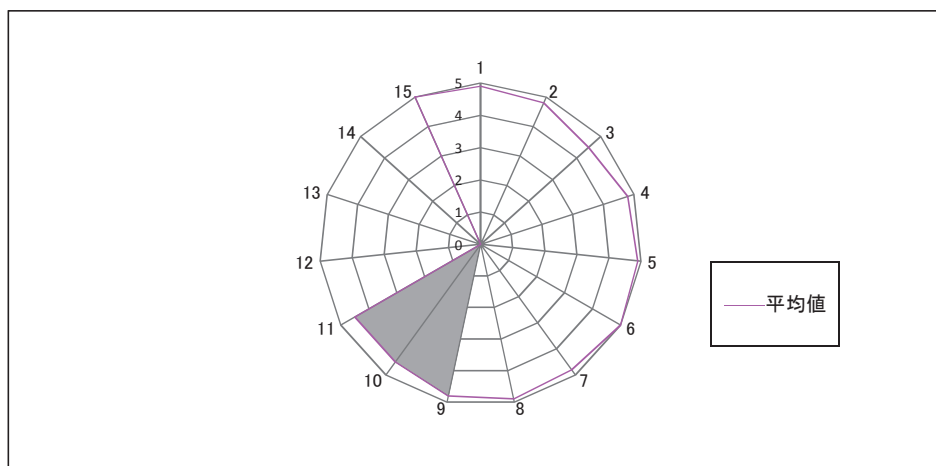
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 計算数学  
 評価実施日 令和3年8月4日  
 担当教員名 宮口 智成

回答者数 18名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	15	3	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	14	4	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	12	4	1	1	0	0	4.5
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	14	4	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	16	2	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	17	1	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	14	3	1	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	16	2	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	16	1	0	1	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	12	4	1	1	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	11	5	1	1	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	17	1	0	0	0	0	5.0



総合評価 **4.8**

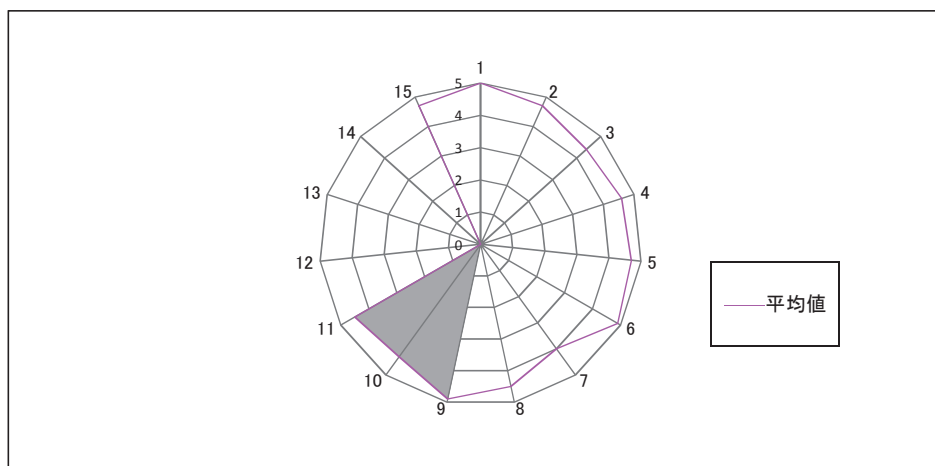
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 基礎数学 I

評価実施日 令和3年7月29日

担当教員名 宮口 智成, 佐伯 昭彦, 早田 透, 秋田 美代, 山中 仁, 関 行宏 回答者数 12名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	11	1	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	2	1	0	0	0	4.7
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	5	0	1	0	0	4.4
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	7	5	0	0	0	0	4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	4	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	11	0	1	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	4	4	4	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	8	2	2	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	10	2	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む) をした。	5	6	0	1	0	0	4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	7	4	1	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	9	2	1	0	0	0	4.7



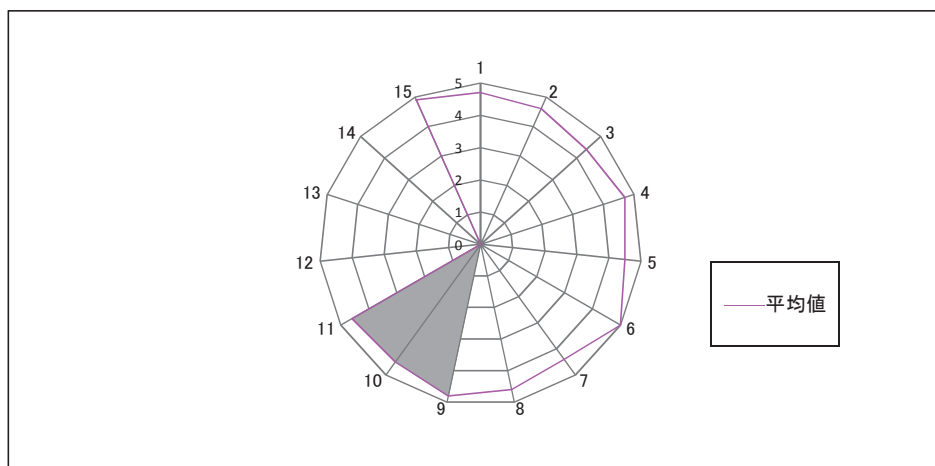
総合評価	4.6
------	-----

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

授業科目名 基礎数学Ⅱ  
 評価実施日 令和3年7月30日  
 担当教員名 宮口 智成

回答者数 12名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	2	1	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	5	0	0	0	0	4.6
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	4	2	0	0	0	4.4
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	4	0	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	2	2	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	11	1	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	2	3	0	0	0	4.4
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	3	1	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	3	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	8	3	0	1	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	9	2	0	1	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	2	0	0	0	0	4.9



総合評価 **4.6**

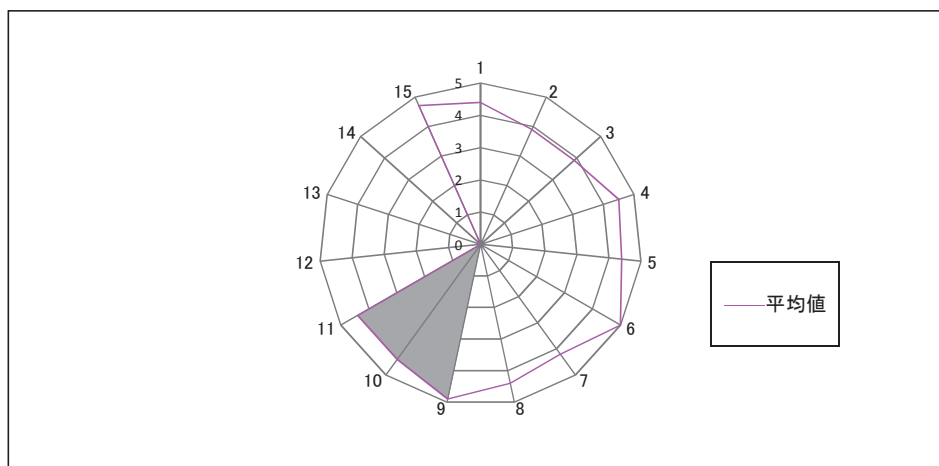
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 中等理科(物理学分野)  
 評価実施日 令和3年6月7日  
 担当教員名 粟田 高明

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	4	0	0	0	0	4.4
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	2	1	1	0	0	3.9
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	1	3	0	0	0	3.9
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	1	1	0	0	0	4.5
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	2	1	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	1	2	0	0	0	4.2
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	2	1	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	2	1	0	0	0	4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	2	1	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	0	1	0	0	0	4.7



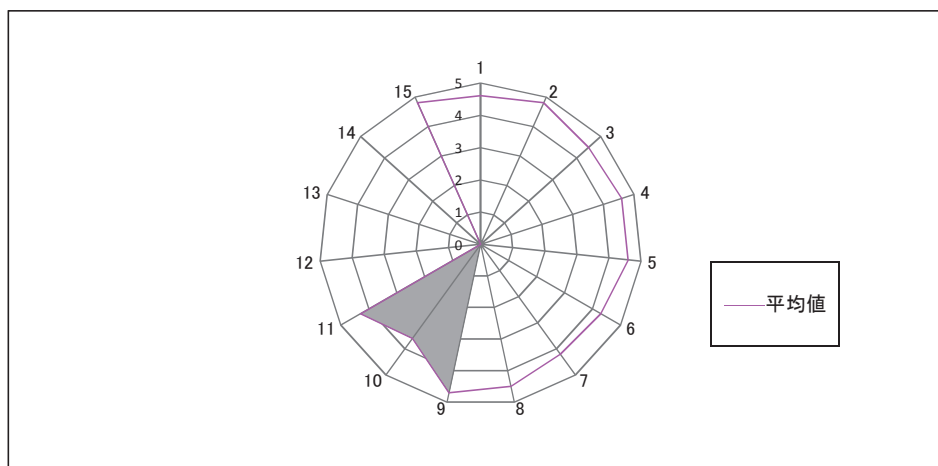
総合評価	4.4
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等理科(化学分野)  
 評価実施日 令和3年8月2日  
 担当教員名 武田 清

回答者数 14名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	6	0	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	4	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	5	0	1	0	0	4.5
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	4	1	0	0	0	4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	6	0	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	4	1	0	1	0	4.3
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	2	2	2	0	0	4.2
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	7	0	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	11	2	0	1	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	7	3	1	1	0	3.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	5	1	0	1	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	4	0	0	0	0	4.8



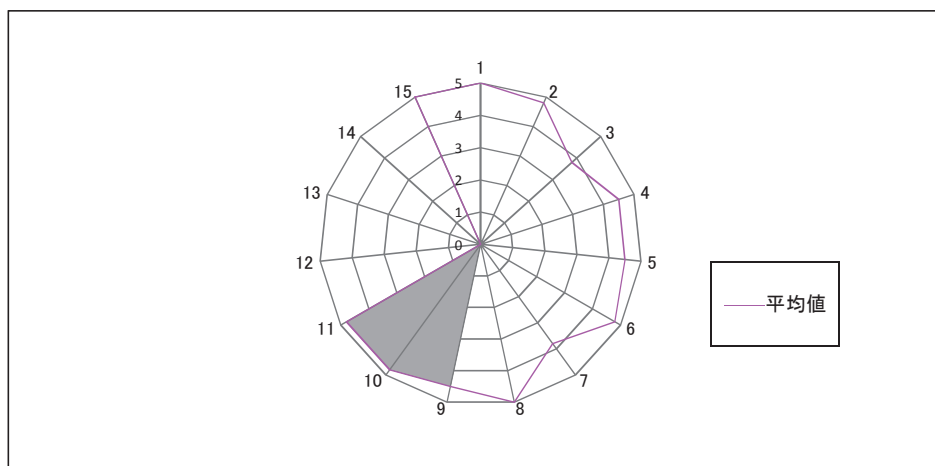
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等理科(生物学分野)  
 評価実施日 令和3年6月7日  
 担当教員名 小汐 千春

回答者数 4名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	1	2	0	0	0	3.8
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	2	0	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	1	2	0	0	0	3.8
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	1	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	0	5.0



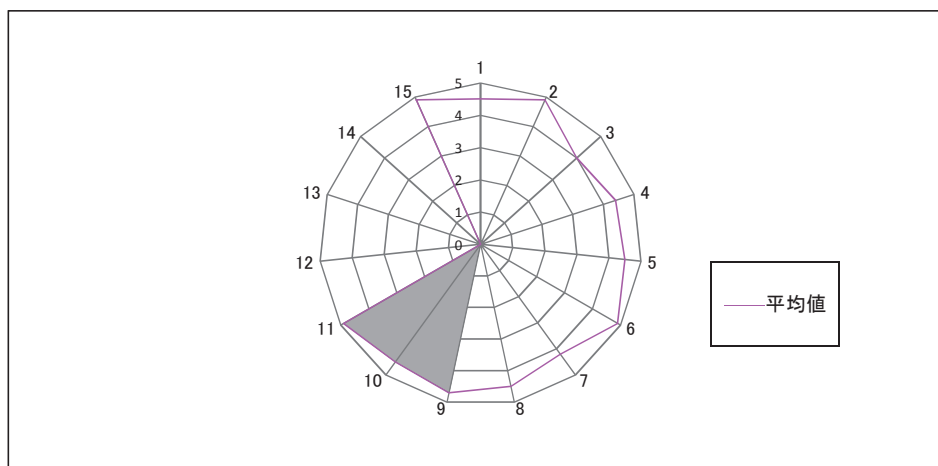
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等理科(地学分野)  
 評価実施日 令和3年8月24日  
 担当教員名 足立 奈津子

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	2	2	0	0	0	4.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	4	0	0	0	0	4.4
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	3	0	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	3	1	0	0	0	4.2
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	3	0	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	1	0	0	0	0	4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	1	0	0	0	0	4.9



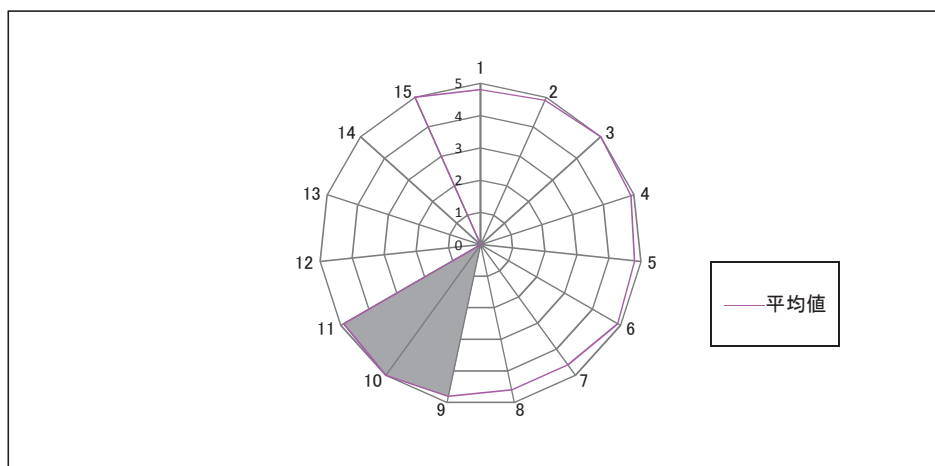
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 地学Ⅱ  
 評価実施日 令和3年7月29日  
 担当教員名 工藤 慎一, 佐藤 勝幸, 小汐 千春

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	2	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	3	0	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	1	0	0	0	0	4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	0	0	0	0	0	5.0



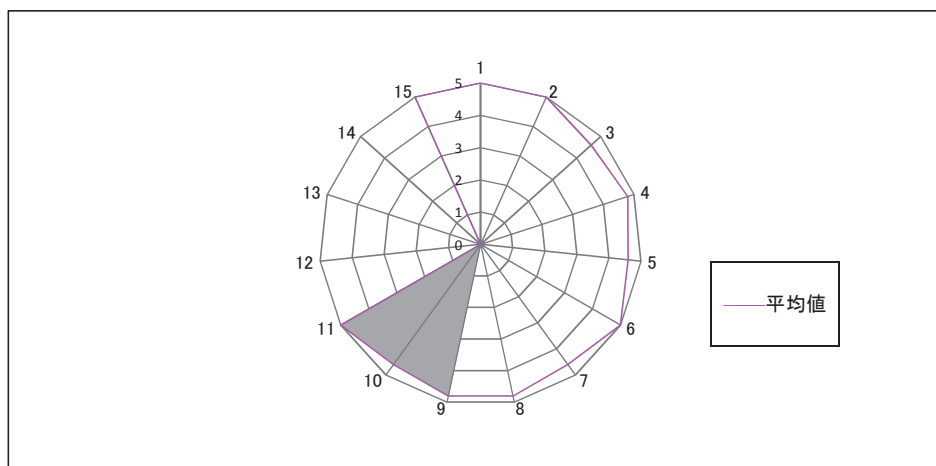
総合評価	4.8
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 ソルフェージュ  
 評価実施日 令和3年7月26日  
 担当教員名 山田 啓明

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	0	1	0	0	0	4.6
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	0	1	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	0	1	0	0	0	4.6
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	0	5.0



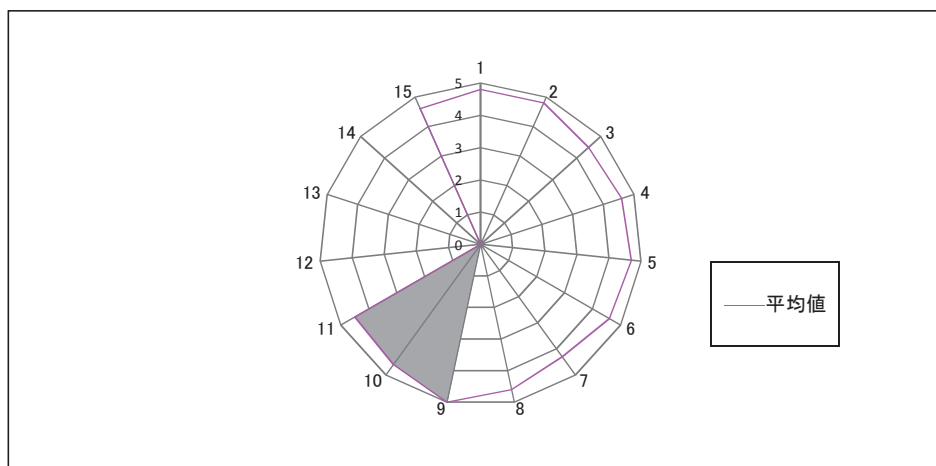
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 声楽(合唱を含む。)  
 評価実施日 令和3年8月5日  
 担当教員名 頃安 利秀, 真鍋 美恵

回答者数 9名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	0	1	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	0	1	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	1	0	0	1	0	4.5
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	0	0	0	1	0	4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	0	0	1	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	0	0	0	1	0	4.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	3	0	0	1	0	4.3
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	0	0	0	1	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	4	0	0	0	0	4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	1	2	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	0	0	0	1	0	4.6



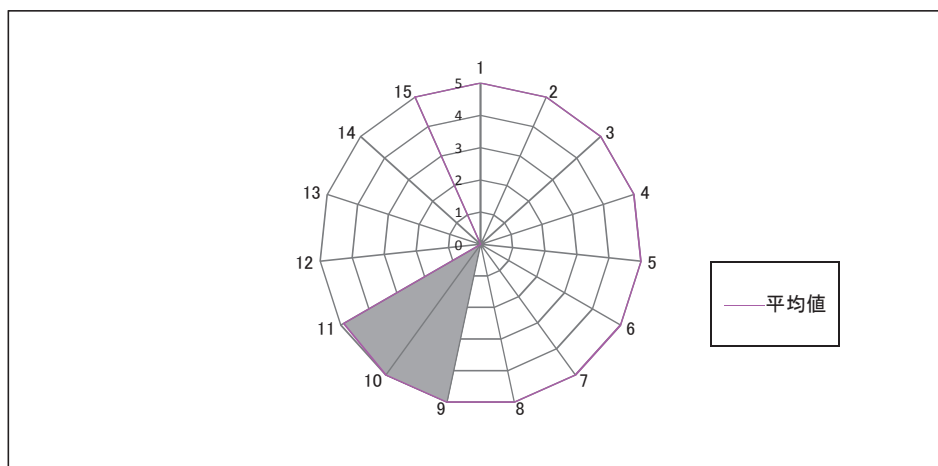
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 声楽基礎Ⅱ  
 評価実施日 令和3年8月3日  
 担当教員名 頃安 利秀

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



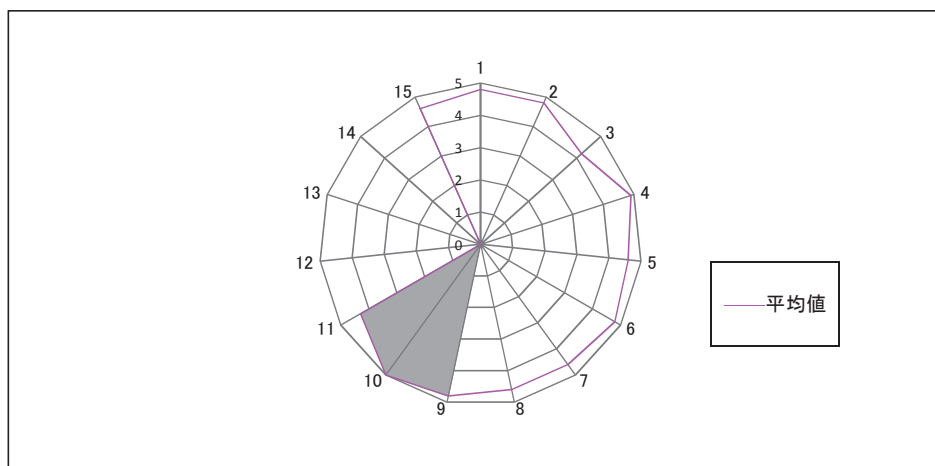
授業科目名 器楽(合奏及び伴奏を含む。)

評価実施日 令和3年7月26日

担当教員名 森 正, 山根 秀憲, 米田 佳子

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数	評価選択人数					平均値 (項目別)	
		5	4	3	2	1 N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	6	0	1	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	0	1	0	0	0	4.8
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	2	2	0	0	0	4.2
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	1	1	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	6	0	1	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	5	1	1	0	0	0	4.6
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	5	1	1	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	2	5	0	0	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	4	3	0	0	0	0	4.6



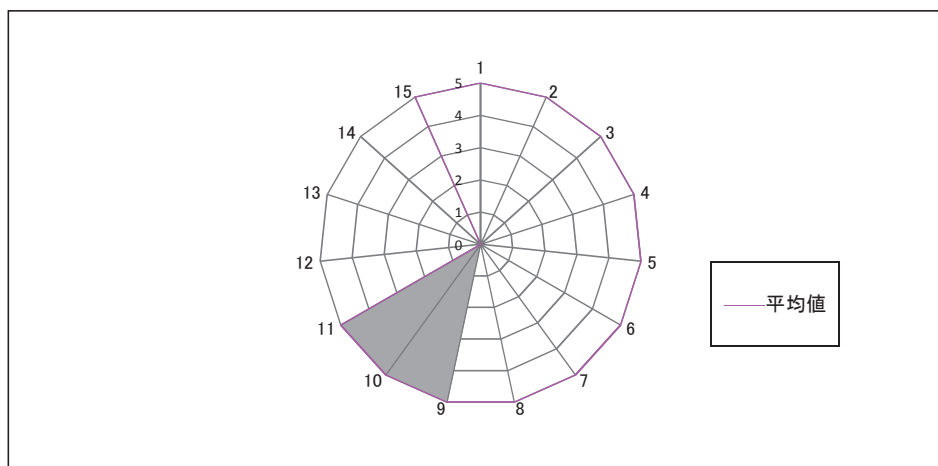
総合評価 4.7

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 ピアノ基礎Ⅱ  
 評価実施日 令和3年8月5日  
 担当教員名 森 正, 田中 巳穂

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



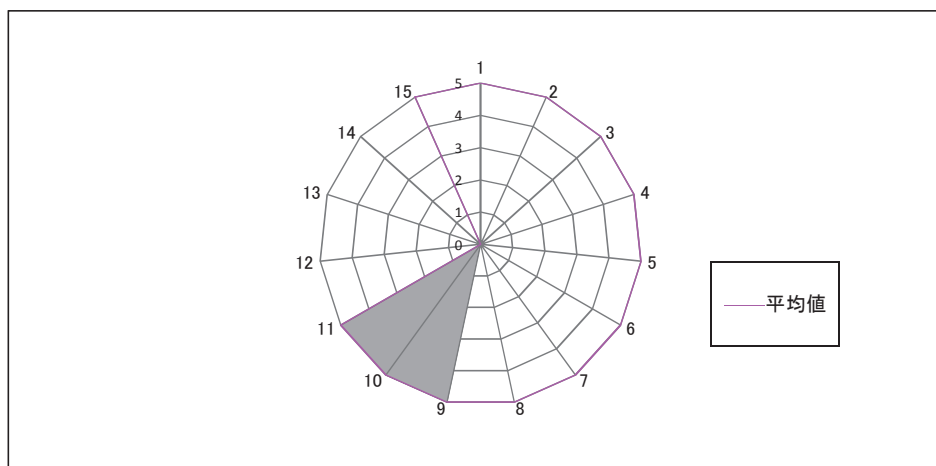
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 管弦打楽器基礎Ⅱ  
 評価実施日 令和3年7月26日  
 担当教員名 山根 秀憲

回答者数 3名

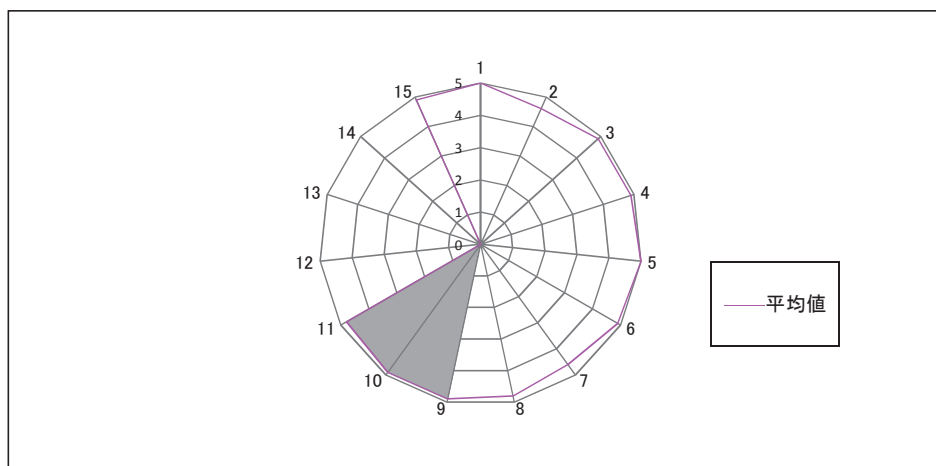
質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	3	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	3	0	0	0	0	0	5.0



授業科目名 合唱  
 評価実施日 令和3年7月27日  
 担当教員名 山田 啓明

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.9
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.6
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.9
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



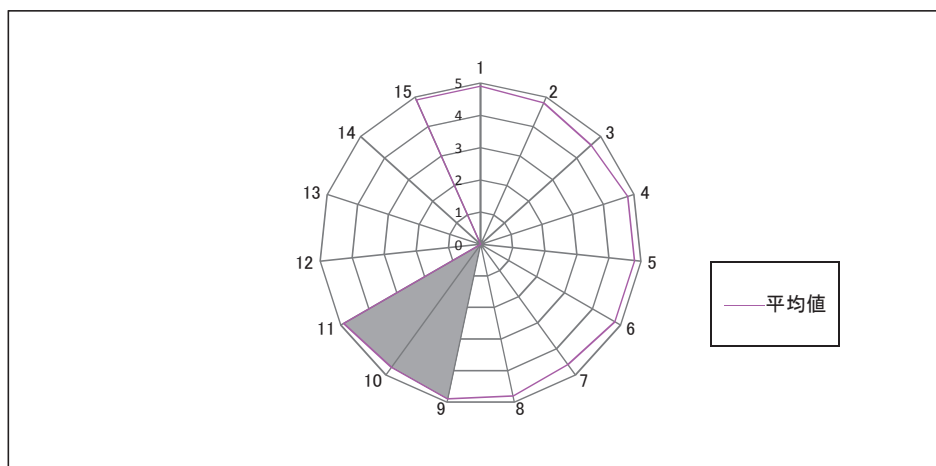
総合評価 4.8

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 音楽の理論と歴史  
 評価実施日 令和3年8月25日  
 担当教員名 松岡 みち子, 片桐 功

回答者数 9名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.6
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						4.6
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						4.9



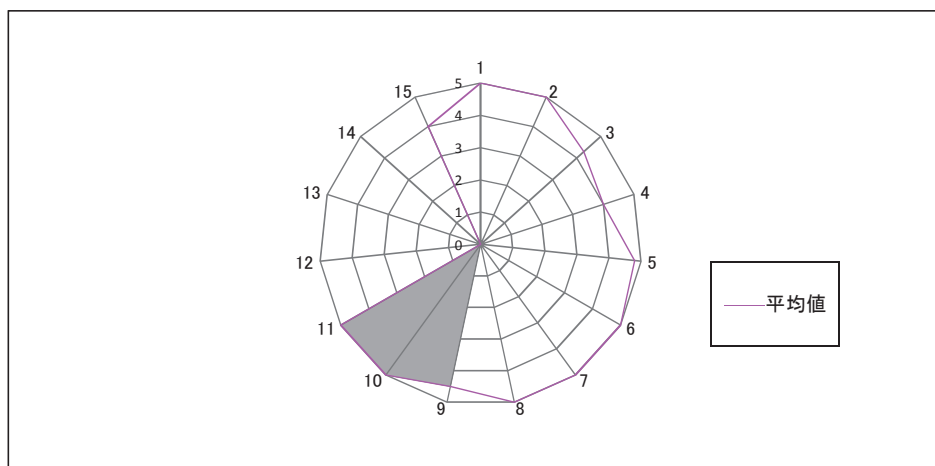
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 作曲法  
 評価実施日 令和3年8月5日  
 担当教員名 松岡 みち子

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	0	1	0	0	4.3
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	0	0	0	1	0	4.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	0	1	0	0	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	0	0	0	1	0	4.0



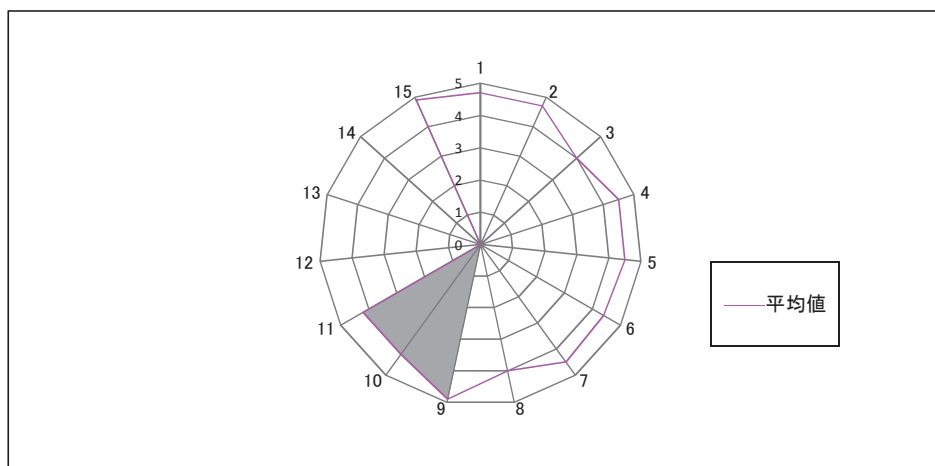
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 絵画 I  
 評価実施日 令和3年7月26日  
 担当教員名 鈴木 久人

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	3	0	0	0	4.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	1	1	0	0	0	4.5
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	3	0	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	1	0	1	0	0	4.4
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	1	1	0	0	0	4.5
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	0	1	0	1	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	1	0	0	1	0	4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	0	1	1	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	1	0	0	0	0	4.9



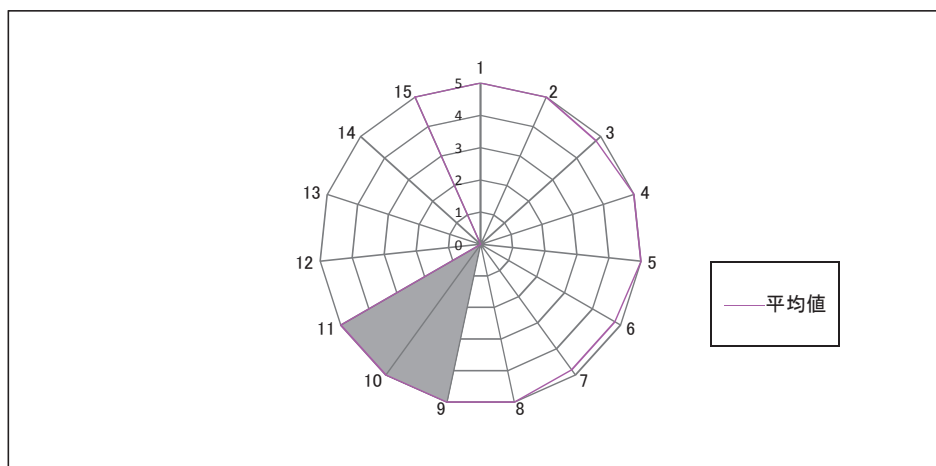
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 絵画材料研究  
 評価実施日 令和3年7月27日  
 担当教員名 鈴木 久人

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	1	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	1	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	1	0	0	0	4.8
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	5.0



総合評価 **4.9**

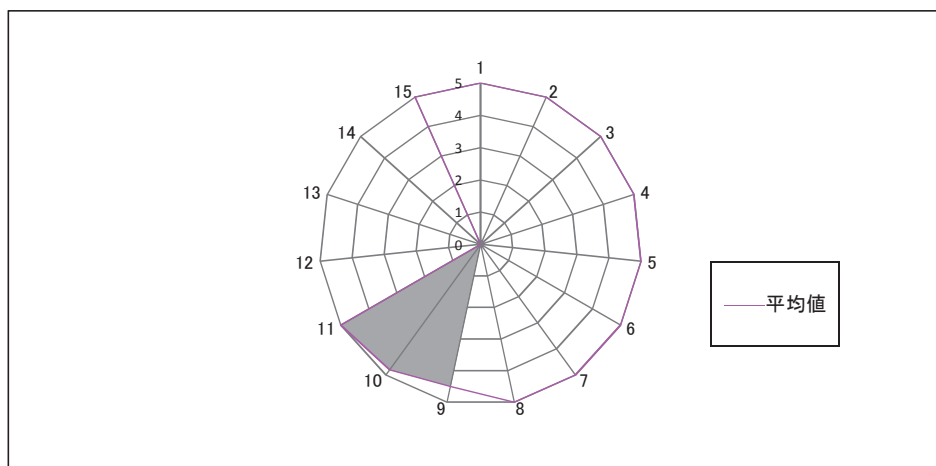
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 彫刻Ⅱ  
 評価実施日 令和3年7月29日  
 担当教員名 三原 敏文

回答者数 4名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	0	5.0



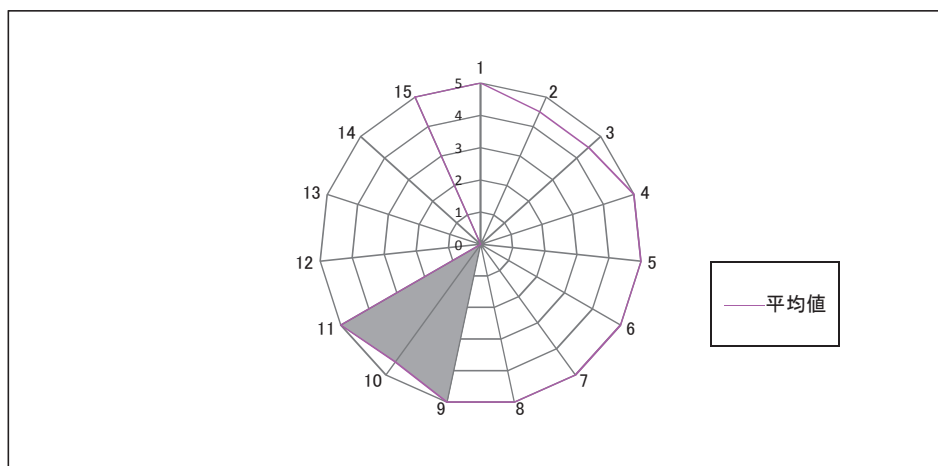
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 彫刻特別演習  
 評価実施日 令和3年7月26日  
 担当教員名 井上 史朗

回答者数 2名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	0	0	0	0	0	5.0



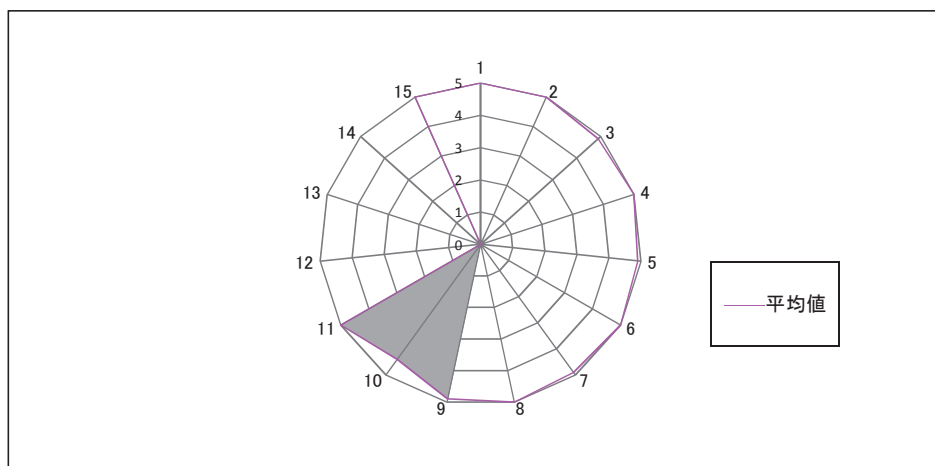
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 構成・デザイン I  
 評価実施日 令和3年8月5日  
 担当教員名 内藤 隆

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.9
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.9
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



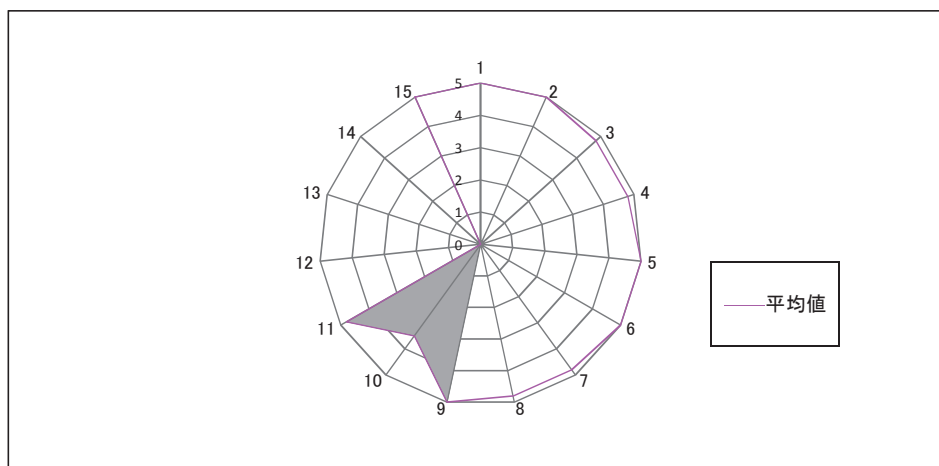
総合評価 5.0

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 工芸Ⅱ  
 評価実施日 令和3年8月3日  
 担当教員名 栗原 慶

回答者数 4名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	3	0	0	0	3.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	1	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	0	5.0



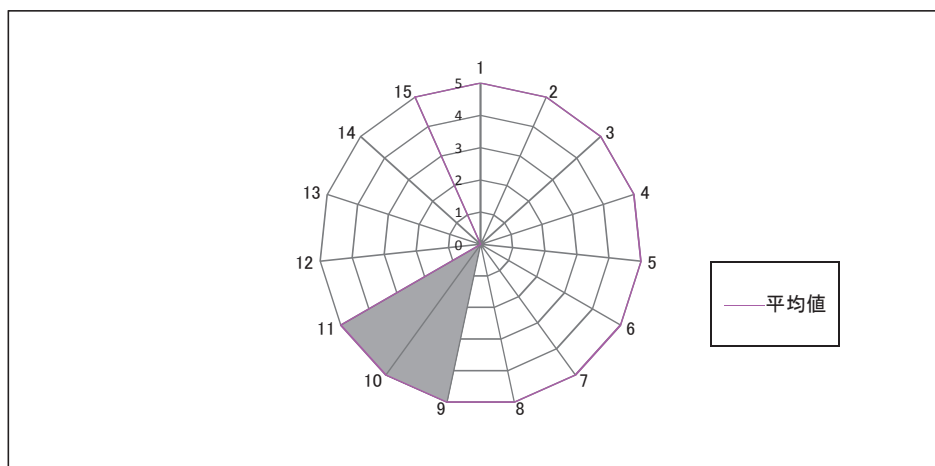
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 工芸材料研究  
 評価実施日 令和3年8月28日  
 担当教員名 福井 一真

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	0	5.0



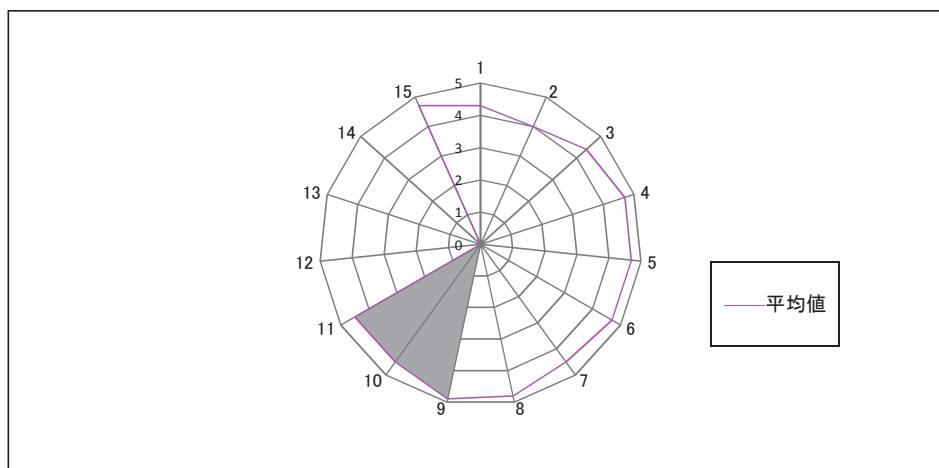
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 工芸特別演習  
 評価実施日 令和3年8月3日  
 担当教員名 栗原 慶

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	1	1	1	0	0	4.3
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	3	1	1	0	0	4.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	3	1	0	0	0	4.4
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	1	1	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	3	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	1	1	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	4	0	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	2	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	2	1	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	4	0	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	1	1	0	0	0	4.7



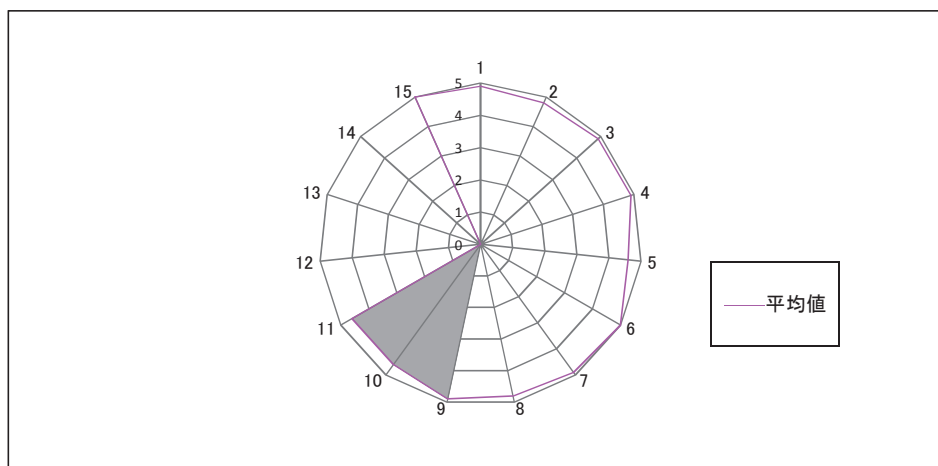
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 運動方法Ⅶ(新課程)  
 評価実施日 令和3年7月29日  
 担当教員名 木原 資裕

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	1	1	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	2	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	3	0	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	0	0	0	0	0	5.0



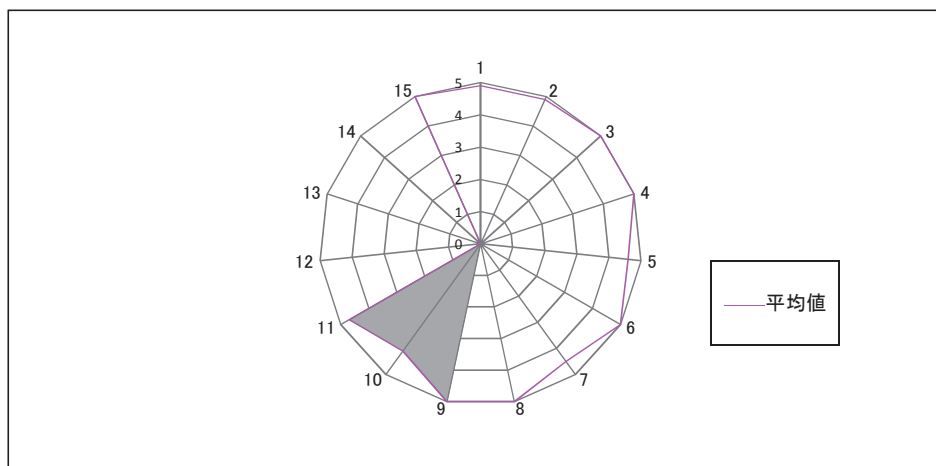
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 体育心理学 I  
 評価実施日 令和3年8月28日  
 担当教員名 中塚 健太郎

回答者数 11名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	2	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	2	0	0	0	0	4.9
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	11	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	10	1	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	3	1	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	11	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	2	2	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	1	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	10	1	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	4	1	0	1	0	4.1
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	9	1	0	1	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	1	0	0	0	0	5.0



総合評価	4.9
------	-----

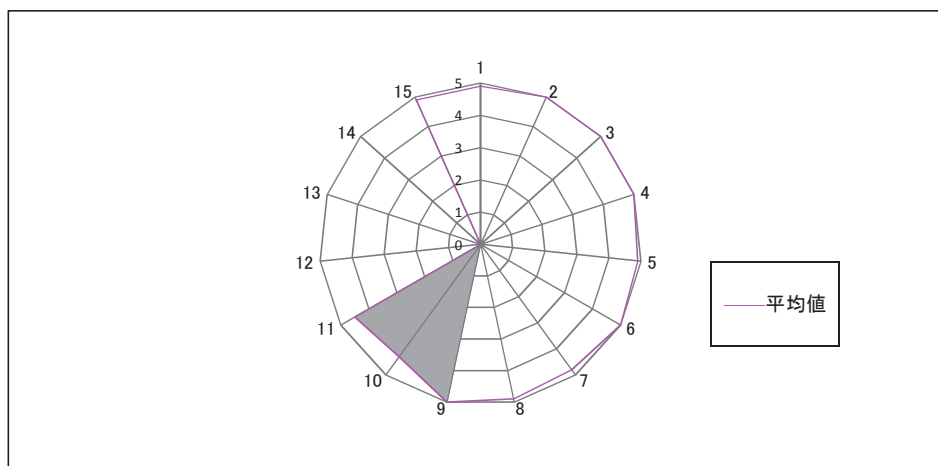
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 体育心理学Ⅱ  
 評価実施日 令和3年9月4日  
 担当教員名 中塚 健太郎

回答者数 11名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	2	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	1	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	10	1	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	10	1	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	9	2	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	10	1	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	3	0	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	2	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	11	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	3	1	1	0	0	4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	2	0	0	1	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	9	2	0	0	0	0	4.9



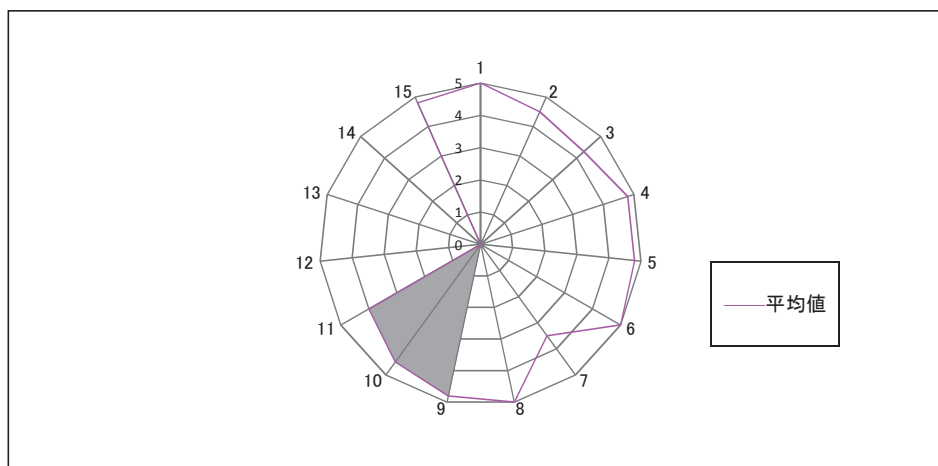
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 学校保健 I  
 評価実施日 令和3年8月24日  
 担当教員名 宮本 賢作

回答者数 4名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	0	1	0	0	4.3
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	0	1	0	1	0	3.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	1	0	1	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	1	0	0	0	0	4.8



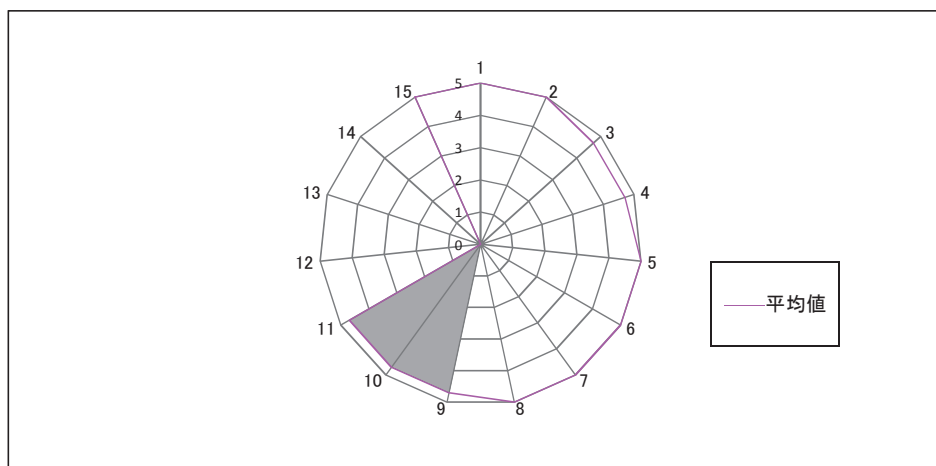
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 学校保健Ⅱ  
 評価実施日 令和3年8月26日  
 担当教員名 宮本 賢作

回答者数 3名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	1	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	0	0	0	0	0	5.0



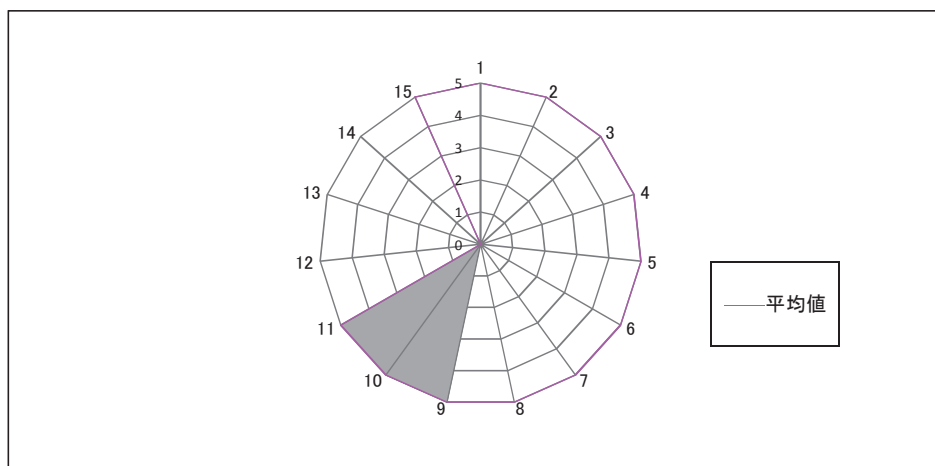
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 電気工学  
 評価実施日 令和3年7月27日  
 担当教員名 宮本 賢治

回答者数 1名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



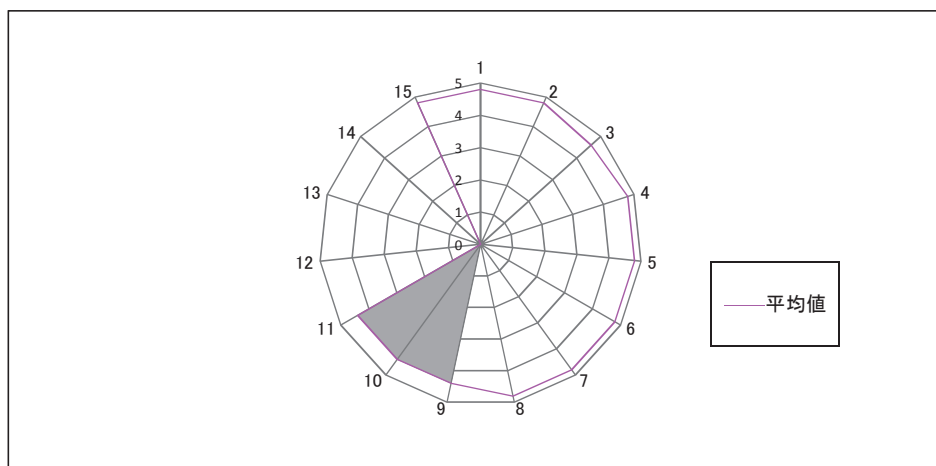
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 電子工学  
 評価実施日 令和3年7月27日  
 担当教員名 宮本 賢治

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	0	1	0	0	0	4.6
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	1	1	0	0	0	4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	1	1	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	1	1	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	1	0	0	0	0	4.8



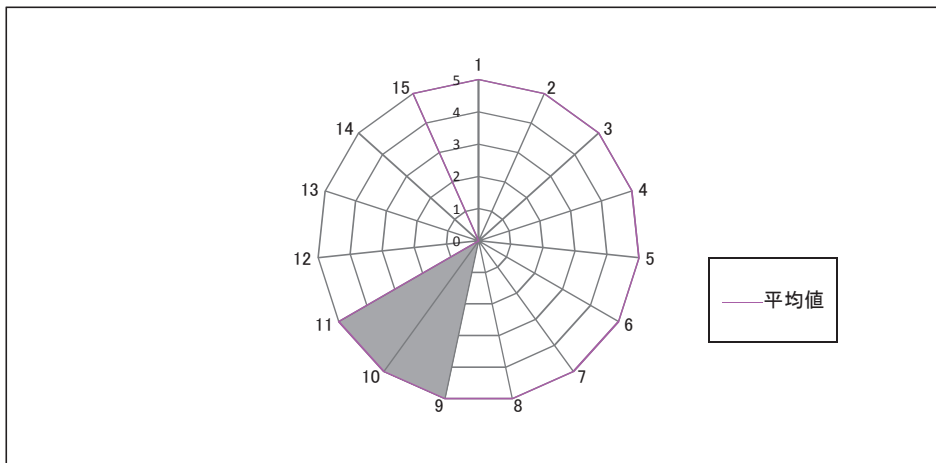
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 職業指導  
 評価実施日 令和3年8月25日  
 担当教員名 田中 美恵

回答者数 1名

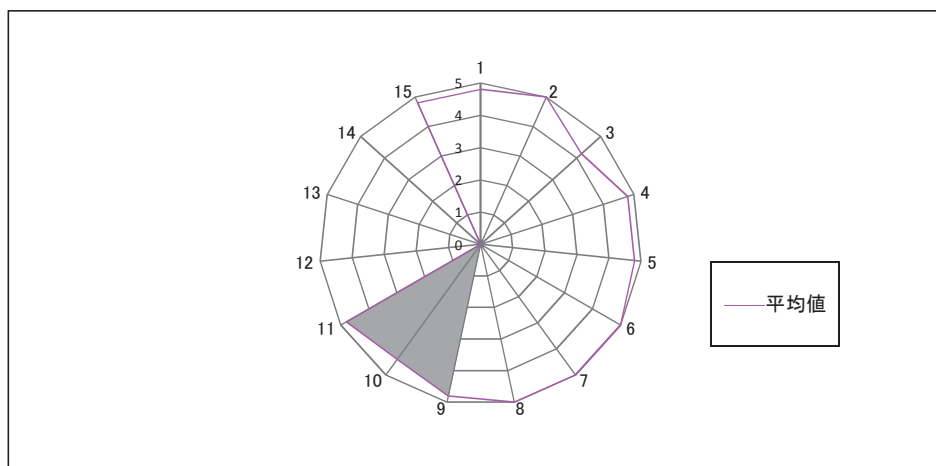
質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



授業科目名 情報社会と情報倫理  
 評価実施日 令和3年7月26日  
 担当教員名 竹口 幸志

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	2	1	0	0	0	4.2
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	1	1	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	1	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	1	0	0	0	0	4.8



総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

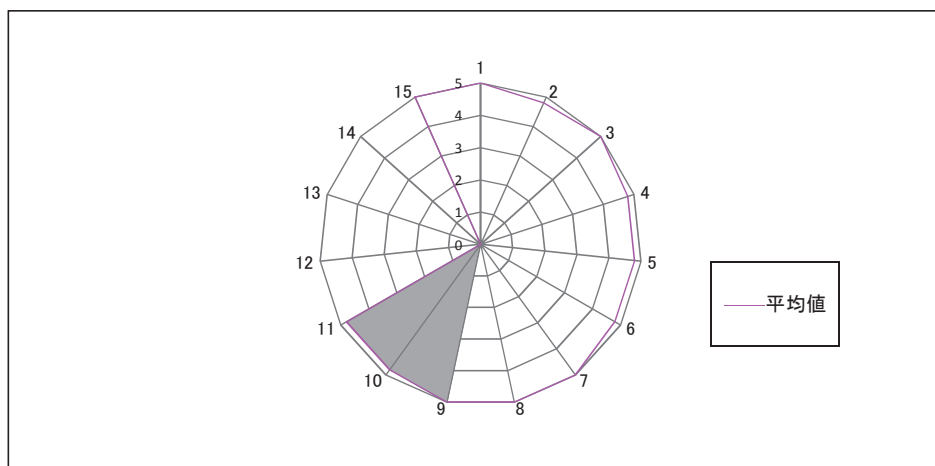
授業科目名 マルチメディアと教育技術(実習を含む。)

評価実施日 令和3年7月28日

担当教員名 阪東 哲也

回答者数 4名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	1	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	0	5.0



総合評価 4.9

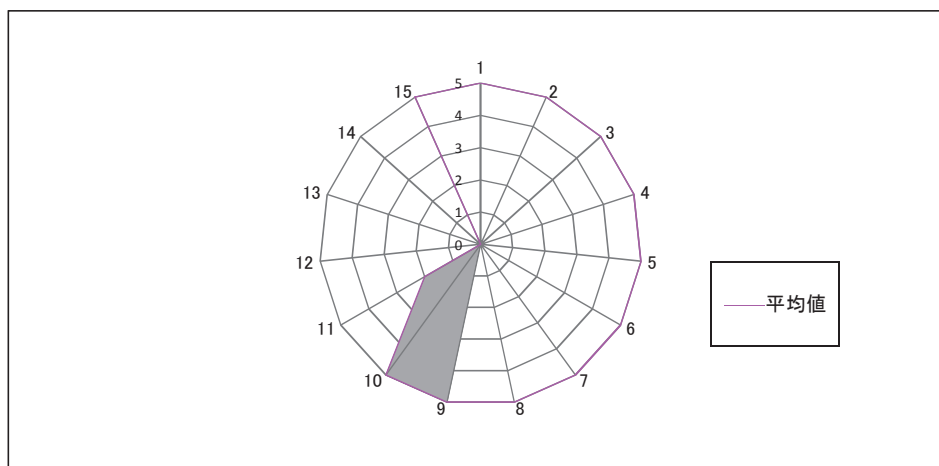
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 情報と職業  
 評価実施日 令和3年8月29日  
 担当教員名 豊永 昌彦

回答者数 1名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	1	0	0	2.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



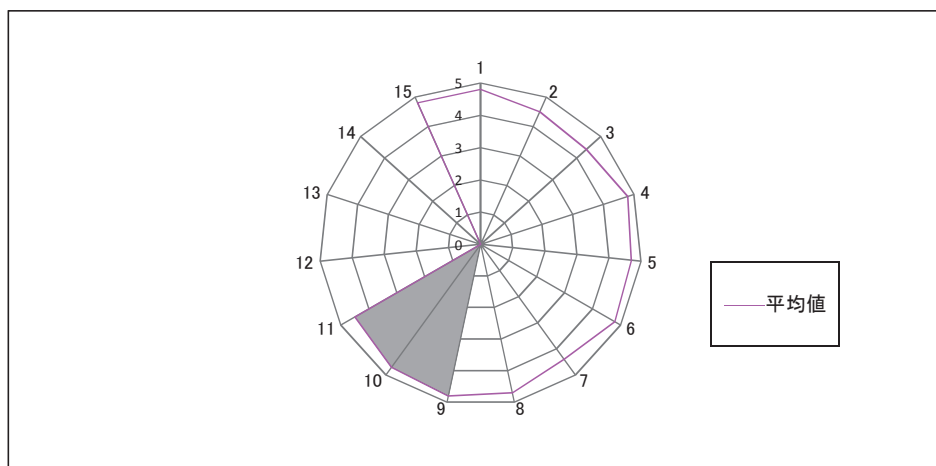
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 家族論  
 評価実施日 令和3年8月6日  
 担当教員名 黒川 衣代

回答者数 8名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	2	1	0	0	0	4.5
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	1	2	0	0	0	4.4
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	3	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	3	1	0	0	0	4.4
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	3	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	3	0	0	0	0	4.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	2	1	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	2	0	0	0	0	4.8



総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 被服学概論(被服製作実習を含む。)

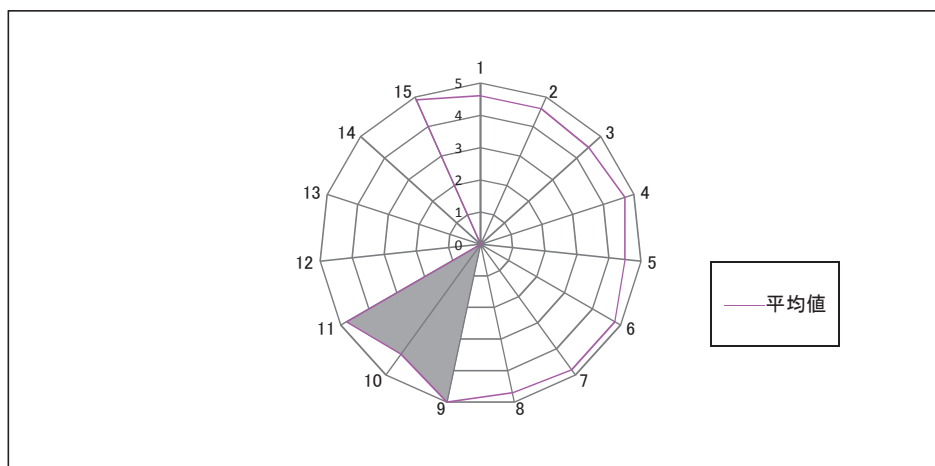
評価実施日 令和3年7月26日

担当教員名 福井 典代

回答者数

15名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	6	0	0	0	0	4.6
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	6	0	0	0	0	4.6
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	6	1	0	0	0	4.5
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	10	5	0	0	0	0	4.7
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	8	0	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	12	3	0	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	12	3	0	0	0	0	4.8
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	5	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	14	1	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	7	5	2	1	0	0	4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	11	4	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	13	2	0	0	0	0	4.9



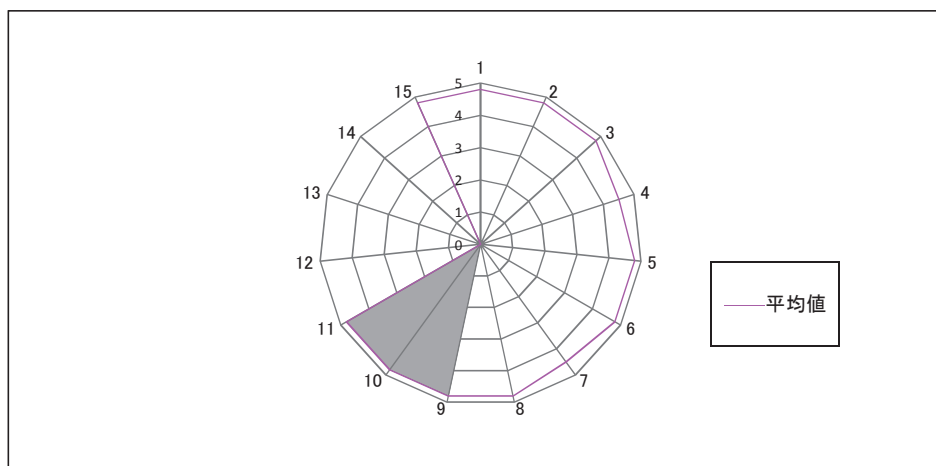
総合評価 4.7

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 被服構成実習  
 評価実施日 令和3年6月8日  
 担当教員名 福井 典代

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	0	1	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	0	1	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	1	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	1	0	0	0	0	4.8



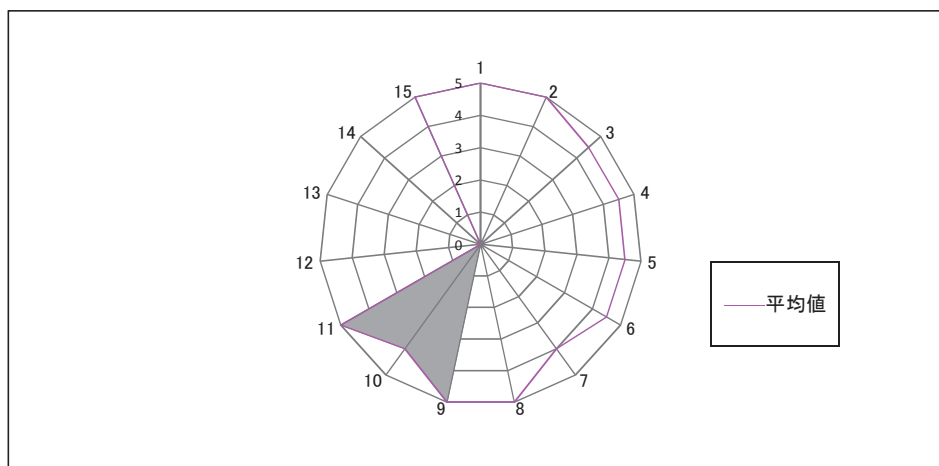
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 調理実習  
 評価実施日 令和3年6月3日  
 担当教員名 西川 和孝

回答者数 2名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	1	0	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	0	0	0	0	0	5.0



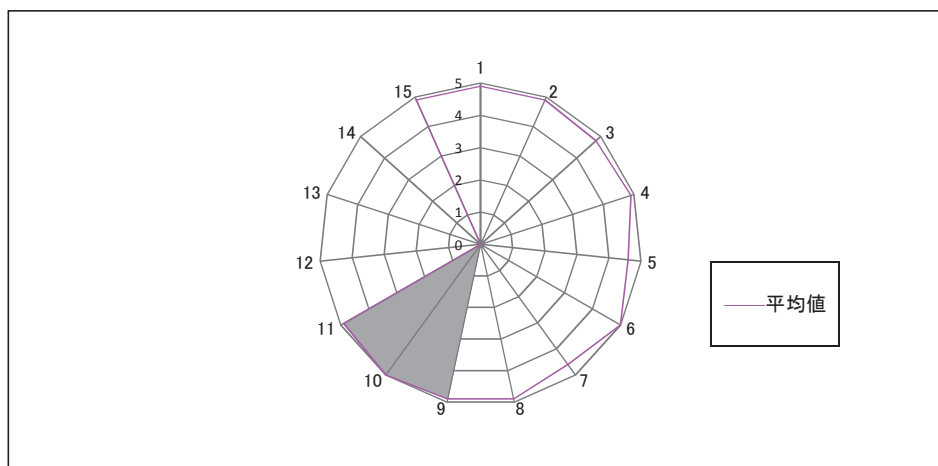
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 住生活学  
 評価実施日 令和3年7月26日  
 担当教員名 金 貞均

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.6
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



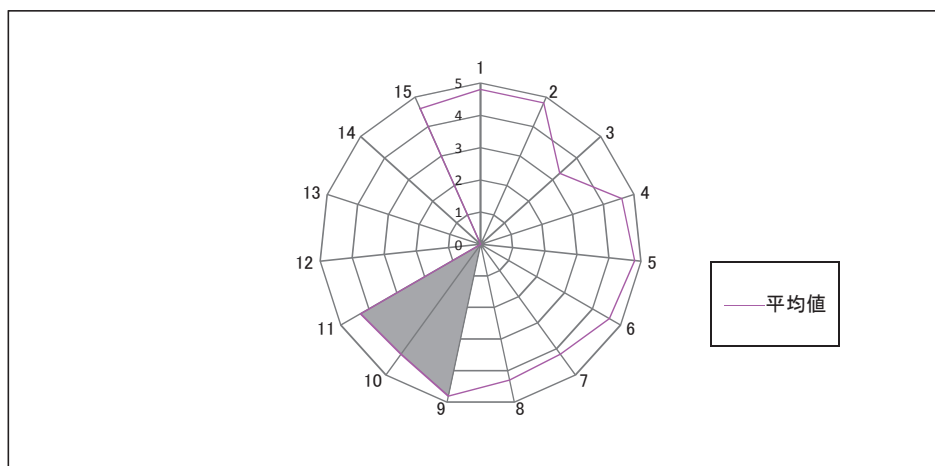
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 知的障害者の生理・病理  
 評価実施日 令和3年7月30日  
 担当教員名 田中 淳一

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	2	2	2	0	0	3.3
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	1	1	0	0	0	4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	2	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	1	1	0	0	0	4.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	2	2	0	0	0	4.2
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	2	0	1	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	3	0	1	0	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	2	0	1	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	3	0	0	0	0	4.6



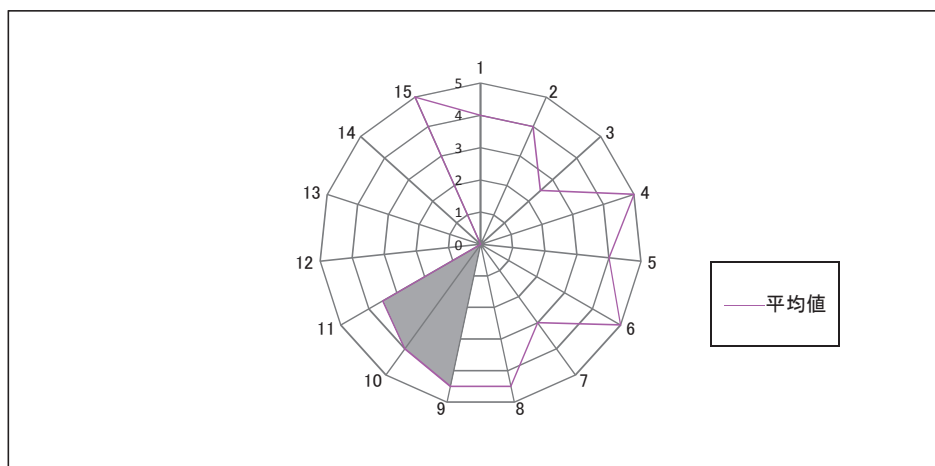
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 肢体不自由教育  
 評価実施日 令和3年8月25日  
 担当教員名 須田 正信

回答者数 2名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	1	0	0	1	0	2.5
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	2	0	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	0	2	0	0	0	3.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	1	0	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	1	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	1	1	0	0	0	3.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	2	0	0	0	0	0	5.0



総合評価 **4.1**

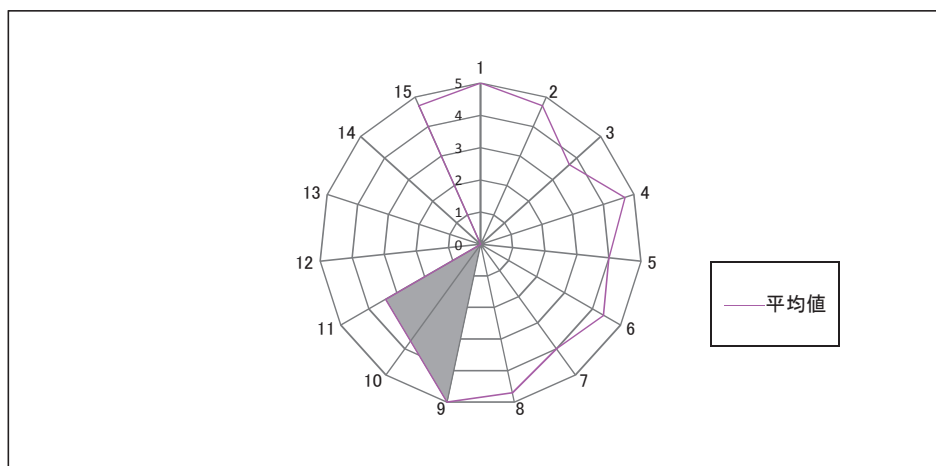
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 病弱者の心理・生理・病理  
 評価実施日 令和3年7月30日  
 担当教員名 伊藤 弘道

回答者数 3名

質問項目	評価選択人数	平均値						
		5	4	3	2	1	N.A	(項目別)
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	2	1	0	0	0	3.7
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	1	1	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	1	1	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	1	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	2	1	0	0	0	3.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	1	2	0	0	0	3.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	1	0	0	0	0	4.7



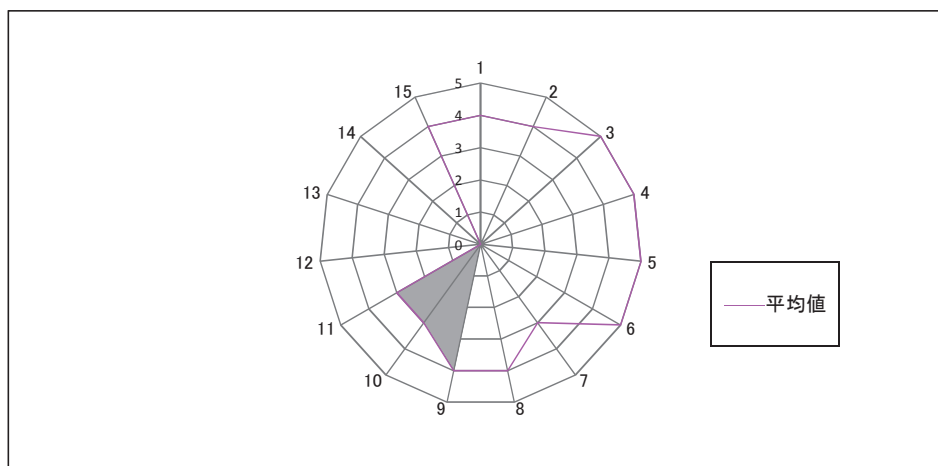
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 重複・LD等教育総論  
 評価実施日 令和3年7月29日  
 担当教員名 森 慶子

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	1	0	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	0	1	0	0	0	3.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	0	1	0	0	0	0	4.0



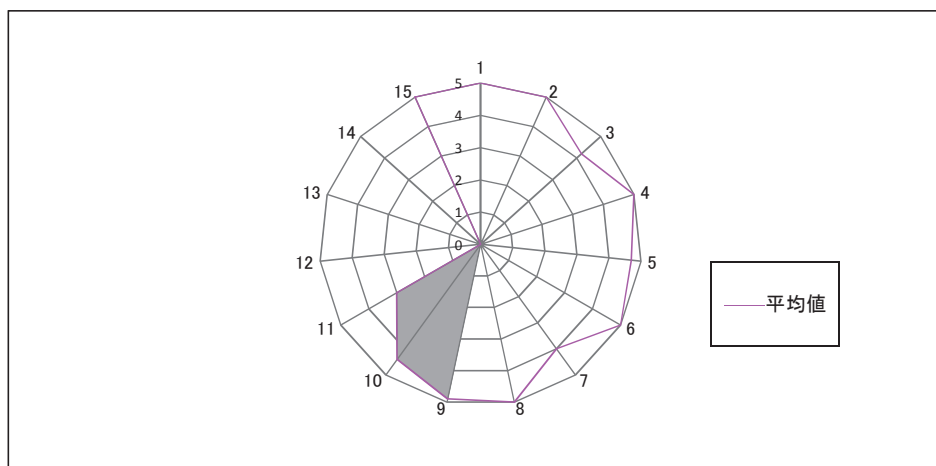
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 視覚障害者の心理・生理・病理  
 評価実施日 令和3年7月29日  
 担当教員名 高原 光恵

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	2	0	1	0	0	4.2
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	0	1	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	0	3	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	4	0	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	2	2	2	0	0	3.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	0	0	0	0	0	5.0



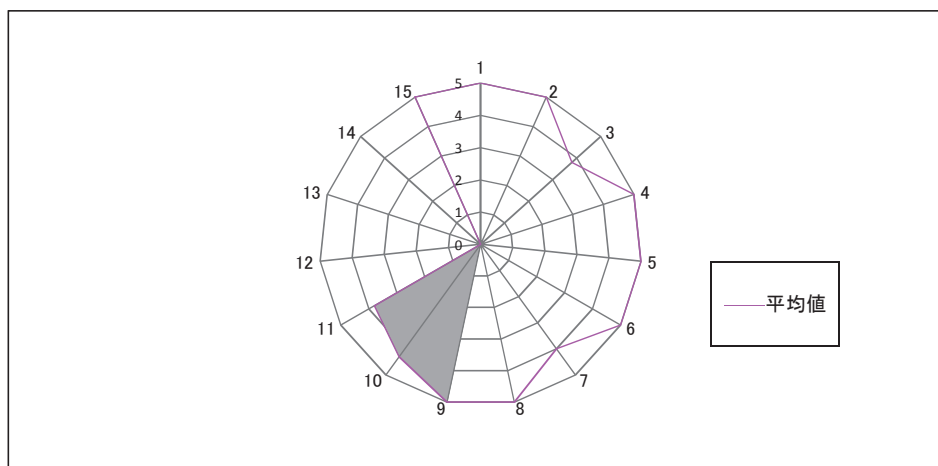
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 聴覚障害者の心理・生理・病理  
 評価実施日 令和3年8月26日  
 担当教員名 島田 亜紀

回答者数 4名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	1	1	0	0	3.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	0	2	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	1	1	0	0	0	4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	1	2	0	0	0	3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	0	5.0



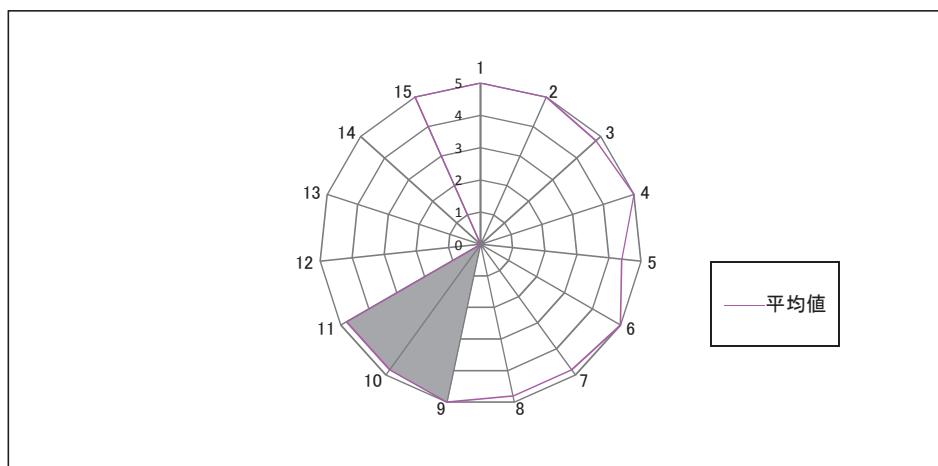
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等国語A  
 評価実施日 令和4年2月7日  
 担当教員名 余郷 裕次

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	1	1	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	1	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	0	5.0



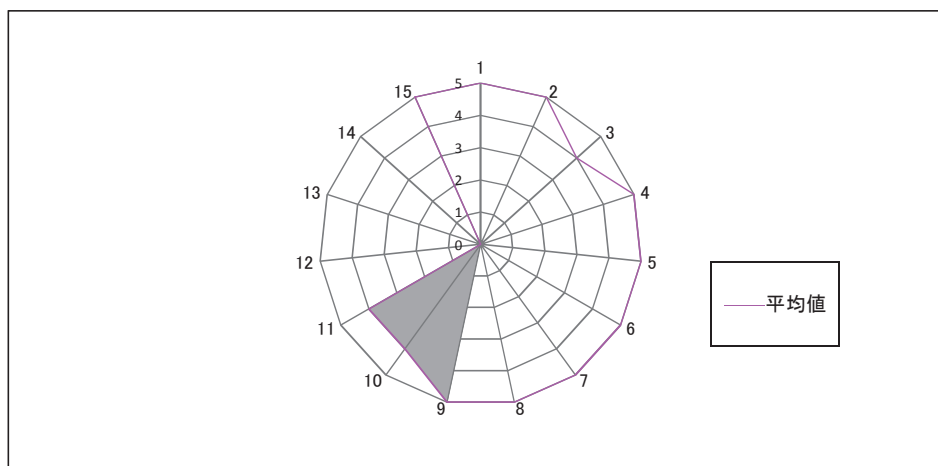
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等国語B  
 評価実施日 令和4年2月7日  
 担当教員名 村井 万里子

回答者数 1名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	1	0	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

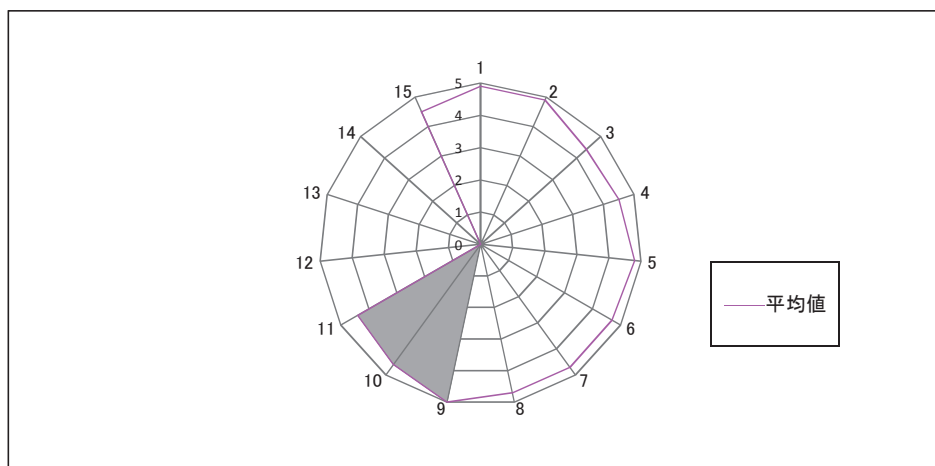
授業科目名 初等理科

評価実施日 令和4年2月7日

担当教員名 本田 亮, 武田 清, 佐藤 勝幸, 福地 里菜

回答者数 19名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.4
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.7
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。						4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.5



総合評価	4.7
------	-----

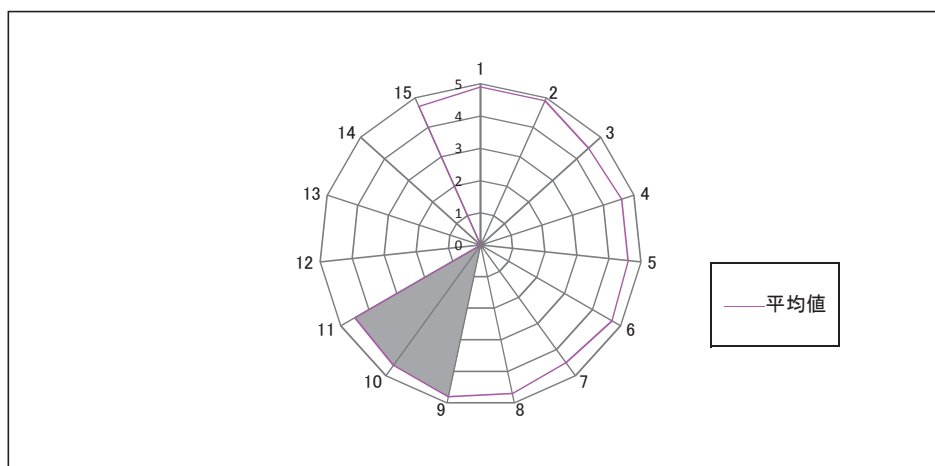
※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等音楽 I

評価実施日 令和4年2月9日

担当教員名 山田 啓明, 頃安 利秀, 森 正, 山根 秀憲, 真鍋 美恵, 朝香 友貴, 鉄口 真理子 回答者数 27名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題,成績評価の方法が明確に示され,その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は,シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3)授業では,シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.5
	(4)授業内容は,授業の目標とつなげて,教養を深めたり,教育の見方・考え方,専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は,適切なものだった。						4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が,必要に応じて行われた。						4.5
	(8)授業方法は,学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し,積極的に取り組んだ。						4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。						4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり,他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ,教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され,授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して,この授業は満足できるものであった。						4.7



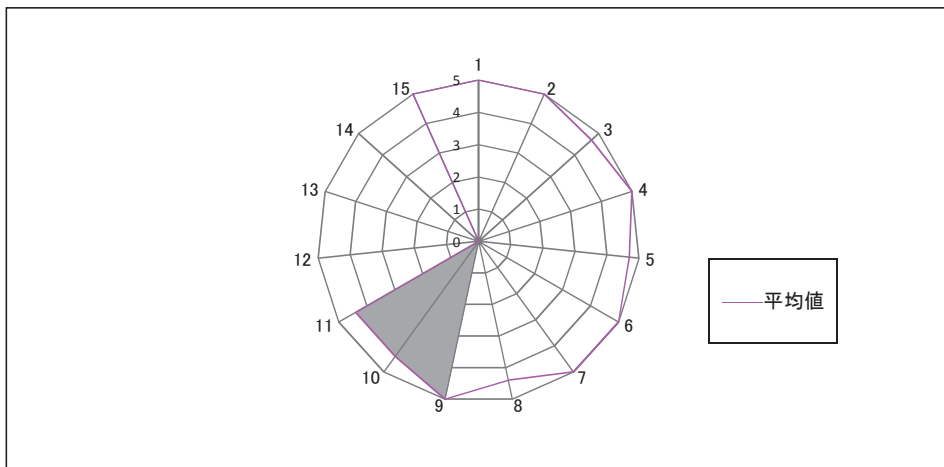
総合評価 4.7

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



授業科目名 初等音楽Ⅱ  
 評価実施日 令和4年2月7日  
 担当教員名 山田 啓明, 頃安 利秀, 森 正, 山根 秀憲, 増田 篤志 回答者数 3名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	1	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	2	0	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	2	0	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	0	0	0	0	0	5.0



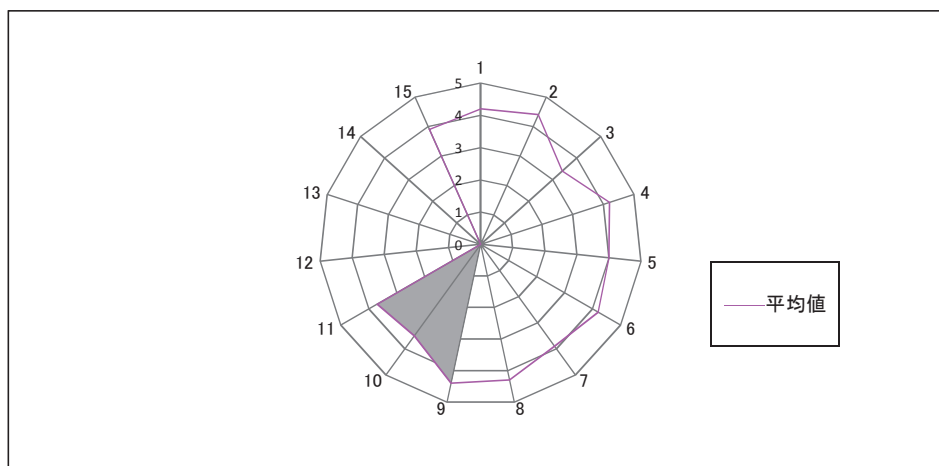
総合評価	4.9
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 幼児と健康(新課程)  
 評価実施日 令和4年2月9日  
 担当教員名 湯地 宏樹, 乾 信之

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数	平均値						
		5	4	3	2	1	N.A	(項目別)
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	2	5	1	0	0	0	4.2
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	5	0	0	0	0	4.4
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	1	3	2	0	0	3.4
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	3	4	0	1	0	0	4.2
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	2	3	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	3	3	2	0	0	0	4.2
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	3	1	4	0	0	0	3.9
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	4	1	0	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	4	3	1	0	0	0	4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	4	1	2	0	0	3.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	1	4	2	1	0	0	3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	3	2	2	1	0	0	3.9



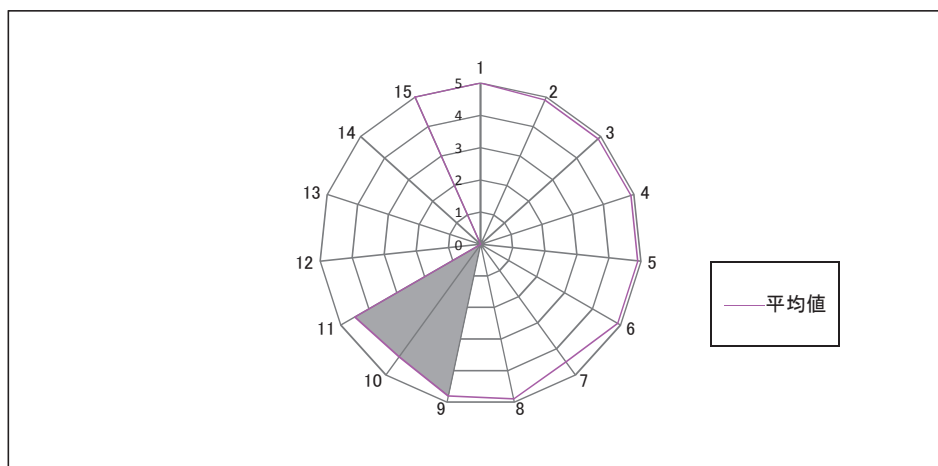
総合評価 **4.1**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 幼児と環境(新課程)  
 評価実施日 令和4年2月3日  
 担当教員名 塩路 晶子

回答者数 12名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	12	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	2	0	0	0	0	4.9
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	10	2	0	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	10	2	0	0	0	0	4.9
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	10	2	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	10	2	0	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	3	0	1	0	0	4.5
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	2	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	3	0	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	5	2	0	0	0	4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	7	0	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	12	0	0	0	0	0	5.0



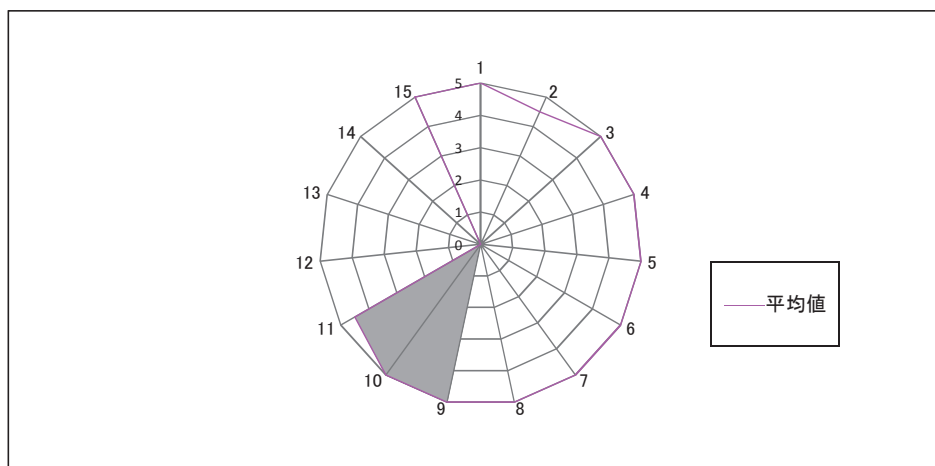
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 保育原論  
 評価実施日 令和4年2月3日  
 担当教員名 湯地 宏樹

回答者数 2名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	1	0	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	0	0	0	0	0	5.0



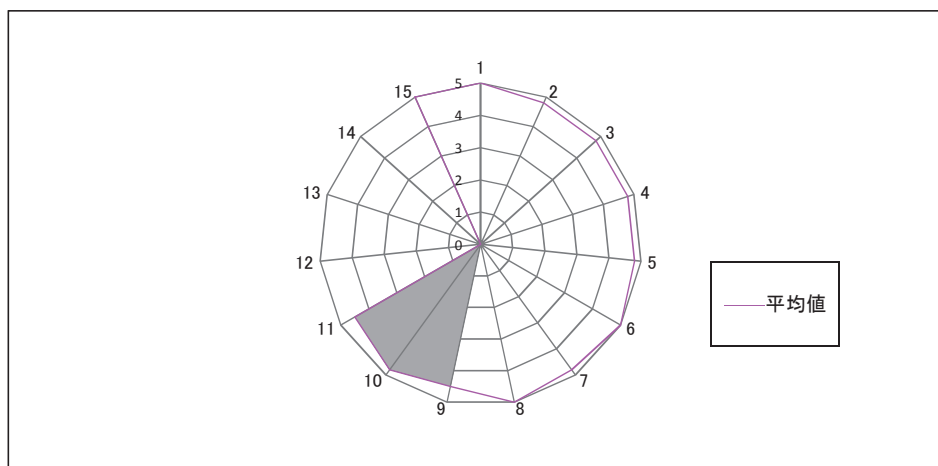
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 社会的養護 I (新課程)  
 評価実施日 令和4年2月2日  
 担当教員名 木村 直子

回答者数 4名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	2	2	0	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	0	5.0



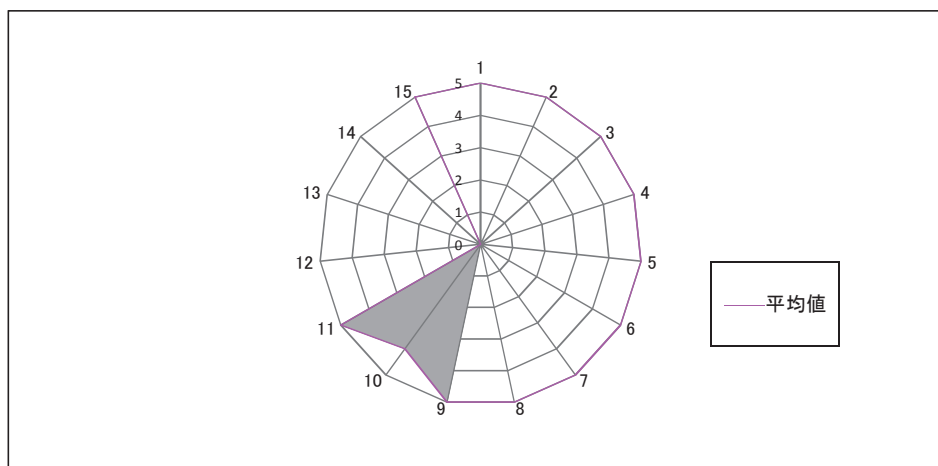
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 子育て支援(新課程)  
 評価実施日 令和4年2月2日  
 担当教員名 木村 直子

回答者数 1名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



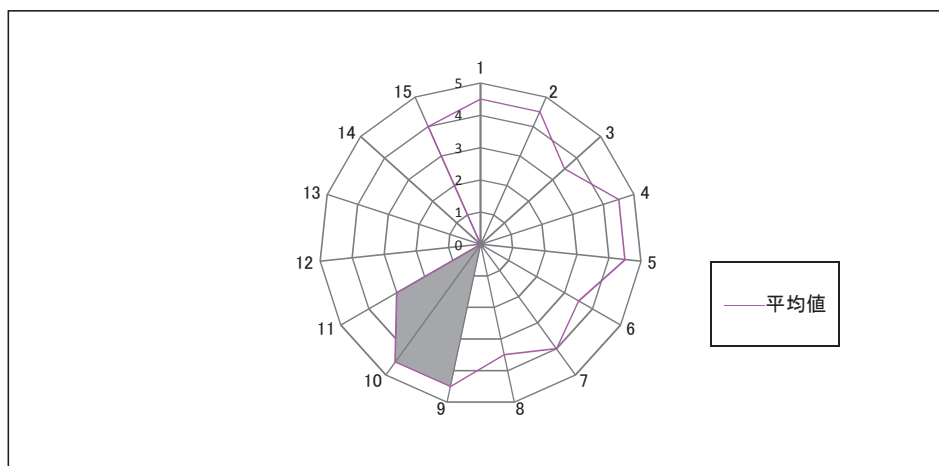
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 子どもの保健(新課程)  
 評価実施日 令和4年2月3日  
 担当教員名 伊藤 弘道

回答者数 2名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	1	1	0	0	0	3.5
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	1	0	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	1	1	0	0	0	3.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	1	0	1	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	1	1	0	0	0	3.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	1	0	1	0	0	3.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	2	0	0	0	0	4.0



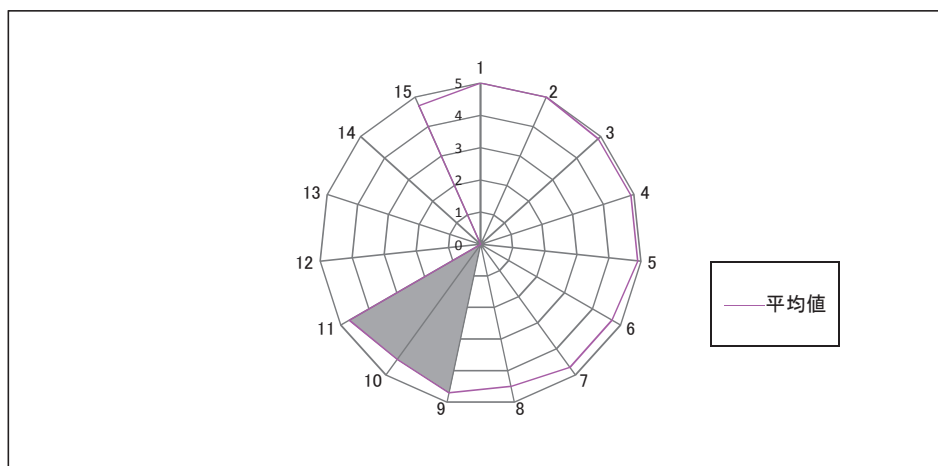
総合評価 4.1

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 子どもの食と栄養  
 評価実施日 令和3年12月20日  
 担当教員名 馬場 公恵

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.9
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



総合評価 **4.8**

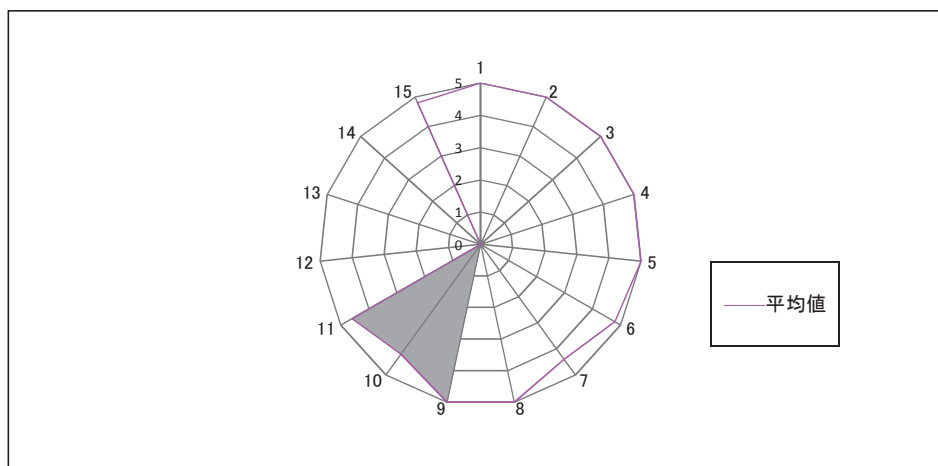
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 乳児保育Ⅱ(新課程)  
 評価実施日 令和4年2月2日  
 担当教員名 塩路 晶子

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	1	1	0	0	0	4.4
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	4	0	0	0	0	4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	2	0	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	1	0	0	0	0	4.8



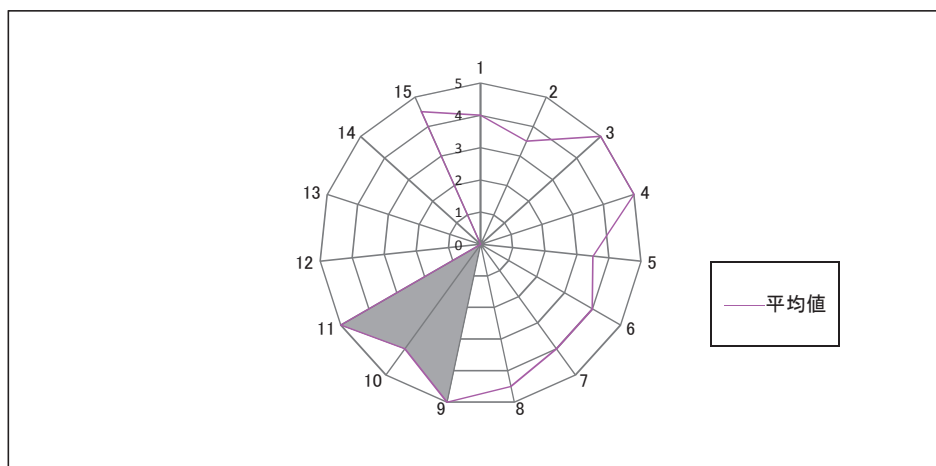
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 乳幼児教育研究法 I  
 評価実施日 令和4年2月2日  
 担当教員名 塩路 晶子

回答者数 2名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	1	1	0	0	0	3.5
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	1	1	0	0	0	3.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	1	0	1	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	1	0	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	1	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	2	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	1	1	0	0	0	0	4.5



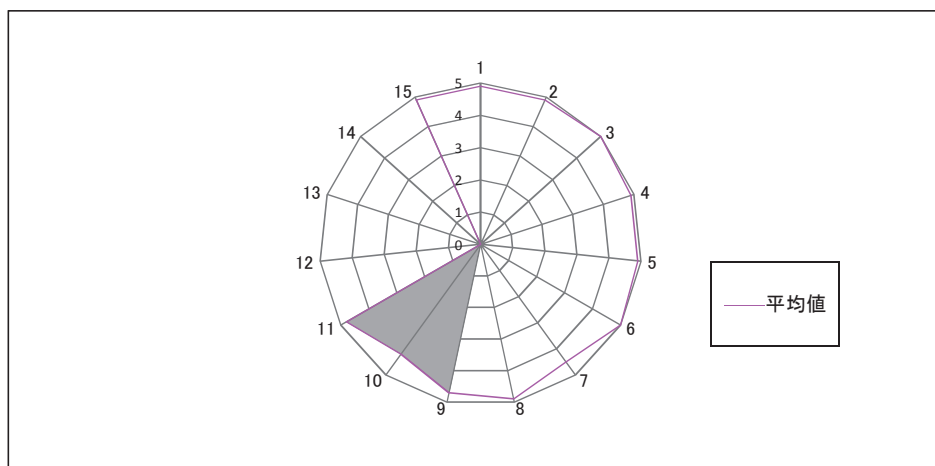
総合評価 4.2

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国語学 I  
 評価実施日 令和3年12月21日  
 担当教員名 齊藤 学

回答者数 22名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	19	2	1	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	18	4	0	0	0	0	4.9
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	20	2	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	19	3	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	18	4	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	22	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	14	5	3	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	18	4	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	16	5	1	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	10	7	3	2	0	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	18	3	1	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	19	3	0	0	0	0	4.9



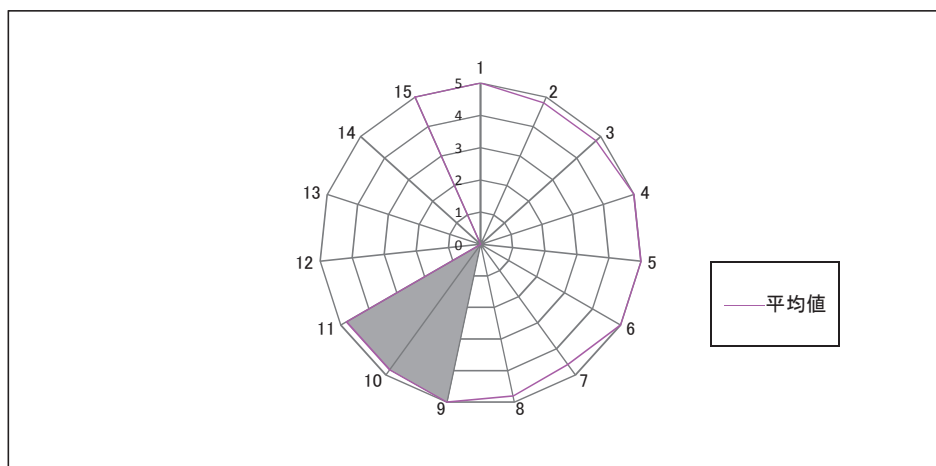
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国語学特論 I  
 評価実施日 令和4年2月3日  
 担当教員名 原 卓志

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	1	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	0	5.0



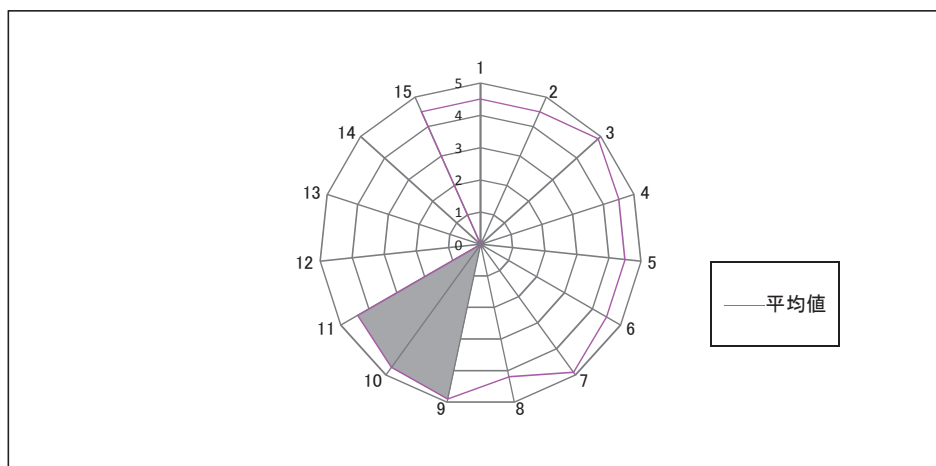
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国文学概論(国文学史を含む。)  
 評価実施日 令和4年2月8日  
 担当教員名 黒田 俊太郎

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	3	0	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	3	1	0	0	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	0	2	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	3	0	0	0	0	4.5



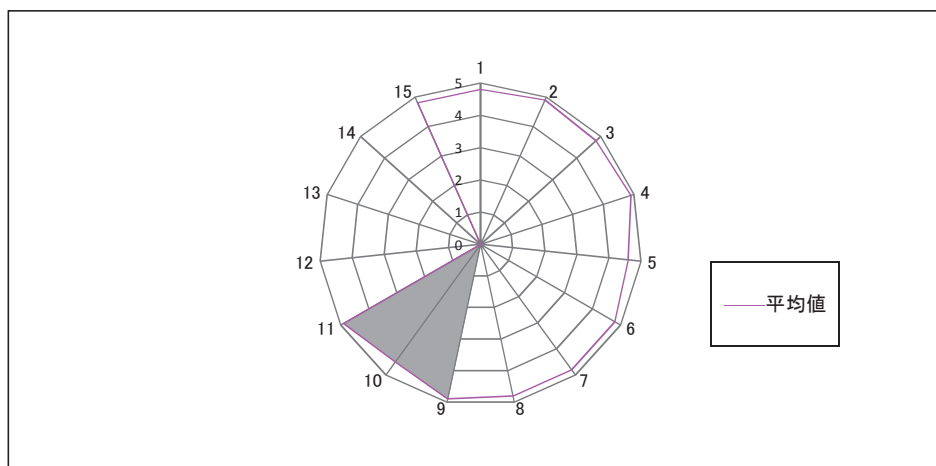
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国文学特論 I  
 評価実施日 令和4年2月8日  
 担当教員名 黒田 俊太郎

回答者数 17名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	13	4	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	14	3	0	0	0	0	4.9
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	12	5	0	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	15	2	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	12	3	2	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	14	2	0	1	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	12	5	0	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	14	2	0	1	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	15	2	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	10	5	2	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	15	1	1	0	0	0	4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	14	2	1	0	0	0	4.8



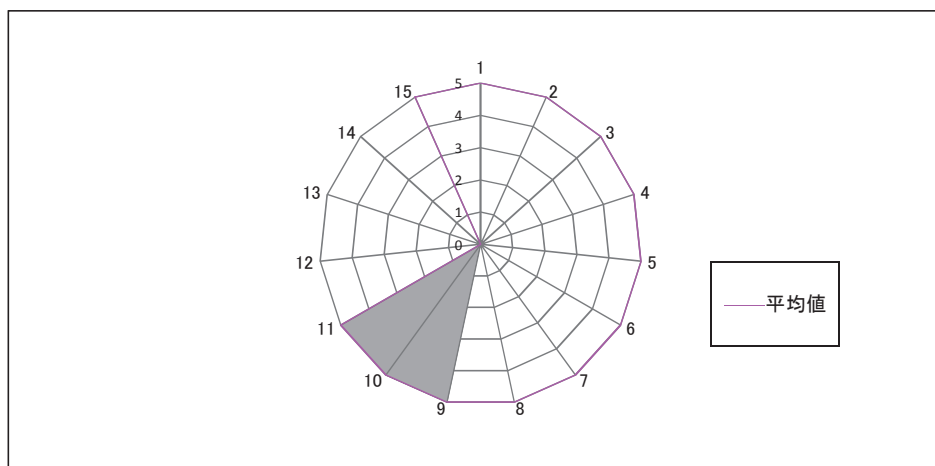
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 語学・文学総合演習Ⅱ(国文学)  
 評価実施日 令和4年2月3日  
 担当教員名 黒田 俊太郎, 平川 恵美子

回答者数 2名

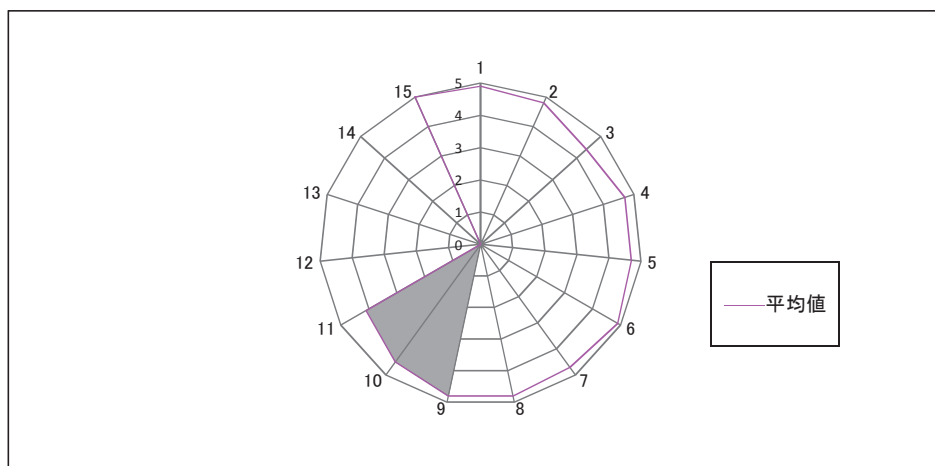
質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



授業科目名 漢文学概論  
 評価実施日 令和4年2月3日  
 担当教員名 佐伯 雅宣

回答者数 18名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	16	2	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	14	4	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	11	4	2	1	0	0	4.4
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	12	6	0	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	12	5	1	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	16	2	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	13	3	2	0	0	0	4.7
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	16	1	0	1	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	14	4	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	11	5	1	1	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	9	4	2	3	0	0	4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	17	1	0	0	0	0	5.0



総合評価 **4.8**

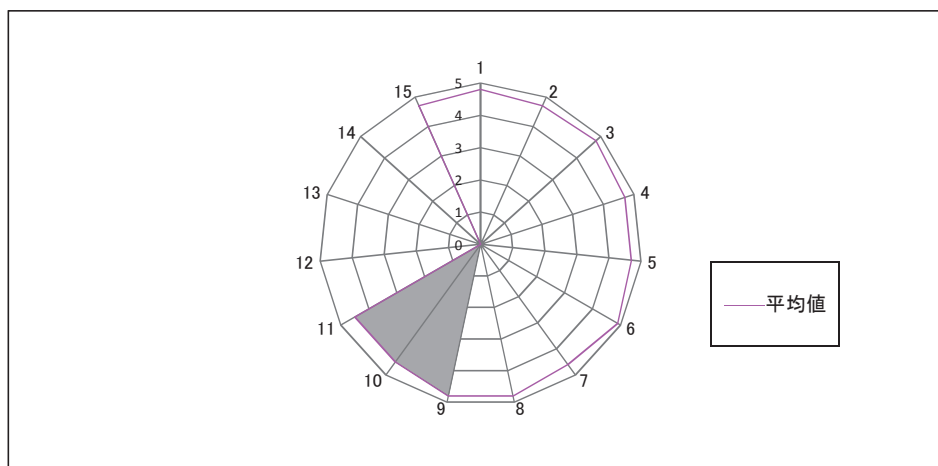
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 書写 I  
 評価実施日 令和4年2月2日  
 担当教員名 黒橋 由加里

回答者数 35名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	26	8	1	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	26	7	1	1	0	0	4.7
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	28	7	0	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	25	9	0	1	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	25	9	1	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	29	6	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	24	9	1	0	1	0	4.6
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	27	7	0	1	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	28	4	3	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	20	12	2	1	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	18	16	1	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	26	7	1	0	1	0	4.7



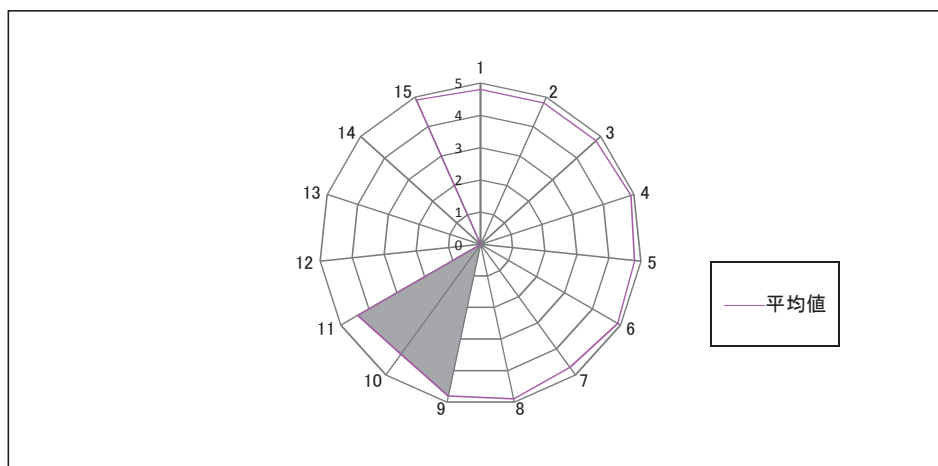
総合評価 4.7

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 書写Ⅱ  
 評価実施日 令和4年2月2日  
 担当教員名 黒橋 由加里

回答者数 15名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.8
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



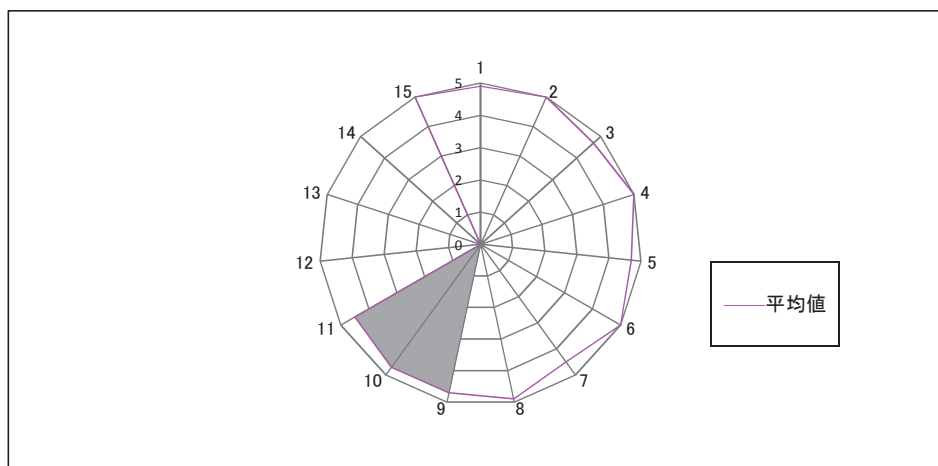
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語基礎研究  
 評価実施日 令和4年2月8日  
 担当教員名 眞野 美穂

回答者数 16名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	14	2	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	15	1	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	10	6	0	0	0	0	4.7
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	15	1	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	12	3	1	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	15	1	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	10	4	2	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	13	3	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	11	5	0	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	11	5	0	0	0	0	4.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	8	0	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	15	1	0	0	0	0	5.0



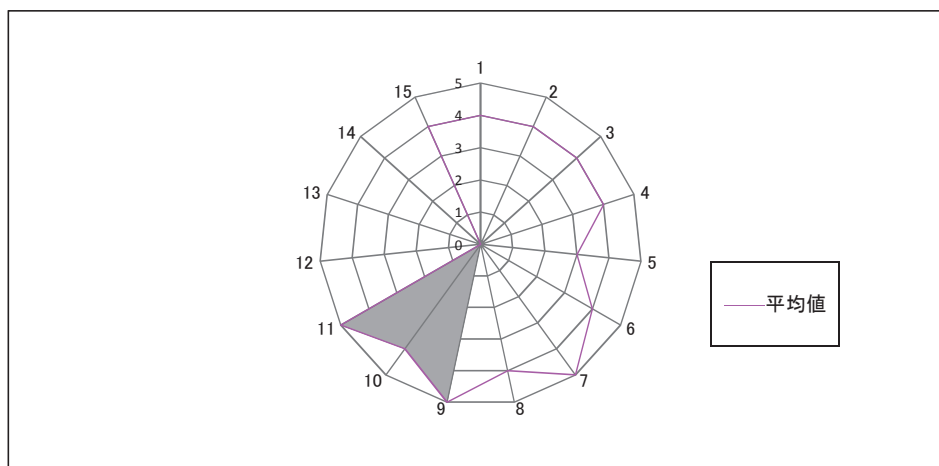
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語学概論  
 評価実施日 令和4年2月3日  
 担当教員名 数下 克彦

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	1	0	0	0	3.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	1	0	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	0	1	0	0	0	0	4.0



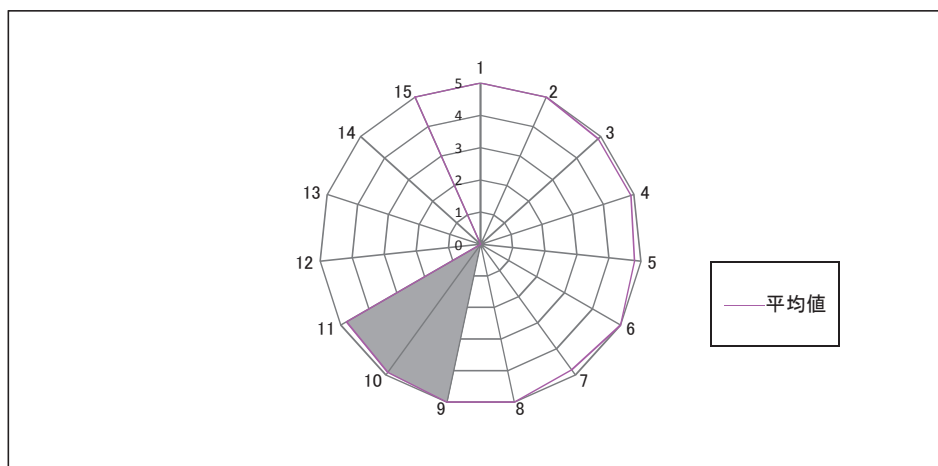
総合評価 **4.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語音声学  
 評価実施日 令和4年2月3日  
 担当教員名 眞野 美穂

回答者数 11名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.9
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.9
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



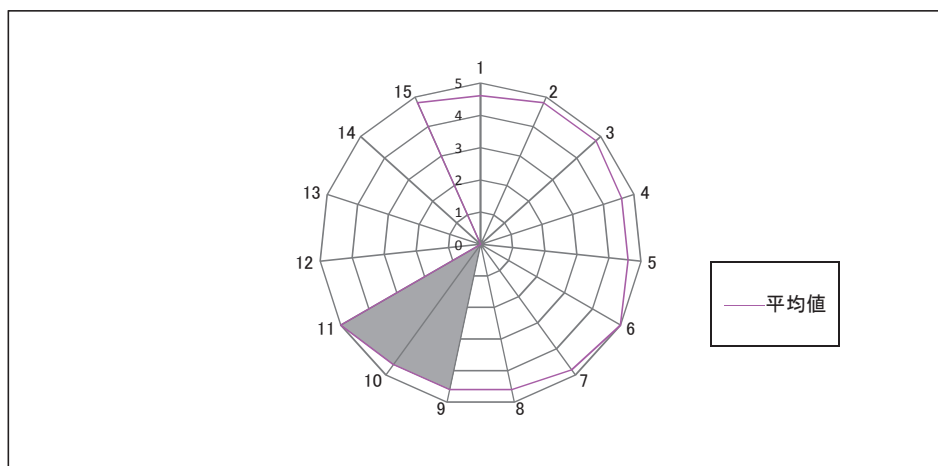
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語学研究Ⅱ  
 評価実施日 令和4年2月3日  
 担当教員名 眞野 美穂

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	2	0	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	2	0	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	1	0	0	0	0	4.8



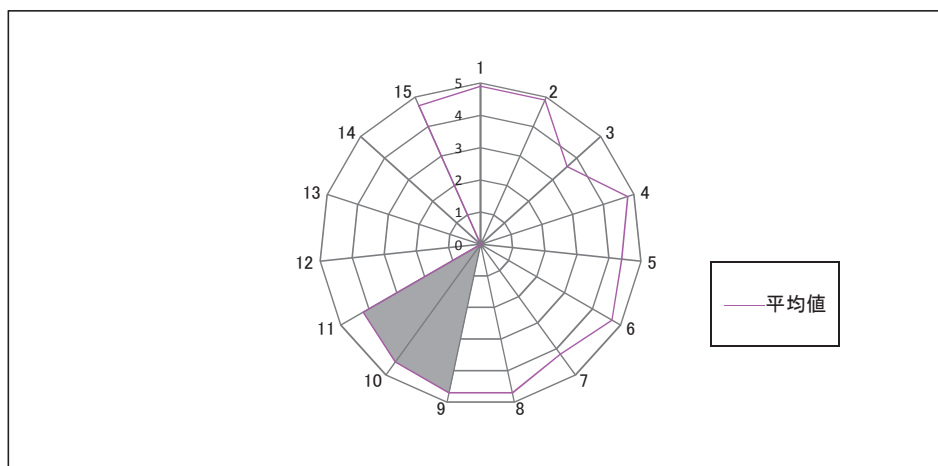
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英米文学研究 I  
 評価実施日 令和3年12月20日  
 担当教員名 宮崎 隆義

回答者数 9名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						3.6
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						4.2
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						4.7



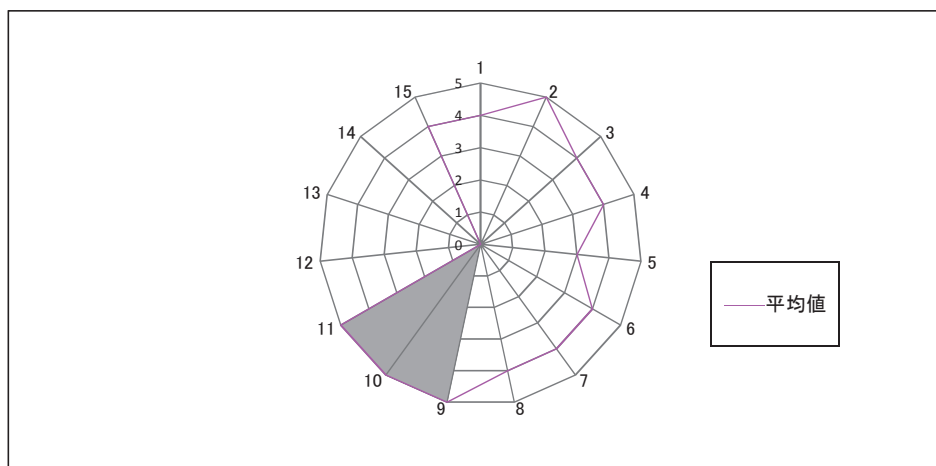
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 比較文化研究 I  
 評価実施日 令和4年2月2日  
 担当教員名 鎌田スザン・リン

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	1	0	0	0	3.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	1	0	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	1	0	0	0	0	4.0



総合評価 4.0

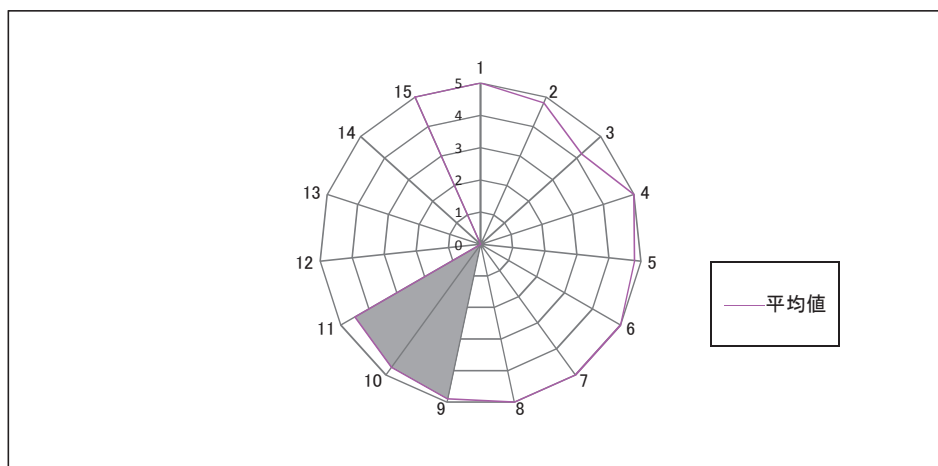
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 外国史特論  
 評価実施日 令和4年2月2日  
 担当教員名 原田 昌博

回答者数 10名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	10	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	2	3	0	0	0	4.2
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	10	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	2	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	10	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	10	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	1	2	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	0	0	0	0	0	5.0



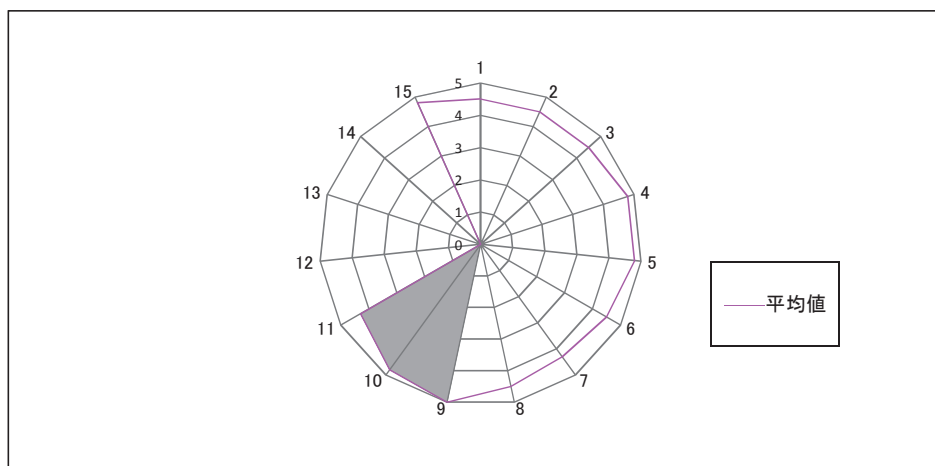
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 考古学  
 評価実施日 令和4年2月3日  
 担当教員名 菅原 康夫

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	1	0	0	0	4.5
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	1	3	0	0	0	0	4.3
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	0	1	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	1	3	0	0	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	3	1	0	0	0	0	4.8



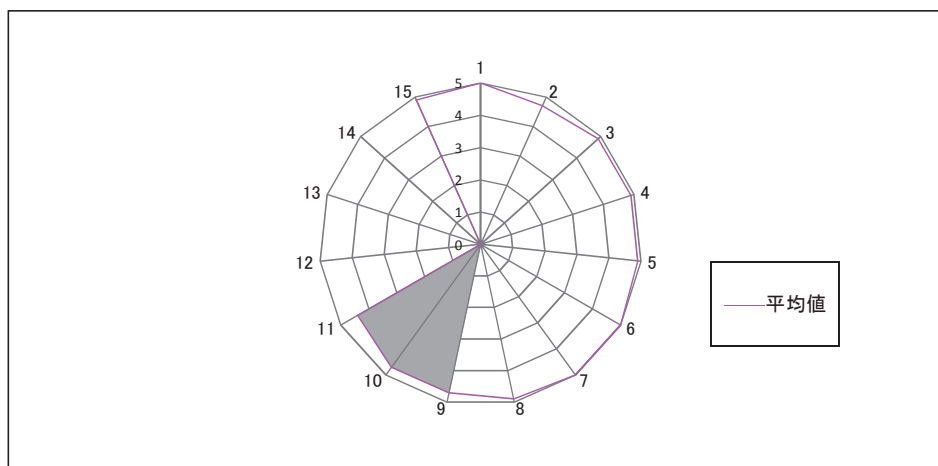
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 史料講読  
 評価実施日 令和4年2月2日  
 担当教員名 町田 哲, 原田 昌博

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	2	1	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	1	0	0	0	0	4.9



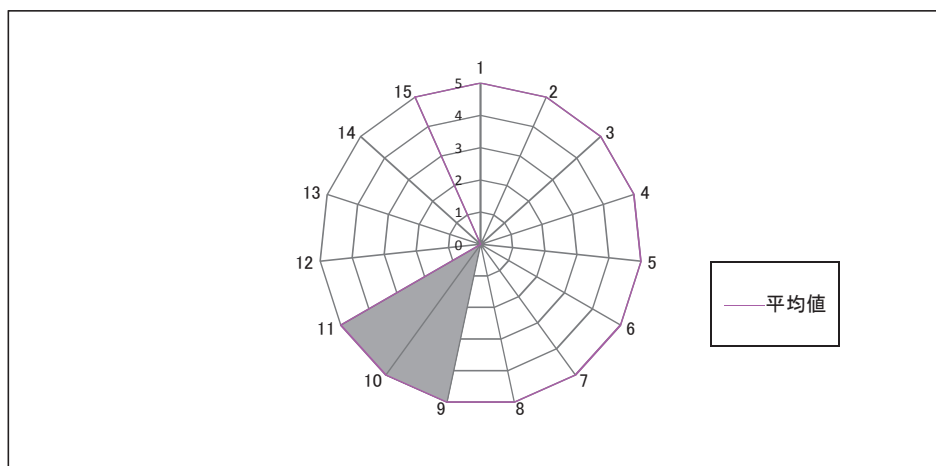
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 人文地理学特論  
 評価実施日 令和4年2月3日  
 担当教員名 畠山 輝雄

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



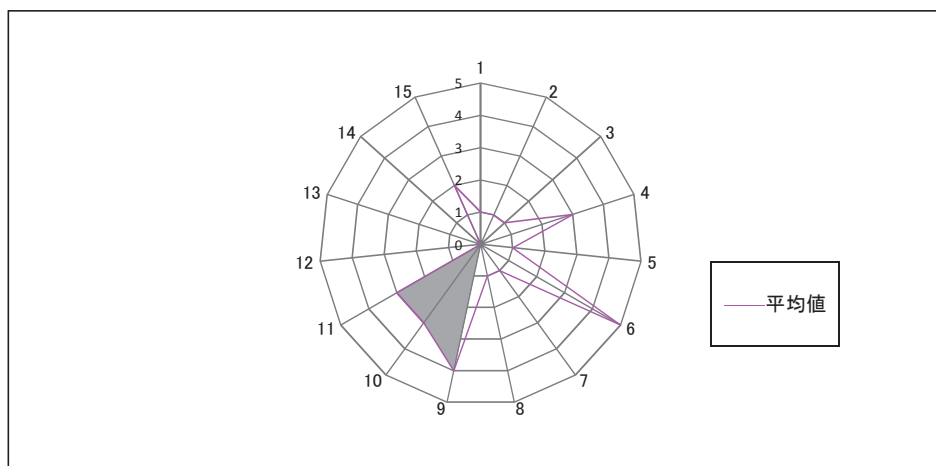
総合評価	5.0
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 自然地理学特論  
 評価実施日 令和4年2月7日  
 担当教員名 古田 昇

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	1	0	1.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	1	0	1.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	1	0	1.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	1	0	1.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	0	0	0	0	1	0	1.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	0	0	1	0	1.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	0	1	0	0	0	3.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	0	0	0	1	0	0	2.0



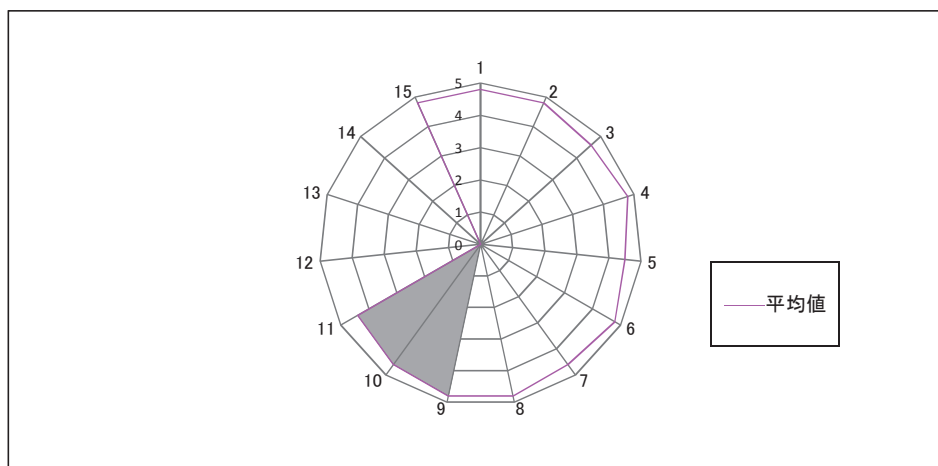
総合評価 **1.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 地理学概論  
 評価実施日 令和4年2月2日  
 担当教員名 畠山 輝雄

回答者数 14名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.6
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						4.6
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						4.8



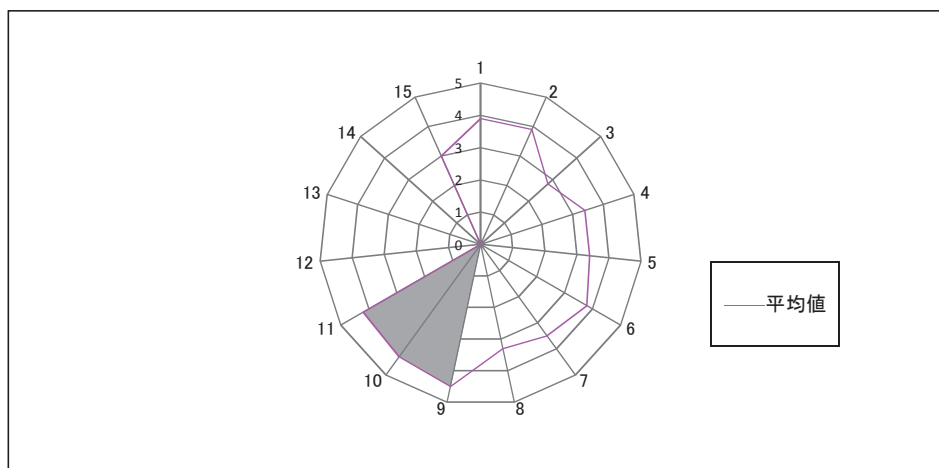
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 地誌学概論  
 評価実施日 令和4年2月2日  
 担当教員名 立岡 裕士

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						3.9
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						3.9
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						2.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						3.4
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						3.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						3.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						3.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						3.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						3.0



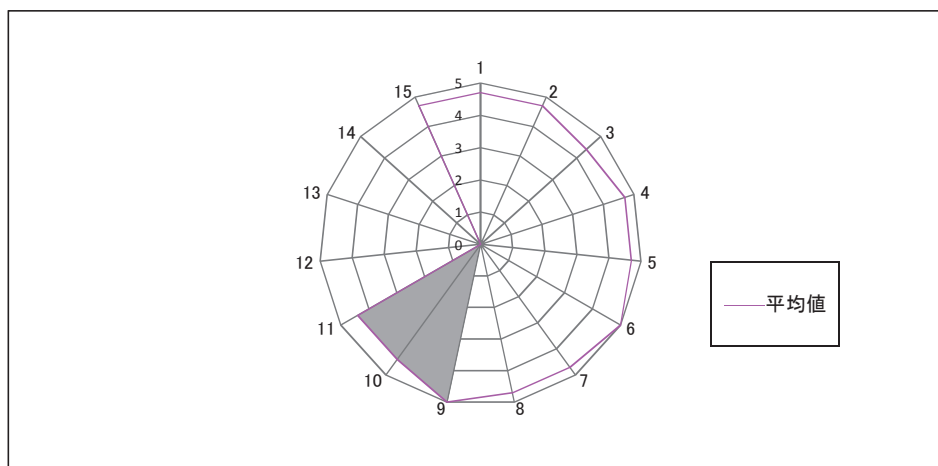
総合評価	3.4
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 地誌学特論  
 評価実施日 令和4年2月3日  
 担当教員名 立岡 裕士

回答者数 3名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	1	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	1	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	2	0	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	1	0	0	0	0	4.7



総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

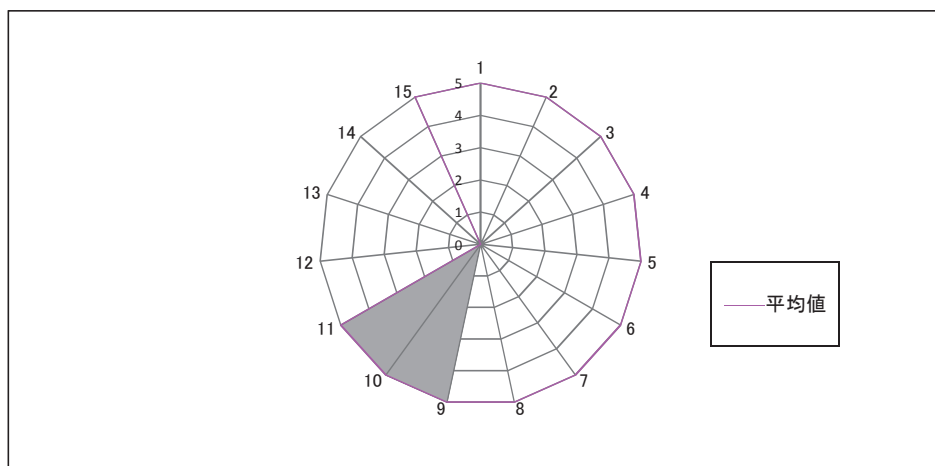


授業科目名 法律学概論(国際法を含む。)

評価実施日 令和4年2月2日

担当教員名 麻生 多聞 回答者数 1名

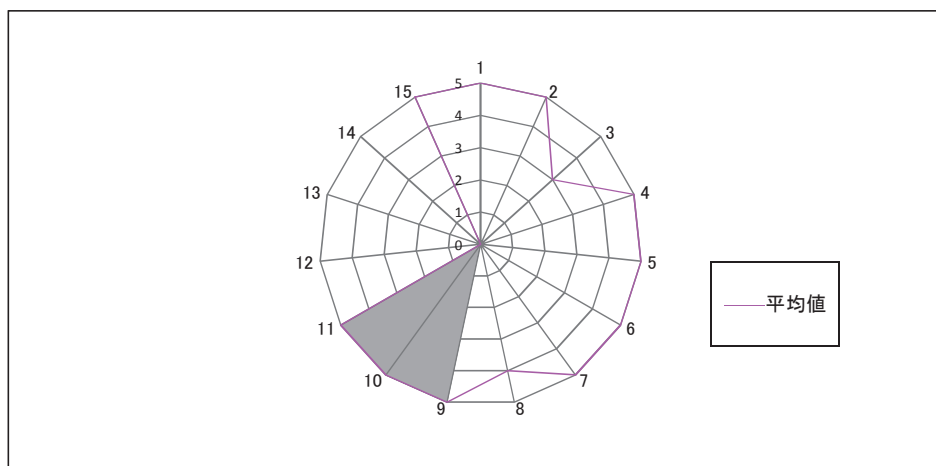
質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



授業科目名 経済学概論  
 評価実施日 令和4年2月7日  
 担当教員名 青葉 暢子

回答者数 1名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						3.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						5.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						5.0



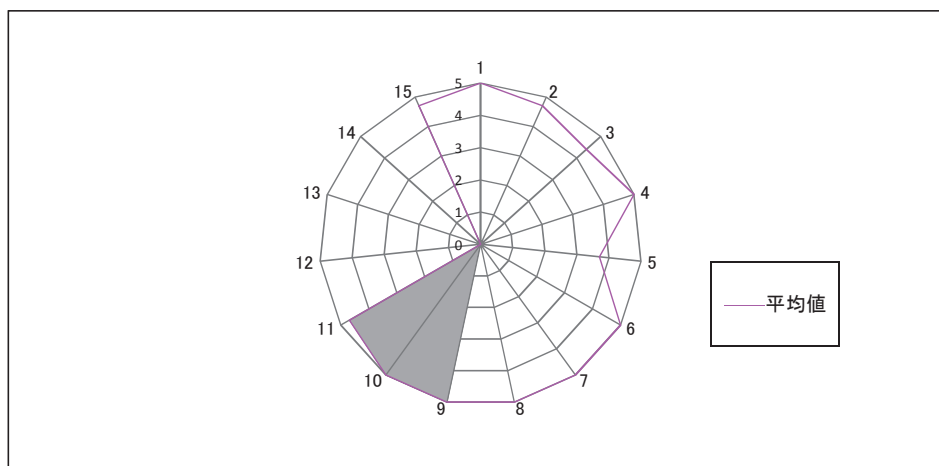
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 社会学特論  
 評価実施日 令和4年2月3日  
 担当教員名 眞野 豊

回答者数 3名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	2	1	0	0	0	3.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	1	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	1	0	0	0	0	4.7



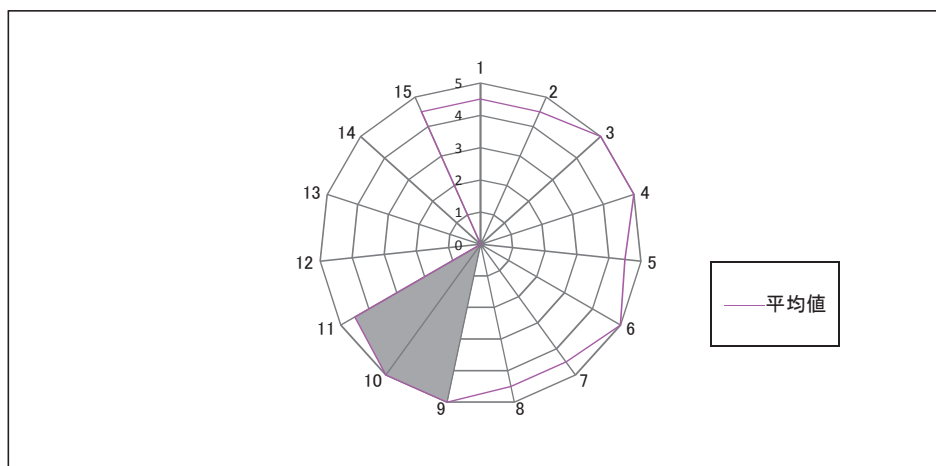
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 社会学演習  
 評価実施日 令和4年2月3日  
 担当教員名 眞野 豊

回答者数 2名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	1	0	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	1	0	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	1	0	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	1	0	0	0	0	4.5



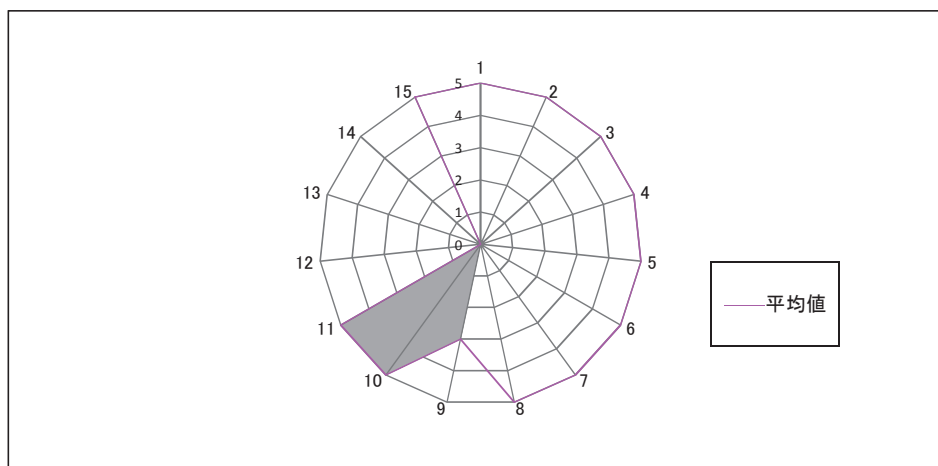
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 哲学・倫理学特論  
 評価実施日 令和4年2月7日  
 担当教員名 石田 三千雄

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



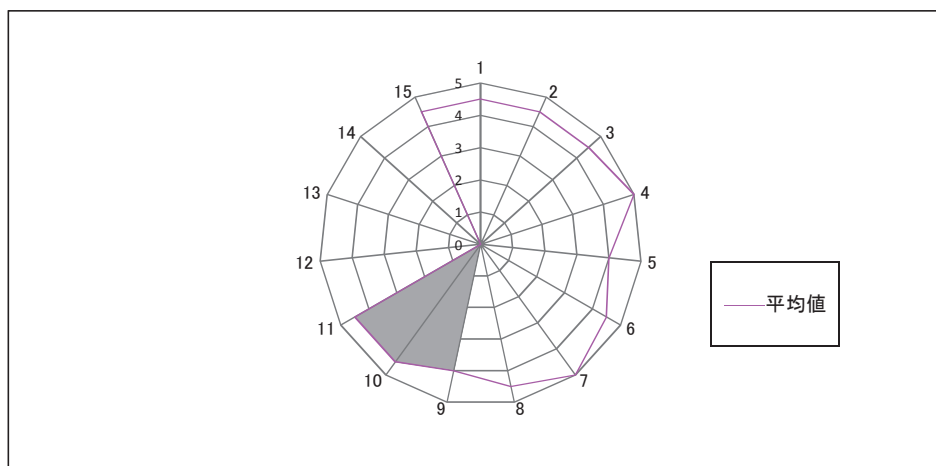
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 哲学・倫理学演習  
 評価実施日 令和4年2月3日  
 担当教員名 石田 三千雄

回答者数 2名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	1	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	1	0	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	1	0	1	0	0	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	1	1	0	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	1	1	0	0	0	0	4.5



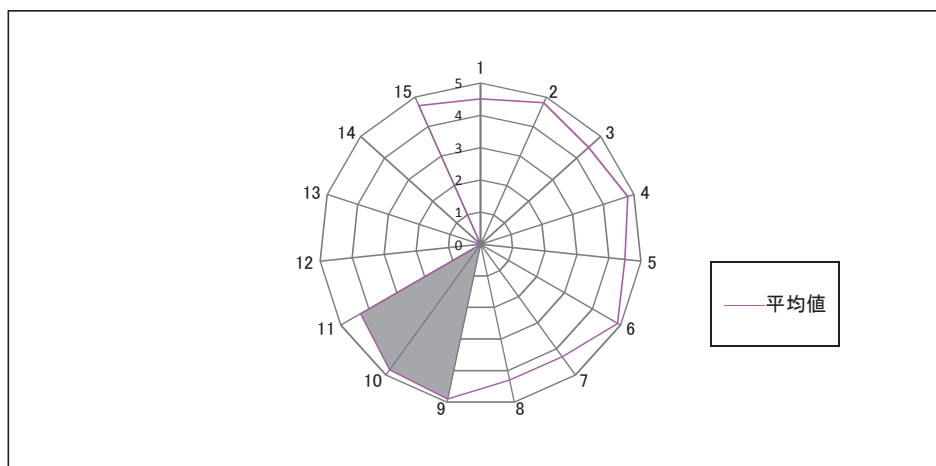
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 代数学特論  
 評価実施日 令和3年12月25日  
 担当教員名 平野 康之

回答者数 8名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	4	0	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	2	1	0	0	0	4.5
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	2	1	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	1	1	1	0	0	4.3
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	1	1	1	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	2	0	0	1	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	3	0	0	0	0	4.7



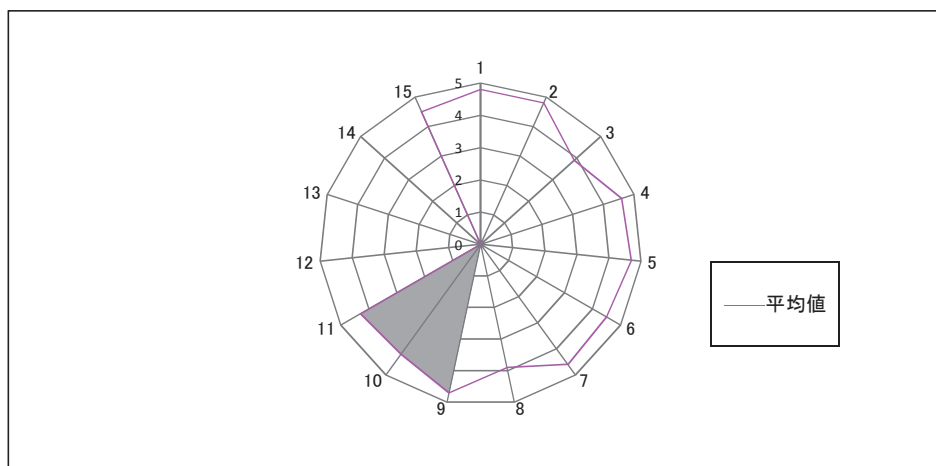
総合評価	4.6
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 解析学 I  
 評価実施日 令和4年2月3日  
 担当教員名 関 行宏

回答者数 9名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	2	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	2	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	0	3	0	1	0	3.9
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	4	0	0	0	0	4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	1	1	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	1	2	0	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	2	1	0	0	0	4.6
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	1	1	1	1	0	3.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	1	1	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	3	1	1	0	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	4	0	1	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	2	0	1	0	0	4.5



総合評価 **4.5**

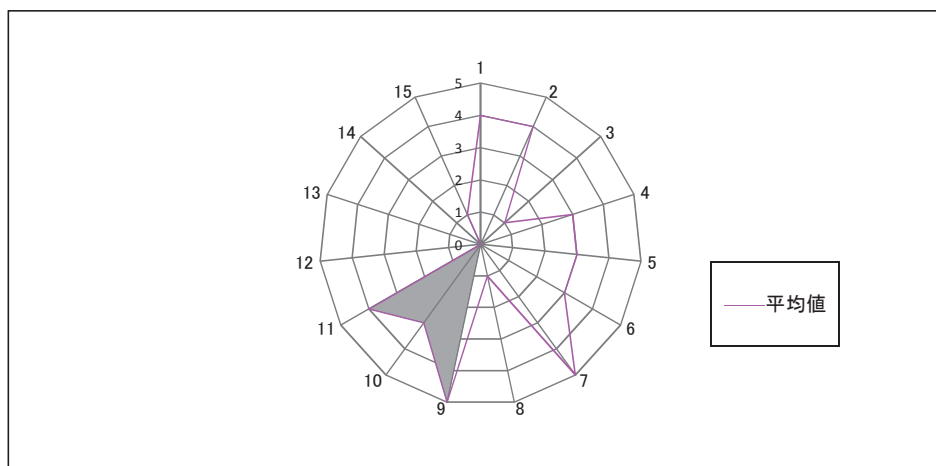
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 解析学Ⅲ  
 評価実施日 令和4年2月8日  
 担当教員名 関 行宏

回答者数 1名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	1	0	1.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	1	0	0	0	3.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	0	0	1	0	1.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	1	0	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	1	0	1.0



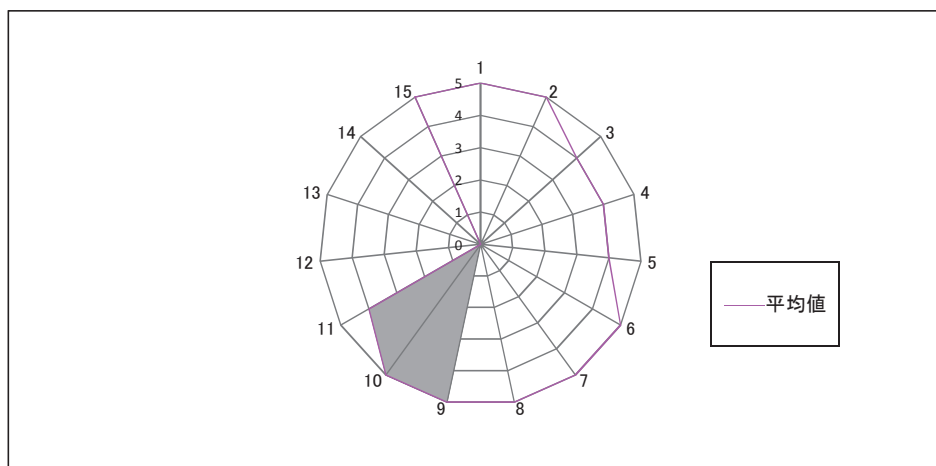
総合評価 **2.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 解析学特論  
 評価実施日 令和4年2月8日  
 担当教員名 関 行宏

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	1	0	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	1	0	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



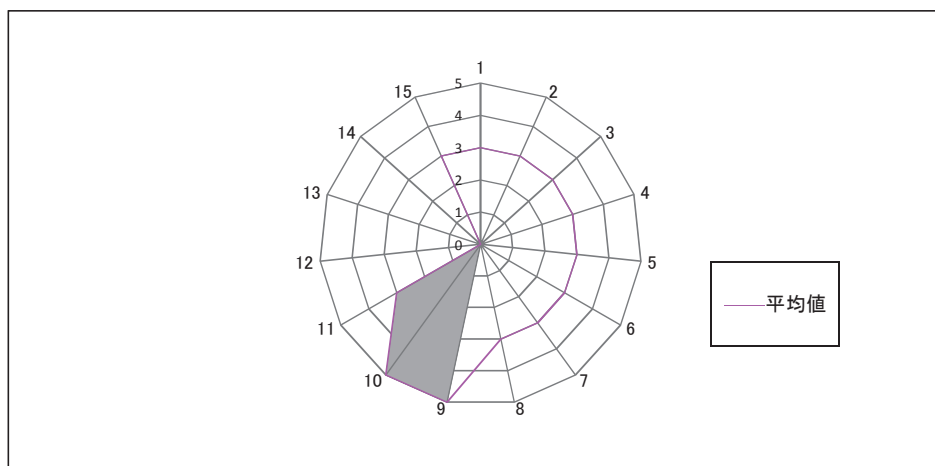
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 計算数学特論  
 評価実施日 令和4年2月3日  
 担当教員名 宮口 智成

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	1	0	0	0	3.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	1	0	0	0	3.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	0	1	0	0	0	3.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	0	0	1	0	0	0	3.0



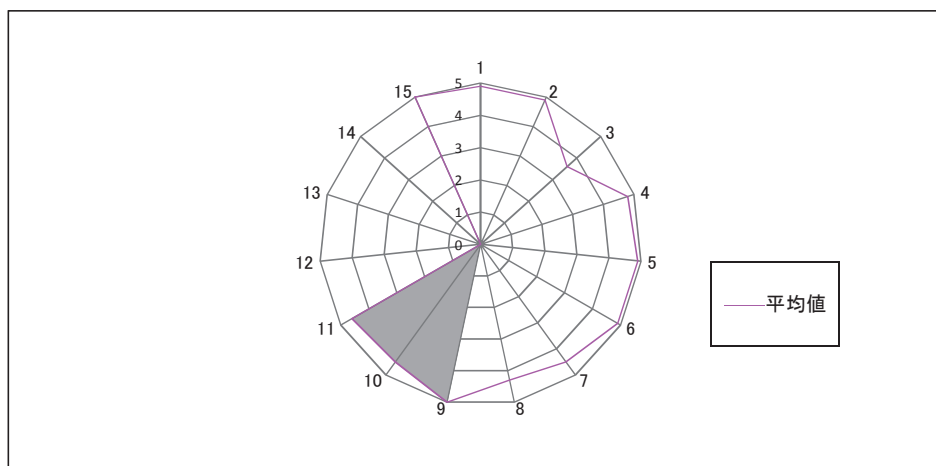
総合評価 **3.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 物理学 I (新課程)  
 評価実施日 令和4年2月7日  
 担当教員名 粟田 高明

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	2	4	0	0	0	3.6
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	2	1	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	3	1	0	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	2	1	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	3	0	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	0	0	0	0	0	5.0



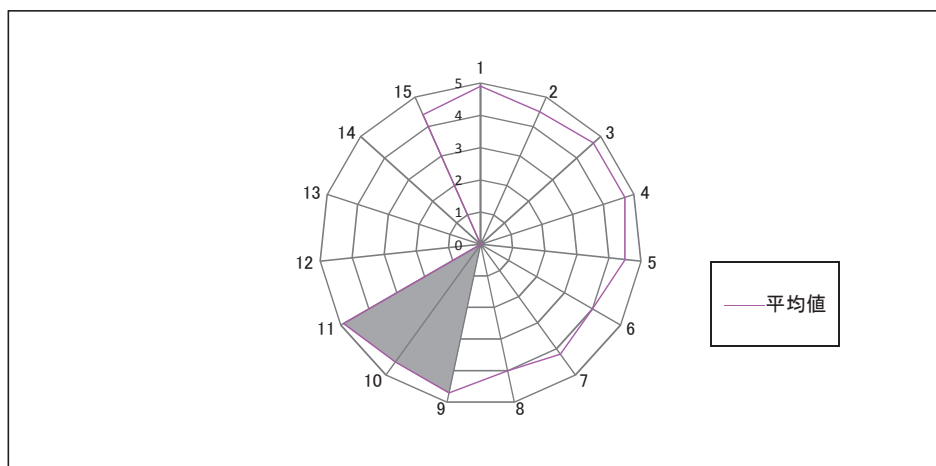
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 物理学実験 I  
 評価実施日 令和4年2月3日  
 担当教員名 本田 亮, 栗田 高明, 寺島 幸生

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	1	1	0	0	0	4.5
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	1	1	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	2	2	0	0	0	4.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	3	1	0	0	0	4.2
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	4	1	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	0	1	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	1	1	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	1	0	0	0	0	4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	4	0	0	0	0	4.4



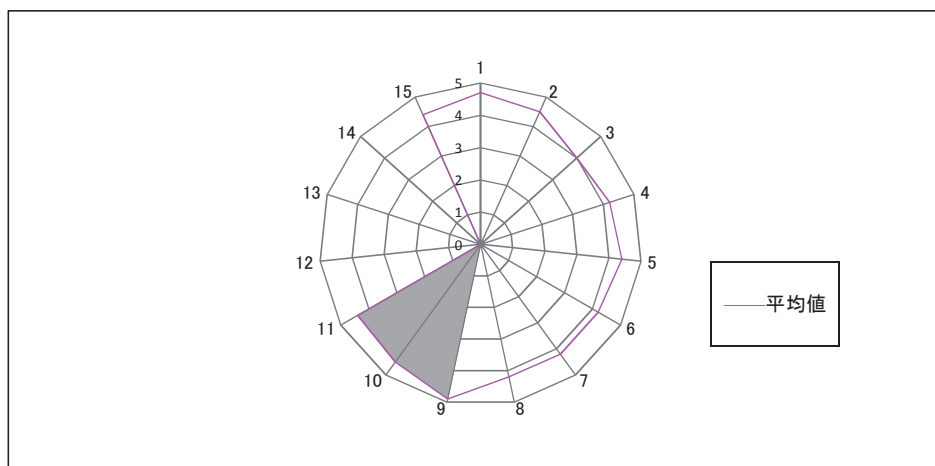
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 物理学実験Ⅱ  
 評価実施日 令和4年2月3日  
 担当教員名 本田 亮, 栗田 高明, 寺島 幸生

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	0	1	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	1	1	0	0	0	4.5
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	0	1	0	1	0	4.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	1	0	0	1	0	4.2
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	0	0	0	1	0	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	1	0	0	1	0	4.2
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	0	1	1	0	0	4.2
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	1	0	0	1	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	1	1	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	1	0	1	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	1	0	4.4



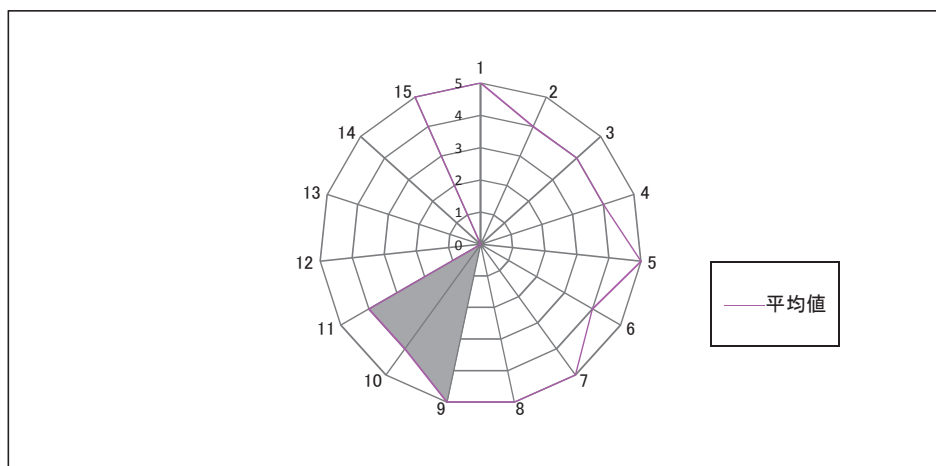
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 化学 I (新課程)  
 評価実施日 令和4年2月3日  
 担当教員名 胸組 虎胤, 早藤 幸隆

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む) をした。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	1	0	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



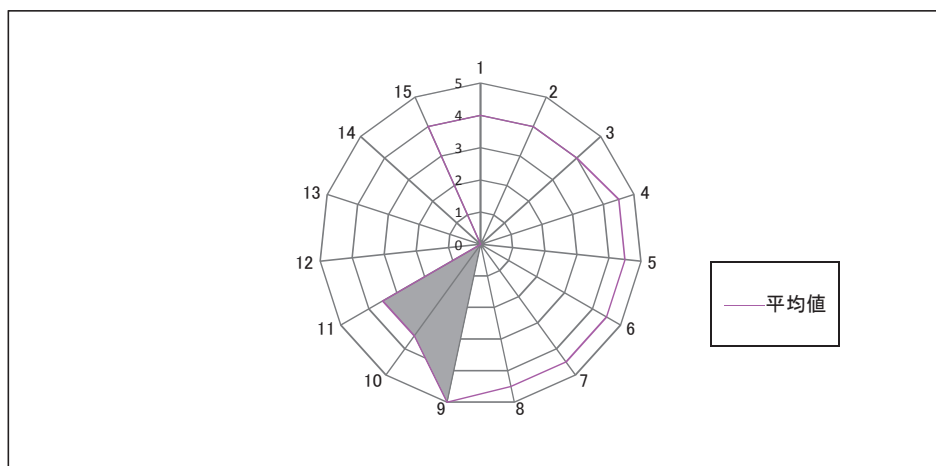
総合評価 4.6

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

授業科目名 生物学Ⅱ  
 評価実施日 令和4年2月7日  
 担当教員名 工藤 慎一

回答者数 2名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	1	0	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	1	0	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	1	1	0	0	0	3.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	1	1	0	0	0	3.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	0	2	0	0	0	0	4.0



総合評価 **4.3**

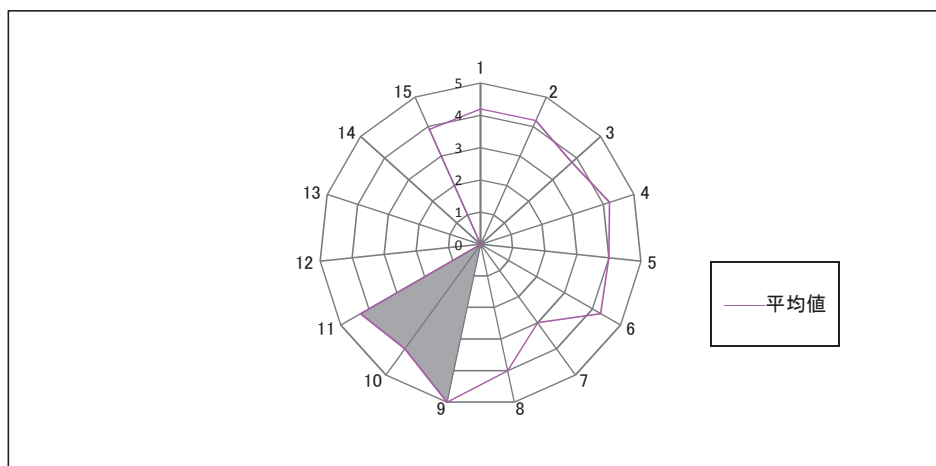
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 地学 I (新課程)  
 評価実施日 令和4年2月7日  
 担当教員名 福地 里菜

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	0	1	0	1	0	4.2
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	3	0	1	0	0	4.2
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	3	1	0	0	3.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	2	0	0	1	0	4.2
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	3	0	0	1	0	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	2	0	1	0	0	4.3
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	1	1	1	2	0	3.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	1	1	0	1	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	3	0	0	1	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	3	1	0	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	1	0	1	1	0	3.9



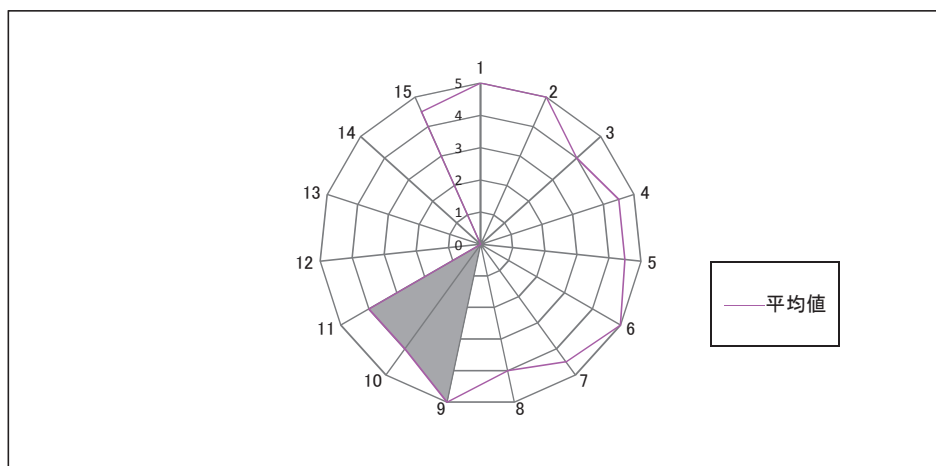
総合評価 **4.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 地学Ⅲ  
 評価実施日 令和4年2月8日  
 担当教員名 福地 里菜

回答者数 2名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	1	0	0	0	4.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	1	0	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	1	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	2	0	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	1	0	0	0	0	4.5



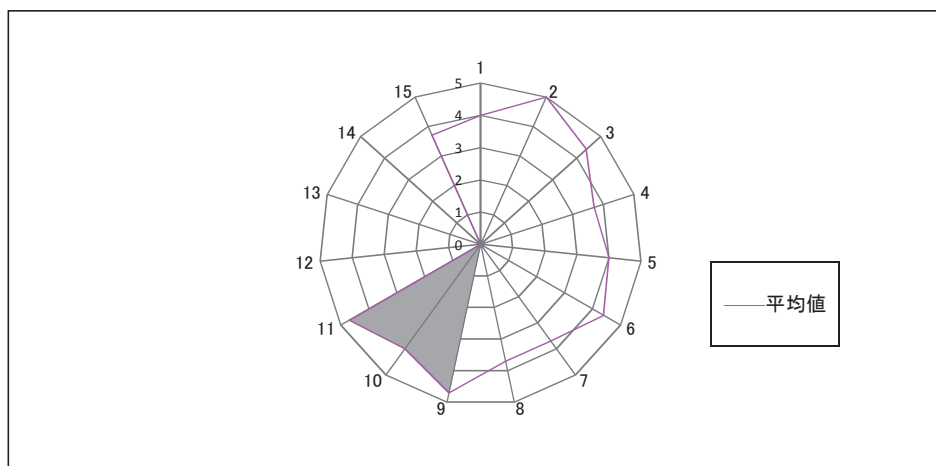
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 地学実験 I (野外実習)  
 評価実施日 令和4年2月3日  
 担当教員名 福地 里菜, 小澤 大成

回答者数 3名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	0	0	1	0	0	4.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	1	0	0	0	4.4
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	0	0	0	1	0	3.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	0	0	1	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	0	1	0	0	0	4.4
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	1	0	1	0	0	3.7
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	0	0	0	1	0	3.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	1	1	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	1	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	0	0	0	1	0	3.7



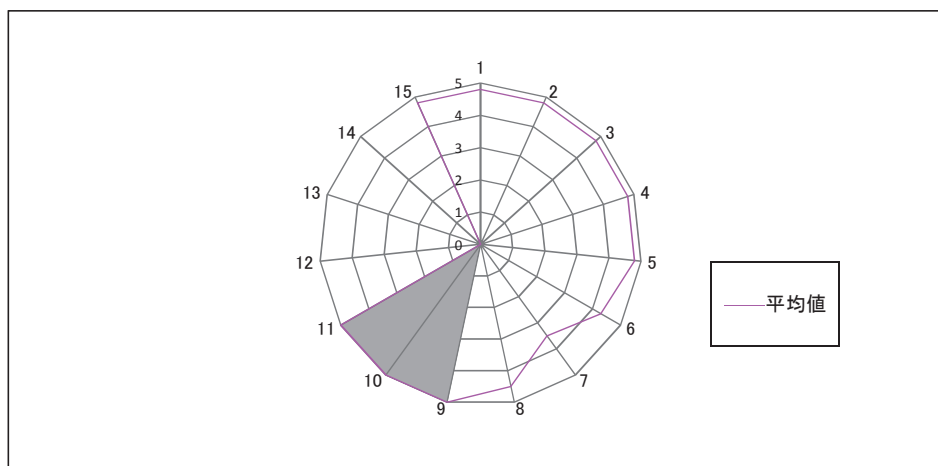
総合評価 **4.1**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 地学実験Ⅱ  
 評価実施日 令和4年2月3日  
 担当教員名 福地 里菜, 小澤 大成

回答者数 4名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	0	0	1	0	0	4.3
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	0	1	0	1	0	3.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	0	1	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	1	0	0	0	0	4.8



総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

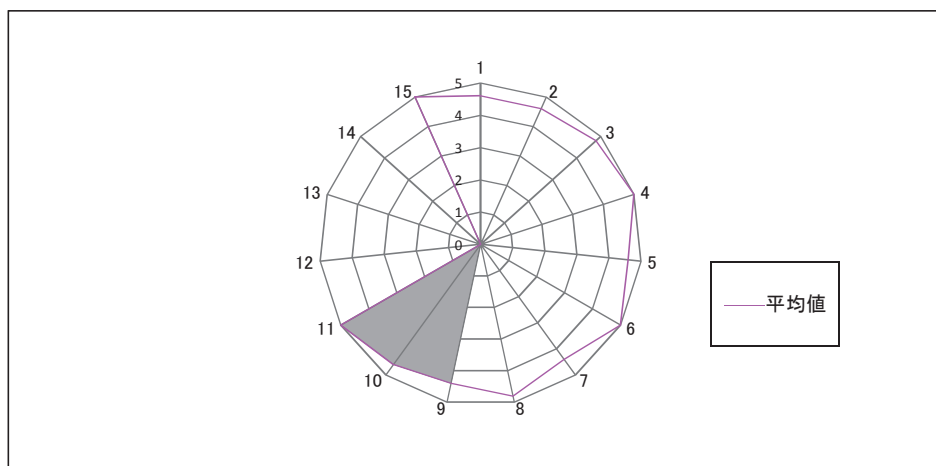
授業科目名 日本の伝統音楽(日本の伝統的な歌唱を含む。)

評価実施日 令和4年2月3日

担当教員名 丸岡 安弥乃

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	0	1	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	0	1	0	0	0	4.6
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	0	1	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	1	1	0	0	0	4.4
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	0	0	1	0	0	4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	0	5.0



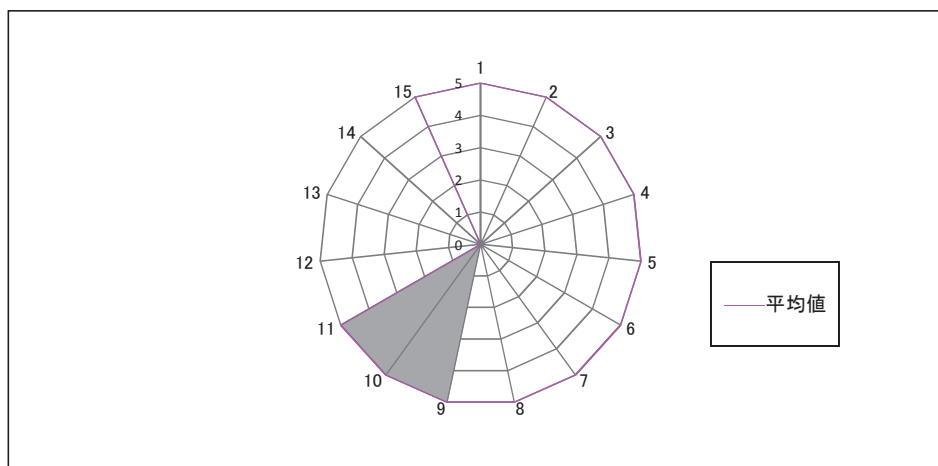
総合評価	4.8
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 声楽基礎 I  
 評価実施日 令和4年2月7日  
 担当教員名 頃安 利秀

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	0	5.0



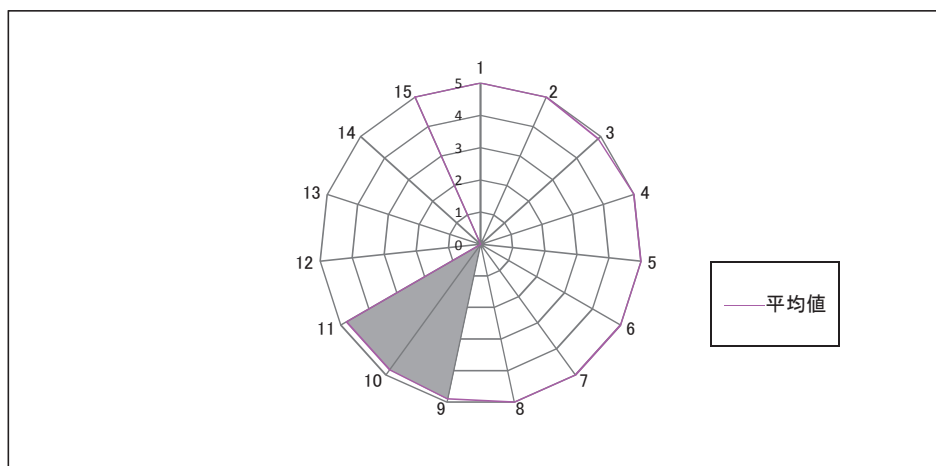
総合評価	5.0
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 管弦打楽器基礎 I  
 評価実施日 令和4年2月3日  
 担当教員名 山根 秀憲

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	2	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	0	0	0	0	0	5.0



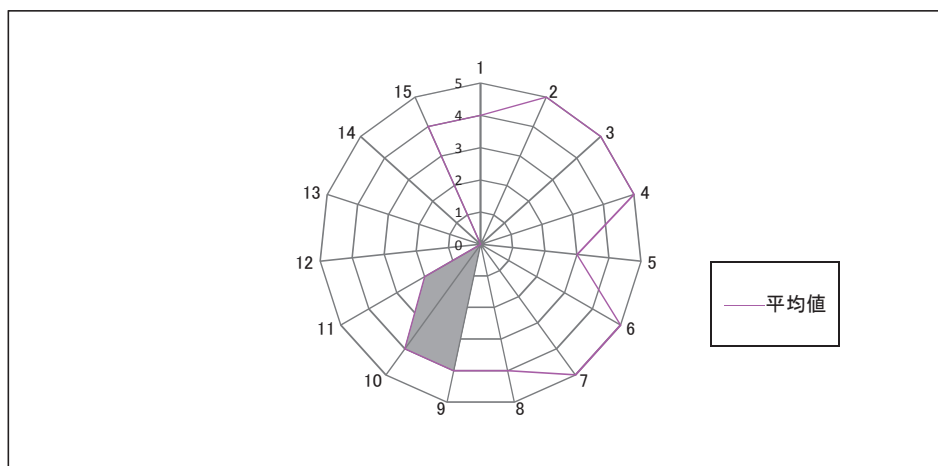
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 指揮法  
 評価実施日 令和4年2月7日  
 担当教員名 山田 啓明

回答者数 1名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	1	0	0	0	3.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	1	0	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	1	0	0	2.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	1	0	0	0	0	4.0



総合評価 **4.4**

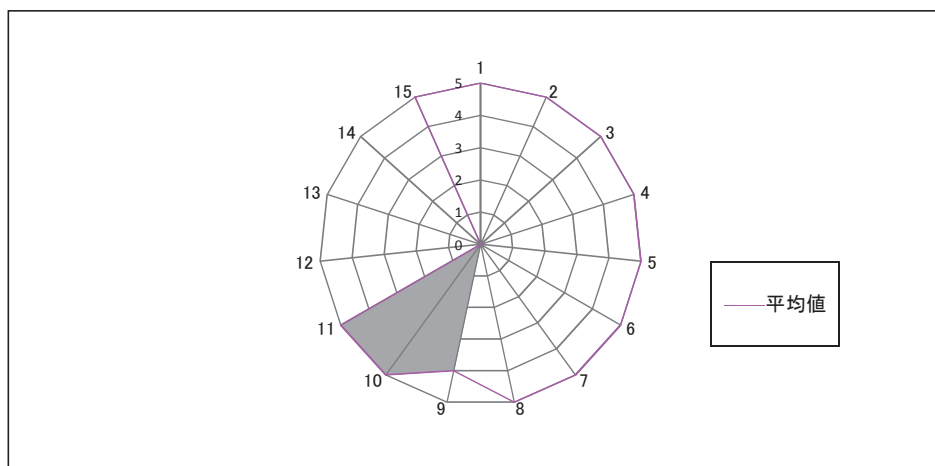
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 指揮Ⅱ  
 評価実施日 令和4年2月8日  
 担当教員名 山田 啓明

回答者数 1名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



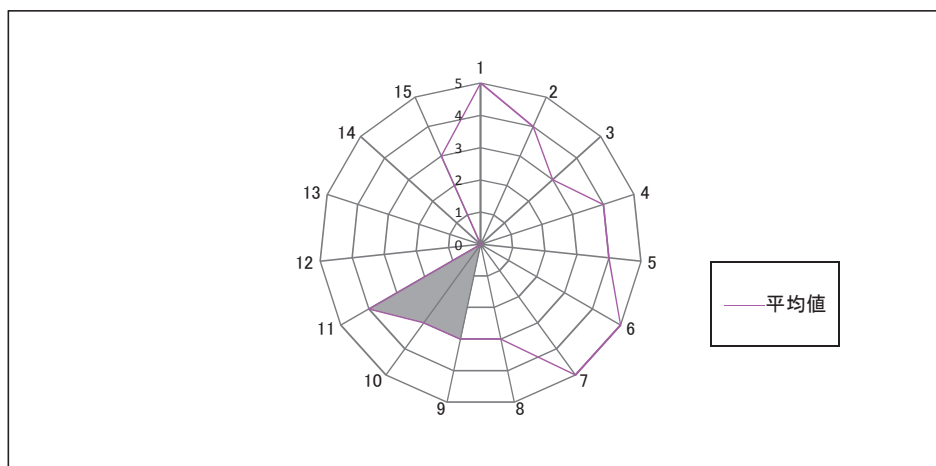
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 絵画Ⅱ  
 評価実施日 令和4年2月7日  
 担当教員名 鈴木 久人

回答者数 1名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	1	0	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	1	0	0	0	3.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	1	0	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	0	0	1	0	0	0	3.0



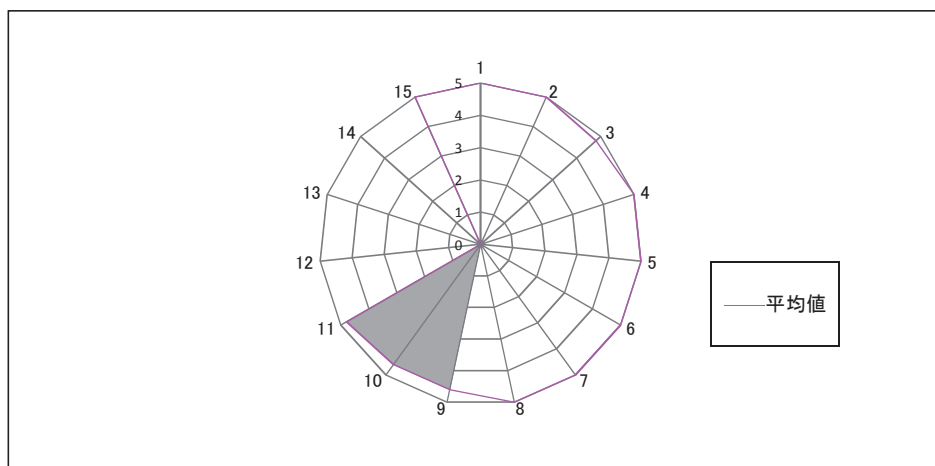
総合評価 **4.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 素描  
 評価実施日 令和4年2月8日  
 担当教員名 鈴木 久人

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	0	1	0	0	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	1	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	0	5.0



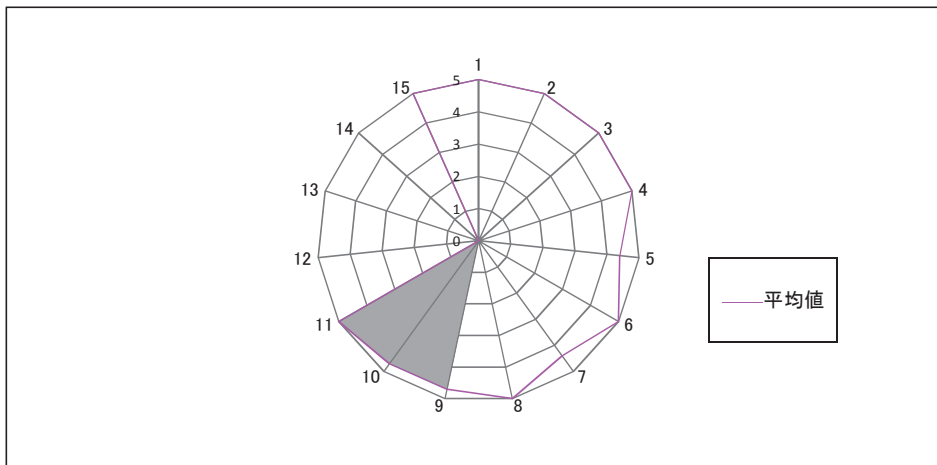
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 彫刻 I  
 評価実施日 令和4年2月7日  
 担当教員名 三原 敏文

回答者数 3名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	2	0	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	0	1	0	0	0	4.4
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	0	0	0	0	0	5.0



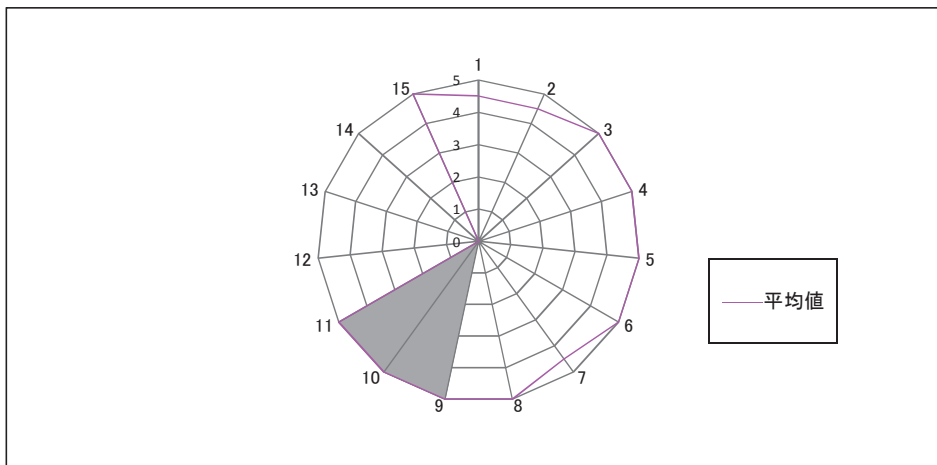
総合評価 4.9

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 構成・デザイン特別演習  
 評価実施日 令和4年2月7日  
 担当教員名 内藤 隆

回答者数 2名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	2	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	2	0	0	0	0	0	5.0



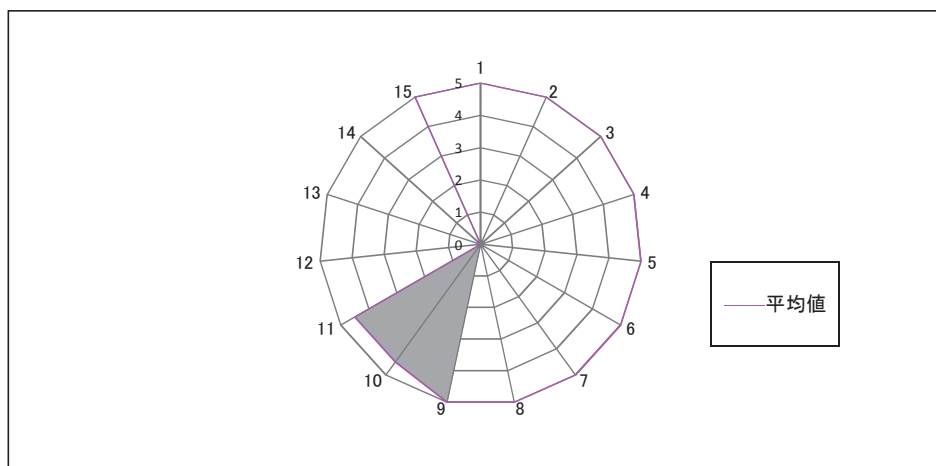
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名        工芸 I  
 評価実施日        令和4年2月3日  
 担当教員名        栗原 慶

回答者数        2名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	1	0	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	0	0	0	0	0	5.0



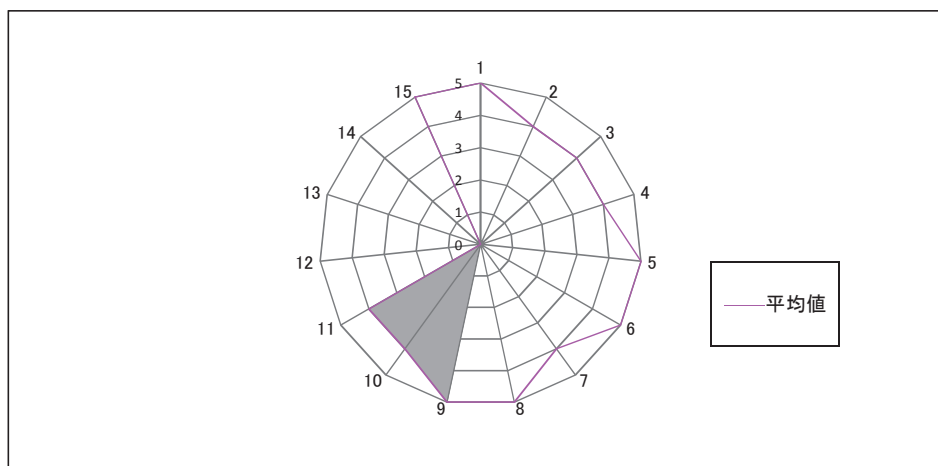
総合評価        5.0

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 美術理論・美術史Ⅱ  
 評価実施日 令和4年2月3日  
 担当教員名 小川 勝

回答者数 1名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	1	0	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



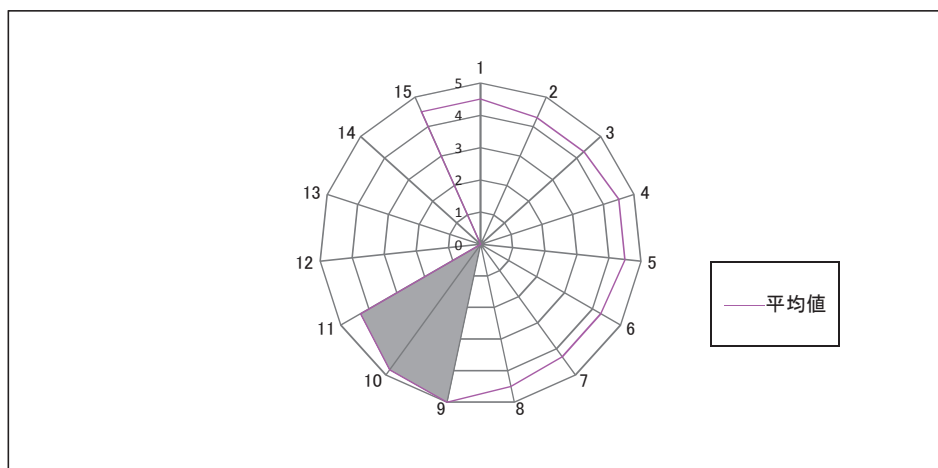
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 運動学 I  
 評価実施日 令和4年2月7日  
 担当教員名 松井 敦典

回答者数 4名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	0	1	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	1	1	0	0	0	4.3
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	0	1	0	0	4.3
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	0	1	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	0	1	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	0	0	1	0	0	4.3
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	1	1	0	0	0	4.3
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	0	1	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	1	1	0	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	0	1	0	0	0	4.5



総合評価	4.4
------	-----

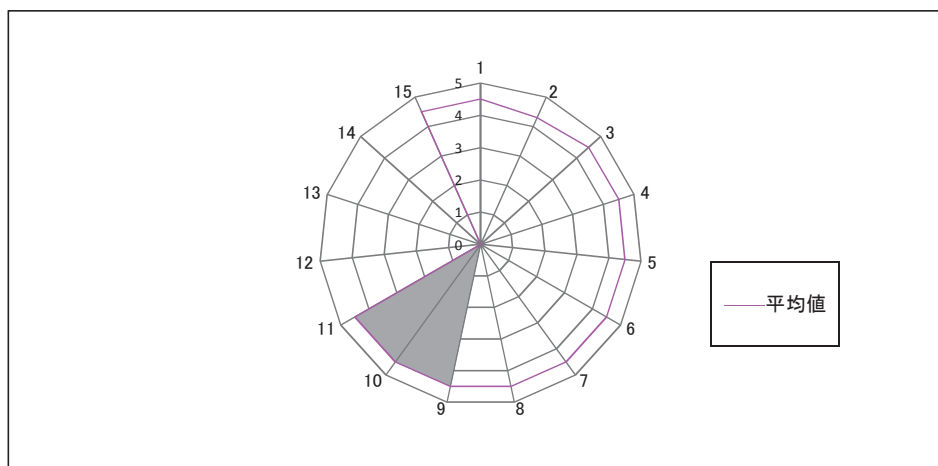
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 運動学Ⅱ  
 評価実施日 令和4年2月7日  
 担当教員名 松井 敦典

回答者数 4名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	0	1	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	1	1	0	0	0	4.3
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	1	0	0	0	4.5
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	0	1	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	0	1	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	0	1	0	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	0	1	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	0	1	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	0	1	0	0	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	0	1	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	0	1	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	0	1	0	0	0	4.5



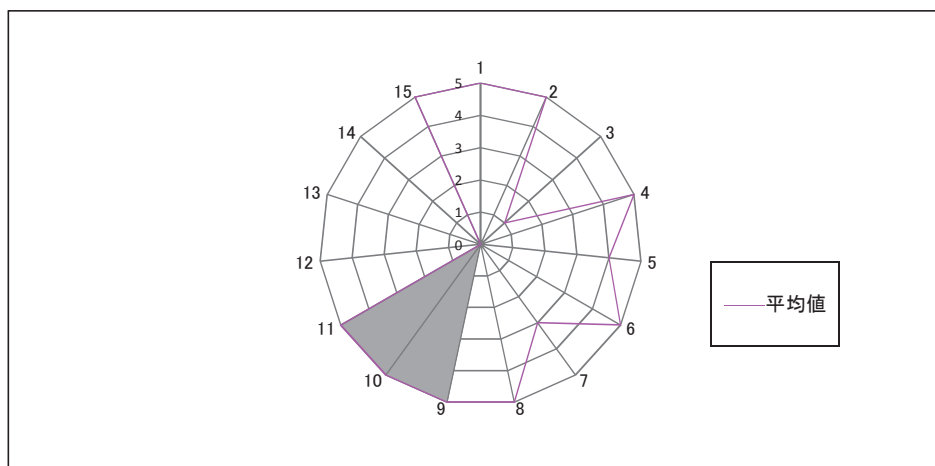
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 衛生学・公衆衛生学 I  
 評価実施日 令和4年2月8日  
 担当教員名 宮本 賢作

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	1	0	1.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	1	0	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



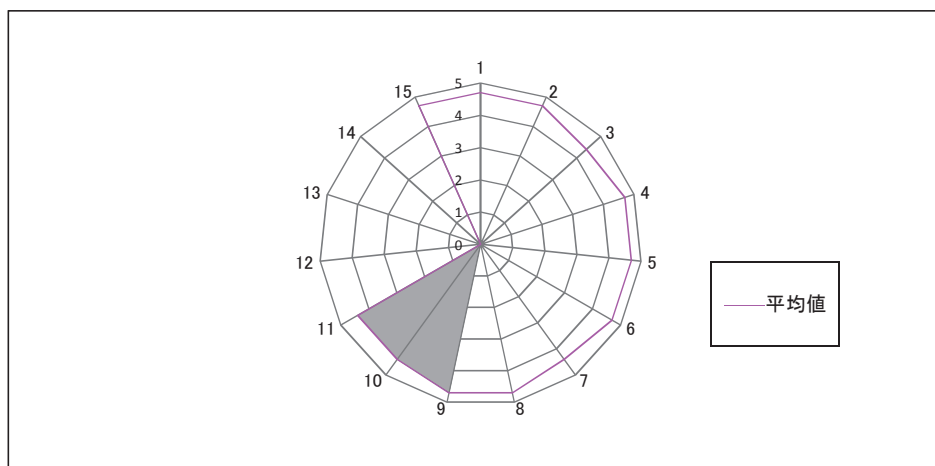
総合評価 4.2

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 機械基礎(実習を含む。)  
 評価実施日 令和4年2月3日  
 担当教員名 宮下 晃一

回答者数 3名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	1	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	2	0	1	0	0	0	4.4
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	1	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	2	0	1	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	2	1	0	0	0	0	4.7



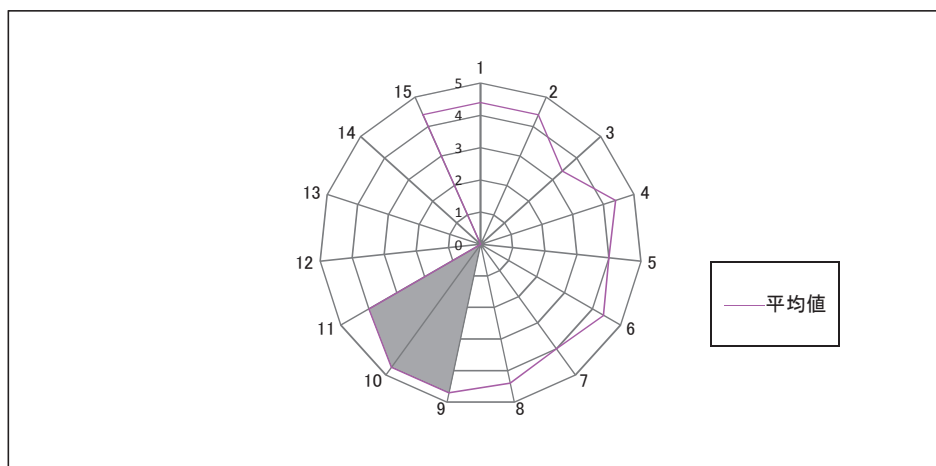
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 機械工学(新課程)  
 評価実施日 令和4年2月8日  
 担当教員名 宮下 晃一

回答者数 3名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	1	1	0	0	3.4
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	1	1	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	1	1	1	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	2	0	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	1	1	1	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	1	2	0	0	0	0	4.4



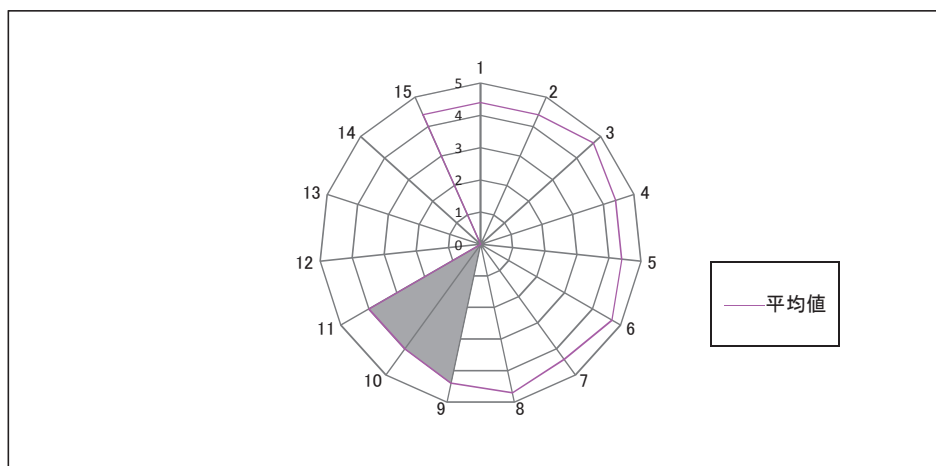
総合評価 4.2

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 情報ネットワーク演習(実習を含む。)  
 評価実施日 令和4年2月3日  
 担当教員名 曾根 直人

回答者数 3名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	2	0	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	1	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	3	0	0	0	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	3	0	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	2	0	0	0	0	4.4



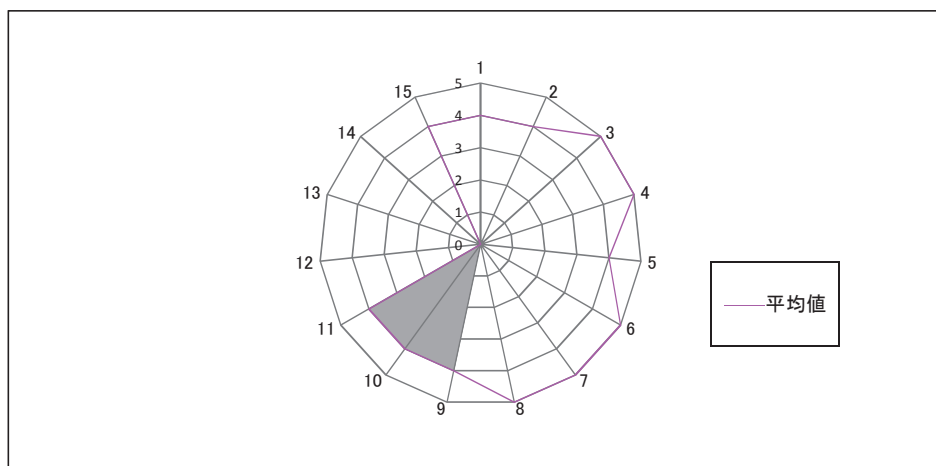
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 マルチメディアとシミュレーション  
 評価実施日 令和4年2月7日  
 担当教員名 菊地 章

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	1	0	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	1	0	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	0	1	0	0	0	0	4.0



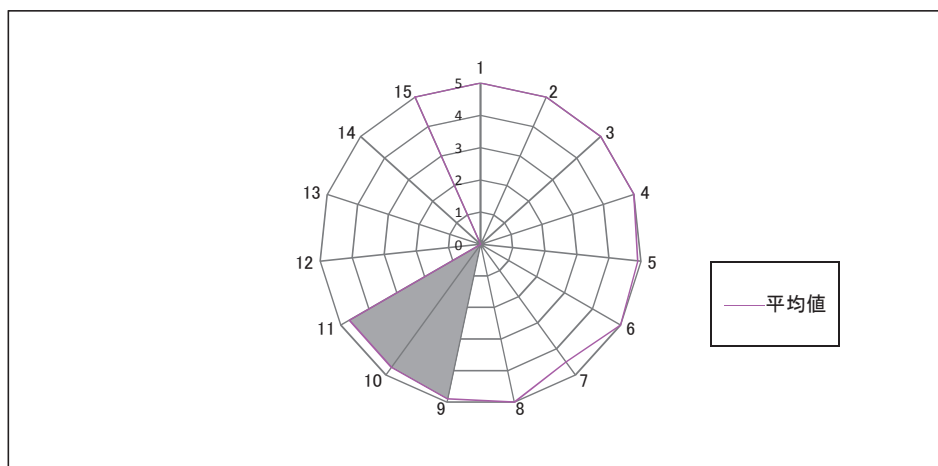
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 家庭経営学演習  
 評価実施日 令和4年2月9日  
 担当教員名 坂本 有芳

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	4	2	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	6	0	0	0	0	0	5.0



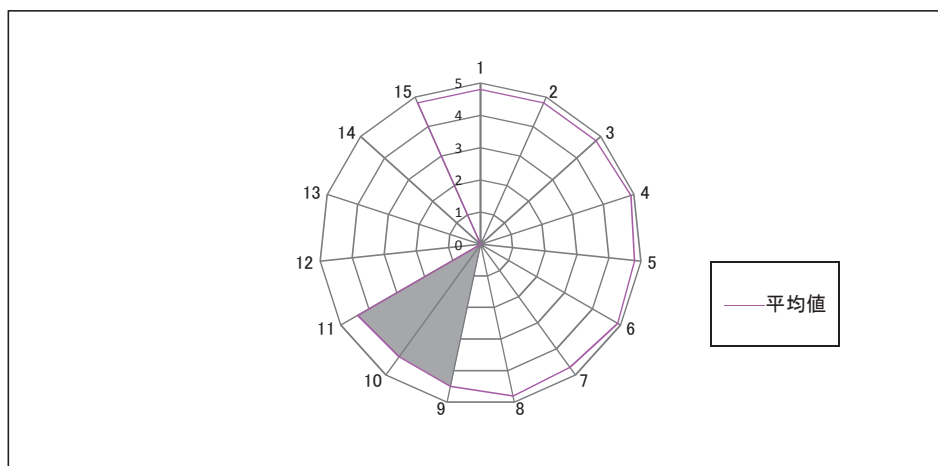
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 衣生活学  
 評価実施日 令和4年2月7日  
 担当教員名 福井 典代

回答者数 9名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	2	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	2	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	2	0	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	2	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	3	0	0	0	0	4.7
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	2	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	1	2	0	0	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	3	2	0	0	0	4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	2	2	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	2	0	0	0	0	4.8



総合評価 **4.8**

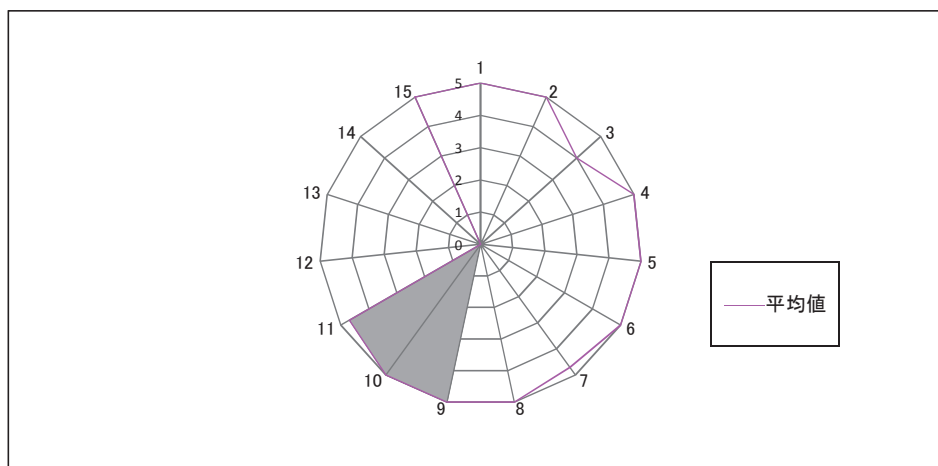
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 食品栄養学(新課程)  
 評価実施日 令和4年2月3日  
 担当教員名 西川 和孝

回答者数 3名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	1	1	0	0	0	4.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	1	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	0	0	0	0	0	5.0



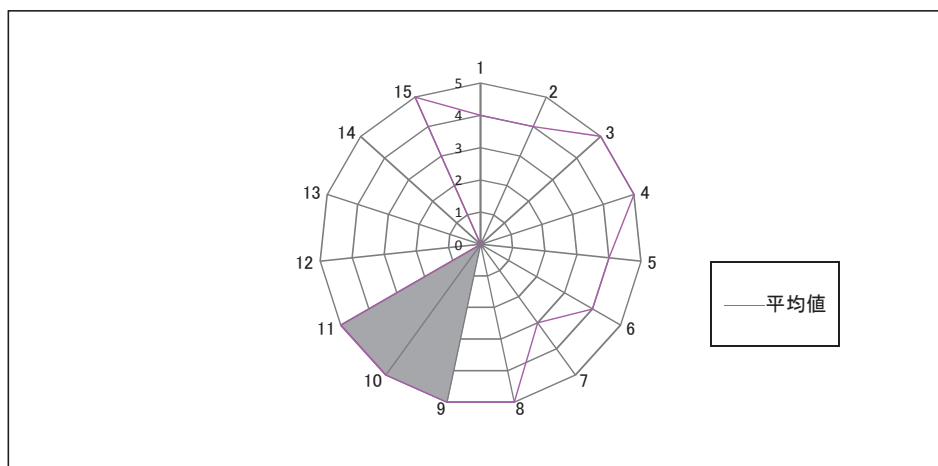
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 食物学実験  
 評価実施日 令和4年2月3日  
 担当教員名 西川 和孝

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	1	0	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



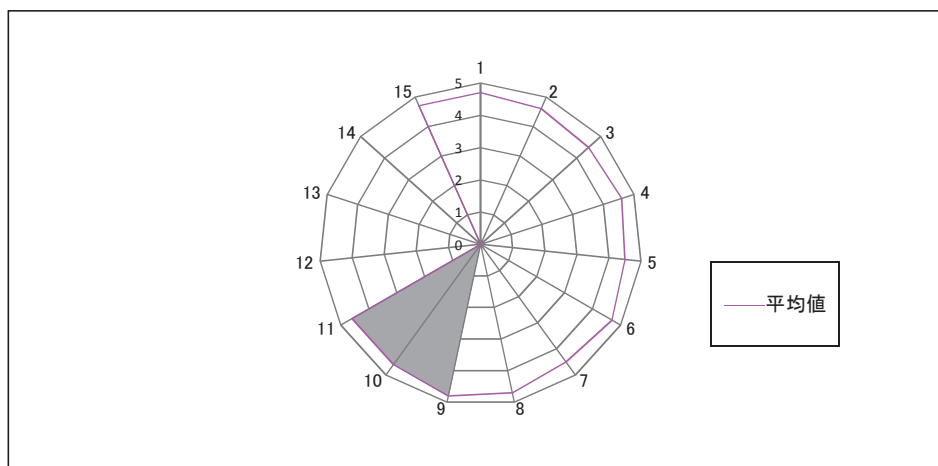
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 住居学概論(製図を含む。)  
 評価実施日 令和4年2月3日  
 担当教員名 金 貞均

回答者数 9名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	3	0	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	4	0	0	0	0	4.6
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	3	1	0	0	0	4.5
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	4	0	0	0	0	4.6
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	3	1	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	3	0	0	0	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	5	0	0	0	0	4.5
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	3	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	2	0	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	2	1	0	0	0	4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	4	0	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	3	0	0	0	0	4.7



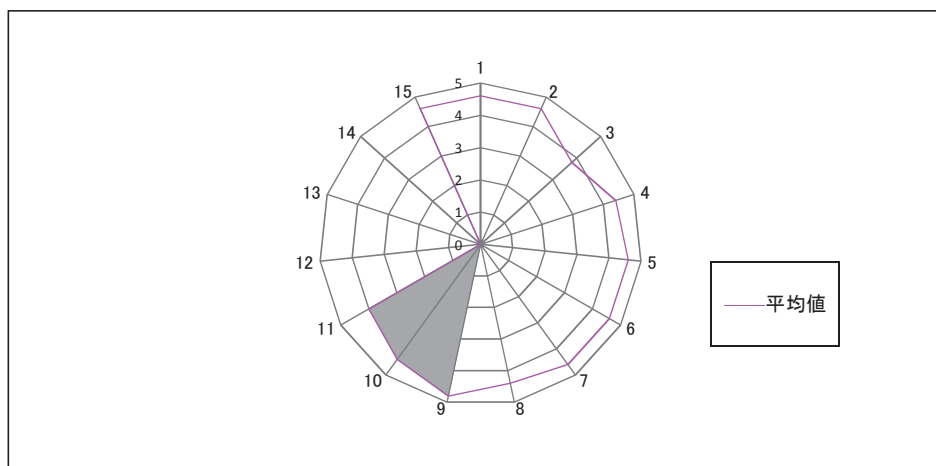
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 保育学(実習及び家庭看護を含む。)  
 評価実施日 令和4年2月8日  
 担当教員名 黒川 衣代

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	2	2	0	0	0	3.8
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	3	0	0	0	0	4.4
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	2	0	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	3	0	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	3	0	0	0	0	4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	1	2	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	2	0	0	0	0	4.6



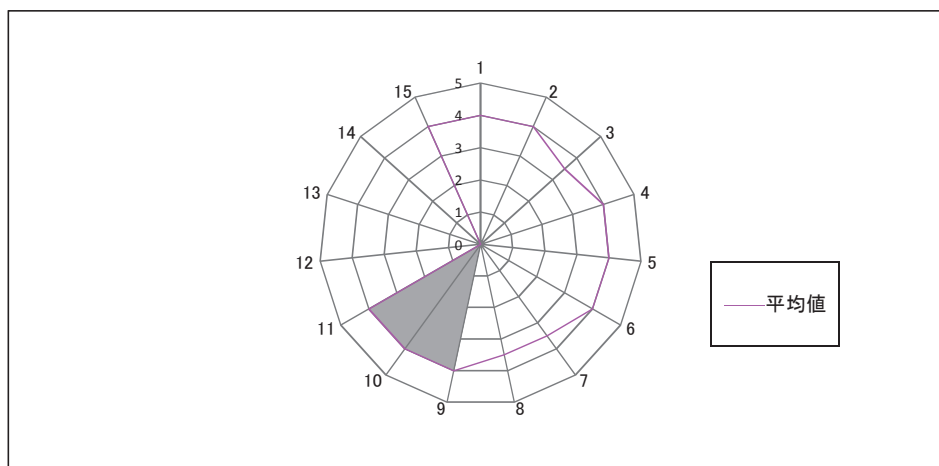
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 家庭電気・機械及び情報処理  
 評価実施日 令和4年2月7日  
 担当教員名 山本 耕司

回答者数 2名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	1	1	0	0	0	3.5
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	2	0	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	0	1	1	0	0	0	3.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	1	1	0	0	0	3.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	2	0	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	0	2	0	0	0	0	4.0



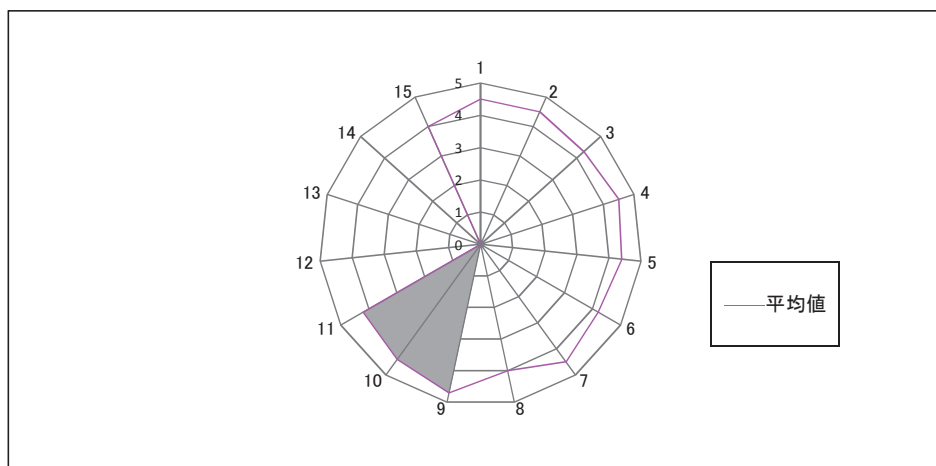
総合評価 **3.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 障害児教育概説 I  
 評価実施日 令和4年2月3日  
 担当教員名 高橋 眞琴

回答者数 8名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	6	1	0	1	0	0	4.5
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	1	0	1	0	0	4.5
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	2	0	0	1	0	4.3
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	6	1	0	1	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	0	1	1	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	6	0	0	1	1	0	4.2
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	7	0	0	0	1	0	4.5
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	2	1	0	1	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	5	3	0	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	5	0	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	3	4	0	1	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	5	1	0	1	1	0	4.0



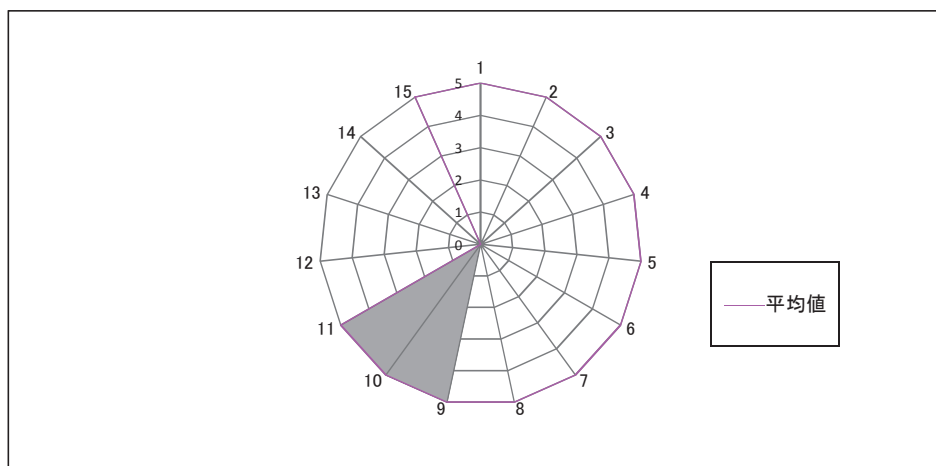
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 障害児教育概説Ⅱ  
 評価実施日 令和4年2月3日  
 担当教員名 大谷 博俊

回答者数 2名

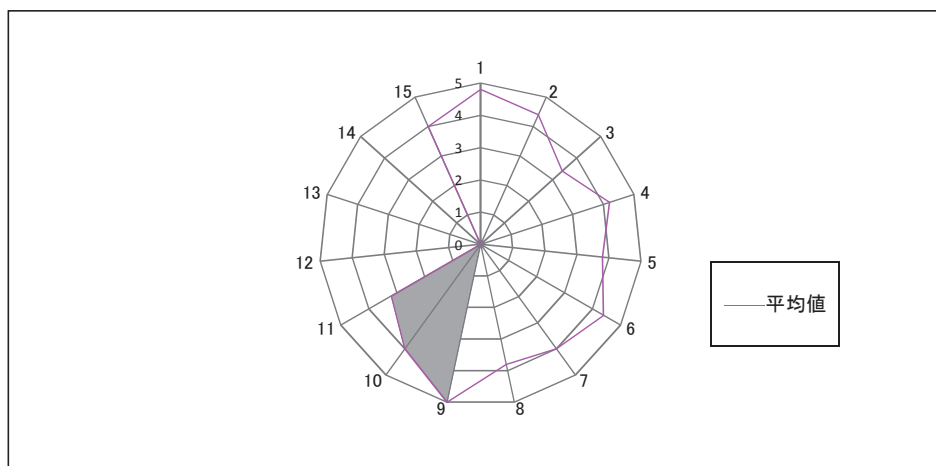
質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	0	0	0	0	0	5.0



授業科目名 知的障害者の心理  
 評価実施日 令和4年2月3日  
 担当教員名 島田 恭仁

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						3.4
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						4.2
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						3.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						4.4
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						4.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						3.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						3.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						4.0



総合評価	4.1
------	-----

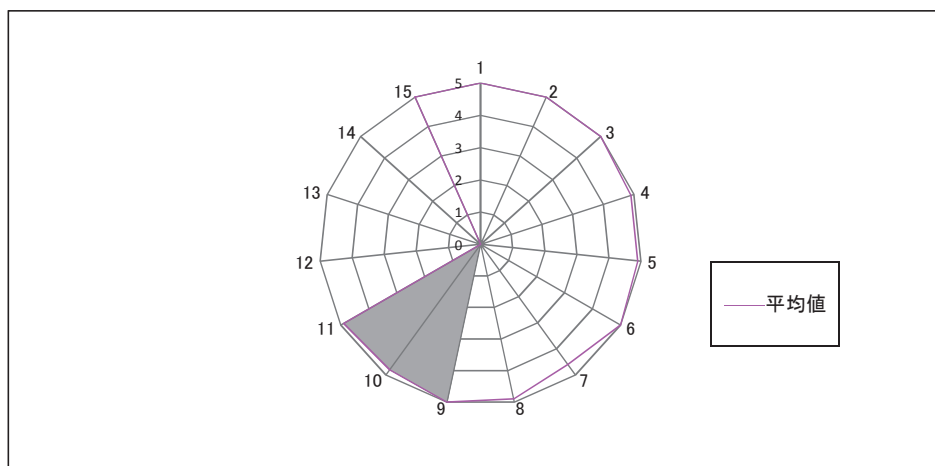
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 知的障害教育 I  
 評価実施日 令和4年2月9日  
 担当教員名 大谷 博俊

回答者数 9名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	9	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	9	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	2	1	0	0	0	4.6
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	7	2	0	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	1	0	0	0	0	4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	9	0	0	0	0	0	5.0



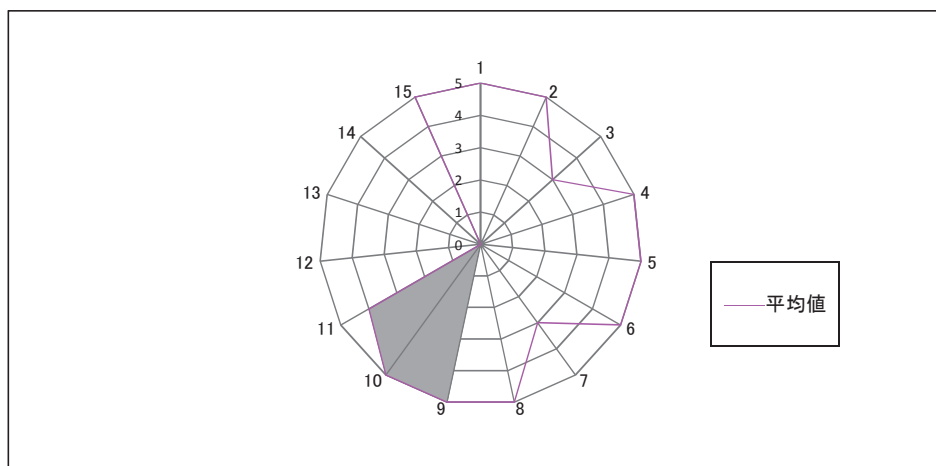
総合評価	4.9
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 肢体不自由者の心理・生理・病理  
 評価実施日 令和4年2月9日  
 担当教員名 伊藤 弘道, 高原 光恵

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	1	0	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



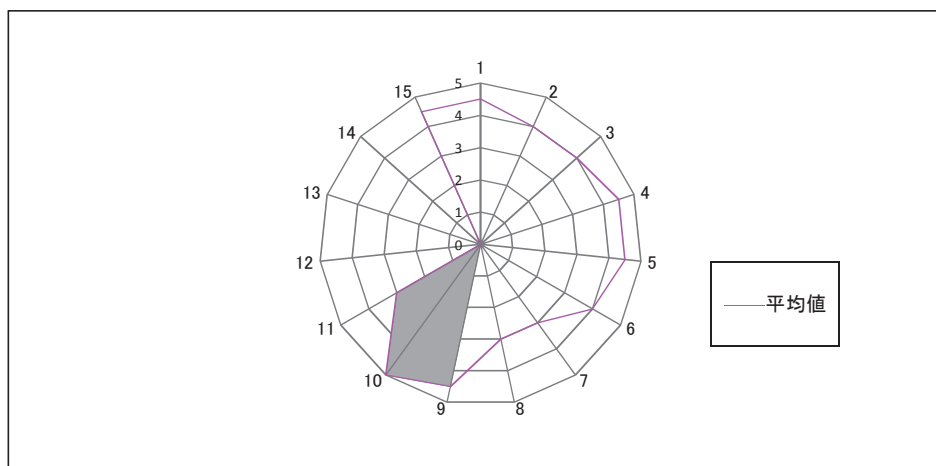
総合評価 4.6

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 重複・LD等の特性  
 評価実施日 令和4年2月9日  
 担当教員名 伊藤 弘道

回答者数 2名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	1	0	0	0	4.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	1	0	0	0	4.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	1	0	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	0	1	0	0	0	4.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	0	2	0	0	0	3.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	2	0	0	0	3.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	1	0	1	0	0	3.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	1	1	0	0	0	0	4.5



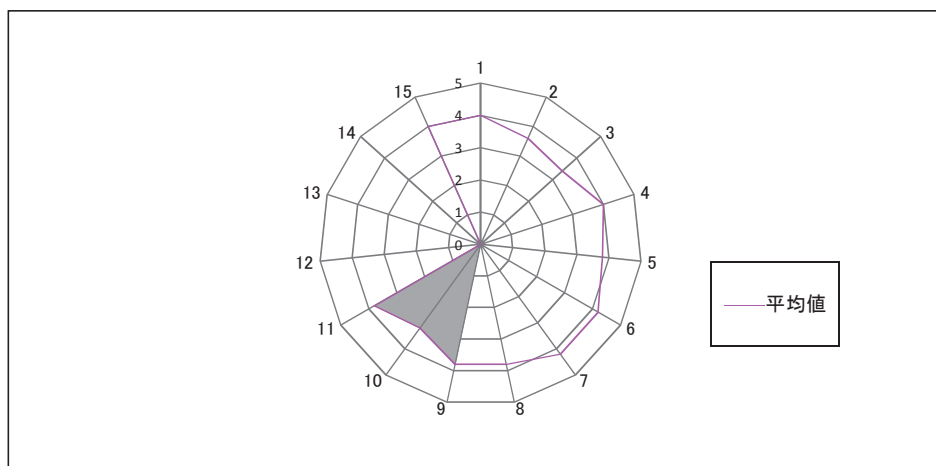
総合評価 **4.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 視覚障害者教育論  
 評価実施日 令和3年12月22日  
 担当教員名 牟田口 辰巳

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	3	1	0	0	1	0	4.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	1	1	0	1	0	3.6
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	2	1	0	1	0	3.4
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	3	1	0	0	1	0	4.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	0	1	0	1	0	3.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	4	0	0	0	1	0	4.2
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	4	0	0	0	1	0	4.2
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	2	0	0	1	0	3.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	3	0	1	0	1	0	3.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	0	1	1	1	0	3.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	2	2	0	0	1	0	3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	3	1	0	0	1	0	4.0



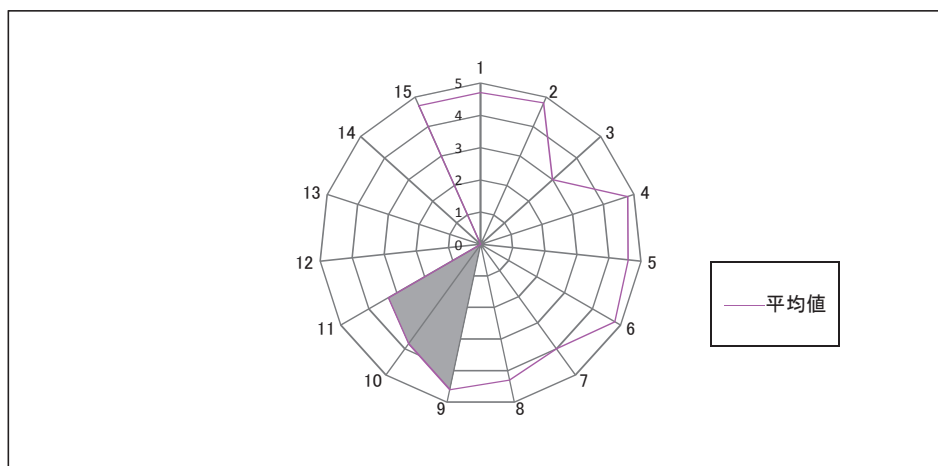
総合評価 **3.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 聴覚障害者教育論  
 評価実施日 令和3年12月19日  
 担当教員名 加藤 哲則

回答者数 17名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	12	4	1	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	12	5	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	3	5	3	3	0	3.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	13	4	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	11	4	2	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	12	5	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	6	4	1	0	0	4.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	8	2	0	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	10	6	1	0	0	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	6	5	2	0	0	3.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	2	9	2	1	0	3.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	11	6	0	0	0	0	4.7



総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

## あとがき

新型コロナウイルス感染の世界的な拡大を受け、感染防止対策を目的とした緊急避難的な形でのオンライン授業の実施が求められた令和2年度に対し、令和3年度は感染拡大予防の対策をしながら、通常の学校生活として機能し始めた時期といえる。なお、授業評価の方法は、令和2年度を踏襲し、オンラインで回答する方法で実施された。

本年度の授業評価結果も、上記のコロナ禍や授業評価方法変更の影響を強く受けていると推察される。まず授業評価を実施した科目数は331（昨年度は322）とほぼ同程度であるが、有効回答数は3,205（令和2年度は3,727、令和元年度は7,565）と減少傾向にある。しかし、コロナ禍に入った令和2年度の半減ほどの大幅な現象ではない。この点からアンケート用紙がない状態で、オンラインでの回答を学生に依頼することの難しさが分かる。しかし、オンラインでの授業評価アンケート実施は、効率良く集計できる利点がある上、スマホ世代の学生にとっても馴染みやすい方法であるので、さらに回答数が増えるように実施方法を工夫して継続することが望ましい。

教養基礎科目・教育実践コア科目・教職共通科目・専修専門科目のそれぞれにおいて、「授業に対する総合評価」の「5」の回答率が70%以上、「4」と併せて90%以上であり、昨年度と比較して若干向上している。また、これまでと同様、いずれの領域においても、概して学生から肯定的な評価が示されたものの、2つの課題が見いだされた。

1. 「予習・復習」の実施についての項目が、低い科目が多い点。

2. 「教育実践コア科目」において、他の授業に対し、無回答が多い点。

1. の指摘は、授業科目全般にわたっており、「自発性・積極性を授業時間外（予習・復習への取り組み、質問など）にも広げる指導」の工夫という改善の方向性が見いだされた。また、2. については、「質問フォーム」のデザインの不備の可能性が示唆された。これは、長年の課題であるが今回の調査で課題解決の糸口が見つかったといえよう。

令和3年度もコロナ禍の影響を大きく受けた授業であったが、概ね従来通りの総合評価がなされたことは、教職員と学生が困難な中でも真摯に良い大学教育の実現に努力した結果であり、関係者としてまずは胸をなでおろした。しかし、今後も様々な理由でオンライン授業が必要になると予想される。オンラインであっても質の高い授業を提供できるように全教員のさらなる工夫と努力が求められる。本報告書がその一助となれば幸いである。

令和3年度学校教育学部教務委員会  
学生による授業評価専門部会 主査  
井上奈穂

## 鳴門教育大学学校教育学部教務委員会 委員名簿

(令和3年度)

委員長	大石雅章	副学長	
副委員長	木村直子	幼児教育専修	准教授
委員	高原光恵	特別支援教育専修	准教授
〃	藤原伸彦	学校教育実践コース	教授
〃	余郷裕次	国語科教育コース	教授
〃	前田一平	英語科教育コース	教授
〃	井上奈穂	社会科教育コース	准教授
〃	早田透	算数科・数学科教育コース	講師
〃	本田亮	理科教育コース	教授
〃	山田啓明	音楽科教育コース	准教授
〃	山田芳明	図画工作科・美術科教育コース	教授
〃	湯口雅史	体育科・保健体育科教育コース	教授
〃	宮下晃一	技術科教育コース	教授
〃	西川和孝	家庭科教育コース	教授
〃	湯口雅史	教育実習総合支援センター	所長
〃	尾関美和	教育実習総合支援センター	講師
〃	中内英雄	教務課長	
〃	坂口純子	教育実習総合支援センター	講師
〃	美馬持仁	オブザーバー	副学長

## 令和3年度 学生による授業評価実施報告書

令和5年3月発行

編集 鳴門教育大学学校教育学部教務委員会  
発行 鳴門教育大学  
〒772-8502 鳴門市鳴門町高島字中島748  
電話 088-687-6093  
FAX 088-687-6107